

令和7年度  
能登半島自然環境調査業務  
調査報告書

令和8(2026)年3月

環境省自然環境局生物多様性センター



# 令和7年度能登半島自然環境調査業務 調査報告書 要約

## 1. 調査目的

令和6年1月1日に「令和6年能登半島地震（以下、「地震」という。）」が発生し、最大震度7の揺れと津波により、能登半島に甚大な被害を及ぼした。この被害を受けて石川県は、令和6年5月に公表した「石川県創造的復興プラン」の中で創造的復興リーディングプロジェクトの一つとして「能登半島国定公園のリ・デザイン」を掲げた。

このことより本業務では、能登半島の最大の魅力である自然環境や農村漁村の原風景の保全を図りつつ、能登に存在する自然環境を地域資源として利活用を促進することを目的とし、能登半島の創造的復興の一環として、能登半島地域にある自然環境の現状を情報収集、現地調査によって把握した。

## 2. 調査地域の選定

本業務では、事前に文献調査を行い、調査候補地を選定したのち、市町村などの地方自治体、能登半島の自然環境の有識者への聞き取りや、意見交換会を開催し、調査候補地に関する情報収集を行った。それらの結果を踏まえ現地踏査を実施し、確認された各調査候補地のアクセス性や生物相の豊かさの期待値を踏まえ、生物調査を行う23地域を選定した。

## 3. 調査の実施

生物調査では、地域の環境に適した複数の生物群を確認することを目的とし、分類群ごとの確認適期に対応するため、可能な限り時期を分けて複数回の調査を実施した（表1）。

- ・地域の環境タイプ：水田、湿地、森林、草原、河川、海岸
- ・10月の調査項目：植物、昆虫類、両生類、爬虫類、哺乳類
- ・11月の調査項目：両生類、爬虫類、哺乳類、魚類、鳥類

その結果、各地域において、能登半島に特徴的な生物種が確認されたほか、一部の地域ではレッドリスト掲載種のような希少な種の生息・生育が確認された。

表 1 生物調査の対象とした候補地および調査対象とする生物相(23 地域)

地域名	市町村	調査環境						生物調査項目					
		水田	湿地	森林	草地	河川	海岸	植物	昆虫類	鳥類	魚類	哺乳類	爬虫類・両生類
粟津地区	珠洲市	○	○			○		○	○	○	○	○	○
奥能登・中能登の湿地群(1)	珠洲市		○							○	○		
奥能登・中能登の湿地群(2)	珠洲市		○							○	○		
鉢ヶ崎海岸	珠洲市		○	○	○		○	○	○	○		○	○
若山町	珠洲市	○	○			○		○	○	○	○	○	○
旧内浦町海岸・九十九湾	能登町		○				○	○	○	○		○	○
町野川上流と当目・岩井戸地区	能登町	○		○		○		○	○	○	○	○	○
宮地地区	能登町	○		○		○		○	○	△	○	○	○
町野川と周辺の里地	輪島市	○		○		○		○	○	○	○	○	○
洲衛	輪島市	○	○	○				○	○			○	○
市ノ坂	輪島市	○	○	○		○		○	○		△	○	○
皆月湾・吉浦	輪島市		○				○	○	○	○		○	○
木ノ浦	珠洲市		○				○	○	○	○		○	
袖ヶ浜・鴨ヶ浦	輪島市		○				○	○	○	○		○	○
志ヶ浦	穴水町		○		○		○		○	○		○	○
由比ヶ丘	穴水町		○	○			○	○	○	○		○	
能登島東部	七尾市	○	○	○		○		○	○		○	○	○
上野沿岸	志賀町	△	○				○	○	○	△		○	○
甘田・柴垣海岸	志賀町						○		○	○		○	
邑知潟	羽咋市		○			○					○		
神子原地区	羽咋市	○	○	○				△	○	○	△	○	○
宝達山	宝達志水町			○	○			△	○	○	△	○	○
石動山	中能登町			○				○	○	○		○	○

○：主な環境、もしくは主な調査対象

△：わずかに確認される環境、もしくは主な調査対象ではないが補助的に調査を実施した項目

# Noto Peninsula Natural Environment Survey Project for Fiscal Year 2025

## Survey Report

### Summary

#### 1. Survey Purpose

On January 1, 2024, the 2024 Noto Peninsula Earthquake (hereinafter referred to as "the earthquake") occurred, causing extensive damage to the Noto Peninsula due to shaking reaching a maximum seismic intensity of 7 and subsequent tsunamis. In response to this damage, Ishikawa Prefecture designated "Re-design of the Noto Peninsula Quasi-National Park" as one of its Creative Reconstruction Leading Projects within the "Ishikawa Prefecture Creative Reconstruction Plan" published in May 2024.

Accordingly, this project aimed to promote the utilization of Noto's natural environment as a regional resource while preserving its greatest attractions—its natural landscapes and the pristine scenery of its rural villages and fishing communities. As part of Noto Peninsula's creative reconstruction, we gathered information and conducted field surveys to assess the current state of the natural environment within the Noto Peninsula region.

#### 2. Selection of Survey Areas

For this project, we first conducted literature research to select candidate survey sites. We then gathered information on these candidate sites through interviews with local governments (municipalities, etc.) and experts on the Noto Peninsula's natural environment, as well as by holding opinion exchange meetings. Based on these results, we conducted field surveys. Considering the accessibility and expected richness of biodiversity at each confirmed candidate site, we selected 23 areas for biodiversity surveys.

#### 3. Implementation of Surveys

The biodiversity survey aimed to identify multiple taxonomic groups characteristic of the local environment. To coincide with the optimal observation periods for each taxonomic group, multiple surveys were conducted at different times whenever possible (Table 1).

- Regional Environmental Types: Paddy Fields, Wetlands, Forests, Grasslands, Rivers, Coastlines
- October Survey Items: Plants, Insects, Amphibians, Reptiles, Mammals
- November Survey Items: Amphibians, Reptiles, Mammals, Fish, Birds

As a result, species characteristic of the Noto Peninsula were confirmed in each area. Furthermore, the presence and growth of rare species, such as those listed on the Red List, were confirmed in some areas.

Table 1: Candidate Sites for Biodiversity Surveys and Target Biota (23 regions)

Region Name	Municipality	Survey Environment						Target Biota					
		Paddy Fields	Wetlands	Forests	Grasslands	Rivers	Coasts	Plants	Insects	Birds	Fish	Mammals	Reptiles Amphibians
Awazu District	Suzu City	○	○			○		○	○	○	○	○	○
Wetlands of Oku-Noto and Naka-Noto(1)	Suzu City		○							○	○		
Wetlands of Oku-Noto and Naka-Noto(2)	Suzu City		○							○	○		
Hachigasaki Coast	Suzu City		○	○	○		○	○	○	○		○	○
Wakayama Town	Suzu City	○	○			○		○	○	○	○	○	○
Former Uchiura Town Coast and Tsukumo Bay	Noto Town		○				○	○	○	○		○	○
Upper reaches of the Machino River and the Tome - Iwaido District	Noto Town	○		○		○		○	○	○	○	○	○
Miyaji District	Noto Town	○		○		○		○	○	△	○	○	○
Machino River and Surrounding Satoyama Landscape	Wajima City	○		○		○		○	○	○	○	○	○
Sue	Wajima City	○	○	○				○	○			○	○
Ichi-no-saka	Wajima City	○	○	○		○		○	○		△	○	○
Minazuki Bay and Yoshiura	Wajima City		○				○	○	○	○		○	○
Kinoura	Suzu City		○				○	○	○	○		○	
Sodegahama and Kamogaura	Wajima City		○				○	○	○	○		○	○
Shigaura	Anamizu Town		○		○		○		○	○		○	○
Yuigaoka	Anamizu Town		○	○			○	○	○	○		○	
Eastern Notojima	Nanao City	○	○	○		○		○	○		○	○	○
Ueno Coast	Shiga Town	△	○				○	○	○	△		○	○
Amada and Shibagaki Coast	Shiga Town						○		○	○		○	
Ouchigata Lagoon	Hakui City		○			○					○		
Mikohara District	Hakui City	○	○	○				△	○	○	△	○	○
Mt. Hodatsu	Hodatsushimizu Town			○	○			△	○	○	△	○	○
Mt. Sekidou	Nakanoto Town			○				○	○	○		○	○

○: Primary environment or primary survey target

△: Environment confirmed only marginally, or items investigated only as supplementary research not constituting the primary focus

# 目次

1. 調査概要	1
1.1 調査目的	1
1.2 調査対象範囲	2
1.3 生物調査の準備	2
1.4 現地踏査	4
1.5 生物調査地域の選定	4
2. 生物調査	5
2.1 実施日時	5
2.2 実施箇所	5
2.3 実施方法	7
2.4 希少種の選定基準	7
2.5 外来種の選定基準	8
2.6 広く見られた種・特徴的な種の選定基準	8
2.7 調査結果および考察	8
2.7.1 101-1(粟津地区)	8
2.7.2 101-2(奥能登・中能登の湿地群(1))	18
2.7.3 102-3(奥能登・中能登の湿地群(2))	20
2.7.4 102-4(鉢ヶ崎海岸)	22
2.7.5 103-1(若山町)	29
2.7.6 105-1(旧内浦町海岸・九十九湾)	39
2.7.7 107-1(町野川上流と当目・岩井戸地区)	48
2.7.8 108-2(宮地地区)	56
2.7.9 110-3(町野川と周辺の里地)	65
2.7.10 113-1(洲衛)	76
2.7.11 113-2(市ノ坂)	84
2.7.12 116-1(皆月湾・吉浦)	91
2.7.13 117-1(木ノ浦)	98
2.7.14 118-1(袖ヶ浜・鴨ヶ浦)	105
2.7.15 203-1(志ヶ浦)	111
2.7.16 203-2(由比ヶ丘)	115
2.7.17 205-2(能登島東部)	121
2.7.18 216-1(上野沿岸)	128
2.7.19 217-1(甘田・芝垣海岸)	134
2.7.20 303-2(邑知潟)	137
2.7.21 304-3(神子原地区)	140
2.7.22 307-1(宝達山)	146
2.7.23 308-1(石動山)	153

# 1. 調査概要

---

## 1.1 調査目的

能登半島は、海岸部には外浦と呼ばれる西北部の海食崖海岸と、内浦と呼ばれる東南部の沈降式海岸が、内陸部には北部に海拔 300～400m の山地、中部に邑知潟地溝帯、南部に石動山、宝達山などの山々が存在する。このうち主に海岸部が能登半島国定公園に指定され、環境省が令和 3～4 年度にかけて実施した国立・国定公園総点検事業フォローアップ結果により、国定公園の拡張候補地に選定されている。さらに、七尾市の能登島長崎町や輪島市の金蔵地区を始めとする生物多様性保全上重要な里地里山の選定地域、舳倉島、七ツ島周辺海岸や七尾湾などを始めとする生物多様性の観点から重要度の高い湿地の選定地域を数多く含む等、豊かな自然環境を有する地域である。

令和 6 年 1 月 1 日に「令和 6 年能登半島地震（以下、「地震」という。）」が発生し、最大震度 7 の揺れと津波により、能登半島に甚大な被害を及ぼした。この被害を受けて石川県は、令和 6 年 5 月に公表した「石川県創造的復興プラン」の中で創造的復興リーディングプロジェクトの一つとして「能登半島国定公園のリ・デザイン」を掲げた。その中で里山里海に育まれた多様な生物資源の適切な保全と地域資源としての利活用を促進する手段として、能登半島国定公園の拡張などを通じて能登地域における生物多様性の保全を図り、能登の豊かな自然を後世へ継承すること、能登の豊かな自然や風土に触れ、魅力を体験することができる自然歩道を創設することなどを挙げている。

上記のことを踏まえ、「令和 7 年度 能登半島自然環境調査業務」では、能登半島の最大の魅力である自然環境や農村漁村の原風景の保全を図りつつ、能登に存在する自然環境を地域資源として利活用を促進し、能登半島の創造的復興の一環として、能登半島地域にある自然環境の現状を情報収集、現地調査によって把握するとともに、それらの結果を整理し能登に存在する重要な自然環境を抽出し情報発信を行うことを目的とする。

本報告書においては、「令和 7 年度 能登半島自然環境調査業務」の一環として実施した、生物調査の結果を整理し報告する。

## 1.2 調査対象範囲

本調査では、石川県の能登半島に位置する9市町（珠洲市、輪島市、能登町、穴水町、七尾市、志賀町、中能登町、羽咋市、および宝達志水町）を対象範囲とした（図 1.2-1）。



図 1.2-1 本調査の対象範囲

## 1.3 生物調査の準備

生物調査を実施するにあたり、事前に文献調査を行い、調査候補地を選定したのち、市町村などの地方自治体、能登半島の自然環境の有識者への聞き取りや、意見交換会を開催し、調査候補地に関する情報収集を行った。

それらの結果を整理し、52 地域を現地踏査の対象として整理した（表 1.3-1）。

表 1.3-1 現地踏査の対象とした候補地 (52 地域)

No.	市町村	地域名
101-1	珠洲市	粟津地区
101-2・102-3	珠洲市	奥能登・中能登の湿地群
102-1	珠洲市	里山里海自然学校保全林
102-2	珠洲市	小泊地区
103-1	珠洲市	珠洲市内の里地里山
104-1	能登町	九里川尻地区
105-1	能登町	旧内浦町地先沿岸
106-1	能登町	小木地区
107-1	能登町	岩井戸地区
107-2	能登町	黒川棚田
107-3	能登町	当目千石棚田
108-1	能登町	春蘭の里（宮地地区含む）
108-2	能登町	能登町宮地地区
110-1	輪島市	金蔵地区
110-2	輪島市	輪島市町野町金蔵
110-3	輪島市	町野町東地区
111-1	輪島市	白米千枚田
113-1	輪島市	輪島市洲衛付近
113-2	輪島市	トキのふるさと能登まるやま
114-1	輪島市	青年団伝統獅子舞 本郷地区
116-1	輪島市	能登半島西部沿岸
117-1	珠洲市	木ノ浦
201-1	穴水町	甲地区
202-1	穴水町	穴水町七海付近
203-1	穴水町	新崎・志ヶ浦地区
204-1	穴水町	別所岳
205-1	七尾市	能登島長崎地区と小浦地区
205-2	七尾市	能登島長崎町
205-3	七尾市	七尾市能登島長崎町
205-4	七尾市	能登島東部地区
206-1	七尾市	幻の田んぼ
207-1	七尾市	七尾湾
208-1	七尾市	中島町鉤打地区
210-1	七尾市	赤浦潟
210-2	七尾市	百海地区
211-1	七尾市	高階地区
211-2	七尾市	相馬地区
211-3	中能登町	春木地区
212-1	志賀町	大笹波水田
213-1	志賀町	尊保地区
215-1	志賀町	赤住地域
216-1	志賀町	上野塩性湿地
217-1	志賀町	甘田地区
301-1	中能登町	眉丈山
303-1	羽咋市	南潟地区
303-2	羽咋市	邑知潟
304-1	羽咋市	羽咋市神子原地区
304-2	羽咋市	神子原地区棚田群
304-3	羽咋市	神子原地区
305-1	羽咋市	千里浜
306-1	宝達志水町	吉野屋地区
308-1	中能登町	石動山

## 1.4 現地踏査

調査の候補地は、令和6年能登半島地震や令和6年奥能登豪雨被災後の状況が、その多くで不明であり、能登半島における豊かな自然環境のモデルとして重要な地域として選定するにあたり適地となりうるかの事前確認として、現地踏査を実施し、下記の観点で現地の状況を記録した。

- ▶ アクセスが可能である
- ▶ 一般の方が安全に訪れることができる
- ▶ 豊かな生物相が期待できる
- ▶ 似た環境を有する地域の場合、下記の条件により複合的に判断した。
  - ・様々な環境が隣接し、生物相が豊かな可能性が高い地域
  - ・人の手が入り、適度な管理が行われつつも自然性が残る地域

## 1.5 生物調査地域の選定

第1回意見交換会および地域自治体等へのヒアリング、現地踏査結果を踏まえ、23地域を生物調査の実施対象とした(表1.5-1、巻末資料 表参照)。なお、表1.3-1には記載はないが、現地踏査時に良好な環境が確認された地域も生物調査の対象に追加した。

表 1.5-1 生物調査の対象とした候補地および調査対象とする生物相(23地域)

No.	地域名	市町村	調査環境 <sup>※1</sup>						生物調査項目 <sup>※2</sup>					
			水田	湿地	森林	草地	河川	海岸	植物	昆虫類	鳥類	魚類	哺乳類	爬虫両生類
101-1	粟津地区	珠洲市	○	○			○		○	○	○	○	○	○
101-2	奥能登・中能登の湿地群(1)	珠洲市		○							○	○		
102-3	奥能登・中能登の湿地群(2)	珠洲市		○							○	○		
102-4	鉢ヶ崎海岸	珠洲市		○	○	○		○	○	○	○		○	○
103-1	若山町	珠洲市	○	○			○		○	○	○	○	○	○
105-1	旧内浦町海岸・九十九湾	能登町		○				○	○	○	○		○	○
107-1	町野川上流と当目・岩井戸地区	能登町	○		○		○		○	○	○	○	○	○
108-2	宮地地区	能登町	○		○		○		○	○	△	○	○	○
110-3	町野川と周辺の里地	輪島市	○		○		○		○	○	○	○	○	○
113-1	洲衛	輪島市	○	○	○				○	○			○	○
113-2	市ノ坂	輪島市	○	○	○		○		○	○		△	○	○
116-1	皆月湾・吉浦	輪島市		○				○	○	○	○		○	○
117-1	木ノ浦	珠洲市		○				○	○	○	○		○	
118-1	袖ヶ浜・鴨ヶ浦	輪島市		○				○	○	○	○		○	○
203-1	志ヶ浦	穴水町		○		○		○		○	○		○	○
203-2	由比ヶ丘	穴水町		○	○			○	○	○	○		○	
205-2	能登島東部	七尾市	○	○	○		○		○	○		○	○	○
216-1	上野沿岸	志賀町	△	○				○	○	○	△		○	○
217-1	甘田・柴垣海岸	志賀町			甘田・柴垣海岸			○		○	○		○	
303-2	邑知潟	羽咋市		○			○				*	○		
304-3	神子原地区	羽咋市	○	○	○				△	○	○	△	○	○
307-1	宝達山	宝達志水町			○	○			△	○	○	△	○	○
308-1	石動山	中能登町			○				○	○	○		○	○

※1)記号は下記の通りとした。

○：主な環境、△：わずかに確認される環境

※2)記号は下記の通りとした。

○：主な調査対象、△：主な調査対象ではないが補助的に調査を実施した項目

\*:モニタリングサイト1000で令和7年に鳥類調査が実施されたため、鳥類を調査対象外とした。

## 2. 生物調査

### 2.1 実施日時

生物調査は表 2.1-1 に示す日時に実施した。なお、地域ごとに複数の生物群を確認することを目的に、分類群ごとの確認適期に対応するため、可能な限り時期を分けて複数回の調査を実施した。

表 2.1-1 生物調査の実施日時

調査回	調査期間	調査対象の生物群※
1	令和7年10月21日(火)～24日(金)	植物、昆虫類、両生類、爬虫類、哺乳類
2	令和7年10月28日(火)～31日(金)	
3	令和7年11月11日(火)～14日(金)	両生類、爬虫類、哺乳類、魚類、鳥類
4	令和7年11月18日(火)～21日(金)	

※)調査対象外の生物においても、希少種・重要種等特筆すべき種を確認した場合は補足的に記録した。

### 2.2 実施箇所

生物調査の実施箇所および調査対象とした生物群を表 2.2-1 に示す。

なお、魚類調査においては、調査地域の設定範囲に限らず、上下流域についても広く調査対象とし、流域の広範囲で調査を実施した。

表 2.2-1 生物調査の実施箇所および調査対象とした生物群

No.	地域名	市町村	10月調査	11月調査※1		調査時期※2					
				A班	B班	10月		11月		10・11月	
						植物	昆虫類	鳥類	魚類	哺乳・爬虫類	両生類
101-1	粟津地区	珠洲市	10/21	11/12	11/13	○	○	○	△	○	○
101-2	奥能登・中能登の湿地群(1)	珠洲市	-	11/11	11/12			○	○		
102-3	奥能登・中能登の湿地群(2)	珠洲市	-	11/11	11/12			○	○		
102-4	鉢ヶ崎海岸	珠洲市	10/21	11/12	-	○	○	○		○	
103-1	若山町	珠洲市	10/22	11/13	11/14	○	○	○	△	○	○
105-1	旧内浦町海岸・九十九湾	能登町	10/23	11/14	-	○	△	○		△	
107-1	町野川上流と当目・岩井戸地区	能登町	10/23	11/14	11/18	○	○	○	△	○	○
108-2	宮地地区	能登町	10/24	-	11/21	○	○		○	○	○
110-3	町野川と周辺の里地	輪島市	10/24	11/13	11/11	○	○	○	○	○	○
113-1	洲衛	輪島市	10/28	-	11/21	○	○		△	○	○
113-2	市ノ坂	輪島市	10/28	-	-	○	○			○	○
116-1	皆月湾・吉浦	輪島市	10/29	11/18	-	○	○	○			
117-1	木ノ浦	珠洲市	10/22	11/11	-	○	△	○			
118-1	袖ヶ浜・鴨ヶ浦	輪島市	10/29	11/18	-	○	△	○			
203-1	志ヶ浦	穴水町	10/31	11/19	-		○	○		○	
203-2	由比ヶ丘	穴水町	10/31	11/19	-	○	○	○		○	
205-2	能登島東部	七尾市	10/31	-	11/20	△	○		○	○	○
216-1	上野沿岸	志賀町	10/30	-	-	○	○				
217-1	甘田・柴垣海岸	志賀町	10/31	-	-		○				
303-2	邑知潟	羽咋市	-	-	11/19			*	○		
304-3	神子原地区	羽咋市	10/30	11/20	-	△	○	○		△	△
307-1	宝達山	宝達志水町	10/30	11/20	-	○	○	○			
308-1	石動山	中能登町	10/30	11/21	-	○	○	○			

※1)11月調査はA班を主に鳥類を確認し、B班は主に魚類を確認した。なお、どちらの班も両生類、爬虫類、哺乳類を確認した場合には記録した。

※2)記号は下記の通りとした。

○：地区における主な調査対象

△：主な生物相ではないが補助的に実施

\*:モニタリングサイト1000で令和7年に鳥類調査が実施されたため、鳥類を調査対象外とした。

## 2.3 実施方法

各調査地域で、対象の調査項目あたり 2～3 時間程度調査を実施した。

調査方法を表 2.3-1 に示す。

表 2.3-1 調査の実施方法

項目	説明
植物相調査	調査地区を踏査して目視、採集等による生育種の確認を行った。
昆虫類調査	調査地区を踏査してスウィーピング法およびビーティング法を主とした任意の方法で生息種の採集・確認を行った。
鳥類調査	調査地区を踏査して、直接観察や、鳴き声などにより生息種の確認を行った。
魚類調査	調査地区内を流れる河川およびため池、それらに合流する水路などにおいてタモ網などを用いた採集により生息種の確認を行った。
両生類・爬虫類・哺乳類調査	各項目の調査と並行して目撃、捕獲、鳴き声の確認、フィールドサインの確認などにより地区内で生息種の確認を行った。

## 2.4 希少種の選定基準

生物調査で確認された種について、表 2.4-1 の選定基準に基づき、学術上または希少性の観点から希少種を選定した。確認した生物の種名および配列について、植物、昆虫類、両生類、爬虫類、哺乳類、魚類は「河川水辺の国勢調査のための生物リスト 令和 7 年度生物リスト(河川環境データベース 国土交通省、2025 年)」に準拠した。また、植物、昆虫類において、一部の種の種名や配列については図鑑などの文献を参照した。

鳥類については、種名は「日本鳥類目録改訂第 8 版」(日本鳥学会、2024 年)に、配列は「IOC World Bird List ver.13.2」に準拠した。

表 2.4-1 希少種選定基準

略称	名称	カテゴリ
I	『文化財保護法』(昭和 25 年法律第 214 号)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・特別天然記念物(特天)</li> <li>・天然記念物(天)</li> </ul>
II	『絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律(種の保存法)』(平成 4 年法律第 75 号) ※種の保存法における規制対象種一覧(令和 7 年 2 月 10 日更新)を使用。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国内希少野生動植物(国内)</li> <li>・特定第一種国内希少野生動植物種(特一)</li> <li>・特定第二種国内希少野生動植物種(特二)</li> <li>・国際希少野生動植物(国際)</li> </ul>
III	『環境省レッドリスト 2020』(環境省報道発表資料、2020 年) <a href="http://www.env.go.jp/press/107905.html">http://www.env.go.jp/press/107905.html</a>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・絶滅(EX) ・野生絶滅(EW)</li> <li>・絶滅危惧 I A 類(CR) ・絶滅危惧 I B 類(EN)</li> <li>・絶滅危惧 II 類(VU) ・準絶滅危惧(NT)</li> <li>・情報不足(DD)</li> <li>・絶滅のおそれのある地域個体群(LP)</li> </ul>
IV	『石川県の絶滅のおそれのある野生生物 いしかわレッドデータブック 2020』(石川県、2020 年)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・絶滅(EX) ・野生絶滅(EW)</li> <li>・絶滅危惧 I 類(CR+EN) ・絶滅危惧 II 類(VU)</li> <li>・準絶滅危惧(NT) ・情報不足(DD)</li> <li>・地域個体群(LP)</li> </ul>
V	『ふるさと石川の環境を守り育てる条例』(石川県、2004 年)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・石川県指定希少野生動植物種(指定)</li> </ul>

## 2.5 外来種の選定基準

生物調査で確認された種について、外来種は特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律（令和4年改正）において特定外来生物に指定された種を記録した。

## 2.6 広く見られた種・特徴的な種の選定基準

生物調査で確認された種について、表 2.6-1 の基準に基づき、調査地域で広く見られた種および調査地区で特徴的な種を記録した。

表 2.6-1 調査地区で広く見られた種および調査地区で特徴的な種の選定基準

略称	詳細	説明
広く見られた種	調査地域で広く見られた種	分類群別に調査地域全域の優占種や、調査地域内で個体数の多い種を記録した。
特徴的な種	調査地域の環境を象徴する種	調査地域を構成する環境（水田、湿地、森林、草地、河川、海岸）に特徴的に生育・生息する動植物種を記録した。

## 2.7 調査結果および考察

### 2.7.1 101-1（粟津地区）

#### 1) 調査環境の概要

谷戸が広がる水田地帯。谷戸の奥部に作られたため池があり、その直下の休耕田は湿地化しており、湿地性の動植物が多く見られる。周辺はスギ植林と広葉樹の混交林となっており、ササ等林床の植生も豊富である。開けた場所には民家もあり、里山らしい景観を形成している。

#### 2) 植物

植物は67科168種が確認された（表 2.7-1）。その内、希少種は5種であった。

調査地区には休耕田が広く湿地状に保たれており、ショウブ、ミズオオバコ、ミクリ、ヒメガマなどの湿生植物が生育していた。また、湿地の水たまりや付近のため池ではヒシ、イヌタヌキモ、フサタヌキモなどの水草類も確認されている。その他、水田やその付近ではヒデリコ、イヌビエ、ゲンノショウコ、シロバナサクラタデ、ノコンギクなどが、水田周辺のスギ植林や広葉樹二次林ではコナラ、ヒサカキ、ムラサキシキブ、アキギリなどが確認された。

主に確認した種の個体写真を図 2.7-1 に示す。

表 2.7-1 確認した植物 (101-1 : 栗津地区) (1)

No.	分類群	科名	種名	学名	希少種選定基準					特定外来生物	広く見られた種	特徴的な種
					I	II	III	IV	V			
1	大葉シダ植物	トクサ	スズナ	<i>Equisetum arvense</i>								
2		ゼンマイ	ゼンマイ	<i>Osmunda japonica</i>								
3		ウラボシ	ウラボシ	<i>Diplazium glaucum</i>								
4		コバノイシカグマ	イワヒメワラビ	<i>Hypolepis punctata</i>								
5			フモトシダ	<i>Microlepia marginata</i>								
6			ワラビ	<i>Peridium aquilinum ssp. japonicum</i>							○	
7			ヒメシダ	ミドリヒメワラビ	<i>Macrothelypteris viridifrons</i>							
8			ゲンゲシダ(広義)	ゲンゲシダ	<i>Phegopteris decursivopinnata</i>							
9			ミンシダ	ミンシダ	<i>Thelypteris pozoi ssp. mollissima</i>							
10			シシガシラ	シシガシラ	<i>Blechnum niponicum</i>							
11			メシダ	ホノバイヌワラビ	<i>Athyrium iseanum var. iseanum</i>							
12			シメシダ	シメシダ	<i>Deparia japonica</i>							○
13			オシダ	ベニシダ	<i>Dryopteris erythrosora</i>							
14				トウゴクシダ	<i>Dryopteris nipponensis</i>							
15	裸子植物	ヒノキ	スギ	<i>Cryptomeria japonica var. japonica</i>								
16			ヒノキアスナロ※1	<i>Thuopsis dolabrata var. hondae</i>					VU			
17	被子植物-基部被子植物	ドクダミ	ドクダミ	<i>Houttuynia cordata</i>								
18			クスノキ	<i>Lindera umbellata var. membranacea</i>								
19			タブノキ	<i>Machilus thunbergii</i>								
20			シロダモ	<i>Neolitsea sericea var. sericea</i>							○	
21	被子植物-単子葉植物	ショウブ	ショウブ	<i>Acorus calamus</i>							○	
22			サトイモ	コウキクサ	<i>Lemna minor</i>							
23				ウキクサ	<i>Spirodela polyrrhiza</i>						○	
24			オモダカ	ヘラオモダカ	<i>Alisma canaliculatum</i>							
25				オモダカ	<i>Sagittaria trifolia</i>							
26			トチカガミ	ミスオオバコ	<i>Ottelia alismoides</i>			NT	VU			
27			ヤマノイモ	ヤマノイモ	<i>Dioscorea japonica</i>							
28				オニトコロ	<i>Dioscorea tokoro</i>							
29			ショウソウ	ショウジョウバカマ	<i>Heloniopsis orientalis var. orientalis</i>							
30			サルトリイバラ	サルトリイバラ	<i>Smilax china var. china</i>							
31			ユリ	シンテツボウユリ	<i>Lilium x formolongu</i>							
32			ツユクサ	ツユクサ(広義)	<i>Commelina communis</i>							
33				イボクサ	<i>Murdannia keiskei</i>						○	
34			ミスアオイ	コナギ	<i>Monochoria vaginalis</i>							
35		ショウガ	ショウガ	<i>Zingiber mioga</i>								
36		ガマ	ミクリ	<i>Sparganum erectum</i>			NT	VU		○		
37			ヒメガマ	<i>Typha domingensis</i>						○		
38	カヤツリグサ		ウキヤガラ	<i>Bolboschoenus fluviatilis ssp. vagara</i>								
39			ナキリスゲ	<i>Carex lenta</i>								
40			ヒメグサ	<i>Cyperus brevifolius var. leirolepis</i>								
41			ヨモメガヤツリ	<i>Cyperus iria</i>								
42			ヒデリコ	<i>Fimbristylis littoralis</i>							○	
43			サンカクイ	<i>Schoenoplectus triqueter</i>								
44		イネ		メリケンカルカヤ	<i>Andropogon virginicus</i>							
45				コブナグサ	<i>Arthraxon hispidus</i>							○
46				ノガリヤス	<i>Calamagrostis brachytricha var. brachytricha</i>							
47				ギョウギシバ	<i>Cynodon dactylon</i>							
48				ヒシバ	<i>Digitaria ciliaris</i>							○
49				アキメヒシバ	<i>Digitaria violascens</i>							
50				イヌビエ	<i>Echinochloa crus-galli</i>							○
51				カゼクサ	<i>Eragrostis ferruginea</i>							
52			サヤスガサ	<i>Leersia sylvanica</i>								
53			アシボソ	<i>Microstegium vimineum</i>								
54		ススキ	<i>Miscanthus sinensis</i>							○		
55		コチヂミザサ	<i>Opismenus undulatifolius var. japonicus</i>									
56		ケチヂミザサ	<i>Opismenus undulatifolius var. undulatifolius</i>									
57		ヌカキビ	<i>Panicum bisulcatum</i>									
58		スズメノヒエ	<i>Paspalum thunbergii</i>									
59		チカラシバ	<i>Pennisetum alopecuroides</i>									
60		ヨシ	<i>Phragmites australis</i>							○		
61		マダケ	<i>Phyllostachys reticulata</i>									
62		クマイザサ	<i>Sasa senanensis</i>									
63		アキノエノコログサ	<i>Setaria faberi</i>									
64		キンエノコロ	<i>Setaria pumila</i>									
65	被子植物-真正双子葉植物	アケビ	アケビ	<i>Akebia quinata</i>								
66			ミツバアケビ	<i>Akebia trifoliata ssp. trifoliata</i>								
67			ムベ	<i>Stauntonia hexaphylla</i>								
68		キンボウゲ	センニンソウ	センニンソウ	<i>Clematis terniflora</i>							
69				キツネノボタン	<i>Ranunculus sibirifolius</i>							
70		ベンケイソウ	コモチマンネングサ	<i>Sedum bulbiferum</i>								
71		ブドウ	ノブドウ	<i>Ampelopsis glandulosa var. heterophylla</i>							○	
72			ヤブカラシ	<i>Cayratia japonica</i>								
73		マメ	クサネム	<i>Aeschynomene indica</i>								
74				ネムノキ	<i>Albizia julibrissin var. julibrissin</i>							
75			ヤブマメ	<i>Amphicarpea edgeworthii</i>								

表 2.7-1 確認した植物 (101-1 : 粟津地区) (2)

No.	分類群	科名	種名	学名	希少種選定基準					特定外 来生物	広く見ら れた種	特微的 な種	
					I	II	III	IV	V				
76	被子植物-真正双子葉植物	マメ	スズヒトハギ	<i>Hylodesmum podocarpum</i> ssp. <i>oxyphyllum</i> var. <i> japonicum</i>									
77			ヤハズソウ	<i>Kummerowia striata</i>									
78			クズ	<i>Pteraria lobata</i> ssp. <i>lobata</i>								○	
79			シロツメクサ	<i>Trifolium repens</i>									
80			アヅ	<i>Wisteria floribunda</i>								○	
81			クロウメモドキ	ケンボナン	<i>Hovenia dulcis</i>								
82			ニレ	クキキ	<i>Zelkova serrata</i>								
83			アサ	エノキ	<i>Celtis sinensis</i>								
84			クワ	ヒメコウゾ	<i>Broussonetia monoica</i>								○
85				ヤマグワ	<i>Morus australis</i>								
86			イラクサ	カラムシ	<i>Boehmeria nivea</i> var. <i>concolor</i>								
87				アカソ	<i>Boehmeria silvestrii</i>								
88				ミス	<i>Pilea hamaoi</i>								
89				アオミス	<i>Pilea pumila</i>								
90			バラ	キンミズヒキ	<i>Agrimonia pilosa</i> var. <i>japonica</i>								
91				ダイコンソウ	<i>Geum japonicum</i>								
92	ヘビイチゴ	<i>Potentilla hebiichigo</i>											
93	テリハノイバラ	<i>Rosa luciae</i>											
94	ノイバラ	<i>Rosa multiflora</i> var. <i>multiflora</i>											
95	フユイチゴ	<i>Rubus buergeri</i>											
96	モミジイチゴ	<i>Rubus palmatus</i>											
97	ナワシロイチゴ	<i>Rubus parvifolius</i>											
98	ブナ	クリ		<i>Castanea crenata</i>									
99		スダジイ		<i>Castanopsis sieboldii</i> ssp. <i>sieboldii</i>									
100		コナラ	<i>Quercus serrata</i> ssp. <i>serrata</i> var. <i>serrata</i>								○		
101	アベマキ	<i>Quercus variabilis</i>											
102	クルミ	オニグルミ	<i>Juglans mandshurica</i> var. <i>sachalinensis</i>										
103	ウリ	スズメウリ	<i>Zehneria japonica</i>										
104	カタバミ	オウタチカタバミ	<i>Oxalis dillenii</i>										
105	トウダイグサ	エノキグサ	<i>Acalypha australis</i>										
106		アケミソギ	<i>Mollotus japonicus</i>								○		
107	スミレ	ツボスミレ	<i>Viola verecunda</i> var. <i>verecunda</i>										
108	アウロソウ	ゲンノショウコ	<i>Geranium thunbergii</i>								○		
109	ミソハギ	ヒシ	<i>Trapa icholensis</i>								○		
110	キブシ	キブシ	<i>Stachyurus praecox</i>										
111	ウルシ	ヌレデ	<i>Rhus javanica</i> var. <i>chinensis</i>										
112		ハゼノキ	<i>Toxicodendron succedaneum</i>										
113	ムクロジ	オオモミジ	<i>Acer amoenum</i> var. <i>amoenum</i>										
114	アブラナ	タネツケバナ	<i>Cardamine occulta</i>										
115		イヌガラシ	<i>Rorippa indica</i>										
116	タデ	ヤナギタデ	<i>Persicaria hydropiper</i>										
117		シロバナサクラタデ	<i>Persicaria japonica</i> var. <i>japonica</i>								○		
118		イヌタデ	<i>Persicaria longisetia</i>										
119		ヤノネグサ	<i>Persicaria muricata</i>										
120		ボトクダテ	<i>Persicaria pubescens</i>										
121		アキノウナギツカミ	<i>Persicaria sagittata</i> var. <i>sibirica</i>										
122		ミソソバ	<i>Persicaria thunbergii</i> var. <i>thunbergii</i>										
123		スイバ	<i>Rumex acetosa</i>										
124	ナデシコ	ウシハコベ	<i>Stellaria aquatica</i>										
125	ヒユ	イノコヅチ	<i>Achyrantes bidentata</i> var. <i>japonica</i>										
126		ヒナタイノコヅチ	<i>Achyrantes bidentata</i> var. <i>tomentosa</i>										
127	アジサイ	ウツギ	<i>Deutzia crenata</i> var. <i>crenata</i>										
128	サカキ	ヒサカキ	<i>Eurya japonica</i>								○		
129	ツバキ	ヤブツバキ	<i>Camellia japonica</i>										
130	エゴノキ	エゴノキ	<i>Styrax japonicus</i>										
131	アオキ	ヒメアオキ	<i>Aucuba japonica</i> var. <i>borealis</i>										
132	アカネ	ヘクソカズラ	<i>Paederia foetida</i>								○		
133	ナス	マルバノホトシ	<i>Solanum maximowiczii</i>										
134		アフリカイヌホトズキ	<i>Solanum niteglandulosum</i>										
135	オオバコ	オオバコ	<i>Plantago asiatica</i> var. <i>asiatica</i>										
136		オオイスナフグリ	<i>Veronica persica</i>										
137	シソ	ムラサキシキブ	<i>Callicarpa japonica</i> var. <i>japonica</i>								○		
138		トウバナ	<i>Clinopodium gracile</i>								○		
139	ヒメドリコソウ	<i>Lamium purpureum</i>											
140	ヒメジソ	<i>Mosla dianthera</i>											
141	アキギリ	<i>Salvia glabrescens</i> var. <i>glabrescens</i>									○		
142	サギゴケ	トクワハゼ	<i>Mazus pumilus</i>										
143	タヌキモ	イスタヌキモ	<i>Utricularia australis</i>			NT	NT				○		
144		フサタヌキモ	<i>Utricularia dimorphantha</i>			VU	CR				○		
145	キク	ヨモギ	<i>Artemisia indica</i> var. <i>maximowiczii</i>								○		
146		ノコンギク	<i>Aster microcephalus</i> var. <i>ovatus</i>								○		
147		シラヤマギク	<i>Aster scaber</i>										
148		アフリカセンダングサ	<i>Bidens frondosa</i>										
149		アザミ属	<i>Cirsium</i> sp.										
150		ヒメジョオン	<i>Erigeron annuus</i>										
151		ヒメムカシヨモギ	<i>Erigeron canadensis</i>										
152		ヒヨドリバナ(広義)	<i>Eupatorium makinoi</i>										
153		ブタン	<i>Hypochaeris radicata</i>										
154		ニガナ	<i>Ikeridium dentatum</i> ssp. <i>dentatum</i>										
155		アキノノゲシ	<i>Lactuca indica</i> var. <i>indica</i>								○		
156		フキ	<i>Petasites japonicus</i> var. <i>japonicus</i>										
157		セイタカアワダチソウ	<i>Solidago altissima</i>								○		
158		オニノゲシ	<i>Sonchus asper</i>										
159		オヤマボクチ	<i>Synurus pungens</i>										
160		セイヨウタンポポ	<i>Taraxacum officinale</i>										
161	ウコギ	タラノキ	<i>Aralia elata</i>										
162		キツナ	<i>Hedera rhombea</i>										
163	セリ	ノチドメ	<i>Hydrocotyle maritima</i>										
164		ミツバ	<i>Cryptotaenia japonica</i>										
165		セリ	<i>Oenanthe javanica</i> ssp. <i>javanica</i>										
166		ウマノミツバ	<i>Sanicula chinensis</i>										
167	ガマズミ	ニトコ	<i>Sambucus racemosa</i> ssp. <i>sieboldiana</i> var. <i>sieboldiana</i>										
168	スイカズラ	スイカズラ	<i>Lonicera japonica</i>										
合計	-	67科	168種	-	0種	0種	4種	5種	0種	0種	25種	16種	

※1 ヒノキアスナロは現地の状況および「石川県の絶滅のおそれのある野生生物 いしかわレッドデータブック 2020 植物編」(石川県, 2020年)の分布情報から、植林もしくはそれに由来するものと考えられるが、種としては選定基準に該当するため重要種として扱った。

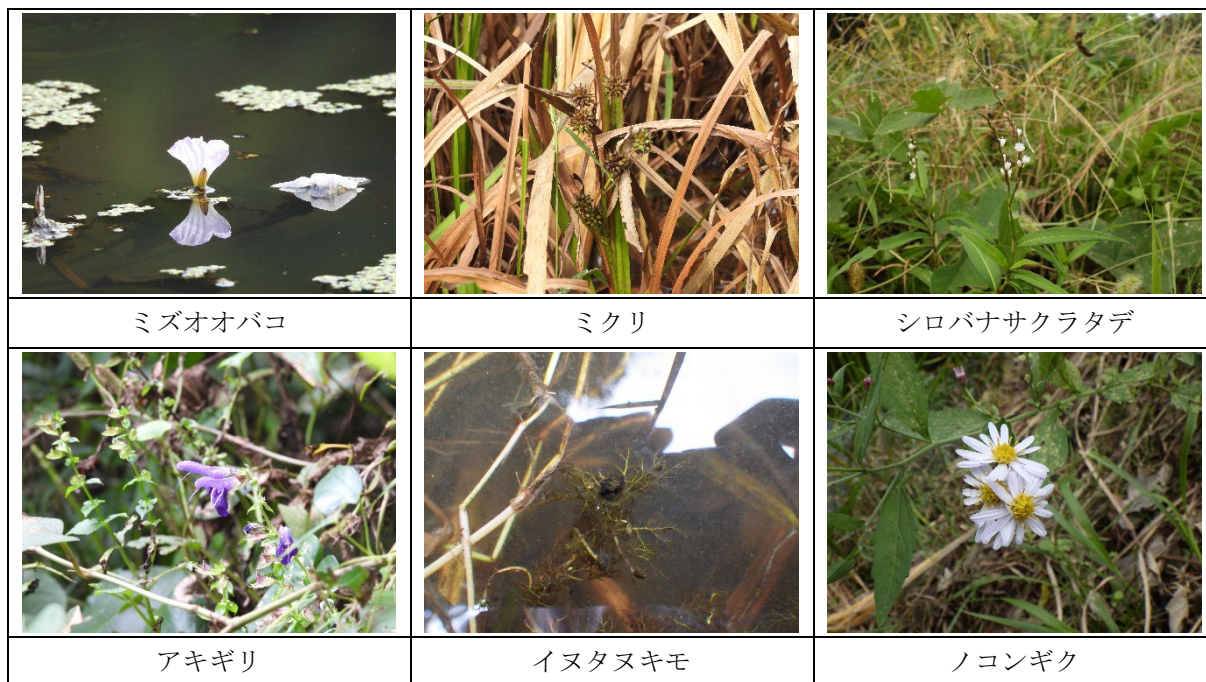


図 2.7-1 植物個体写真 (101-1 : 粟津地区)



表 2.7-2 確認した昆虫類 (101-1 : 粟津地区) (2)

No.	目名	科名	種名	学名	希少種選定基準					特定外来生物	広く見られた種	特徴的な種		
					I	II	III	IV	V					
66	チョウ(鱗翅)	セセリチョウ	イチモンジセセリ	<i>Parnara guttata guttata</i>										
67			チャバネセセリ	<i>Pelopidas mathias oberthueri</i>										
68			オオチャバネセセリ	<i>Polytremis pellucida pellucida</i>				NT						
69	シジミチョウ		ウラギンシジミ	<i>Curetis acuta paracuta</i>										
70			ベニシジミ	<i>Lycaena phlaeas chinensis</i>										
71			ヤマトシジミ本土亜種	<i>Zizeeria maha argia</i>										
72	タテハチョウ		ミドリヒョウモン	<i>Argynnis paphia tsushimana</i>										
73			ツマグロヒョウモン	<i>Argyreus hyperbius hyperbius</i>										
74			オオウラギンシジモウモン	<i>Argyronome ruslana</i>										
75			ルリタテハ本土亜種	<i>Kaniska canace nojponicum</i>										
76			イチモンジチョウ	<i>Limenitis camilla japonica</i>										
77	アゲハチョウ	シロチョウ	コムスジ本州以南亜種	<i>Neptis sappho intermedia</i>										
78			ヒメアカタテハ	<i>Vanessa cardui</i>										
79			モンキアゲハ	<i>Papilio helenus nicconicolens</i>										
80			モンキチョウ	<i>Colias erate poliographa</i>										
81			キタキチョウ	<i>Eurema mandarina</i>										
82			スジグロシロチョウ	<i>Pieris melete</i>										
83			モンシロチョウ	<i>Pieris rapae crucivora</i>										
84			ツトガ		コノメイガ	<i>Cnaphalocrocis medinalis</i>								
85					キアヤヒメノメイガ	<i>Diasemia accalis</i>								
86					ワモンノメイガ	<i>Nomophila noctuella</i>								
87	シロオビノメイガ	<i>Spoladea recurvalis</i>												
88	ヤガ	オオバコヤガ	<i>Diarsia canescens</i>											
89	ハエ(双翅)	クロバネキ/コバエ	クロバネキ/コバエ科	Sciaridae sp.										
90			ミスアブ	ルリミスアブ	<i>Sargus nipponensis</i>									
91			ハナアブ	キスネクロハナアブ	<i>Cheilosia ochripes</i>									
92				クロハナアブ属	<i>Cheilosia</i> sp.									
93				ヨコジマオオヒラタアブ	<i>Dideoides latus</i>									
94				ホソヒラタアブ	<i>Episyrphus balteatus</i>									
95				キゴシハナアブ	<i>Eristalinus quinquestratus</i>									
96				シマハナアブ	<i>Eristalis cerealis</i>									
97				マドリタアブ	<i>Eumerus japonicus</i>									
98				Melanostoma属	<i>Melanostoma</i> sp.									
99		オオハナアブ	<i>Phytomia zonata</i>											
100		クロバエ		ホソヒラタアブ	<i>Sphaerophoria macrogaster</i>									
101				ミドリキンバエ	<i>Lucilia illustris</i>									
102		イエバエ		ツマグロキンバエ	<i>Stomohina obsoleta</i>									
103				カガハナゲバエ	<i>Dichaetomyia bibax</i>									
104	ニクバエ	ニクバエ科	Sarcophagidae sp.											
105	ヤドリバエ	ヤドリバエ科	Tachinidae sp.											
106	コウチュウ(鞘翅)	ゲンゴロウ	クロズマゲンゴロウ	<i>Agabus conspicuus</i>										
107			ヒメゲンゲンゴロウ	<i>Hyphidrus laevis ventris laevis ventris</i>				VU	VU					
108			キバククロヒメゲンゴロウ	<i>Ilybius apicalis</i>				NT						
109			ツブゲンゴロウ	<i>Laccophilus difficilis</i>										
110			ルイスツブゲンゴロウ	<i>Laccophilus lewisii</i>				VU	VU					
111			ヒメゲンゴロウ	<i>Rhantus suturalis</i>										
112		ミスズマシ	オオミスズマシ	<i>Dineutus orientalis</i>				NT						
113		コガシラミスズシ	コガシラミスズシ	<i>Pelodytes intermedius</i>										
114		コツブゲンゴロウ	コツブゲンゴロウ	<i>Noterus japonicus</i>										
115		コマツキムシ	マダラチビコマツキ	<i>Prodrasterius agnatus</i>										
116		テントウムシ	ナナホシテントウ	<i>Coccinella septempunctata</i>										
117			ヒメカメノコテントウ	<i>Propylea japonica</i>										
118		ホソヒラタムシ	Psammoecus属	<i>Psammoecus</i> sp.										
119		ゴミシダマシ	ナミクチキムシ	<i>Uninella melanaria</i>										
120	ハムシ		サメハダツブノミハムシ	<i>Aphthona strigosa</i>										
121			アカクビナガハムシ	<i>Lilloceris subpolita</i>										
122	ゾウムシ		ヤサイゾウムシ	<i>Listroderes costirostris</i>										
123			カツゾウムシ	<i>Lixus impressiventris</i>										
124			オジロアシナガゾウムシ	<i>Ornatocides trifidus</i>										
125	ハチ(膜翅)	コマユバチ	コマユバチ科	Braconidae sp.										
126			ヒメバチ	Coccygomimus属	<i>Coccygomimus</i> sp.									
127		ハエヤドリクロバチ	アリ	ヒメバチ科	Ichneumonidae sp.									
128				ハエヤドリクロバチ科	Diapriidae sp.									
129				ムネアカオアリ	<i>Camponotus obscuripes</i>									
130		ハリアトシリアゲアリ	<i>Crematogaster matsumurai</i>											
131		クロヤマアリ	<i>Formica japonica</i> (s.l.)											
132		トビイロケアリ	<i>Lasius japonicus</i>											
133		スズメバチ		オオフタオビドロバチ本土亜種	<i>Anterhynchium flavomarginatum micado</i>									
134				ミカドツクリバチ	<i>Eumenes micado</i>									
135	オオスズメバチ			<i>Vespa mandarina</i>										
136	キイロスズメバチ			<i>Vespa similima</i>										
137	クロスズメバチ	<i>Vespula flaviceps</i>												
138	ミツバチ	トラマルハナバチ本土亜種	<i>Bombus diversus diversus</i>											
139	ムカシハナバチ	オオムカシハナバチ	<i>Colletes collaris</i>											
合計	11目	68科	138種	-	0種	10種	4種	4種	10種	0種	8種	6種		

合計: 6種







		
アオイトトンボ	アキアカネ	オオチャバネセセリ
		
コムスジ本州以南亜種	ヒメミズカマキリ	オオミズスマシ

図 2.7-2 昆虫類個体写真 (101-1 : 粟津地区)

#### 4) 鳥類

鳥類は6目16科35種が確認された(表2.7-3)。その内、希少種は2種であった。

調査地区の大部分を占める水田、休耕田を代表とした耕作地では、アオサギやダイサギ、セグロセキレイといった水辺を好む種やツグミやカワラヒワなどの樹林や草地環境を好む種が見られた。丘陵の樹林ではヒヨドリやヤマガラなどが見られ、谷戸のため池では、オシドリやカルガモなどの水鳥が見られた。

主に確認した種の個体写真を図2.7-3に示す。

表 2.7-3 確認した鳥類 (101-1 : 粟津地区)

No.	目名	科名	種名	学名	希少種選定基準					特定外来生物	広く見られた種	特徴的な種
					I	II	III	IV	V			
1	カモ	カモ	オシドリ	<i>Aix galericulata</i>			DD	NT				
2			カルガモ	<i>Anas zonorhyncha</i>								
3			マガモ	<i>Anas platyrhynchos</i>								
4	キジ	キジ	キジ	<i>Phasianus versicolor</i>								
5	ペリカン	サギ	アオサギ	<i>Ardea cinerea</i>								
6			ダイサギ	<i>Ardea alba</i>								
7	タカ	タカ	トビ	<i>Milvus migrans</i>								
8			ノスリ	<i>Buteo japonicus</i>				NT				
9	キツツキ	キツツキ	コゲラ	<i>Yungipicus kizuki</i>								
10			アオゲラ	<i>Picus awokera</i>								
11	スズメ	モズ	モズ	<i>Lanius bucephalus</i>								
12		カラス	カケス	<i>Garrulus glandarius</i>								
13			ハシボソガラス	<i>Corvus corone</i>								
14			ハシブトガラス	<i>Corvus macrorhynchos</i>								
15		シジュウカラ	ヤマガラ	<i>Sittiparus varius</i>								
16			シジュウカラ	<i>Parus cinereus</i>								
17		ヒバリ	ヒバリ	<i>Alauda arvensis</i>								
18		ヒヨドリ	ヒヨドリ	<i>Hypsipetes amaurotis</i>						○		
19		ウグイス	ウグイス	<i>Horornis diphone</i>								
20		ツグミ	シロハラ	<i>Turdus pallidus</i>								
21			アカハラ	<i>Turdus chrysolaus</i>								
22			ツグミ	<i>Turdus eunomus</i>							○	
23		スズメ	スズメ	<i>Passer montanus</i>								
24		セキレイ	ハクセキレイ	<i>Motacilla alba</i>							○	
25			セグロセキレイ	<i>Motacilla grandis</i>							○	
26			タヒバリ	<i>Anthus rubescens</i>								
27		アトリ	アトリ	<i>Fringilla montifringilla</i>							○	
28			イカル	<i>Eophona personata</i>								
29			ウソ	<i>Pyrrhula pyrrhula</i>								
30			ベニマシコ	<i>Carpodacus sibiricus</i>								
31			カワラヒワ	<i>Chloris sinica</i>								
32			マヒワ	<i>Spinus spinus</i>								
33		ホオジロ	カシラダカ	<i>Emberiza rustica</i>								
34			アオジ	<i>Emberiza personata</i>								
35			オオジュリン	<i>Emberiza schoeniclus</i>								
合計	6目	16科	35種	-	0種	0種	1種	2種	0種	0種	2種	3種
					合計:2種							

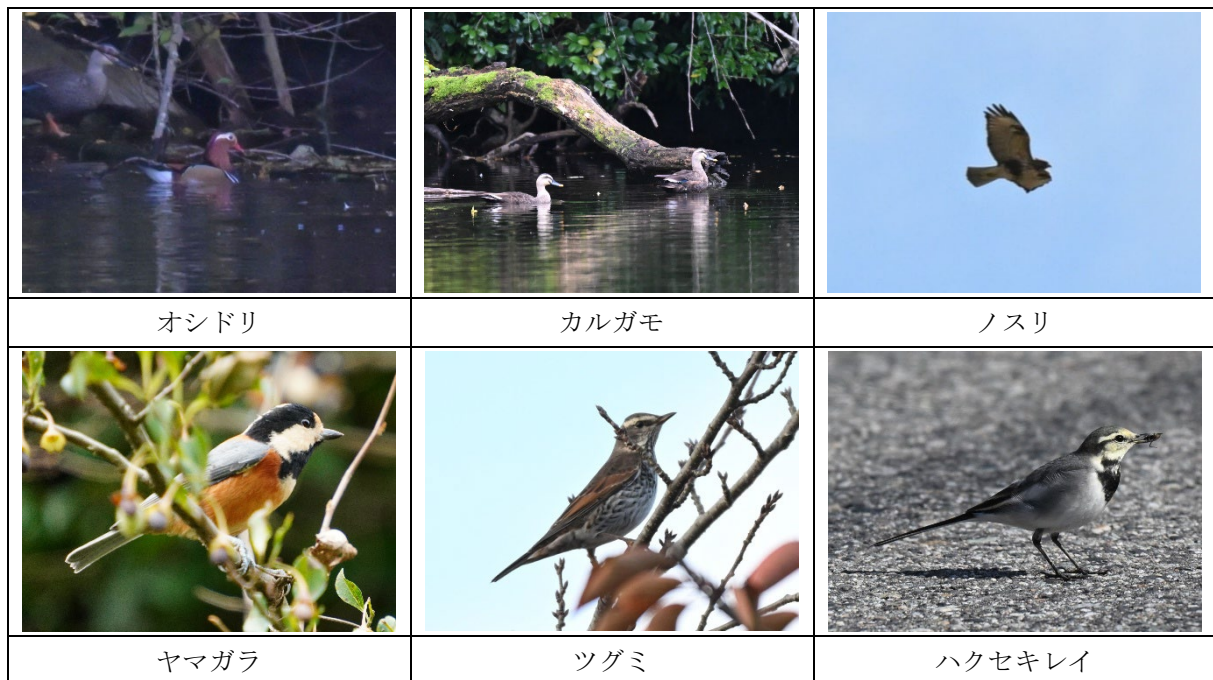


図 2.7-3 鳥類個体写真 (101-1 : 粟津地区)

### 5) 両生類・爬虫類・哺乳類

両生類は1目3科4種、爬虫類は1目1科1種、哺乳類は2目2科2種が確認された(表 2.7-4~表 2.7-6)。希少種の確認はなかった。

調査地区を象徴する湿地やため池では、ツチガエルやシュレーゲルアオガエル、ヤマカガシなどの水辺を好む種が見られた。調査地区の大部分を占める水田やその周囲の草地や林縁ではニホンアマガエルやニホンアカガエルなどのカエル類が見られた。また、イノシシの掘り返し跡も多く見られた。

主に確認した種の個体写真を図 2.7-4 に示す。

表 2.7-4 確認した両生類 (101-1 : 栗津地区)

No.	目名	科名	種名	学名	希少種選定基準					特定外来生物	広く見られた種	特徴的な種
					I	II	III	IV	V			
1	無尾	アマガエル	ニホンアマガエル	<i>Dryophytes japonicus</i>								
2		アカガエル	ニホンアカガエル	<i>Rana japonica</i>							○	
3			ツチガエル	<i>Glandirana rugosa</i>							○	○
4		アオガエル	シュレーゲルアオガエル	<i>Zhangixalus schlegelii</i>								
合計	1目	3科	4種	-	0種	0種	0種	0種	0種	0種	2種	1種
					合計:0種							

表 2.7-5 確認した爬虫類 (101-1 : 栗津地区)

No.	目名	科名	種名	学名	希少種選定基準					特定外来生物	広く見られた種	特徴的な種
					I	II	III	IV	V			
1	有鱗	ナミヘビ	ヤマカガシ	<i>Rhabdophis tigrinus</i>								
合計	1目	1科	1種	-	0種	0種	0種	0種	0種	0種	0種	0種
					合計:0種							

表 2.7-6 確認した哺乳類 (101-1 : 栗津地区)

No.	目名	科名	種名	学名	希少種選定基準					特定外来生物	広く見られた種	特徴的な種
					I	II	III	IV	V			
1	モグラ(食虫)	モグラ	モグラ科	Talpidae sp.								
2	ウシ(偶蹄)	イノシシ	イノシシ	<i>Sus scrofa</i>							○	
合計	2目	2科	2種	-	0種	0種	0種	0種	0種	0種	1種	0種
					合計:0種							



図 2.7-4 両生類・爬虫類・哺乳類個体写真、痕跡写真 (101-1 : 栗津地区)

## 6) 魚類

魚類は3目3科6種が確認された(表 2.7-7)。その内、希少種は1種であった。

調査地区を流れる栗津川と紀の川では、平瀬の礫底や水際植生部でゴクラクハゼやトウヨシノボリ種群などが確認された。

主に確認した種の個体写真を図 2.7-5 に示す。

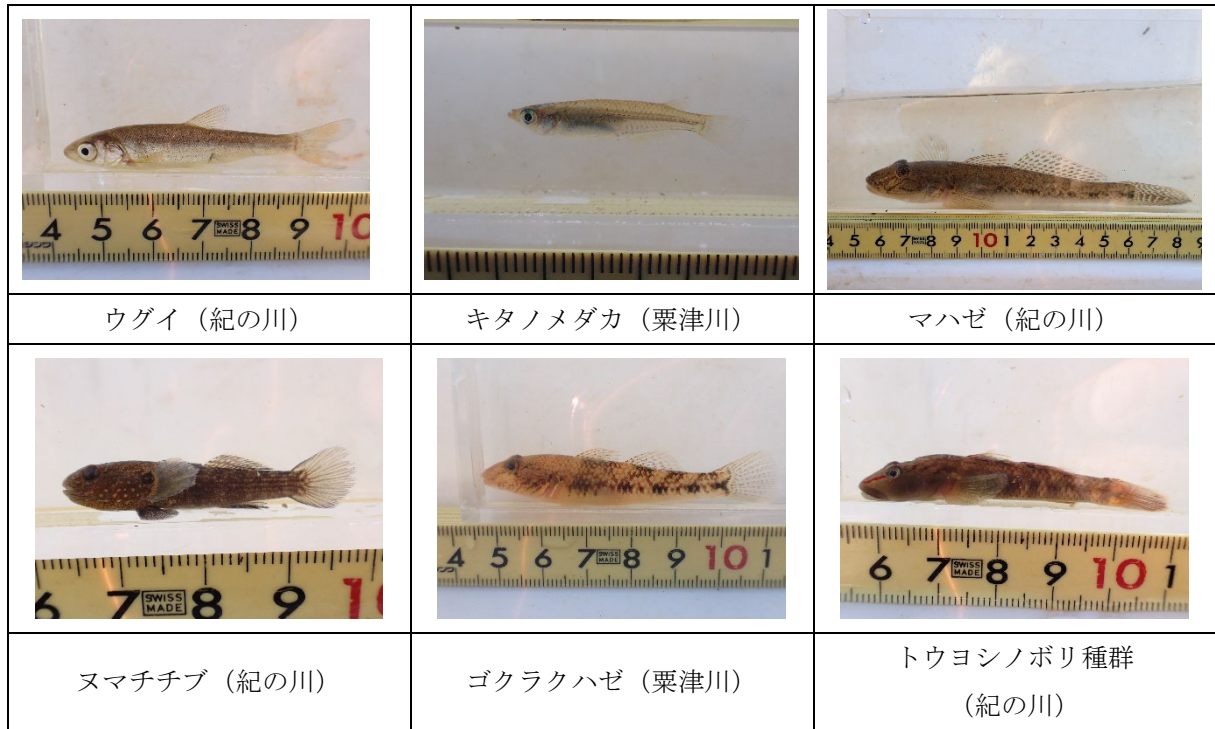


図 2.7-5 魚類個体写真 (101-1 : 栗津地区)

表 2.7-7 確認した魚類 (101-1 : 栗津地区)

No.	目名	科名	種名	学名	希少種選定基準					特定外来生物	101-1		優占種	特徴的な種
					I	II	III	IV	V		栗津川	紀の川		
1	コイ	コイ	ウグイ	<i>Pseudaspius hakonensis</i>								2		
2	ダツ	メダカ	キタノメダカ	<i>Oryzias sakaizumii</i>			VU				1	2		
3	スズキ	ハゼ	マハゼ	<i>Acanthogobius flavimanus</i>								2		
4			ヌマチチブ	<i>Tridentiger brevispinis</i>								2		
5			ゴクラクハゼ	<i>Rhinogobius similis</i>							21	4	○	○
6			トウヨシノボリ種群	<i>Rhinogobius</i> sp. OR unidentified complex								8	○	○
合計	3目	3科	6種	-	0種	0種	1種	0種	0種	0種	2種	5種	2種	2種
					合計:1種					0種	22個体	18個体		
												合計:6種		

## 2.7.2 101-2 (奥能登・中能登の湿地群(1))

### 1) 調査環境の概要

丘陵に囲まれた農業用溜池で、ガンカモ類等水鳥の休息地となっている。水を抜いている時期もある。湛水域の水際には目立った植生が見られないが、上流部や谷間は湿性草地となっている。低水時は大部分が泥地であり、中央付近に一本の流水域が見られる。周囲の丘陵は、落葉広葉樹の二次林やスギなどの林が見られ、南側には牧草地も存在する。堤体の下流側谷戸は水田であるが、現在は休耕中である。

### 2) 鳥類

鳥類は8目15科30種が確認された(表 2.7-8)。その内、希少種は5種であった。

調査地区の主な環境となるため池では、マガモを主としてヒシクイ(オオヒシクイ)やマガンなどのガンカモ類のほか、ダイサギやクサシギなどの水鳥、セグロセキレイなどの水辺周辺に生息する種が見られた。

また、池の周囲の樹林ではオオタカやエナガなどの樹林環境に生息する種が見られた。

主に確認した種の個体写真を図 2.7-6 に示す。

表 2.7-8 確認した鳥類(101-2: 奥能登・中能登の湿地群(1))

No.	目名	科名	種名(亜種名)	学名	希少種選定基準					特定外来生物	広く見られた種	特徴的な種	
					I	II	III	IV	V				
1	カモ	カモ	ヒシクイ(オオヒシクイ)	<i>Anser fabalis (A.f.middendorffii)</i>	天		NT	VU				○	
2			マガン	<i>Anser albifrons</i>	天		NT	VU				○	
3			ハシビロガモ	<i>Spatula clypeata</i>									
4			カルガモ	<i>Anas zonorhyncha</i>									
5			マガモ	<i>Anas platyrhynchos</i>								○	○
6			オナガガモ	<i>Anas acuta</i>									
7			コガモ	<i>Anas crecca</i>									
8					キンクロハジロ	<i>Aythya fuligula</i>							
9	カイツブリ	カイツブリ	カイツブリ	<i>Tachybaptus ruficollis</i>									
10	チドリ	シギ	クサシギ	<i>Tringa ochropus</i>								○	
11	コウノトリ	コウノトリ	コウノトリ	<i>Ciconia boyciana</i>	特天	国内	CR	CR+EN					
12	カツオドリ	ウ	カワウ	<i>Phalacrocorax carbo</i>									
13	ペリカン	サギ	アオサギ	<i>Ardea cinerea</i>									
14			ダイサギ	<i>Ardea alba</i>								○	
15	タカ	タカ	オオタカ	<i>Accipiter gentilis</i>			NT	NT					
16			トビ	<i>Milvus migrans</i>									
17			ノスリ	<i>Buteo japonicus</i>				NT					
18	スズメ	シジュウカラ	ヒガラ	<i>Periparus ater</i>									
19			ヤマガラ	<i>Sittiparus varius</i>									
20		ヒヨドリ	ヒヨドリ	<i>Hypsipetes amaurotis</i>									
21		ウグイス	ウグイス	<i>Horornis diphone</i>									
22		エナガ	エナガ	<i>Aegithalos caudatus</i>								○	
23		ツグミ	シロハラ	<i>Turdus pallidus</i>									
24			ツグミ	<i>Turdus eunomus</i>									
25		セキレイ	ハクセキレイ	<i>Motacilla alba</i>									
26			セグロセキレイ	<i>Motacilla grandis</i>									
27		アトリ	アトリ	<i>Fringilla montifringilla</i>									
28	ウソ		<i>Pyrrhula pyrrhula</i>										
29	マヒワ		<i>Spinus spinus</i>										
30	ホオジロ	カシラダカ	<i>Emberiza rustica</i>										
合計	8目	15科	30種	-	3種	1種	4種	5種	0種	0種	2種	5種	

合計:5種

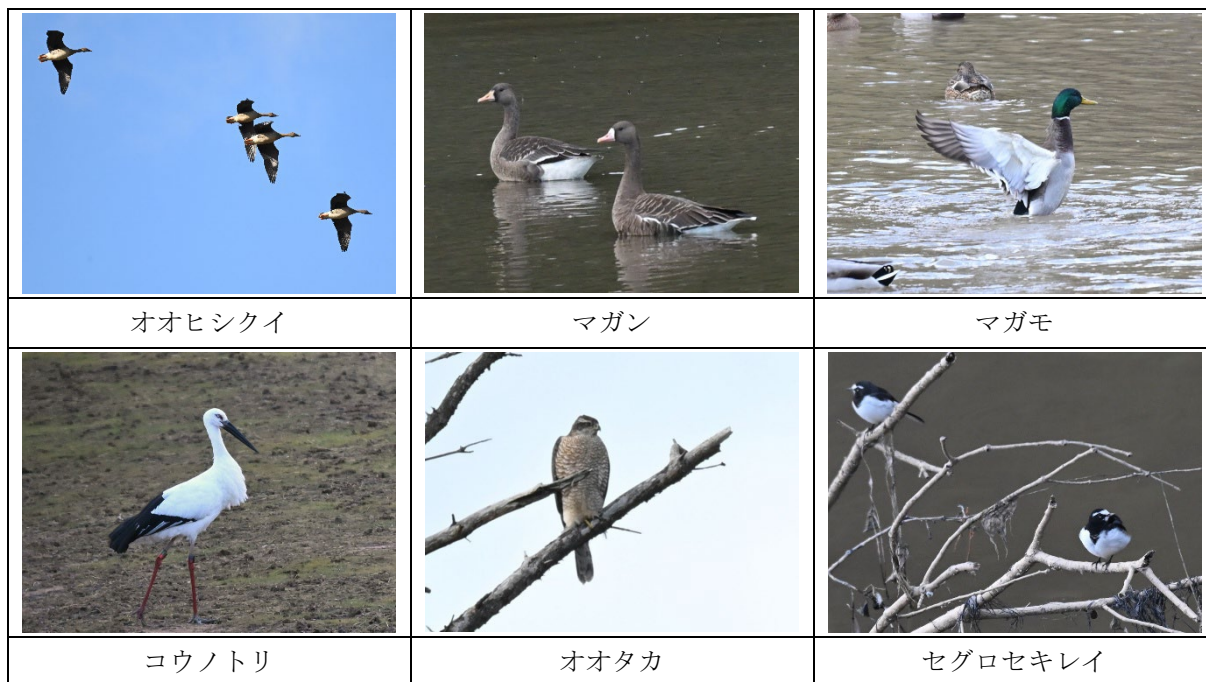


図 2.7-6 鳥類個体写真 (101-2 : 奥能登・中能登の湿地群(1))

### 3) 両生類・爬虫類・哺乳類

哺乳類は2目2科2種を確認した(表 2.7-9)。希少種の確認はなかった。

また、調査地区において両生類、爬虫類の確認はなかった。調査地区を象徴するため池周囲の湿地では、アライグマの足跡が確認された。池の周囲ではモグラ科の塚が確認された。

主に確認した種の個体写真を図 2.7-7 に示す。

表 2.7-9 確認した哺乳類 (101-2 : 奥能登・中能登の湿地群(1))

No.	目名	科名	種名	学名	希少種選定基準					特定外来生物	広く見られた種	特徴的な種
					I	II	III	IV	V			
1	モグラ(食虫)	モグラ	モグラ科	Talpidae sp.								
2	ネコ(食肉)	アライグマ	アライグマ	<i>Procyon lotor</i>						○		○
合計	2目	2科	2種	-	0種	0種	0種	0種	0種	1種	0種	1種
					合計:0種							



図 2.7-7 哺乳類痕跡写真 (101-2 : 奥能登・中能登の湿地群(1))

#### 4) 魚類

魚類は2目3科3種を確認した(表 2.7-10)。その内、希少種は2種であった。

調査地区である池では、フナ属とキタノメダカが確認された。池から流出する水路ではドジョウとキタノメダカが確認された。

主に確認した種の個体写真を図 2.7-8 に示す。



図 2.7-8 魚類個体写真 (101-2: 奥能登・中能登の湿地群(1))

表 2.7-10 確認した魚類 (101-2: 奥能登・中能登の湿地群(1))

No.	目名	科名	種名	学名	希少種選定基準					特定外来生物	101-2		優占種	特徴的な種
					I	II	III	IV	V		雁の池	水路		
1	コイ	コイ	フナ属	<i>Carassius sp.</i>							8			
2		ドジョウ	ドジョウ	<i>Misgurnus anguillicaudatus</i>			NT					3		○
3	ダツ	メダカ	キタノメダカ	<i>Oryzias sakaizumii</i>			VU				13	152	○	○
合計	2目	3科	3種	-	0種	0種	2種	0種	0種	0種	2種 21個体	2種 155個体	1種	2種
合計:2種										合計:3種				

#### 2.7.3 102-3 (奥能登・中能登の湿地群(2))

##### 1) 調査環境の概要

丘陵に囲まれた農業用溜池で上流や谷戸の際にはヨシ等の湿性草地が見られ、ガンカモ類やサギ類等水鳥の生息地となっている。溜池周辺の丘陵は大半がスギ植林となっている。溜池下流の谷戸は水田であるが、現在休耕している圃場も見られる。

##### 2) 鳥類

鳥類は7目14科28種が確認された(表 2.7-11)。その内、希少種は3種であった。

調査地区を象徴するため池では、ヒシクイ(オオヒシクイ)やマガン、トモエガモ、マガモ、オナガガモなどのガンカモ類の個体数が多く、その他の水鳥はカンムリカイツブリやアオサギなどが見られた。

また、池の周囲の樹林や草地ではツグミやシジュウカラなどが見られた。

主に確認した種の個体写真を図 2.7-9 に示す。

表 2.7-11 確認した鳥類 (102-3 : 奥能登・中能登の湿地群(2))

No.	目名	科名	種名(亜種名)	学名	希少種選定基準					特定外来生物	広く見られた種	特徴的な種	
					I	II	III	IV	V				
1	カモ	カモ	ヒシクイ(オオヒシクイ)	<i>Anser fabalis (A.f.middendorffii)</i>	天		NT	VU			○	○	
2			マガン	<i>Anser albifrons</i>	天		NT	VU			○	○	
3			トモエガモ	<i>Sibirionetta formosa</i>				VU	VU				
4			ハシビロガモ	<i>Spatula clypeata</i>									
5			オカヨシガモ	<i>Mareca strepera</i>									
6			ヨシガモ	<i>Mareca falcata</i>									
7			ヒドリガモ	<i>Mareca penelope</i>									
8			カルガモ	<i>Anas zonorhyncha</i>									
9			マガモ	<i>Anas platyrhynchos</i>								○	○
10			オナガガモ	<i>Anas acuta</i>								○	
11			コガモ	<i>Anas crecca</i>									
12				キンクロハジロ	<i>Aythya fuligula</i>								
13	カイツブリ	カイツブリ	カンムリカイツブリ	<i>Podiceps cristatus</i>									
14	チドリ	シギ	クサシギ	<i>Tringa ochropus</i>									
15	カツオドリ	ウ	カワウ	<i>Phalacrocorax carbo</i>									
16	ペリカン	サギ	アオサギ	<i>Ardea cinerea</i>									
17			ダイサギ	<i>Ardea alba</i>									
18	タカ	タカ	トビ	<i>Milvus migrans</i>									
19	スズメ	カラス	ハシボソガラス	<i>Corvus corone</i>									
20			ハシブトガラス	<i>Corvus macrorhynchos</i>									
21		シジュウカラ	ヤマガラ	<i>Sittiparus varius</i>									
22		シジュウカラ	<i>Parus cinereus</i>										
23		ヒヨドリ	ヒヨドリ	<i>Hypsipetes amaurotis</i>									
24		ウグイス	ウグイス	<i>Horornis diphone</i>									
25		ツグミ	ツグミ	<i>Turdus eunomus</i>									
26		ヒタキ	ジョウビタキ	<i>Phoenicurus aureoreus</i>									
27	セキレイ	ハクセキレイ	<i>Motacilla alba</i>										
28	ホオジロ	ホオジロ	<i>Emberiza cioides</i>										
合計	7目	14科	28種	-	2種	0種	3種	3種	0種	0種	4種	3種	



図 2.7-9 鳥類個体写真 (102-3 : 奥能登・中能登の湿地群(2))

### 3) 両生類・爬虫類・哺乳類

調査地区において両生類、爬虫類、哺乳類の確認はなかった。

### 4) 魚類

魚類は3目4科4種が確認された(表 2.7-12)。その内、希少種は2種であった。

調査地区の池では、フナ属とウキゴリが確認された。池から流れ込む水路ではドジョウやキタノメダカ、ウキゴリなどが確認された。

主に確認した種の個体写真を図 2.7-10 に示す。

表 2.7-12 確認した魚類 (102-3 : 奥能登・中能登の湿地群 (2))

No.	目名	科名	種名	学名	希少種選定基準					特定外来生物	102-3		優占種	特徴的な種
					I	II	III	IV	V		蛸島大池	水路		
1	コイ	コイ	フナ属	<i>Carassius</i> sp.							5	3	○	
2		ドジョウ	ドジョウ	<i>Misgurnus anguillicaudatus</i>			NT					1		
3	ダツ	メダカ	キタノメダカ	<i>Oryzias sakaizumii</i>			VU					6		○
4	スズキ	ハゼ	ウキゴリ	<i>Gymnogobius urotaenia</i>							14	6	○	○
合計	3目	4科	4種	-	0種	0種	2種	0種	0種	0種	2種 19個体	4種 16個体	3種	2種
					合計:2種					合計:4種				

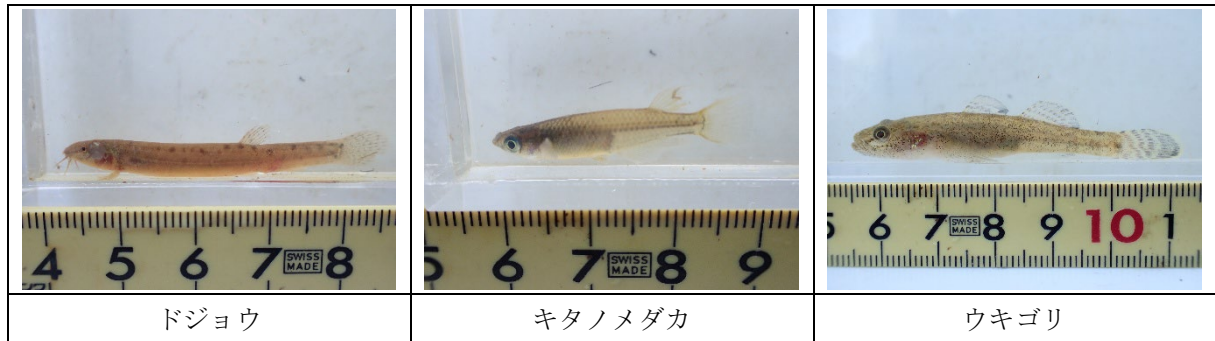


図 2.7-10 魚類個体写真 (102-3 : 奥能登・中能登の湿地群 (2))

#### 2.7.4 102-4 (鉢ヶ崎海岸)

##### 1) 調査環境の概要

大規模な砂浜。砂浜の大部分は遷移が進み、草原化している。堤防の内側では海岸林としてクロマツ林が整備されている。看板表示によると、この地域はかつて砂丘で通行が困難だったため、明治期に植林に取り組んだとのことであった。湧水とされる小川が林内を流れている。

##### 2) 植物

植物は 49 科 114 種が確認された (表 2.7-13)。その内、希少種は 6 種であった。

調査地区の北側にはクロマツを中心とした植林が発達しており、林内にはタブノキ、トベラなど沿岸部にみられる樹木が生育していた。樹林縁には草地もみられ、オニユリ、センニンソウ、エビヅル、オオユウガギクなどが確認されている。一方、南側に広がる砂浜にはテンキグサ、ハマヒルガオ、ハマニガナ、ハマボウフウといった海浜植物がみられ、希少な種であるハマドクサも確認されている。また、砂浜の一部は流れ込む細流によって湿地となっており、サンカクイ、ヨシ、ミゾツバ、ハッカといった湿生植物が生育していた。

主に確認した種の個体写真を図 2.7-11 に示す。

表 2.7-13 確認した植物 (102-4 : 鉢ヶ崎海岸) (1)

No.	分類群	科名	種名	学名	希少種選定基準					特定外来生物	広く見られた種	特徴的な種
					I	II	III	IV	V			
1	大葉シダ植物	トクサ	ハマドクサ	<i>Equisetum hyemale</i> var. <i>schleicheri</i>					VU			○
2	裸子植物	マツ	クロマツ	<i>Pinus thunbergii</i>								○
3	被子植物-基部被子植物	ドクダミ	ドクダミ	<i>Houttuynia cordata</i>								
4		クスノキ	タブノキ	<i>Machilus thunbergii</i>								○
5			シロダモ	<i>Neolitsea sericea</i> var. <i>sericea</i>								
6	被子植物-単子葉植物	サトイモ	コウキクサ	<i>Lemna minor</i>								
7		ヤマノイモ	オニドコロ	<i>Dioscorea tokoro</i>								
8		サルトリイバラ	サルトリイバラ	<i>Smilax china</i> var. <i>china</i>								
9		ユリ	オニユリ	<i>Lilium lancifolium</i>								○
10		クサスギカズラ	ナガバジャノヒゲ	<i>Ophiopogon japonicus</i> var. <i>umbrosus</i>								
11		ヤシ	シュロ	<i>Trachycarpus fortunei</i>								
12		ツユクサ	ツユクサ(広義)	<i>Commelina communis</i>								
13		ガマ	ミクリ属※1	<i>Sparganium</i> sp.				※2	※2			
14			コガマ	<i>Typha orientalis</i>					VU			
15		カヤツリグサ	コウボウムギ	<i>Cyperus kobomugi</i>								○
16			コウボウシバ	<i>Carex pumila</i>								
17			センダイスゲ	<i>Carex sendaica</i>					NT			
18			ホノミキンガヤツリ	<i>Cyperus engelmannii</i>								
19			カヤツリグサ	<i>Cyperus microiria</i>								
20			サンカクイ	<i>Schoenoplectus triqueteter</i>								○
21		イネ	コブナグサ	<i>Arthraxon hispidus</i>								
22			トダシバ(広義)	<i>Arundinella hirta</i>								
23			ヤマアワ	<i>Calamagrostis epigeios</i>								
24			ギョウギシバ	<i>Cynodon dactylon</i>								
25			カモガヤ	<i>Dactylis glomerata</i>								○
26			ヒシノバ	<i>Digitaria ciliaris</i>								○
27			アキメヒシバ	<i>Digitaria violascens</i>								
28			イヌビエ	<i>Echinochloa crus-galli</i>								
29			オヒシバ	<i>Eleusine indica</i>								
30			チガヤ	<i>Imperata cylindrica</i> var. <i>koenigii</i>								
31			ケカモノハシ	<i>Ischaemum antheperoides</i>								○
32			テンキグサ	<i>Leymus mollis</i>								○
33			アシボソ	<i>Microstegium vimineum</i>								
34			ススキ	<i>Miscanthus sinensis</i>								
35			ウチヂミザサ	<i>Opilismenus undulatifolius</i> var. <i>undulatifolius</i>								
36			スズメノヒエ	<i>Paspalum thunbergii</i>								
37			チカラシバ	<i>Pennisetum alopecuroides</i>								
38			ヨシ	<i>Phragmites australis</i>								○
39			キンエノコロ	<i>Setaria pumila</i>								
40			オニシバ	<i>Zoysia macrostachya</i>								○
41	被子植物-真正双子葉植物	アケビ	アケビ	<i>Akebia quinata</i>								
42			ミツバアケビ	<i>Akebia trifoliata</i> ssp. <i>trifoliata</i>								
43		ツツラフジ	アオツツラフジ	<i>Cocculus trilobus</i>								
44		キンボウゲ	センニンソウ	<i>Clematis terniflora</i>								○
45			キツネノボタン	<i>Ranunculus sibiricus</i>								○
46		ブドウ	ノブドウ	<i>Ampelopsis glandulosa</i> var. <i>heterophylla</i>								
47			ヤブカワシ	<i>Cavratia japonica</i>								
48			ツタ	<i>Parthenocissus tricuspidata</i>								
49			エビヅル	<i>Vitis ficifolia</i>								○
50		マメ	ハマエンドウ	<i>Lathyrus japonicus</i>								○
51			ハリエンジュ	<i>Robinia pseudoacacia</i>								
52			シロツメクサ	<i>Trifolium repens</i>								○
53		グミ	アキグミ	<i>Elaeagnus umbellata</i> var. <i>umbellata</i>								
54		ニレ	ケヤキ	<i>Zelkova serrata</i>								
55		アサ	エノキ	<i>Celtis sinensis</i>								
56		クワ	ヤマグワ	<i>Morus australis</i>								
57		バラ	シャリンバイ※3	<i>Rhaphiolepis indica</i> var. <i>umbellata</i>					VU			○
58			ノイバラ	<i>Rosa multiflora</i> var. <i>multiflora</i>								
59			ナワシロイチゴ	<i>Rubus parvifolius</i>								○
60		クルミ	オニグルミ	<i>Juglans mandshurica</i> var. <i>sachalinensis</i>								
61		ニシキギ	ツルウメモドキ	<i>Celastrus orbiculatus</i> var. <i>orbiculatus</i>								
62			マユミ	<i>Euonymus sieboldianus</i>								
63		カタバミ	オウタチカタバミ	<i>Oxalis dillenii</i>								
64		トウダイグサ	アカダシワ	<i>Mallotus japonicus</i>								
65		ヤナギ	イヌコリヤナギ	<i>Salix integra</i>								
66		フウロソウ	ゲンシショウコ	<i>Geranium thunbergii</i>								
67		アカバナ	メマツヨイグサ	<i>Oenothera biennis</i>								
68			コマツヨイグサ	<i>Oenothera laciniata</i>								
69		ミカン	カラスザンショウ	<i>Zanthoxylum ailanthoides</i> var. <i>ailanthoides</i>								
70			ミズヒキ	<i>Persicaria filiformis</i>								

※1 「石川県植物目録2020(維管束植物)」(石川県絶滅危惧植物調査会および石川県地域植物研究会,2020)の分布情報から、ミクリ、ヤマトミクリ、タマミクリ、ナガエミクリ、ヒメミクリのいずれかである可能性が高いと考えられる。これらは重要種選定基準に該当するため、ミクリ属を重要種として扱った。

※2 ランクはミクリ(環境省NT、石川県VU)、ヤマトミクリ(環境省NT、石川県NT)、タマミクリ(環境省NT、石川県VU)、ナガエミクリ(環境省NT、石川県VU)、ヒメミクリ(環境省VU、石川県EN)である。

※3 「石川県の絶滅のおそれのある野生生物 いしかわレッドデータブック 2020 植物編」(石川県, 2020年)ではマルバシャリンバイとして掲載されている。ただし、シャリンバイとマルバシャリンバイは形態が連続しており、種レベルの区別は不可能である旨がレッドデータブックにも記述されているため、今回確認したものはすべてシャリンバイとしてまとめ、重要種として扱った。本地区で確認されたものは植栽由来の可能性もある。

表 2.7-13 確認した植物 (102-4 : 鉢ヶ崎海岸) (2)

No.	分類群	科名	種名	学名	希少種選定基準					特定外来生物	広く見られた種	特徴的な種
					I	II	III	IV	V			
71	被子植物-真正双子葉植物	タデ	ヤナギタデ	<i>Persicaria hydropiper</i>								
72			オオイヌタデ	<i>Persicaria lapathifolia</i> var. <i>lapathifolia</i>								
73			イヌタデ	<i>Persicaria longiseta</i>								
74			ママコノシリヌグイ	<i>Persicaria senticosa</i>								
75			ミノノバ	<i>Persicaria thunbergii</i> var. <i>thunbergii</i>							○	○
76			アキ/ミチヤナギ	<i>Polygonum polyneuron</i>								
77			スイバ	<i>Rumex acetosa</i>								
78			ナガバギシギシ	<i>Rumex crispus</i>								
79			エノギシギシ	<i>Rumex obtusifolius</i>								
80			ヒユ	イノコヅチ	<i>Achyranthes bidentata</i> var. <i> japonica</i>							
81			ミズキ	クマノミズキ	<i>Cornus macronphylla</i>							
82			サカキ	ハマヒサカキ	<i>Eurya emarginata</i> var. <i>emarginata</i>							
83			アカネ	ヘクソカズラ	<i>Paederia foetida</i>						○	
84				アカネ	<i>Rubia argyi</i>							
85	キョウチクトウ	ガガイモ	<i>Metaplexis japonica</i>									
86		ツルニチニチソウ	<i>Vinca major</i>									
87	ヒルガオ	ハマヒルガオ	<i>Calystegia soldanella</i>						○	○		
88	ムラサキ	スナビキソウ	<i>Heliotropium japonicum</i>							○		
89	モクセイ	イボタノキ	<i>Ligustrum obtusifolium</i> ssp. <i>obtusifolium</i>									
90	オオバコ	オオバコ	<i>Plantago asiatica</i> var. <i>asiatica</i>									
91		オオイヌノフグリ	<i>Veronica persica</i>									
92	シソ	カキドオシ	<i>Glechoma hederacea</i> ssp. <i>grandis</i>						○			
93		シロネ	<i>Lycopus lucidus</i>									
94		ハッカ	<i>Mentha canadensis</i>							○		
95		ヒメジソ	<i>Mosla dianthera</i>									
96	クマツヅラ	アレチハナガサ	<i>Verbena brasiliensis</i>									
97	キク	ヨモギ	<i>Artemisia indica</i> var. <i>maximowiczii</i>							○		
98		オオユウガギク	<i>Aster yomena</i> var. <i>angustifolius</i>							○	○	
99		ヒメジョオン	<i>Erigeron annuus</i>							○		
100		ヒメムカシヨモギ	<i>Erigeron canadensis</i>									
101		ハマニガナ	<i>Ixeris repens</i>							○	○	
102		アキノノゲシ	<i>Lactuca indica</i> var. <i>indica</i>							○		
103		セイタカアワダチソウ	<i>Solidago altissima</i>							○		
104		ヒロハホウキギク	<i>Symphotrichum subulatum</i> var. <i>squamatum</i>									
105		オオオナモミ	<i>Xanthium occidentale</i>									
106		アカオニタビラコ	<i>Youngia japonica</i> ssp. <i>elstonii</i>									
107		トベラ	トベラ	<i>Pittosporum tobira</i>							○	
108		ウコギ	キツタ	<i>Hedera rhombea</i>								
109			オオチドメ	<i>Hydrocotyle ramiflora</i>								
110		セリ	ハマゼリ	<i>Cnidium japonicum</i>						○	○	
111		ハマボウフウ	<i>Glehnia littoralis</i>							○		
112		セリ	<i>Oenanthe japonica</i> ssp. <i>japanica</i>				NT					
113	スイカズラ	スイカズラ	<i>Lonchera japonica</i>						○			
114		オトコエシ	<i>Patrinia villosa</i>									
合計	-	49科	114種	-	0種	0種	1種	6種	0種	0種	22種	21種
					合計:6種							

※1~3 は前項に示す。

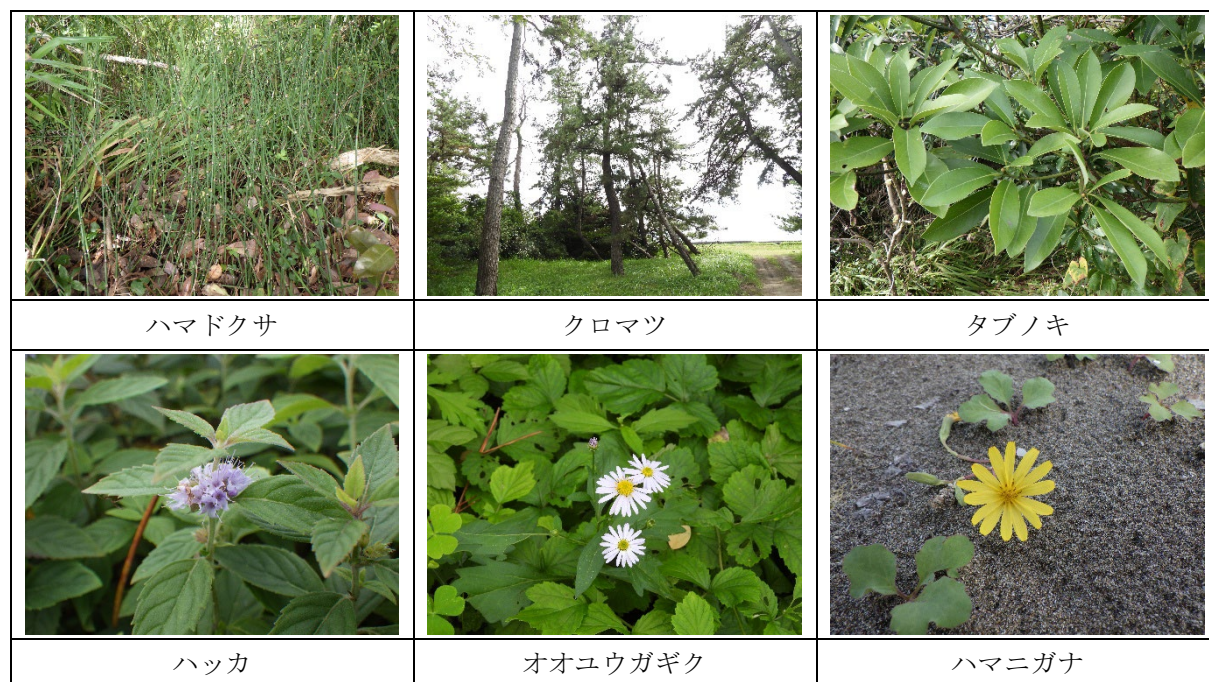


図 2.7-11 植物個体写真 (102-4 : 鉢ヶ崎海岸)



表 2.7-14 確認した昆虫類 (102-4 : 鉢ヶ崎海岸) (2)

No.	目名	科名	種名	学名	希少種選定基準					特定外 来生物	広く見ら れた種	特徴的な 種
					I	II	III	IV	V			
65	ハエ(双翅)	ユスリカ	ヒシモンユスリカ	<i>Chironomus flaviplumus</i>								
66		カ	Aedes属	<i>Aedes</i> sp.								
67		キノコバエ	キノコバエ科	Mycetophilidae sp.								
68		クロバネキノコバエ	クロバネキノコバエ科	Sciariidae sp.								
69		アシナガバエ	ナミアシナガバエ属	<i>Dolichopus</i> sp.								
-			アシナガバエ科	Dolichopodidae sp.								
70		ハナアブ	ホソヒラタアブ	<i>Episyrrhus balteatus</i>								
71			キゴシハナアブ	<i>Eristalinus quinquestriatus</i>								
72			フタホシヒラタアブ	<i>Eupeodes corollae</i>								
73			Paragus属	<i>Paragus</i> sp.								
74	ホソヒメヒラタアブ		<i>Sphaerophoria macrogaster</i>									
75	スズキナガハナアブ		<i>Spilomyia suzuki</i>									
76	キモグリバエ		キモグリバエ科	Chloropidae sp.								
77	ヤチバエ	ヒゲナガヤチバエ	<i>Sepedon aenescens</i>									
78	クロバエ	ツマグロキンバエ	<i>Stomorhina obsoleta</i>									
79	イエバエ	イネクキイエバエ	<i>Atherigona oryzae</i>									
80		Coenosia属	<i>Coenosia</i> sp.									
81		シリモチハナレメイバエ	<i>Pygophora confusa</i>									
82	ヤドリバエ	ヤドリバエ科	Tachinidae sp.									
83	コウチュウ(鞘翅)	オサムシ	クロモリヒラタゴミシ	<i>Colpodes atricomus</i>								
84		ゲンゴロウ	クロズマメゲンゴロウ	<i>Agabus conspicuus</i>								
85			ヒメゲンゴロウ	<i>Rhantus suturalis</i>								
86			ガムシ	キイロヒラタガムシ	<i>Enochrus simulans</i>							
87			デントウムシ	ムーアシロホシデントウ	<i>Calvia muiri</i>							
88			ゴミシダマシ	ナミクチキムシ	<i>Upinella melanaria</i>							
89			ハムシ	クロウリハムシ	<i>Aulacophora nigripennis nigripennis</i>							
90				ヨモギハムシ	<i>Chrysolina aurichalcea</i>							
91	ハチ(膜翅)	ハバチ	クロハバチ	<i>Macrophya coxalis</i>								
92		コマユバチ	コマユバチ科	Braconidae sp.								
93		ハエヤドリクロバチ	ハエヤドリクロバチ科	Diapriidae sp.								
94		アリ	オオハリアリ	<i>Brachyponera chinensis</i>								
95			ウメマツオアリ	<i>Camponotus vitiosus</i>								
96			クロヤマアリ	<i>Formica japonica</i> (s.l.)								
97			トビイロケアリ	<i>Lasius japonicus</i>								
98			トビイロシワアリ	<i>Tetramorium tsushimae</i>								
99			スズメバチ	オオスズメバチ	<i>Vespa mandarinia</i>							
100			ムカシハナバチ	アシプトムカシハナバチ	<i>Colletes patellatus</i>							
合計	8目	57科	100種	-	0種	0種	10種	0種	10種	0種	3種	3種



図 2.7-12 昆虫類個体写真 (102-4 : 鉢ヶ崎海岸)

#### 4) 鳥類

鳥類は8目18科29種が確認された(表2.7-15)。その内、希少種は1種であった。

調査地区の主な環境である砂浜では、セグロカモメやオオセグロカモメ、イソヒヨドリなどの海浜環境を好む種が見られたほか、海上ではアカエリカイツブリやキンクロハジロなどが見られた。クロマツ林では、ヤマガラやジョウビタキ、カワラヒワなどが見られた。

主に確認した種の個体写真を図2.7-13に示す。

表 2.7-15 確認した鳥類 (102-4 : 鉢ヶ崎海岸)

No.	目名	科名	種名	学名	希少種選定基準					特定外来生物	広く見られた種	特徴的な種
					I	II	III	IV	V			
1	カモ	カモ	カルガモ	<i>Anas zonorhyncha</i>								
2			キンクロハジロ	<i>Aythya fuligula</i>								
3	カイツブリ	カイツブリ	アカエリカイツブリ	<i>Podiceps grisegena</i>								
4			カンムリカイツブリ	<i>Podiceps cristatus</i>								
5			ハジロカイツブリ	<i>Podiceps nigricollis</i>								
6	チドリ	カモメ	セグロカモメ	<i>Larus vegae</i>								○
7			オオセグロカモメ	<i>Larus schistisagus</i>			NT					
8	カツオドリ	ウ	ウミウ	<i>Phalacrocorax capillatus</i>							○	
9			カワウ	<i>Phalacrocorax carbo</i>								
10	タカ	タカ	トビ	<i>Milvus migrans</i>								
11	キツツキ	キツツキ	コゲラ	<i>Yungipicus kizuki</i>								
12	ハヤブサ	ハヤブサ	チョウゲンボウ	<i>Falco tinnunculus</i>								
13	スズメ	カラス	ハシブトガラス	<i>Corvus macrorhynchos</i>								
14		シジュウカラ	ヒガラ	<i>Periparus ater</i>								
15			ヤマガラ	<i>Sittiparus varius</i>								
16			シジュウカラ	<i>Parus cinereus</i>								
17		ヒヨドリ	ヒヨドリ	<i>Hypsipetes amaurotis</i>								
18		ウグイス	ウグイス	<i>Horornis diphone</i>								
19		メジロ	メジロ	<i>Zosterops japonicus</i>								
20		キクイタダキ	キクイタダキ	<i>Regulus regulus</i>								
21		ツグミ	ツグミ	<i>Turdus eunomus</i>								
22		ヒタキ	ジョウビタキ	<i>Phoenicurus aureus</i>								
23			イソヒヨドリ	<i>Monticola solitarius</i>								
24		セキレイ	セグロセキレイ	<i>Motacilla grandis</i>								
25		アトリ	アトリ	<i>Fringilla montifringilla</i>							○	
26			シメ	<i>Coccothraustes coccothraustes</i>								
27			カワラヒワ	<i>Chloris sinica</i>								○
28			マヒワ	<i>Spinus spinus</i>								
29		ホオジロ	ホオジロ	<i>Emberiza cioides</i>								
合計	8目	18科	29種	-	0種	0種	1種	0種	0種	0種	2種	2種
					合計:1種							



図 2.7-13 鳥類個体写真 (102-4 : 鉢ヶ崎海岸)

### 5) 両生類・爬虫類・哺乳類

両生類は1目1科1種、哺乳類は3目3科3種が確認された（表 2.7-16、表 2.7-17）。希少種の確認はなかった。また、調査地区において爬虫類は確認されなかった。

調査地区を象徴する砂浜では、タヌキの足跡が広く見られた。また、砂浜から望む海上ではクジラ目が泳ぐ姿も確認された。海岸沿いのクロマツ樹林内では、ニホンアカガエルやモグラ科の塚も見られた。主に確認した種の個体写真を図 2.7-14 に示す。

表 2.7-16 確認した両生類（102-4：鉢ヶ崎海岸）

No.	目名	科名	種名	学名	希少種選定基準					特定外来生物	広く見られた種	特徴的な種
					I	II	III	IV	V			
1	無尾	アカガエル	ニホンアカガエル	<i>Rana japonica</i>								
合計	1目	1科	1種	-	0種	0種	0種	0種	0種	0種	0種	0種
					合計:0種							

表 2.7-17 確認した哺乳類（102-4：鉢ヶ崎海岸）

No.	目名	科名	種名	学名	希少種選定基準					特定外来生物	広く見られた種	特徴的な種
					I	II	III	IV	V			
1	モグラ(食虫)	モグラ	モグラ科	Talpidae sp.								
2	ネコ(食肉)	イヌ	タヌキ	<i>Nyctereutes procyonoides</i>								
3	クジラ(鯨)	-	クジラ目(鯨)	Cetacea sp.								○
合計	3目	3科	3種	-	0種	0種	0種	0種	0種	0種	0種	1種
					合計:0種							



図 2.7-14 両生類・哺乳類個体写真、痕跡写真（102-4：鉢ヶ崎海岸）

## 2.7.5 103-1 (若山町)

### 1) 調査環境の概要

若山川沿いに広がる平野に成立した水田地帯。水田はよく管理されているが、場所により湿地化し、小規模なため池も見られる。周辺の山地は概ね植林の針葉樹林である。

### 2) 植物

植物は57科147種が確認された(表 2.7-18)。希少種の確認はなかった。

調査地区に広がる水田地帯では、オモダカ、ヒデリコ、トキンソウなどの水田雑草が生育していた。また、湿地状になった休耕田ではガマ、イグサ、シロバナサクラタデ、ミゾソバ、コシロネ、イヌゴマなどの湿生植物が多く確認されている。その他、水田地帯には若山川が流れており、オギ、ヨシ、ジャヤナギといった河辺に生育する種がみられている。

主に確認した種の個体写真を図 2.7-15 に示す。



表 2.7-18 確認した植物 (103-1 : 若山町) (2)

No.	分類群	科名	種名	学名	希少種選定基準					特定外来生物	広く見られた種	特徴的な種
					I	II	III	IV	V			
75	被子植物-真正双子葉植物	バラ	ナワシロイチゴ	<i>Rubus parvifolius</i>								
76		ブナ	クリ	<i>Castanea crenata</i>								
77				スダジイ	<i>Castanopsis sieboldii</i> ssp. <i>sieboldii</i>							
78				コナラ	<i>Quercus serrata</i> ssp. <i>serrata</i> var. <i>serrata</i>							○
79			クマシ	オニグルミ	<i>Juglans mandshurica</i> var. <i>sachalinensis</i>							
80			カタバミ	イモカタバミ	<i>Oxalis articulata</i>							
81				オッタチカタバミ	<i>Oxalis dillenii</i>							
82			トウダイグサ	エノキグサ	<i>Acalypha australis</i>							
83				コニシキソウ	<i>Euphorbia maculata</i>							
84				オオニシキソウ	<i>Euphorbia nutans</i>							
85				アカメガシワ	<i>Mallotus japonicus</i>							
86			ヤナギ	ジャヤナギ	<i>Salix eriocarpa</i>							○
87			アカバナ	チョウシタデ	<i>Ludwigia epilobioides</i> ssp. <i>epilobioides</i>							
88				マツツヨイグサ	<i>Oenothera biennis</i>							
89		ウルシ	ヌルデ	<i>Rhus javanica</i> var. <i>chinensis</i>								
90		ニガキ	ニワウルシ	<i>Ailanthus altissima</i>								
91		アブラナ	イヌガラシ	<i>Rorippa indica</i>								
92		タデ	ケイタドリ	<i>Fallopia japonica</i> var. <i>uzenensis</i>								
93			ヤナギタデ	<i>Persicaria hydropteris</i>								
94			シロバナサクラタデ	<i>Persicaria japonica</i> var. <i>japonica</i>							○	
95			オオイヌタデ	<i>Persicaria lapathifolia</i> var. <i>lapathifolia</i>								
96			イヌタデ	<i>Persicaria longseta</i>								
97			ボントクダ	<i>Persicaria pubescens</i>							○	
98			アキノウナギツカミ	<i>Persicaria sagittata</i> var. <i>sibirica</i>								
99			ミソバ	<i>Persicaria thunbergii</i> var. <i>thunbergii</i>							○	
100			ミチヤナギ	<i>Polygonum aviculare</i> ssp. <i>aviculare</i>								
101			スイバ	<i>Rumex acetosa</i>								
102			エソノギシギシ	<i>Rumex obtusifolius</i>								
103		ヒユ	ヒナタイノコヅチ	<i>Achyranthes bidentata</i> var. <i>tomentosa</i>								
104			イヌビユ	<i>Amaranthus blitum</i>								
105		ミズキ	クマノミズキ	<i>Cornus macrophylla</i>								
106		ツリフネソウ	キツリフネ	<i>Impatiens noli-tangere</i>								
107		サカキ	ヒサカキ	<i>Eurya japonica</i>								
108		ツバキ	ヤブツバキ	<i>Camellia japonica</i>								
109		アオキ	ヒメアオキ	<i>Aucuba japonica</i> var. <i>borealis</i>								
110		アカネ	ヘクソカズラ	<i>Paederia foetida</i>								
111		ヒルガオ	ヒルガオ	<i>Calystegia pubescens</i>								
112			アメリカネナシカズラ	<i>Cuscuta campestris</i>								
113		ムラサキ	ハナイバナ	<i>Bothriospermum zevlanicum</i>								
114		オオバコ	オオバコ	<i>Veronica persica</i>								
115		アゼナ	アメリカアゼナ	<i>Lindernia dubia</i> ssp. <i>major</i>								
116		シソ	ヤマハッカ	<i>Isodon inflexus</i>								
117			ヒメオドリコソウ	<i>Lamium purpureum</i>								
118			コシロネ	<i>Lycopus cavaleriei</i>							○	
119			マルバハッカ	<i>Mentha suaveolens</i>								
120			ヒメジソ	<i>Mosla dianthera</i>								
121			イヌコウジュ	<i>Mosla scabra</i>								
122			イヌゴマ	<i>Stachys aspera</i> var. <i>hispidula</i>							○	
123		クマツヅラ	ヤナギハナガサ	<i>Verbena bonariensis</i>								
124		キキョウ	ミンカクシ	<i>Lobelia chinensis</i>							○	
125		キク	ヨモギ	<i>Artemisia indica</i> var. <i>maximowiczii</i>							○	
126			ノコンギク	<i>Aster microcephalus</i> var. <i>ovatus</i>							○	
127			ヨメナ	<i>Aster yomena</i> var. <i>yomena</i>							○	
128			アメリカセンダングサ	<i>Bidens frondosa</i>								
129			トキンソウ	<i>Centipeda minima</i>							○	
130			アメリカカタカサブロウ	<i>Eclipta alba</i>								
131			ヒメジョオン	<i>Erigeron annuus</i>							○	
132			ヒメムカシヨモギ	<i>Erigeron canadensis</i>								
133			ツワブキ	<i>Farfugium japonicum</i> var. <i>japonicum</i>								
134			キクイモ	<i>Helianthus tuberosus</i>								
135			ブタナ	<i>Hypochaeris radicata</i>								
136			ニガナ	<i>Ixeridium dentatum</i> ssp. <i>dentatum</i>								
137			ハナニガナ	<i>Ixeridium dentatum</i> ssp. <i>nipponicum</i> var. <i>albiflorum</i>								
138			オオジシバリ	<i>Ixeris japonica</i>								
139			アキノナゲシ	<i>Lactuca indica</i> var. <i>indica</i>							○	
140			フキ	<i>Petasites japonicus</i> var. <i>japonicus</i>								
141			セイタカアワダチソウ	<i>Solidago altissima</i>							○	
142			オニノゲン	<i>Sonchus asper</i>								
143			セイヨウタンポポ	<i>Taraxacum officinale</i>								
144			アカオニタビラコ	<i>Youngia japonica</i> ssp. <i>elstonii</i>								
145		ウロギ	キツタ	<i>Hedera rhombea</i>								
146			ノチドメ	<i>Hydrocotyle maritima</i>								
147		セリ	セリ	<i>Oenanthe javanica</i> ssp. <i>javanica</i>							○	
合計	-	57科	147種	-	0種	0種	10種	10種	0種	0種	22種	14種

		
オギ	シロバナサクラタデ	ミゾソバ
		
コシロネ	イヌゴマ	トキンソウ

図 2.7-15 植物個体写真 (103-1 : 若山町)



表 2.7-19 確認した昆虫類 (103-1 : 若山町) (2)

No.	目名	科名	種名	学名	希少種選定基準					特定外来生物	広く見られた種	特徴的な種	
					I	II	III	IV	V				
54	チョウ(鱗翅)	マダラガ	ミノウスバ	<i>Pryeria sinica</i>									
55		セセリチョウ	イチモンジセセリ	<i>Parnara guttata guttata</i>									
56			チャバネセセリ	<i>Pelopidas mathias oberthueri</i>									
57		シジミチョウ	ツバメシジミ	<i>Everes argiades argiades</i>									
58			ベニシジミ	<i>Lycaena phlaeas chinensis</i>									
59			ヤマトシジミ本土亜種	<i>Zizeeria maha argia</i>								○	
60		タテハチョウ	キタテハ	<i>Polygonia c-aureum c-aureum</i>									
61		アゲハチョウ	クローアゲハ本土亜種	<i>Papilio protenor demetrius</i>									
62		シロチョウ	キタキチョウ	<i>Eurema mandarina</i>								○	
63			モンシロチョウ	<i>Pteris rapae crucivora</i>									
64		ノトガ	シロモンノメイガ	<i>Bocchoris inspersalis</i>									
65			コブノメイガ	<i>Cnaphalocrocis medinalis</i>									
66			キアヤヒメノメイガ	<i>Diasemia accalis</i>									
67			イノエノメイガ	<i>Nacoleia inouei</i>									
68			ワモンノメイガ	<i>Nomophila noctuella</i>									
69			シロオビノメイガ	<i>Spoladea recurvalis</i>									
70			クロモンキノメイガ	<i>Udea testacea</i>									
71		ヤガ	ギンモンシロウワバ	<i>Macdunnoughia purissima</i>									
-				ヤガ科	Noctuidae sp.								
72		コブガ	クロスジシロコブガ	<i>Nola taeniata</i>									
73		ハエ(双翅)	ハナアブ	クロハナアブ属	<i>Cheliosia</i> sp.								
74				アイノオビヒラタアブ	<i>Epistrophe aino</i>								
75			ホソヒラタアブ	<i>Episyrrphus balteatus</i>									
76			キゴシハナアブ	<i>Eristalinus quinquestriatus</i>									
77			シマハナアブ	<i>Eristalis cerealis</i>									
78			フタホシヒラタアブ	<i>Eupeodes corollae</i>									
79			ツヤヒラタアブ	<i>Melanostoma orientale</i>									
-			Melanostoma属	<i>Melanostoma</i> sp.									
80			シマアシブトハナアブ	<i>Mesembrius peregrinus</i>									
81			Paragus属	<i>Paragus</i> sp.									
82			オオハナアブ	<i>Phytomia zonata</i>									
83			ハナダカハナアブ	<i>Rhingia laevigata</i>									
84			ミナミヒメヒラタアブ	<i>Sphaerophoria indiana</i>									
85			ホソヒメヒラタアブ	<i>Sphaerophoria macrogaster</i>									
86	キモグリバエ		キモグリバエ科	Chloropidae sp.									
87	シマバエ		Minettia属	<i>Minettia</i> sp.									
88			Steganopsis属	<i>Steganopsis</i> sp.									
89	ヤチバエ		カスリマルヒゲヤチバエ	<i>Pherbellia nana reticulata</i>									
90			ヒゲナガヤチバエ	<i>Sepedon aenescens</i>									
91	クロバエ		ミヤマキンバエ	<i>Lucilia papuensis</i>									
92	イエバエ	Coenosia属	<i>Coenosia</i> sp.										
93		カガハナゲバエ	<i>Dichaetomyia bibax</i>										
94	ヤドリバエ	ヤドリバエ科	Tachinidae sp.										
95	コウチュウ(鞘翅)	オサムシ	コマルガタゴミムシ	<i>Amara simplicidens</i>									
96			キアシズレチゴミムシ	<i>Archipatrobis flavipes</i>									
97			Colpodes属	<i>Colpodes</i> sp.									
98			ケウスゴモクムシ	<i>Harpalus griseus</i>									
99		ゲンゴロウ	クロズマメゲンゴロウ	<i>Agabus conspicuus</i>									
100			コシマゲンゴロウ	<i>Hydaticus grammicus</i>								○	
101			ヒメゲンゴロウ	<i>Rhantus suturalis</i>									
102		ミズスマシ	オオミズスマシ	<i>Dineutus orientalis</i>				NT					
103			ミズスマシ	<i>Gyrinus japonicus</i>				VU	VU			○	
104		ガムシ	ヒメガムシ	<i>Sternolophus rufipes</i>									
105		ハネカクシ	Euedectus属	<i>Euedectus</i> sp.									
106		ゴミムシシダマシ	コスナゴミムシシダマシ	<i>Gonocephalum coriaceum</i>									
107		スジコガシラゴミムシシダマシ	<i>Heterotarsus carinula</i>										
108	ハムシ	ウリハムシ	<i>Aulacophora indica</i>										
109		ヨモギハムシ	<i>Chrysolina aurichalcea</i>										
110		ホタルハムシ	<i>Monolepta dichroa</i>										
111	オオゾウムシ	オオゾウムシ	<i>Sipalinus gigas gigas</i>										
112	ハチ(膜翅)	ヒメバチ	ヒメバチ科	Ichneumonidae sp.									
113		アリ	ムネアカオオアリ	<i>Camponotus obscuripes</i>									
114			クロヤマアリ	<i>Formica japonica</i> (s.l.)									
115			トビイロケアリ	<i>Lasius japonicus</i>									
116			ヒラアシクサアリ	<i>Lasius spathepus</i>									
117			トビイロシワアリ	<i>Tetramorium tsushimae</i>									
118			スズメバチ	キイロスズメバチ	<i>Vespa similima</i>								○
119			ギングチバチ	ヒメコロギバチ本土亜種	<i>Liris festinans japonicus</i>								
120		ミツバチ	ニホンミツバチ	<i>Apis cerana japonica</i>									
121			トラマルハナバチ本土亜種	<i>Bombus diversus diversus</i>									
122			アカガネコハナバチ	<i>Halictus aerarius</i>									
合計	10目	59科	122種	-	0種	0種	2種	1種	10種	0種	6種	3種	
					合計:2種								

		
コカマキリ	セスジツユムシ	イチモンジカメムシ
		
オオミズスマシ	オオゾウムシ	キイロスズメバチ

図 2.7-16 昆虫類個体写真 (103-1 : 若山町)

#### 4) 鳥類

鳥類は7目19科28種が確認された(表2.7-20)。その内、希少種は2種であった。

調査地区を象徴する水田地帯では、スズメやカワラヒワ、ホオジロなどの耕作地を好む種が見られた。調査地区内を流れる若山川では、カルガモやマガモ、コガモ、セグロセキレイなどの水辺を好む種も見られた。周囲の樹林ではジョウビタキやカシラダカなどの樹林や林縁周辺を好む種が見られた。珠洲市街地を流れる若山川下流域では、カルガモやマガモ、コガモの群れが見られた。

主に確認した種の個体写真を図2.7-17に示す。

表 2.7-20 確認した鳥類 (103-1 : 若山町)

No.	目名	科名	種名	学名	希少種選定基準					特定外来生物	広く見られた種	特徴的な種	
					I	II	III	IV	V				
1	カモ	カモ	カルガモ	<i>Anas zonorhyncha</i>								○	
2			マガモ	<i>Anas platyrhynchos</i>									○
3			コガモ	<i>Anas crecca</i>									
4	キジ	キジ	キジ	<i>Phasianus versicolor</i>									
5	ハト	ハト	キジバト	<i>Streptopelia orientalis</i>									
6	ペリカン	サギ	アオサギ	<i>Ardea cinerea</i>									
7	タカ	タカ	トビ	<i>Milvus migrans</i>									
8			ノスリ	<i>Buteo japonicus</i>				NT					
9	キツツキ	キツツキ	コゲラ	<i>Yungipicus kizuki</i>									
10	スズメ	モズ	モズ	<i>Lanius bucephalus</i>									
11			カラス	ハシボソガラス	<i>Corvus corone</i>								
12				ハシブトガラス	<i>Corvus macrorhynchos</i>								
13			シジュウカラ	ヤマガラ	<i>Sittiparus varius</i>								
14				シジュウカラ	<i>Parus cinereus</i>								
15			ヒヨドリ	ヒヨドリ	<i>Hypsipetes amaurotis</i>								
16			ツバメ	コシアカツバメ	<i>Cecropis daurica</i>				VU				
17			ウグイス	ウグイス	<i>Horornis diphone</i>								
18			メジロ	メジロ	<i>Zosterops japonicus</i>								
19			ツグミ	ツグミ	<i>Turdus eunomus</i>								
20			ヒタキ	ジョウビタキ	<i>Phoenicurus aureoreus</i>								○
21				イソヒヨドリ	<i>Monticola solitarius</i>								
22				スズメ	<i>Passer montanus</i>								○
23			セキレイ	ハクセキレイ	<i>Motacilla alba</i>								
24				セグロセキレイ	<i>Motacilla grandis</i>								○
25			アトリ	ウン	<i>Pyrrhula pyrrhula</i>								
26				カワラヒワ	<i>Chloris sinica</i>								○
27			ホオジロ	ホオジロ	<i>Emberiza cioides</i>								○
28				カシラダカ	<i>Emberiza rustica</i>								○
合計			7目	19科	28種	-	0種	0種	0種	2種	0種	0種	4種
					合計:2種								



図 2.7-17 鳥類個体写真 (103-1 : 若山町)

#### 5) 両生類・爬虫類・哺乳類

両生類は1目3科4種、哺乳類は3目3科4種が確認された(表 2.7-21、表 2.7-22)。

希少種の確認はなかった。また、調査地区において爬虫類の確認はなかった。

調査地区を象徴する水田地帯では、ニホンアマガエルやニホンアカガエル、イノシシなどの耕作地によく見られる種が確認された。周囲の樹林やその林縁ではシュレーゲルアオガエルやツチガエル、タヌキ、キツネなどが見られた。

主に確認した種の個体写真を図 2.7-18 に示す。

表 2.7-21 確認した両生類 (103-1 : 若山町)

No.	目名	科名	種名	学名	希少種選定基準					特定外来生物	広く見られた種	特徴的な種
					I	II	III	IV	V			
1	無尾	アマガエル	ニホンアマガエル	<i>Dryophytes japonicus</i>							○	
2		アカガエル	ニホンアカガエル	<i>Rana japonica</i>								
3		ツチガエル	ツチガエル	<i>Glandirana rugosa</i>								
4		アオガエル	シュレーゲルアオガエル	<i>Zhangixalus schlegelii</i>								○
合計	1目	3科	4種	-	0種	0種	0種	0種	0種	0種	1種	1種
					合計:0種					0種	1種	1種

表 2.7-22 確認した哺乳類 (103-1 : 若山町)

No.	目名	科名	種名	学名	希少種選定基準					特定外来生物	広く見られた種	特徴的な種
					I	II	III	IV	V			
1	モグラ(食虫)	モグラ	モグラ科	Talpidae sp.								
2	ネコ(食肉)	イヌ	タヌキ	<i>Nyctereutes procyonoides</i>							○	
3			キツネ	<i>Vulpes vulpes</i>								
4	ウシ(偶蹄)	イノシシ	イノシシ	<i>Sus scrofa</i>							○	
合計	3目	3科	4種	-	0種	0種	0種	0種	0種	0種	2種	0種
					合計:0種							

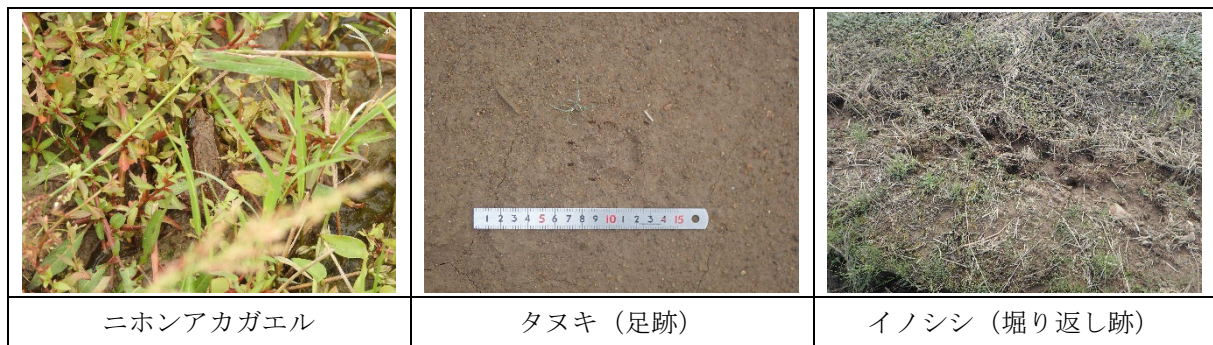


図 2.7-18 両生類・哺乳類個体、痕跡写真 (103-1 : 若山町)

6) 魚類

魚類は3目5科14種が確認された(表 2.7-23)。その内、希少種は3種であった。

地区を流れる金川ではドジョウ、キタノメダカ、ウキゴリなどが見られた。また、若山川の下流域ではマハゼやヌマチチブなど、中流域ではウグイやカジカなどが見られた。

主に確認した種の個体写真を図 2.7-19 に示す。

表 2.7-23 確認した魚類 (103-1 : 若山町)

No.	目名	科名	種名	学名	希少種選定基準					特定外来生物	103-1			優占種	特徴的な種
					I	II	III	IV	V		金川	若山川			
											下流	中流			
1	コイ	コイ	コイ(型不明)*1	<i>Cyprinus carpio</i>								1			
2			フナ属	<i>Carassius sp.</i>								3			
3			オイカワ	<i>Opsariichthys platypus</i>								3			
4			カワムツ	<i>Candidia temminckii</i>								1			
5			ウグイ	<i>Pseudaspius hakonensis</i>									3		○
6		ドジョウ	ドジョウ	<i>Misgurnus anguillicaudatus</i>			NT					13	5	○	
7			ニシマドジョウ	<i>Cobitis sp. BIWAE type B</i>								7	5	○	
8	ダツ	メダカ	キタノメダカ	<i>Oryzias sakaizumii</i>			VU					20		○	
9	スズキ	カジカ	カジカ	<i>Cottus pollux</i>			NT						5		○
10			マハゼ	<i>Acanthogobius flavimanus</i>								9			
11			ヌマチチブ	<i>Tridentiger brevispinis</i>								1			
12			シマヨシノボリ	<i>Rhinogobius nagoyae</i>								2			
13			スミウキゴリ	<i>Gymnogobius petschiliensis</i>								1			
14			ウキゴリ	<i>Gymnogobius urotaenia</i>								9			○
合計	3目	5科	14種	-	0種	0種	3種	0種	0種	0種	8種	4種	4種	3種	3種
					合計:3種						58個体	12個体	18個体		
											合計:14種				

\*1 : コイ(在来型)、コイ(飼育型)のいずれかである。コイ(飼育型)の場合は外来種に該当する。





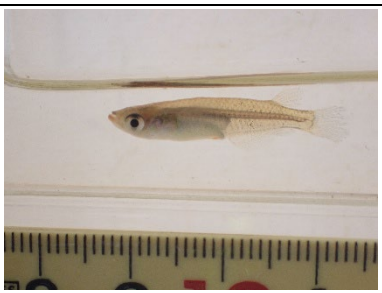

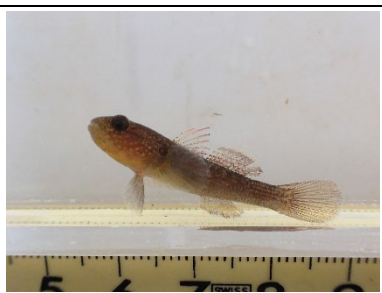


		
オイカワ (金川)	ウグイ (若山川_中流)	ドジョウ (若山川_中流)
		
ニシシマドジョウ (金川)	キタノメダカ (金川)	カジカ (若山川_中流)
		
ヌマチチブ (若山川_下流)	シマヨシノボリ (金川)	ウキゴリ (金川)

図 2.7-19 魚類個体写真 (103-1 : 若山町)

## 2.7.6 105-1 (旧内浦町海岸・九十九湾)

### 1) 調査環境の概要

富山湾の対岸に立山連峰、北アルプスを望む海浜地域である。消波堤の内側には細粒の砂浜が形成されており、小河川が流入し湿地となっている。規模は大きくないものの、奥能登では砂浜と湿地の揃った環境は比較的少なく、生物にとって重要な生息場と思われる。

### 2) 植物

植物は74科189種が確認された(表2.7-24)。その内、希少種は4種であった。

調査地区に広がる砂浜などの海岸ではコウボウムギ、ハマボッス、ハマヒルガオ、ハマゴウ、ハマニガナ、ハマゼリなどの海浜植物がみられた。砂浜には細流が流れ込んでおり、その周辺ではヨシ、ミゾソバ、セリといった水辺の植物も確認されている。また、砂浜の西側には水田などの耕作地が点在しており、湿地化した休耕田ではミズオオバコ、コナギ、サクラタデ、ハッカのような湿生植物が多く確認された。

主に確認した種の個体写真を図2.7-20に示す。





表 2.7-24 確認した植物 (105-1 : 旧内浦町海岸・九十九湾) (3)

No.	分類群	科名	種名	学名	希少種選定基準					特定外来生物	広く見られた種	特徴的な種
					I	II	III	IV	V			
163	被子植物-真正双子葉植物	シソ	イヌゴマ	<i>Stachys aspera</i> var. <i>hispidula</i>								
164			ハマゴウ	<i>Vitex rotundifolia</i>								○
165		ハエドクソウ	ナガバハエドクソウ	<i>Phryma oblongifolia</i>								
166			モチノキ	ハイヌツグ	<i>Ilex crenata</i> var. <i>radicans</i>							
167		キク	モチノキ	モチノキ	<i>Ilex integra</i>							
168				ヨモギ	<i>Artemisia indica</i> var. <i>maximowiczii</i>							○
169			ノコンギク	<i>Aster microcephalus</i> var. <i>ovatus</i>							○	
170			アメリカセンダングサ	<i>Bidens frondosa</i>							○	
171			ヒメジョオン	<i>Erigeron annuus</i>							○	
172			ヒメムカシヨモギ	<i>Erigeron canadensis</i>								
173			ブタナ	<i>Hypochaeris radicata</i>								
174			ハマニガナ	<i>Ixeris repens</i>							○	
175			アキノノゲシ	<i>Lactuca indica</i> var. <i>indica</i>							○	
176			セイダカアワダチソウ	<i>Solidago altissima</i>							○	
177			ヒロハホウキギク	<i>Symphoricarpos subulatum</i> var. <i>squamatum</i>								
178			オオオナモミ	<i>Xanthium occidentale</i>							○	
179		トベラ	<i>Pitiosporum tobira</i>									
180		ウコギ	クラノキ	<i>Aralia elata</i>								
181			カクレミノ	<i>Dendropanax trifidus</i>								
182	ヤマウコギ		<i>Eleutherococcus spinosus</i> var. <i>spinosus</i>									
183	キツタ		<i>Hedera rhombea</i>									
184	ノチドメ		<i>Hydrocotyle maritima</i>									
185	セリ	ツボクサ	<i>Centella asiatica</i>									
186		ハマゼリ	<i>Cnidium japonicum</i>							○		
187		セリ	<i>Oenanthe javanica</i> ssp. <i>javanica</i>							○		
188		ガマズミ	<i>Viburnum dilatatum</i>									
189	スイカズラ	<i>Lonicera japonica</i>										
合計	-	74科	189種	-	0種	0種	1種	4種	0種	0種	26種	15種

※1 ヒノキアスナロは現地の状況および「石川県の絶滅のおそれのある野生生物 いしかわレッドデータブック 2020 植物編」(石川県, 2020年)の分布情報から、植林もしくはそれに由来するものと考えられるが、種としては選定基準に該当するため重要種として扱った。

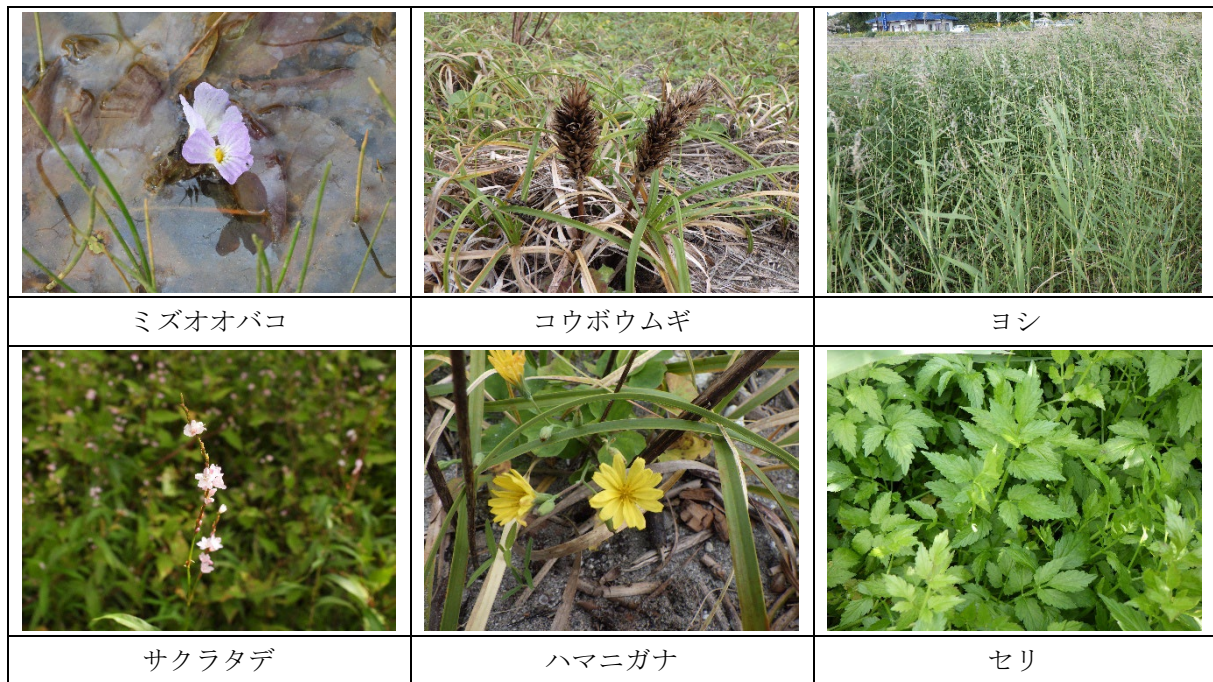


図 2.7-20 植物個体写真 (105-1 : 旧内浦町海岸・九十九湾)



表 2.7-25 確認した昆虫類 (105-1 : 旧内浦町海岸・九十九湾) (2)

No.	目名	科名	種名	学名	希少種選定基準					特定外来生物	広く見られた種	特徴的な種
					I	II	III	IV	V			
63	チョウ(鱗翅)	セセリチョウ	イチモンジセセリ	<i>Parnara guttata guttata</i>								
64			チャバネセセリ	<i>Pelopidas mathias oberthueri</i>								
65		シジミチョウ	ウラギンシジミ	<i>Curetis acuta paracuta</i>								
66			ウラナシジミ	<i>Lampides boeticus</i>								
67			ヤマトシジミ本土亜種	<i>Zizeeria maha argia</i>								○
68		タテハチョウ	コミスジ本州以南亜種	<i>Nentis sappho intermedia</i>								
69			キタテハ	<i>Polygona c-aureum c-aureum</i>								
70			ヒメアカタテハ	<i>Vanessa cardui</i>								
71		アゲハチョウ	アカタテハ	<i>Vanessa indica indica</i>								
72			モンキアゲハ	<i>Papilio helenus nicconicolens</i>								
73			キアゲハ	<i>Papilio machaon hippocrates</i>								
74			アゲハ	<i>Papilio xuthus</i>								
75		シロチョウ	キタキチョウ	<i>Eurema mandarina</i>								
76			モンシロチョウ	<i>Pieris rapae crucivora</i>								
77		ツトガ	キアヤヒメノメイガ	<i>Diasemia accalis</i>								
78			マメノメイガ	<i>Maruca vitrata</i>								
79			ワモンノメイガ	<i>Nomophila noctuella</i>								
80			マエアカスカシノメイガ	<i>Palpita nigropunctalis</i>								
81			シロオビノメイガ	<i>Spoladea recurvalis</i>								
-				ツトガ科	Crambidae sp.							
82		ハエ(双翅)	ヤガ	セアカキンウワバ	<i>Erythroplusia pyropia</i>							
83			ヒメガガンボ	ヒメガガンボ科	Limoniidae sp.							
84			ムシヒキアブ	ヒサマツムシヒキ	<i>Tolmerus hisamatsui</i>							
85	ハナアブ		ホシメハナアブ	<i>Eristalinus tarsalis</i>								
86			フタホシヒラタアブ	<i>Euneodes corollae</i>								
87			オオハナアブ	<i>Phytomia zonata</i>								
88			ホシヒヒラタアブ	<i>Sphaerophoria macrogaster</i>								
89	ショウジョウバエ		Drosophila属	<i>Drosophila</i> sp.								
90	ヤチバエ		ヒゲナガヤチバエ	<i>Sepedon aenesens</i>								
91	クロバエ		Lucilia属	<i>Lucilia</i> sp.								
92	イエバエ	Coenosia属	<i>Coenosia</i> sp.									
93	コウチュウ(鞘翅)	オサムシ	キボシオサムシ	<i>Chaenius posticalis</i>								
94			ウスアカクログモクムシ	<i>Harpalus sinicus</i>								
95		ゲンゴロウ	クロスマゲンゴロウ	<i>Agabus conspicuus</i>								
96			クログンゴロウ	<i>Cybister brevis</i>				NT	NT			○
97			コシマゲンゴロウ	<i>Hydaticus grammicus</i>								○
98			オオヒメゲンゴロウ	<i>Rhantus erraticus</i>								
99			ヒメゲンゴロウ	<i>Rhantus suturalis</i>								
100		ガムシ	ガムシ	<i>Hydrophilus acuminatus</i>				NT	NT		○	
101		ハネカクシ	ツヤウミベコガシラハネカクシ	<i>Philonthus nudus</i>								
102		テントウムシ	ヒメカメノテントウ	<i>Propylea japonica</i>								
103		ゴミムシダマン	コスタゴミムシダマン	<i>Gonocephalum coriaceum</i>								
104			ヒメカクスナゴミムシダマン	<i>Gonocephalum terminale</i>								
105		ハムシ	サメハダツブノハムシ	<i>Aphthona strigosa</i>								
106			ウリハムシ	<i>Aulacophora indica</i>								
107			ヒメドウガネトビハムシ	<i>Chaetocnema concinnicollis</i>								
108			ヨモギハムシ	<i>Chrysolina aurichalcea</i>								
109			ホタルハムシ	<i>Monolepta dichroa</i>								
110		ハチ(膜翅)	コマユバチ	コマユバチ科	Braconidae sp.							
111			アシフトコバチ	キアシフトコバチ	<i>Brachymeria lasus</i>							
112	アリ		ウメマツオアリ	<i>Camponotus vitiosus</i>								
113			ハリフトシリアゲアリ	<i>Crematogaster matsumurai</i>								
114			クロヤマアリ	<i>Formica japonica</i> (s.l.)								
115			トビイロケアリ	<i>Lasius japonicus</i>								
116	ルリアリ		<i>Ochetellus glaber</i>									
117	スズメバチ		オオスズメバチ	<i>Vespa mandarinia</i>								
118			キイロスズメバチ	<i>Vespa similina</i>								
119	ツチバチ		ヒメハラナガツチバチ本土亜種	<i>Campomeriella annulata annulata</i>								
120	ミツバチ		ニホンミツバチ	<i>Apis cerana japonica</i>								
121			トラマルハナバチ本土亜種	<i>Bombus diversus diversus</i>								
122	ムカシハナバチ		アシブトムカシハナバチ	<i>Colletes patellatus</i>								
123	コハナバチ	Lasioglossum属	<i>Lasioglossum</i> sp.									
合計	9目	64科	123種	-	0種	10種	2種	13種	0種	0種	5種	5種
								合計:3種				

		
オオアオイトトンボ	ノシメトンボ	クルマバッタモドキ
		
ハネナガイナゴ	コバネイナゴ	ガムシ

図 2.7-21 昆虫類個体写真 (105-1 : 旧内浦町海岸・九十九湾)

#### 4) 鳥類

鳥類は6目20科37種が確認された(表2.7-26)。その内、希少種は4種であった。

調査地区を象徴する砂浜では、シロチドリやウミネコ、オオセグロカモメなどの海浜環境を好む種が多く見られた。海岸線の後背地に位置する丘陵の耕作地では、ジョウビタキやシメ、スズメなどの里山環境を好む種が見られた。

主に確認した種の個体写真を図2.7-22に示す。

表 2.7-26 確認した鳥類 (105-1 : 旧内浦町海岸・九十九湾)

No.	目名	科名	種名	学名	希少種選定基準					特定外来生物	広く見られた種	特徴的な種
					I	II	III	IV	V			
1	カモ	カモ	カルガモ	<i>Anas zonorhyncha</i>								
2			マガモ	<i>Anas platyrhynchos</i>								
3			コガモ	<i>Anas crecca</i>								
4			ウミアイサ	<i>Mergus serrator</i>								
5	チドリ	チドリ	シロチドリ	<i>Charadrius alexandrinus</i>			VU	NT				○
6		シギ	イソシギ	<i>Actitis hypoleucos</i>				NT				
7		カモメ	ウミネコ	<i>Larus crassirostris</i>							○	
8			セグロカモメ	<i>Larus vegae</i>								
9			オオセグロカモメ	<i>Larus schistisagus</i>			NT					
10	カツオドリ	ウ	ウミウ	<i>Phalacrocorax capillatus</i>								
11			カワウ	<i>Phalacrocorax carbo</i>								
12	タカ	ミサゴ	ミサゴ	<i>Pandion haliaetus</i>			NT	NT				
13		タカ	トビ	<i>Milvus migrans</i>								
14	キツツキ	キツツキ	コゲラ	<i>Yungipicus kizuki</i>								
15	スズメ	モズ	モズ	<i>Lanius bucephalus</i>								
16		カラス	ハシボソガラス	<i>Corvus corone</i>								
17			ハシブトガラス	<i>Corvus macrorhynchos</i>								
18		シジュウカラ	シジュウカラ	<i>Parus cinereus</i>								
19		ヒヨドリ	ヒヨドリ	<i>Hypsipetes amaurotis</i>								
20		ウグイス	ウグイス	<i>Horornis diphone</i>								
21		ムクドリ	ムクドリ	<i>Spodiopsar cinereus</i>								○
22			ホシムクドリ	<i>Sturnus vulgaris</i>								
23		ツグミ	ツグミ	<i>Turdus eunomus</i>								
24		ヒタキ	ジョウビタキ	<i>Phoenicurus auroreus</i>								
25			インヒヨドリ	<i>Monticola solitarius</i>								
26		スズメ	スズメ	<i>Passer montanus</i>								○
27		セキレイ	ハクセキレイ	<i>Motacilla alba</i>								
28			セグロセキレイ	<i>Motacilla grandis</i>								
29		アトリ	アトリ	<i>Fringilla montifringilla</i>								
30			シメ	<i>Coccothraustes coccothraustes</i>								
31			ウソ	<i>Pyrrhula pyrrhula</i>								
32			バニマシコ	<i>Carpodacus sibiricus</i>								
33			マヒワ	<i>Spinus spinus</i>								
34		ホオジロ	ホオジロ	<i>Emberiza cioides</i>								
35			カシラダカ	<i>Emberiza rustica</i>								
36			アオジ	<i>Emberiza personata</i>								
37			オオジュリン	<i>Emberiza schoeniclus</i>								
合計	6目	20科	37種	-	0種	0種	3種	3種	0種	0種	1種	3種
					合計:4種							



図 2.7-22 鳥類個体写真 (105-1 : 旧内浦海岸・九十九湾)

### 5) 両生類・爬虫類・哺乳類

両生類は2目2科2種、哺乳類は2目3科4種が確認された（表 2.7-27、表 2.7-28）。その内、希少種である両生類を1種確認した。また、調査地区において爬虫類の確認はなかった。

調査地区を象徴する砂浜では、タヌキやキツネなどの足跡が見られた。海岸線の後背地に位置する水田地帯やため池では、アカハライモリやニホンアカガエルなどが見られた。

主に確認した種の個体写真を図 2.7-23 に示す。

表 2.7-27 確認した両生類（105-1：旧内浦町海岸・九十九湾）

No.	目名	科名	種名	学名	希少種選定基準					特定外来生物	広く見られた種	特徴的な種
					I	II	III	IV	V			
1	有尾	イモリ	アカハライモリ	<i>Cynops pyrrhogaster</i>			NT					○
2	無尾	アカガエル	ニホンアカガエル	<i>Rana japonica</i>								
合計	2目	2科	2種	-	0種	0種	1種	0種	0種	0種	0種	1種
					合計:1種							

表 2.7-28 確認した哺乳類（105-1：旧内浦町海岸・九十九湾）

No.	目名	科名	種名	学名	希少種選定基準					特定外来生物	広く見られた種	特徴的な種
					I	II	III	IV	V			
1	ネコ(食肉)	イヌ	タヌキ	<i>Nyctereutes procyonoides</i>								
2			キツネ	<i>Vulpes vulpes</i>								
3			テン(ホンドテン)	<i>Martes melampus (M. m. melampus)</i>								
4	ウシ(偶蹄)	イノシシ	イノシシ	<i>Sus scrofa</i>								
合計	2目	3科	4種	-	0種	0種	0種	0種	0種	0種	0種	0種
					合計:0種							



図 2.7-23 両生類・哺乳類個体写真、痕跡写真（105-1：旧内浦町海岸・九十九湾）

## 2.7.7 107-1 (町野川上流と当日・岩井戸地区)

### 1) 調査環境の概要

山地を流れる町野川が形成した小さな平地に水田と民家がみられる。猿鬼伝説という伝承が伝わる地域で、それにまつわる石碑や説明看板が設置され、町野川の川底に建てられた神社の社叢林とスギの大木は能登町の天然記念物に指定されている。町野川はV字谷となっており、一帯は起伏に富んでいる。周辺の山林は植林と落葉広葉樹の混交林である。

### 2) 植物

植植物は79科204種が確認された(表2.7-29)。その内、希少種は3種であった。

調査地区に広がる水田地帯ではヒメミズワラビ、カヤツリグサ、ホタルイ、イヌビエなどの水田雑草が確認された。水田地帯を流れる町野川には河岸が岩盤になっている区間があり、そうした場所ではオオバギボウシ、ウワバミソウ、スマレサイシン、シラネセンキュウなどが生育していた。また、水田地帯周辺はスギ植林や広葉樹二次林となっており、シンガシラ、リョウメンシダ、ムカゴイラクサ、コナラ、ツノハシバミ、アキギリなどの種がみられた。

主に確認した種の個体写真を図2.7-24に示す。

表 2.7-29 確認した植物 (107-1 : 町野川上流と当目・岩井戸地区) (1)

No.	分類群	科名	種名	学名	希少種選定基準					特定外来生物	広く見られた種	特徴的な種
					I	II	III	IV	V			
1	大葉シダ植物	トクサ	スギナ	<i>Equisetum arvense</i>								
2		ハナヤスリ	オオハナワラビ	<i>Botrychium japonicum</i>								
3		ゼンマイ	ゼンマイ	<i>Osmunda japonica</i>								
4		コバノイシカグマ	ワラビ	<i>Pteridium aquilinum</i> ssp. <i>japonicum</i>								
5		イノモトソウ	クジャクシダ	<i>Adiantum pedatum</i>								
6			ヒメスワラビ	<i>Ceratopteris gaudichaudii</i> var. <i>vulgaris</i>					NT			○
7			チャセンシダ	トラノオシダ	<i>Asplenium incisum</i>							
8			ヒメシダ	ヒメシダ	<i>Thelypteris palustris</i>							
9				ミンシダ	<i>Thelypteris pozoi</i> ssp. <i>mollissima</i>							○
10			コウヤワラビ	イヌガンゾク	<i>Onoclea orientalis</i>							
11				コウヤワラビ	<i>Onoclea sensibilis</i> var. <i>interrupta</i>							
12			シシガシラ	シシガシラ	<i>Blechnum niponicum</i>							○
13			メシダ	イヌワラビ	<i>Anisocampium niponicum</i>							
14				サトメシダ	<i>Athyrium deltoideifrons</i>							
15				ヤマイヌワラビ	<i>Athyrium vidalii</i>							
16				シケシダ	<i>Deparia japonica</i>							
17				キヨタキシダ	<i>Diplazium squamigerum</i>							
18			オンダ	リウモンシダ	<i>Arachniodes standishii</i>							○
19				キブノテツ	<i>Cyrtomium fortunei</i> var. <i>fortunei</i>							
20				ヤマイタチシダ	<i>Drvopteris bissetiana</i>							
21				バコシダ	<i>Drvopteris erythrosora</i>							
22				ミヤマイタチシダ	<i>Drvopteris sabaei</i>							
23				オクマワラビ	<i>Drvopteris uniformis</i>							
24				イノデ	<i>Polystichum polyblepharon</i>							
25				サカゲイノデ	<i>Polystichum retrosopaleaceum</i>							○
26				ジュウモンジシダ	<i>Polystichum tripterum</i>							
27	裸子植物	マツ	アカマツ	<i>Pinus densiflora</i>								
28			ヒノキ	ヒノキ	<i>Chamaecyparis obtusa</i>							
29				ヒノキアスナロ※1	<i>Thuopsis dolabrata</i> var. <i>hondae</i>				VU			
30			イチイ	ハイイヌギヤ	<i>Cephalotaxus harringtonia</i> var. <i>nana</i>							
31			チャボガヤ	<i>Torreya nucifera</i> var. <i>radicans</i>								
32	被子植物-基部被子植物	ドクダミ	ドクダミ	<i>Houttuynia cordata</i>								
33			クスノキ	オオバクロモジ	<i>Lindera umbellata</i> var. <i>membranacea</i>						○	
34			シロダモ	<i>Neolitsea sericea</i> var. <i>sericea</i>								
35	被子植物-単子葉植物	サトイモ	カラズビシヤク	<i>Pinellia ternata</i>								
36			ヤマノイモ	ヤマノイモ	<i>Dioscorea japonica</i>							
37				キクバドコロ	<i>Dioscorea septemloba</i>							
38			サルトリイバラ	サルトリイバラ	<i>Smilax china</i> var. <i>china</i>							○
39				タチシオデ	<i>Smilax nipponica</i>							
40			ラン	サイハイラン	<i>Crematris variabilis</i>							
41			アヤメ	シヤガ	<i>Iris japonica</i>							
42			クサスギカズラ	オオノギボウシ	<i>Hosta sieboldiana</i>							○
43			ツユクサ	ツユクサ(広義)	<i>Commelina communis</i>							
44			イグサ	コウガイゼキショウ	<i>Juncus prismatocarpus</i> ssp. <i>leschenaultii</i>							
45			カヤツリグサ	ヒメグサ	<i>Cyperus brevifolius</i> var. <i>leiolepis</i>							
46				コゴメグサツリ	<i>Cyperus iria</i>							
47				カヤツリグサ	<i>Cyperus microiria</i>							○
48				ウシグサ	<i>Cyperus orthostachyus</i>							
49				カワラスガナ	<i>Cyperus sanguinolentus</i>							
50				ヒメヒラテツキ	<i>Fimbristylis autumnalis</i>							
51				ホタルイ	<i>Schoenoplectiella hotaru</i>							○
52				サンカクイ	<i>Schoenoplectus triqueter</i>							
53			イネ	コブナグサ	<i>Arthraxon hispidus</i>							
54				トダシバ(広義)	<i>Arundinella hirta</i>							
55				カモガヤ	<i>Dactylois glomerata</i>							
56				ヒシバ	<i>Digitaria ciliaris</i>							○
57				アブラススキ	<i>Echinochloa crus-galli</i>							○
58				イヌビエ	<i>Echinochloa crus-galli</i>							
59				オヒシバ	<i>Eleusine indica</i>							
60				サヤヌカグサ	<i>Leersia savanuka</i>							
61				ササガヤ	<i>Leptatherum japonicum</i>							
62				アシボソ	<i>Microstegium vimineum</i>							○
63				ススキ	<i>Miscanthus sinensis</i>							○
64				コチヂミザサ	<i>Opilismenus undulatifolius</i> var. <i>japonicus</i>							
65				ケチヂミザサ	<i>Opilismenus undulatifolius</i> var. <i>undulatifolius</i>							
66				スカキビ	<i>Panicum bisulcatum</i>							
67			オオウサキビ	<i>Panicum dichotomiflorum</i>								
68			スズメヒエ	<i>Paspalum thunbergii</i>								
69			オオバザサ	<i>Sasa megalophylla</i>								
70			キンエノコロ	<i>Setaria pumila</i>								
71	被子植物-真正双子葉植物	ケシ	タケニグサ	<i>Macleaya cordata</i>								
72			アケビ	アケビ	<i>Akebia quinata</i>							
73				ミツバアケビ	<i>Akebia trifoliata</i> ssp. <i>trifoliata</i>							
74			ツツラフジ	アオツツラフジ	<i>Cocculus trilobus</i>							
75				コウモリカズラ	<i>Menispermum dauricum</i>							
76			メギ	トキワイカリソウ	<i>Epimedium sempervirens</i>							



表 2.7-29 確認した植物 (107-1 : 町野川上流と当目・岩井戸地区) (3)

No.	分類群	科名	種名	学名	希少種選定基準					特定外 来生物	広く見ら れた種	特徴的 な種		
					I	II	III	IV	V					
178	被子植物-真正双子葉植物	キク	ノコンギク	<i>Aster microcephalus</i> var. <i>ovatus</i>								○		
179			エチゴヒメアザミ	<i>Cirsium echigomontanum</i>										
180			アメリカタカサブロウ	<i>Eclipta alba</i>										
181			ヒメジョオン	<i>Erigeron annuus</i>									○	
182			ヒヨドリバナ(広義)	<i>Eupatorium makinoi</i>										
183			ブタナ	<i>Hypochaeris radicata</i>										
184			センボンヤリ	<i>Leibnitzia anandria</i>										
185			フキ	<i>Petasites japonicus</i> var. <i>japonicus</i>										
186			コウゾリナ	<i>Picris hieracioides</i> ssp. <i>japonica</i> var. <i>japonica</i>										
187			キヌガサギク	<i>Rudbeckia hirta</i>										
188			セイタカアワダチソウ	<i>Solidago altissima</i>									○	
189			アキノキリンソウ	<i>Solidago virgaurea</i> ssp. <i>asiatica</i> var. <i>asiatica</i>										
190			オニノゲシ	<i>Sonchus asper</i>										
191			オヤマボクチ	<i>Synurus pungens</i>										
192			セイヨウタンポポ	<i>Taraxacum officinale</i>										
193			ウコギ	タラノギ	<i>Aralia elata</i>									
194				コシアブラ	<i>Chengiopanax sciadophylloides</i>									
195				キツタ	<i>Hedera rhombea</i>									
196			セリ	シラネセンキュウ	<i>Angelica polymorpha</i>									○
-				シシウド属	<i>Angelica</i> sp.									
197	ミツバ	<i>Cryptotaenia japonica</i>												
198	セリ	<i>Oenanthe javanica</i> ssp. <i>javanica</i>										○		
199	ガマズミ	ムカゴニンジン	<i>Sium nigrum</i>					CR				○		
200		ニワトコ	<i>Sambucus racemosa</i> ssp. <i>sieboldiana</i> var. <i>sieboldiana</i>											
201	スイカズラ	ガマズミ	<i>Viburnum dilatatum</i>									○		
202		スイカズラ	<i>Lonicera japonica</i>											
203		オトコエシ	<i>Patrinia villosa</i>											
204		タニウツギ	<i>Weigela hortensis</i>											
合計	-	79科	204種	-	0種	0種	0種	3種	10種	0種	28種	15種		
					合計:3種									

※1 ヒノキアスナロは現地の状況および「石川県の絶滅のおそれのある野生生物 いしかわレッドデータブック 2020 植物編」(石川県, 2020 年)の分布情報から、植林もしくはそれに由来するものと考えられるが、種としては選定基準に該当するため重要種として扱った。



図 2.7-24 植物個体写真 (107-1 : 町野川上流と当目・岩井戸地区)



表 2.7-30 確認した昆虫類 (107-1 : 町野川上流と当目・岩井戸地区) (2)

No.	目名	科名	種名	学名	希少種選定基準					特定外来生物	広く見られた種	特徴的な種
					I	II	III	IV	V			
67	ハエ(双翅)	ヒメガガンボ	タカハシヒメガガンボ	<i>Dicranomyia modesta</i>								
-			ナミヒメガガンボ属	<i>Dicranomyia</i> sp.								
68		カ	Aedes属	<i>Aedes</i> sp.								
69		キノコバエ	キノコバエ科	Mycetophilidae sp.								
70		ムシヒキアブ	シロズヒメムシヒキ	<i>Philonicus albiceps</i>								
71		ハナアブ	キスネクロハナアブ	<i>Cheilosia ochripes</i>								
72			ホソヒラタアブ	<i>Episyrphus balteatus</i>								
73			キゴシハナアブ	<i>Eristalinus quinquestriatus</i>								
74			シマハナアブ	<i>Eristalis cerealis</i>								
75			フタホシヒラタアブ	<i>Eupeodes corollae</i>								
76			アシトハナアブ	<i>Helophilus eristaloideus</i>								
77			Melanostoma属	<i>Melanostoma</i> sp.								
78			Paragus属	<i>Paragus</i> sp.								
79			オオハナアブ	<i>Phytomyia zonata</i>								
80			ハナダカハナアブ	<i>Rhingia laevigata</i>								
81			ホソヒラタアブ	<i>Sphaerophoria macrogaster</i>								
82		ショウジョウバエ	Drosophila属	<i>Drosophila</i> sp.								
83		シマバエ	Steganopsis属	<i>Steganopsis</i> sp.								
84		ヤチバエ	ヒゲナガヤチバエ	<i>Sepedon aenescens</i>								
85		ヤドリバエ	ヤドリバエ科	Tachinidae sp.								
86	コウチュウ(鞘翅)	オサムシ	ウスアカカログモクムシ	<i>Harpalus sinicus</i>								
87			ゲンゴロウ	コシマゲンゴロウ	<i>Hydaticus granmicus</i>							
88				サワダマゲンゴロウ	<i>Platambus sawadai</i>							○
89				ヒメゲンゴロウ	<i>Rhantus suturalis</i>							
90				コツゲンゴロウ	<i>Noterus japonicus</i>							
91				ハネカクシ	アオバアリガタハネカクシ	<i>Paederus fuscipes</i>						
92				コガネムシ	コアオハナムグリ	<i>Gametis fucunda</i>						
93				デントウムシ	ヒメカメノテントウ	<i>Propylea japonica</i>						
94				コメツキモドキ	キムネヒメコメツキモドキ	<i>Anadastus atriceps</i>						
95				ゴミムシダマシ	コソナゴミムシダマシ	<i>Gonocephalum coriaceum</i>						
96				ハムシ	ツブバハムシ	<i>Aphthona perminuta</i>						
97					クロウリハムシ	<i>Aulacophora nigripennis nigripennis</i>						
98				ゾウムシ	ハスジカツオンゾウムシ	<i>Lixus acutipennis</i>						
99	ハチ(膜翅)	ヒメバチ	ヒメバチ科	Ichneumonidae sp.								
100			アリ	クロヤマアリ	<i>Formica japonica</i> (s.l.)							
101				トビイロケアリ	<i>Lasius japonicus</i>							
102			スズメバチ	ミカドトックリバチ	<i>Eumenes micado</i>							
103				フタモンアシナガバチ本土亜種	<i>Polistes chinensis antennalis</i>							
104				キロスズメバチ	<i>Vespa similis</i>							
105				クロスズメバチ	<i>Vespula flaviceps</i>							
106				キンケハラナガツチバチ	<i>Megacampsomeris prismatica</i>							
107			ミツバチ	ニホンミツバチ	<i>Apis cerana japonica</i>							
108			トラマルハナバチ本土亜種	<i>Bombus diversus diversus</i>								
合計	11目	63科	108種	-	0種	0種	0種	0種	0種	0種	4種	6種
					合計:0種							



図 2.7-25 昆虫類個体写真 (107-1 : 町野川上流と当目・岩井戸地区)

#### 4) 鳥類

鳥類は5目13科23種が確認された(表 2.7-31)。その内、希少種は1種であった。

調査地区を象徴する水田や林縁の草地では、セグロセキレイやホオジロやカシラダカなどの里山環境を好む種が見られた。地区の中心を流れる町野川では、カワセミやキセキレイなどの水辺を好む種が見られた。周辺の樹林では、アカゲラやマミチャジナイなどの樹林性の種が見られた。

主に確認した種の個体写真を図 2.7-26 に示す。

表 2.7-31 確認した鳥類 (107-1 : 町野川上流と当目・岩井戸地区)

No.	目名	科名	種名	学名	希少種選定基準					特定外来生物	広く見られた	特徴的な種
					I	II	III	IV	V			
1	カモ	カモ	マガモ	<i>Anas platyrhynchos</i>								
2	タカ	タカ	ハイタカ	<i>Accipiter nisus</i>			NT	NT				
3			トビ	<i>Milvus migrans</i>								
4	ブッポウソウ	カワセミ	カワセミ	<i>Alcedo atthis</i>								○
5	キツツキ	キツツキ	アカゲラ	<i>Dendrocopos major</i>								
6	スズメ	カラス	カケス	<i>Garrulus glandarius</i>								
7			ハシボソガラス	<i>Corvus corone</i>								
8		ハシブトガラス	<i>Corvus macrorhynchos</i>									
9		シジュウカラ	ヤマガラ	<i>Sittiparus varius</i>								
10			シジュウカラ	<i>Parus cinereus</i>								
11		ヒヨドリ	ヒヨドリ	<i>Hypsipetes amaurotis</i>								
12		エナガ	エナガ	<i>Aegithalos caudatus</i>								
13		ツグミ	マミチャジナイ	<i>Turdus obscurus</i>								
14			ツグミ	<i>Turdus eunomus</i>								
15		スズメ	スズメ	<i>Passer montanus</i>								
16		セキレイ	キセキレイ	<i>Motacilla cinerea</i>								
17			ハクセキレイ	<i>Motacilla alba</i>								
18			セグロセキレイ	<i>Motacilla grandis</i>								
19		アトリ	カワラヒワ	<i>Chloris sinica</i>								
20	マヒワ		<i>Spinus spinus</i>									
21	ホオジロ	ホオジロ	<i>Emberiza cioides</i>									○
22		カシラダカ	<i>Emberiza rustica</i>									
23		アオジ	<i>Emberiza personata</i>									
合計	5目	13科	23種	-	0種	0種	1種	1種	0種	0種	1種	2種
					合計:1種							



図 2.7-26 鳥類個体写真 (107-1 : 町野川上流と当目・岩井戸地区)

### 5) 両生類・爬虫類・哺乳類

両生類は1目2科2種、爬虫類は1目1科1種、哺乳類は3目4科4種が確認された(表 2.7-32~表 2.7-34)。希少種の確認はなかった。

調査地区を象徴する水田や林縁では、シュレーゲルアオガエルやハクビシン、イノシシなどの種が確認された。調査地区内の神社の軒下ではキクガシラコウモリも見られた。

主に確認した種の個体写真を図 2.7-27 に示す。

表 2.7-32 確認した両生類 (107-1 : 町野川上流と当目・岩井戸地区)

No.	目名	科名	種名	学名	希少種選定基準					特定外来生物	広く見られた種	特徴的な種
					I	II	III	IV	V			
1	無尾	アマガエル	ニホンアマガエル	<i>Dryophytes japonicus</i>								
2		アオガエル	シュレーゲルアオガエル	<i>Zhangixalus schlegelii</i>								
合計	1目	2科	2種	-	0種	0種	0種	0種	0種	0種	0種	0種
					合計:0種							

表 2.7-33 確認した爬虫類 (107-1 : 町野川上流と当目・岩井戸地区)

No.	目名	科名	種名	学名	希少種選定基準					特定外来生物	広く見られた種	特徴的な種
					I	II	III	IV	V			
1	有鱗	カナヘビ	ニホンカナヘビ	<i>Takydromus tachydromoides</i>								
合計	1目	1科	1種	-	0種	0種	0種	0種	0種	0種	0種	0種
					合計:0種							

表 2.7-34 確認した哺乳類 (107-1 : 町野川上流と当目・岩井戸地区)

No.	目名	科名	種名	学名	希少種選定基準					特定外来生物	広く見られた種	特徴的な種
					I	II	III	IV	V			
1	コウモリ(翼手)	キクガシラコウモリ	キクガシラコウモリ	<i>Rhinolophus ferrumequinum</i>								○
2	ネコ(食肉)	イヌ	タヌキ	<i>Nyctereutes procyonoides</i>								
3		ジャコウネコ	ハクビシン	<i>Paguma larvata</i>								
4	ウシ(偶蹄)	イノシシ	イノシシ	<i>Sus scrofa</i>								○
合計	3目	4科	4種	-	0種	0種	0種	0種	0種	0種	1種	1種
					合計:0種							



図 2.7-27 両生類・哺乳類個体写真、痕跡写真 (107-1 : 町野川上流と当目・岩井戸地区)

## 6) 魚類

魚類は2目3科7種が確認された(表 2.7-35)。その内、希少種は2種であった。

調査地区内を流れる町野川の上流域の水際植生部ではカワムツやアブラハヤが多く見られ、礫底ではカジカ、砂底でニシシマドジョウが見られた。

主に確認した種の個体写真を図 2.7-28 に示す。

表 2.7-35 確認した魚類 (107-1: 町野川上流と当目・岩井戸地区)

No.	目名	科名	種名	学名	希少種選定基準					特定外来生物	107-1 町野川 上流				優占種	特徴的な種
					I	II	III	IV	V		1	2	3	4		
1	コイ	コイ	カワムツ	<i>Candidia temminckii</i>							25	1		27	○	○
2			アブラハヤ	<i>Rhynchocypris lagowskii steindachneri</i>							3	3	3	7	○	○
3			タカハヤ	<i>Rhynchocypris oxcephala</i>										1		
4			ウグイ	<i>Pseudaspius hakonensis</i>										1		
5		ドジョウ	ドジョウ	<i>Misgurnus anguillicaudatus</i>			NT							2		
6			ニシシマドジョウ	<i>Cobitis</i> sp. BIWAE type B							18	10	2	12	○	○
7	スズキ	カジカ	カジカ	<i>Cottus pollux</i>			NT				1	1		2		
合計	2目	3科	7種	-	0種	0種	2種	0種	0種	0種	4種	4種	2種	7種	3種	3種
										47個体				合計:7種		
										合計:2種						



図 2.7-28 魚類個体写真 (107-1: 町野川上流と当目・岩井戸地区)

### 2.7.8 108-2 (宮地地区)

#### (1) 結果

##### 1) 調査環境の概要

山地を流れる山田川沿いに小規模な水田と集落が形成された山間地域。石川県の条例により景観形成重点地区の第1号に指定され、里山の景観が保全されている。農家民宿の集まる地域でもあり、里山の自然がグリーンツーリズムに活用されている。山田川は両岸が護岸で固められているものの、砂礫が堆積し、河岸植生も見られる。

##### 2) 植物

植物は75科192種が確認された(表 2.7-36)。その内、希少種は5種であった。

調査地区に広がる水田地帯ではウリカワ、オモダカ、ヒナガヤツリ、キカシグサ、アゼトウガラシ、トキンソウといった水田雑草が確認された。水田地帯には山田川が流れており、ツルヨシ、ネコヤナギなど河辺の種が確認されている。水田地帯の上流は山間部となっており、樹林で





表 2.7-36 確認した植物 (108-2 : 宮地地区) (3)

No.	分類群	科名	種名	学名	希少種選定基準					特定外来生物	広く見られた種	特徴的な種
					I	II	III	IV	V			
176	被子植物-真正双子葉植物	キク	アメリカカサブロウ	<i>Eclipta alba</i>								
177			ヒメジョオン	<i>Erikeron annuus</i>								
178			ハキダメギク	<i>Galinsoga quadriradiata</i>							○	
179			キクイモ	<i>Helianthus tuberosus</i>								
180			ブタナ	<i>Hypochaeris radicata</i>								
181			アキノノゲシ	<i>Lactuca indica</i> var. <i>indica</i>							○	
182			コウゾリナ	<i>Picris hieracioides</i> ssp. <i>japonica</i> var. <i>japonica</i>								
183			コメナモミ	<i>Sigesbeckia glabrescens</i>								
184			セイタカアワダチソウ	<i>Solidago altissima</i>							○	
185			オニノゲシ	<i>Sonchus asper</i>								
186			セイヨウタンポポ	<i>Taraxacum officinale</i>								
187			ウコギ	キツタ	<i>Hedera rhombea</i>							
188				ノチドメ	<i>Hvdrotyle maritima</i>							
189			セリ	シラネセンキュウ	<i>Angelica polymorpha</i>							
-				シシウド属	<i>Angelica</i> sp.							
190				ミツバ	<i>Cryptotaenia japonica</i>							○
191				セリ	<i>Oenanthe javanica</i> ssp. <i>javanica</i>							
192				ウマノミツバ	<i>Sanicula chinensis</i>							
合計			-	75科	192種	-	0種	0種	1種	5種	0種	0種
					合計:5種							

- ※1 ヒノキアスナロは現地の状況および「石川県の絶滅のおそれのある野生生物 いしかわレッドデータブック 2020 植物編」(石川県, 2020年)の分布情報から、植林もしくはそれに由来するものと考えられるが、種としては選定基準に該当するため重要種として扱った。
- ※2 「石川県植物目録 2020(維管束植物)」(石川県絶滅危惧植物調査会および石川県地域植物研究会, 2020)の分布情報から、ヤマシャクヤク、ベニバナヤマシャクヤクのいずれかである可能性が高いと考えられる。両種は重要種選定基準に該当するため、ボタン属を重要種として取り扱った。
- ※3 ランクはヤマシャクヤク (環境省 NT、石川県 EN)、ベニバナヤマシャクヤク (環境省 VU、石川県 CR) である。



図 2.7-29 植物個体写真 (108-2 : 宮地地区)



表 2.7-37 確認した昆虫類 (108-2 : 宮地地区) (2)

No.	目名	科名	種名	学名	希少種選定基準					特定外来生物	広く見られた種	特徴的な種
					I	II	III	IV	V			
67	ハエ(双翅)	ムシヒキアブ	シロズヒメムシヒキ	<i>Philonicus albiceps</i>								
68		アシナガバエ	アシナガバエ科	Dolichopodidae sp.								
69		ハナアブ	オオヒヒラタアブ	<i>Allograpta javana</i>								
70			キスネクロハナアブ	<i>Cheilosia ochripes</i>								
71			ホソヒラタアブ	<i>Episyrphus balteatus</i>								
72			キゴシハナアブ	<i>Eristalinus quinquestriatus</i>								
73			シマハナアブ	<i>Eristalis cerealis</i>								
74			アシフトハナアブ	<i>Helophilus eristaloideus</i>								
75			Melanostoma属	<i>Melanostoma</i> sp.								
76			キアシマヒラタアブ	<i>Paragus haemorrhous</i>								
-			Paragus属	<i>Paragus</i> sp.								
77			オオハナアブ	<i>Phytomyia zonata</i>								
78			ホソヒヒラタアブ	<i>Sphaerophoria macrogaster</i>								
79			キイロナミホシヒラタアブ	<i>Syrphus vitripennis</i>								
80		ヤチバエ	ヒゲナガヤチバエ	<i>Sepedon aenescens</i>								
81		クロバエ	オオクロバエ	<i>Calliphora nigribarbis</i>								
82		イエバエ	Coenosia属	<i>Coenosia</i> sp.								
83			ミドリイエバエ	<i>Neomyia timorensis</i>								
84			ニクバエ	クロニクバエ	<i>Sarcophaga septentrionalis</i>							
85	コウチュウ(鞘翅)	オサムシ	オオズケゴモクムシ	<i>Harpalus eous</i>								
86			マメゴモクムシ	<i>Stenolophus fulvicornis</i>								
87			ゲンゴロウ	クロズマゲンゴロウ	<i>Agabus conspicuus</i>							
88				クロゲンゴロウ	<i>Cybister brevis</i>			NT	NT			
89			タマムシ	ウメチビタマムシ	<i>Trachys inconspicuus</i>							
90			ゴミムシダマシ	コソナゴミムシダマシ	<i>Gonocephalum coriaceum</i>							
91			ハムシ	ウリハムシ	<i>Aulacophora indica</i>							
92				ヨモギハムシ	<i>Chrysolina aurichalcea</i>							
93				ルリマルノミハムシ	<i>Nonarthra cyanea</i>							
94	ハチ(膜翅)	ヒメバチ	ヒメバチ科	Ichneumonidae sp.								
95			アシフトコバチ	<i>Brachymeria lasus</i>								
96		アリ	アシナガアリ	<i>Aphaenogaster fulvelica</i>								
97			クロオアリ	<i>Camponotus japonicus</i>								
98			クロヤマアリ	<i>Formica japonica</i> (s.l.)								
99			トビイロケアリ	<i>Lasius japonicus</i>								
100		スズメバチ	ミカドツクリバチ	<i>Eumenes micado</i>								
101			フタモンアシナガバチ本土亜種	<i>Polistes chinensis antennalis</i>								
102			セグロアシナガバチ本土亜種	<i>Polistes jokahamae jokahamae</i>								○
103			オオスズメバチ	<i>Vespa mandarina</i>								
104			キイロスズメバチ	<i>Vespa similina</i>								○
105		ツチバチ	オオハラナガツチバチ	<i>Megacampsomeris grossa matsumurai</i>								
106			キングハラナガツチバチ	<i>Megacampsomeris prismatica</i>								
107		ミツバチ	ニホンミツバチ	<i>Apis cerana japonica</i>								
108			コマルハナバチ本土亜種	<i>Bombus ardens ardens</i>								
109			トラマルハナバチ本土亜種	<i>Bombus diversus diversus</i>								
110			オオマルハナバチ本土亜種	<i>Bombus hypocrita hypocrita</i>								
111		ムカシハナバチ	アシフトムカシハナバチ	<i>Colletes patellatus</i>								
112		コハナバチ	ズマルコハナバチ	<i>Lasiglossum affine</i>								
合計	12目	56科	112種	-	0種	0種	1種	1種	0種	0種	9種	4種
							合計:1種					



図 2.7-30 昆虫類個体写真 (108-2 : 宮地地区)

#### 4) 鳥類

本調査地区は鳥類調査を実施していないが、植物および昆虫類調査時に2目3科3種の鳥類が確認された(表 2.7-38)。希少種の確認はなかった。

調査地区内の水田地帯ではアオサギを、周囲の樹林地ではジョウビタキを、地区内を流れる山田川ではカワガラスを確認した。主に確認した種の個体写真を図 2.7-31 に示す。

表 2.7-38 確認した鳥類 (108-2 : 宮地地区)

No.	目名	科名	種名	学名	希少種選定基準					特定外来生物	広く見られた種	特徴的な種
					I	II	III	IV	V			
1	ベリカン	サギ	アオサギ	<i>Ardea cinerea</i>								
2	スズメ	ヒタキ	ジョウビタキ	<i>Phoenicurus aureoreus</i>								
3		カワガラス	カワガラス	<i>Cinclus pallasii</i>								○
合計	2目	3科	3種	-	0種	0種	0種	0種	0種	0種	0種	1種
					合計:0種							

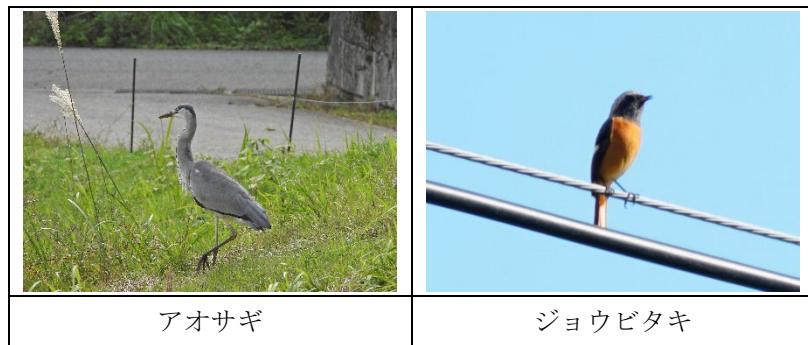


図 2.7-31 鳥類個体写真 (108-2 : 宮地地区)

#### 5) 両生類・爬虫類・哺乳類

両生類は2目3科3種、爬虫類は1目2科2種、哺乳類は2目2科2種が確認された(表 2.7-39~表 2.7-41)。その内、希少種である両生類を1種確認した。

調査地区を象徴する水田地帯を中心とした里山環境では、アカハライモリ、ニホンアマガエル、ニホンアカガエル、ニホンカナヘビ、イノシシなどの湿地環境や草地環境を好む種が見られた。調査地区の周囲の樹林やその林縁ではヤマカガシやタヌキなどの樹林環境を好む種も見られた。

主に確認した種の個体写真を図 2.7-32 に示す。

表 2.7-39 確認した両生類 (108-2 : 宮地地区)

No.	目名	科名	種名	学名	希少種選定基準					特定外来生物	広く見られた種	特徴的な種
					I	II	III	IV	V			
1	有尾	イモリ	アカハライモリ	<i>Cynops pyrrhogaster</i>			NT					○
2	無尾	アマガエル	ニホンアマガエル	<i>Dryophytes japonicus</i>								○
3		アカガエル	ニホンアカガエル	<i>Rana japonica</i>								
合計	2目	3科	3種	-	0種	0種	1種	0種	0種	0種	0種	1種
					合計:1種							

表 2.7-40 確認した爬虫類（108-2：宮地地区）

No.	目名	科名	種名	学名	希少種選定基準					特定外来生物	広く見られた種	特徴的な種
					I	II	III	IV	V			
1	有鱗	カナヘビ	ニホンカナヘビ	<i>Takydromus tachydromoides</i>								
2		ナミヘビ	ヤマカガシ	<i>Rhabdophis tigrinus</i>								
合計	1目	2科	2種	-	0種	0種	0種	0種	0種	0種	0種	0種
					合計:0種							

表 2.7-41 確認した哺乳類（108-2：宮地地区）

No.	目名	科名	種名	学名	希少種選定基準					特定外来生物	広く見られた種	特徴的な種
					I	II	III	IV	V			
1	ネコ(食肉)	イヌ	タヌキ	<i>Nyctereutes procyonoides</i>								
2	ウシ(偶蹄)	イノシシ	イノシシ	<i>Sus scrofa</i>							○	
合計	2目	2科	2種	-	0種	0種	0種	0種	0種	0種	1種	0種
					合計:0種							



図 2.7-32 両生類・爬虫類・哺乳類個体写真、痕跡写真（108-2：宮地地区）

## 6) 魚類

魚類は3目5科16種が確認された（表 2.7-42）。その内、希少種は4種であった。

調査地区を流れる山田川の下流域ではミミズハゼ、シマヨシノボリ、ゴクラクハゼなど、中～上流域ではスナヤツメ類、カワムツ、ニシシマドジョウなどが見られた。

主に確認した種の個体写真を図 2.7-33 に示す。

表 2.7-42 確認した魚類 (108-2 : 宮地地区)

No.	目名	科名	種名	学名	希少種選定基準					特定外 来生物	108-2 山田川				優占種	特徴的 な種	
					I	II	III	IV	V		下流	中流	上流	水路			
1	ヤツメウナギ	ヤツメウナギ	スナヤツメ類*1	<i>Lethenteron satoi</i> and/or <i>hattai</i> and/or <i>mitsukurii</i>			VU	VU/NT				5			○		
2	コイ	コイ	カワムツ	<i>Candidia temminckii</i>							2	5			○		
3			タカハヤ	<i>Rhynchocypris oxycephala</i>										1			
4			スゴモロコ属	<i>Squalidus</i> sp.								1					
5		ドジョウ	ニシシマドジョウ	<i>Cobitis</i> sp. BIWAE type B								4	7		○		
6	スズキ	カジカ	カマキリ	<i>Rheopresbe kazika</i>			VU				2						
7			カジカ	<i>Cottus pollux</i>			NT						1				
8			カジカ中卵型	<i>Cottus</i> sp.			EN	VU				2					
9		ハゼ	ミミズハゼ	<i>Luciogobius guttatus</i>								3				○	
10			マハゼ	<i>Acanthogobius flavimanus</i>								1					
11			シマヨシノボリ	<i>Rhinogobius nagovae</i>								13	5			○	
12			ルリヨシノボリ	<i>Rhinogobius mizunoi</i>									1				
13			ゴクラクハゼ	<i>Rhinogobius similis</i>								3					○
14			トウヨシノボリ種群	<i>Rhinogobius</i> sp. OR unidentified complex									2				
15			スミウキゴリ	<i>Gymnogobius petschiliensis</i>									1				
16	ウキゴリ	<i>Gymnogobius urotaenia</i>									1						
合計	3目	5科	16種	-	0種	0種	4種	2種	0種	0種	9種 28個体	7種 19個体	2種 12個体	1種 1個体	3種	5種	
					合計:4種					合計:16種							

\*1: ウチワスナヤツメ、ミナミスナヤツメ、キタスナヤツメのいずれかである。  
 ランクはキタスナヤツメ (環境省 VU、石川県 VU)、ミナミスナヤツメ (環境省 VU、石川県 NT) である。

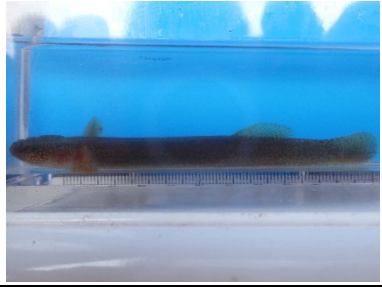
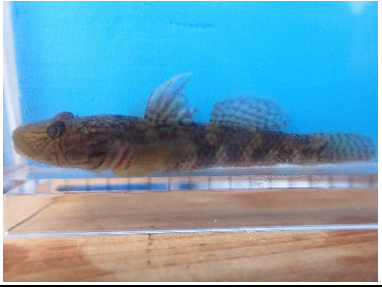



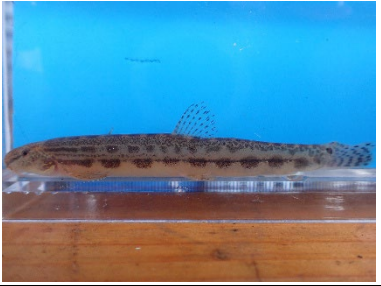
		
ミミズハゼ (山田川_下流)	シマヨシノボリ (山田川_下流)	ゴクラクハゼ (山田川_下流)
		
スナヤツメ類 (山田川_上流)	カワムツ (山田川_中流)	ニシシマドジョウ (山田川_中流)

図 2.7-33 魚類個体写真 (108-2 : 宮地地区)

## 2.7.9 110-3 (町野川と周辺の里地)

### (1) 結果

#### 1) 調査環境の概要

町野川周辺の平地に水田が広がり、部分的には山林と町野川が連続した箇所もみられる。町野川の護岸は部分的で、水際に湿地や低木林などが成立し、ワンド、たまりなど多様な環境が形成されている。奥能登地域では奇少な河川環境であり、河川と農耕地、山林が連続する豊かな生物相の基盤となる環境が維持されている。

#### 2) 植物

植物は74科181種が確認された(表2.7-43)。その内、希少種は4種であった。

調査地区に広がる水田地帯ではヒメミズワラビ、イボクサ、コナギ、サクラタデといった水田雑草が多く生育していた。そのような水田地帯には町野川が流れており、オギ、ツルヨシ、ネコヤナギ、カワヤナギといった河川の種が確認されている。河川は一部山林と接近して山付きとなっている区間があり、そのような場所ではリョウメンシダ、ケヤキ、ミヤマカタバミ、ワサビなど樹林性の種がみられた。

主に確認した種の個体写真を図2.7-34に示す。

表 2.7-43 確認した植物 (110-3 : 町野川と周辺の里地) (1)

No.	分類群	科名	種名	学名	希少種選定基準					特定外 来生物	広く見ら れた種	特徴的 な種
					I	II	III	IV	V			
1	大葉シダ植物	トクサ	スギナ	<i>Equisetum arvense</i>								○
2		ハナヤスリ	オオハナワラビ	<i>Botrychium japonicum</i>								
3		ゼンマイ	ゼンマイ	<i>Osmunda japonica</i>								
4		イノモトソウ	クジャクシダ	<i>Adiantum pedatum</i>								
5			ヒメミスワラビ	<i>Ceratopteris gaudichaudii</i> var. <i>vulgaris</i>								○
6			オオバノイノモトソウ	<i>Pteris cretica</i>					NT			
7			ヒメシダ	<i>Thelypteris pozoi</i> ssp. <i>mollissima</i>								
8			メシダ	<i>Anisocampium niponicum</i>								
9			シケシダ	<i>Debaria japonica</i>								○
10			キョウタキシダ	<i>Diplazium squamigerum</i>								
11			リョウメンシダ	<i>Arachniodes standishii</i>								○
12			ヤブノテツ	<i>Cyrtomium fortunei</i> var. <i>fortunei</i>								
13			ヤマイタチシダ	<i>Dryopteris bissetiana</i>								
14			ベニシダ	<i>Dryopteris erythrosora</i>								
15			クマワラビ	<i>Dryopteris lacera</i>								
16			オクマワラビ	<i>Dryopteris uniformis</i>								
17			イノデ	<i>Polystichum polyblepharon</i>								○
18			ウラボシ	ノキシノブ	<i>Lepisorus thunbergianus</i>							
19	裸子植物	ヒノキ	スギ	<i>Cryptomeria japonica</i> var. <i>japonica</i>							○	
20			ヒノキアスナロ※1	<i>Thuopsis dolabrata</i> var. <i>hondae</i>					VU			
21			イチイ	<i>Cephalotaxus harringtonia</i> var. <i>nana</i>								
22			チャボガヤ	<i>Torreya nucifera</i> var. <i>radicans</i>								
23	被子植物-基部被子植物	ドクダミ	ドクダミ	<i>Houttuynia cordata</i>								
24		クスノキ	オオバクロモジ	<i>Lindera umbellata</i> var. <i>membranacea</i>								
25			シロダモ	<i>Neolitsea sericea</i> var. <i>sericea</i>								
26	被子植物-単子葉植物	サトイモ	カラスビシャク	<i>Pinellia ternata</i>								
27			ウケクサ	<i>Spirodela nohrhiza</i>								
28			オモダカ	<i>Sagittaria trilobata</i>								
29			ヤマノイモ	<i>Dioscorea septemloba</i>								
30				<i>Dioscorea tokoro</i>								
31			サルトリイバラ	<i>Smilax china</i> var. <i>china</i>								
32			ラン	エビ茶属※2				※3	※3			
33				サイハイラン	<i>Cremastra variabilis</i>							
34			クサスギカズラ	ナガバジャノヒゲ	<i>Ophiopogon japonicus</i> var. <i>umbrosus</i>							
35			ヤシ	シュロ	<i>Trachycarpus fortunei</i>							
36		ツククサ	ツククサ(広義)	<i>Commelina communis</i>								
37			イボクサ	<i>Murdannia keisak</i>								
38		ミスズオイ	コナギ	<i>Monochoria vaginalis</i>								
39		ショウガ	ショウガ	<i>Zingiber mioga</i>								
40		カヤツリグサ	コメガヤツリ	<i>Cyperus iria</i>								
41			ヒデリコ	<i>Fimbristylis littoralis</i>								
42		イネ	マリケンカルカヤ	<i>Andropogon virginicus</i>								
43			コブナグサ	<i>Arthraxon hispidus</i>								
44			メヒシバ	<i>Digitaria ciliaris</i>								
45			アキメヒシバ	<i>Digitaria violascens</i>								
46			イヌビエ	<i>Echinochloa crus-galli</i>								
47			オヒシバ	<i>Eleusine indica</i>								
48			カゼクサ	<i>Eragrostis ferruginea</i>								
49			チガヤ	<i>Imperata cylindrica</i> var. <i>koenigii</i>								
50			サヤスカグサ	<i>Leersia savanuka</i>								
51			ササガヤ	<i>Leptatherum japonicum</i>								
52			オギ	<i>Miscanthus sacchariflorus</i>								
53			ススキ	<i>Miscanthus sinensis</i>								
54			コチヂミザサ	<i>Oplismenus undulatifolius</i> var. <i>japonicus</i>								
55			ケチヂミザサ	<i>Oplismenus undulatifolius</i> var. <i>undulatifolius</i>								
56			オオクサキビ	<i>Panicum dichotomiflorum</i>								
57			チカラシバ	<i>Pennisetum alopecuroides</i>								
58			クサヨシ	<i>Phalaris arundinacea</i>								
59			ツルヨシ	<i>Phragmites japonicus</i>								
60			マダケ	<i>Phyllostachys reticulata</i>								
61			メダケ	<i>Pleioblastus simonii</i>								
62			クマイザサ	<i>Sasa senanensis</i>								
63			アキノエノコログサ	<i>Setaria faberi</i>								
64			コツクサキエノコロ	<i>Setaria pallidifusca</i>								
65			キンエノコロ	<i>Setaria pumila</i>								
66	被子植物-真正双子葉植物	アケビ	アケビ	<i>Akebia quinata</i>								
67			ミツバアケビ	<i>Akebia trifoliata</i> ssp. <i>trifoliata</i>								
68			ツツラフジ	アオツツラフジ	<i>Cocculus trilobus</i>							
69			キンボウケ	ボタンブル	<i>Clematis apifolia</i> var. <i>apifolia</i>							
70				アキカラマツ	<i>Thalictrum minus</i> var. <i>hypoleucum</i>							
71			ベンケイソウ	ツルマンネングサ	<i>Sedum sarmentosum</i>							
72			ブドウ	ノブドウ	<i>Ampelopsis glandulosa</i> var. <i>heterophylla</i>							
73				ヤブカラシ	<i>Cavratia japonica</i>							
74			マメ	ネムノキ	<i>Albizia julibrissin</i> var. <i>julibrissin</i>							
75				ヤブマメ	<i>Amphicarpa edgeworthii</i>							
76			ヤブハギ	<i>Hydodesmum nodocarpum</i> ssp. <i>oxyphyllum</i> var. <i>mandshuricum</i>								



表 2.7-43 確認した植物（110-3：町野川と周辺の里地）（3）

No.	分類群	科名	種名	学名	希少種選定基準					特定外来生物	広く見られた種	特徴的な種
					I	II	III	IV	V			
178	被子植物-真正双子葉植物	ウコギ	キツタ	<i>Hedera rhombea</i>								
179			ノチドメ	<i>Hydrocotyle maritima</i>								
180		セリ	<i>Oenanthe javanica ssp. javanica</i>								○	
181		スイカズラ	オトコエシ	<i>Patrinia villosa</i>								
合計	-	74科	181種	-	0種	0種	1種	4種	0種	1種	22種	14種

※1 ヒノキアスナロは現地の状況および「石川県の絶滅のおそれのある野生生物 いしかわレッドデータブック 2020 植物編」(石川県, 2020年)の分布情報から、植林もしくはそれに由来するものと考えられるが、種としては選定基準に該当するため重要種として扱った。  
 ※2 「石川県植物目録 2020(維管束植物)」(石川県絶滅危惧植物調査会および石川県地域植物研究会,2020)の分布情報から、エビネ、キンセイラン、ナツエビネ、サルメンエビネのいずれかである可能性が高いと考えられる。これらは重要種選定基準に該当するため、エビネ属を重要種として扱った。  
 ※3 ランクはエビネ（環境省 NT、石川県 VU）、キンセイラン（環境省 VU、石川県 EN）、ナツエビネ（環境省 VU、石川県 VU）、サルメンエビネ（環境省 VU、石川県 EN）である。

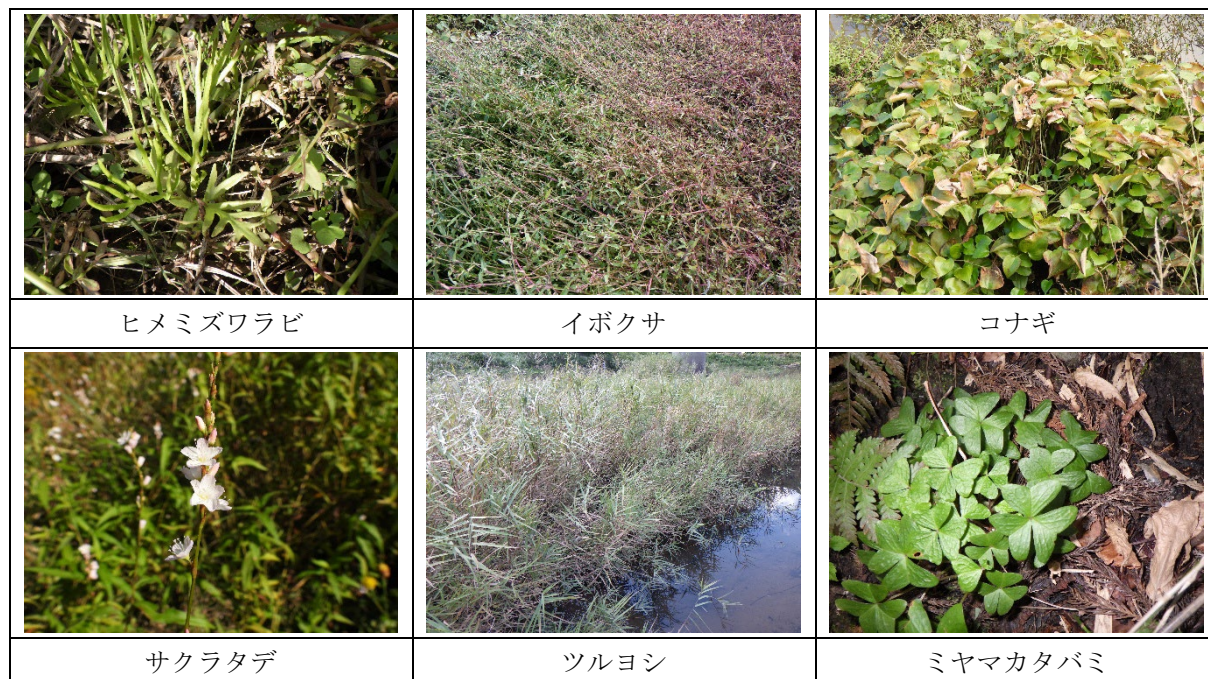


図 2.7-34 植物個体写真（110-3：町野川と周辺の里地）

### 3) 昆虫類

昆虫類は 11 目 62 科 119 種が確認された（表 2.7-44）。その内、希少種は 1 種であった。

調査地区を象徴する広い水田地帯では、シオカラトンボやアキアカネ、ノシメトンボ、コシマゲンゴロウ、コガムシなどの湿地環境を好む種、ウスイロササキリ、コバネイナゴ、ホソハリカメムシなどの耕作地を好む種が多く見られた。調査地区内を流れる町野川ではハグロトンボやツノカクツツトビケラなどの流水環境を好む種が見られた。河川周囲の法面では、チョウセンカマキリやマルカメムシ、キタキチョウなどの明るい草地環境を好む種が見られた。

主に確認した種の個体写真を図 2.7-35 に示す。



表 2.7-44 確認した昆虫類 (110-3 : 町野川と周辺の里地) (2)

No.	目名	科名	種名	学名	希少種選定基準					特定外来生物	広く見られた種	特徴的な種			
					I	II	III	IV	V						
65	チョウ(鱗翅)	ハマキモドキガ	コウソハマキモドキ	<i>Choreutis hyligenes</i>											
-			Choreutis属	<i>Choreutis</i> sp.											
66			セセリチョウ	イチモンジセセリ	<i>Parnara guttata guttata</i>										
67				チャバネセセリ	<i>Pelopidas mathias oberthueri</i>										
68			シジミチョウ	ウラナシジミ	<i>Lampides boeticus</i>										
69				ヤマトシジミ本土亜種	<i>Zizeeria maha argia</i>								○		
70			タテハチョウ	キタテハ	<i>Polygonia c-aureum c-aureum</i>										
71				アカタテハ	<i>Vanessa indica indica</i>										
72			シロチョウ	モンキチョウ	<i>Collas erate polio-grapha</i>										
73				キタキチョウ	<i>Eurema mandarina</i>								○		
74				モンシロチョウ	<i>Pieris rapae crucivora</i>										
75			ツトガ	マノメイガ	<i>Maruca vitrata</i>										
76				ワモンノメイガ	<i>Nomophila noctuella</i>										
77				シロオビノメイガ	<i>Spoladea recurvalis</i>										
78			シヤクガ	キマダラオオナミシヤク	<i>Gandaritis fixseni</i>										
79			ヤガ	ナカグロクチバ	<i>Grammodes geometrica</i>										
80			ハエ(双翅)	ヒメガガンボ	クチナガガガンボ	<i>Elephantomyia hokkaidensis</i>									
81					ハナアブ	シマハナアブ	<i>Eristalis cerealis</i>								
82						キアシマヒラタアブ	<i>Paragus haemorrhous</i>								
-		Paragus属			<i>Paragus</i> sp.										
83		オオハナアブ			<i>Phytomyia zonata</i>										
84		ホソヒメヒラタアブ			<i>Sphaerophoria macrogaster</i>										
85		ナミルリイロハラナガハナアブ			<i>Xylota amamiensis</i>										
86	クロバエ	ツマグロキンバエ			<i>Stomorphina obsoleta</i>										
87	イエバエ	Coenosia属			<i>Coenosia</i> sp.										
88		ヒメセマダライエバエ			<i>Graphomya ruffitibia</i>										
89	ニクバエ	ニクバエ科			Sarcophagidae sp.										
90	ヤドリバエ	ヤドリバエ科			Tachinidae sp.										
91	コウチュウ(鞘翅)	オサムシ			Amara属	<i>Amara</i> sp.									
92					ゴミムシ	<i>Anisodactylus signatus</i>									
93			オオズケゴモクムシ	<i>Harpalus eous</i>											
94			ヒメケゴモクムシ	<i>Harpalus jureceki</i>											
95			ゲンゴロウ	クロズマメゲンゴロウ	<i>Agabus conspicuus</i>										
96				ハイイロゲンゴロウ	<i>Eretes griseus</i>								○		
97				コシマゲンゴロウ	<i>Hydaticus grammicus</i>								○		
98				ヒメゲンゴロウ	<i>Rhantus suturalis</i>										
99			ガムシ	コガムシ	<i>Hydrochara affinis</i>				DD	VU			○		
100			シデムシ	オオヒラタシデムシ	<i>Eusilpha japonica</i>										
101			コムシ	サビキコリ	<i>Agrypnus binodulus binodulus</i>										
102			デントウムシ	ナナホシデントウ	<i>Coccinella septempunctata</i>										
103				ナミデントウ	<i>Harmonia axyridis</i>										
104				ヒメカメノコデントウ	<i>Propylea japonica</i>										
105			ケンキスイ	キイロセマルケンキスイ	<i>Cvchramus lutens</i>										
106			ゴミムシダマシ	コスナゴミムシダマシ	<i>Gonocephalum coriaceum</i>										
107			ハムシ	ヨモギハムシ	<i>Chrysolina aurichalcea</i>										
108				ホタルハムシ	<i>Monolepta dichroa</i>										
109				ダイコンサルハムシ	<i>Phaedon brassicae</i>										
110	ハチ(膜翅)	ハバチ	オスグロハバチ	<i>Dolerus japonicus</i>											
111			ヒメバチ	ヒメバチ科	Ichneumonidae sp.										
112			アリ	クロヤマアリ	<i>Formica japonica</i> (s.l.)										
113				トビイロケアリ	<i>Lasius japonicus</i>										
114			スズメバチ	セグロアシナガバチ本土亜種	<i>Polistes jokahamae jokahamae</i>								○		
115				キアシナガバチ本土亜種	<i>Polistes rothnevi iwatai</i>										
116				フトカギチビドロバチ	<i>Stenodynerus clypeopictus</i>										
117				キイロスズメバチ	<i>Vespa similima</i>										
118			ミツバチ	ニホンミツバチ	<i>Apis cerana japonica</i>										
119				トラマルハナバチ本土亜種	<i>Bombus diversus diversus</i>										
合計	11目	62科	119種	-	0種	0種	1種	1種	0種	0種	17種	7種			
					合計:1種										







		
チョウセンカマキリ	アカタテハ	キタテハ
		
シオカラトンボ	コガムシ	セグロアシナガバチ本土亜種

図 2.7-35 昆虫類個体写真 (110-3 : 町野川と周辺の里地)

#### 4) 鳥類

鳥類は 8 目 20 科 37 種が確認された (表 2.7-45)。その内、希少種は 1 種であった。

調査地区を象徴する広い水田では、セグロセキレイやハシボソガラス、ツグミ、カワラヒワなどが見られ、休耕地ではスズメが多かったほかホオジロなどが見られた。調査地区内を流れる町野川ではカイツブリやカワセミ、セグロセキレイなどの水辺に生息する種が見られた。周辺の樹林と林縁周辺では、ウグイスやメジロ、マヒワなどが見られた。

主に確認した種の個体写真を図 2.7-36 に示す。

表 2.7-45 確認した鳥類 (110-3 : 町野川と周辺の里地)

No.	目名	科名	種名	学名	希少種選定基準					特定外来生物	広く見られた種	特徴的な種
					I	II	III	IV	V			
1	カモ	カモ	マガモ	<i>Anas platyrhynchos</i>								
2	キジ	キジ	キジ	<i>Phasianus versicolor</i>								
3	カイツブリ	カイツブリ	カイツブリ	<i>Tachybaptus ruficollis</i>								○
4	ペリカン	サギ	アオサギ	<i>Ardea cinerea</i>								
5			ダイサギ	<i>Ardea alba</i>								
6	タカ	タカ	ハイタカ	<i>Accipiter nisus</i>			NT	NT				
7			トビ	<i>Milvus migrans</i>								
8	ブッポウソウ	カワセミ	カワセミ	<i>Alcedo atthis</i>								
9	キツツキ	キツツキ	ユゲラ	<i>Yungipicus kizuki</i>								
10			アカゲラ	<i>Dendrocopos major</i>								
11			アオゲラ	<i>Picus awokera</i>								
12	スズメ	モズ	モズ	<i>Lanius bucephalus</i>								
13		カラス	ハシボソガラス	<i>Corvus corone</i>								
14			ハシブトガラス	<i>Corvus macrorhynchos</i>								
15		シジュウカラ	ヒガラ	<i>Periparus ater</i>								
16			ヤマガラ	<i>Sittiparus varius</i>								
17			シジュウカラ	<i>Parus cinereus</i>								
18		ヒヨドリ	ヒヨドリ	<i>Hypsipetes amaurotis</i>								
19		ウグイス	ウグイス	<i>Horornis diphone</i>								
20		メジロ	メジロ	<i>Zosterops japonicus</i>								○
21		キクイタダキ	キクイタダキ	<i>Regulus regulus</i>								
22		ツグミ	シロハラ	<i>Turdus pallidus</i>								
23			アカハラ	<i>Turdus chrysolaus</i>								
24			ツグミ	<i>Turdus eunomus</i>								
25		ヒタキ	ルリビタキ	<i>Tarsiger cyanurus</i>								
26			ジョウビタキ	<i>Phoenicurus aureus</i>								
27		スズメ	スズメ	<i>Passer montanus</i>							○	
28		セキレイ	キセキレイ	<i>Motacilla cinerea</i>								
29			ハクセキレイ	<i>Motacilla alba</i>								
30			セグロセキレイ	<i>Motacilla grandis</i>							○	○
31		アトリ	アトリ	<i>Fringilla montifringilla</i>								
32			シメ	<i>Coccothraustes coccothraustes</i>								
33			カワラヒワ	<i>Chloris sinica</i>								
34			マヒワ	<i>Spinus spinus</i>								
35		ホオジロ	ホオジロ	<i>Emberiza cioides</i>							○	
36			カシラダカ	<i>Emberiza rustica</i>								
37			ミヤマホオジロ	<i>Emberiza elegans</i>								
合計	8目	20科	37種	-	0種	0種	1種	1種	0種	0種	3種	3種
					合計:1種							

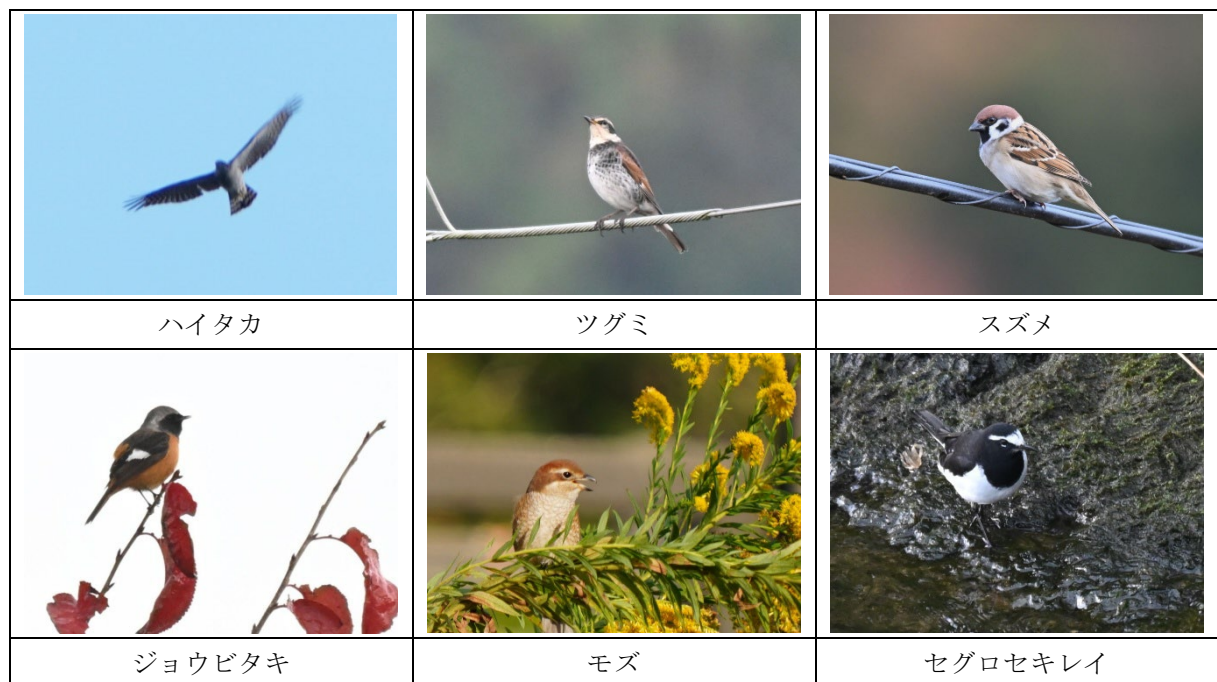


図 2.7-36 鳥類個体写真 (110-3 : 町野川と周辺の里地)

5) 両生類・爬虫類・哺乳類

両生類は1目3科4種、爬虫類は1目1科1種、哺乳類は2目5科6種が確認された(表2.7-46~表2.7-48)。希少種の確認はなかった。

調査地区を象徴する広い水田地帯では、ニホンアマガエル、ツチガエル、ハクビシン、イノシシなどの湿地環境、耕作地を好む種が見られた。調査地区内を流れる町野川ではアライグマの足跡が見られ、河川堤防法面の草地では、シマヘビなどの明るい草地環境を好む種も見られた。

主に確認した種の個体写真を図2.7-37に示す。

表 2.7-46 確認した両生類 (110-3 : 町野川と周辺の里地)

No.	目名	科名	種名	学名	希少種選定基準					特定外来生物	広く見られた種	特徴的な種
					I	II	III	IV	V			
1	無尾	アマガエル	ニホンアマガエル	<i>Dryophytes japonicus</i>							○	
2		アカガエル	ニホンアカガエル	<i>Rana japonica</i>								
3		ツチガエル	ツチガエル	<i>Glandirana rugosa</i>								
4		アオガエル	シュレーゲルアオガエル	<i>Zhangixalus schlegelii</i>								○
合計	1目	3科	4種	-	0種	0種	0種	0種	0種	0種	1種	1種
					合計:0種							

表 2.7-47 確認した爬虫類 (110-3 : 町野川と周辺の里地)

No.	目名	科名	種名	学名	希少種選定基準					特定外来生物	広く見られた種	特徴的な種
					I	II	III	IV	V			
1	有鱗	ナミヘビ	シマヘビ	<i>Elaphe quadrivirgata</i>								
合計	1目	1科	1種	-	0種	0種	0種	0種	0種	0種	0種	0種
					合計:0種							

表 2.7-48 確認した哺乳類 (110-3 : 町野川と周辺の里地)

No.	目名	科名	種名	学名	希少種選定基準					特定外来生物	広く見られた種	特徴的な種
					I	II	III	IV	V			
1	ネコ(食肉)	アライグマ	アライグマ	<i>Procyon lotor</i>						○		○
2		イヌ	タヌキ	<i>Nyctereutes procyonoides</i>							○	
3		キツネ	キツネ	<i>Vulpes vulpes</i>								
4		イタチ	ニホンイタチ	<i>Mustela itatsi</i>								○
5		ジャコウネコ	ハクビシン	<i>Paguma larvata</i>								
6	ウシ(偶蹄)	イノシシ	イノシシ	<i>Sus scrofa</i>							○	
合計	2目	5科	6種	-	0種	0種	0種	0種	0種	1種	2種	2種
					合計:0種							



図 2.7-37 両生類・爬虫類・哺乳類個体写真、痕跡写真 (110-3 : 町野川と周辺の里地)

## 6) 魚類

魚類は3目5科12種が確認された(表 2.7-49)。その内、希少種は4種であった。

調査地区を流れる町野川の水際植生部では、オイカワやカワムツ、礫底ではシマヨシノボリが多く見られた。町野川に流入する水路では、ミナミアカヒレタビラやキタノメダカなども見られた。

主に確認した種の個体写真を図 2.7-38 に示す。

表 2.7-49 確認した魚類 (110-3 : 町野川と周辺の里地)

No.	目名	科名	種名	学名	希少種選定基準					特定外 来生物	110-3						流入	優占種	特徴的 な種
					町野川														
					中流														
I	II	III	IV	V	1	2	3	4	5	ワンド									
1	コイ	コイ	ミナミアカヒレタビラ	<i>Acheilognathus tabira jordani</i>			CR	NT							10		○		
2			オイカワ	<i>Opsariichthys platypus</i>							1	21	30	9	3		○		
3			カワムツ	<i>Candidia temminckii</i>						23	54	37	18	31	3		○		
4			タモロコ	<i>Gnathopogon elongatus elongatus</i>											2	1			
5		ドジョウ	ドジョウ	<i>Misgurnus anguillicaudatus</i>			NT				1				1				
6			ニシシマドジョウ	<i>Cobitis</i> sp. BIWAE type B										2	1	5			
7	ダツ	メダカ	キタノメダカ	<i>Orzias sakaizumii</i>			VU									4			
8	スズキ	カジカ	カジカ	<i>Cottus pollux</i>			NT						1						
9		ハゼ	シマヨシノボリ	<i>Rhinogobius nagoyae</i>						8	12	4	9	7			○		
10			ゴクラクハゼ	<i>Rhinogobius similis</i>						1						1			
11			トウヨシノボリ種群	<i>Rhinogobius</i> sp. OR unidentified complex						1	1		1	2		3			
12			シマウキゴリ	<i>Gymnogobius operiens</i>						1									
合計	3目	5科	12種	-	0種	0種	4種	1種	0種	0種	5種	5種	3種	5種	5種	5種	6種		
					合計:4種					0種	34個体	69個体	62個体	59個体	51個体	10個体	24個体	3種	4種
											合計:12種								



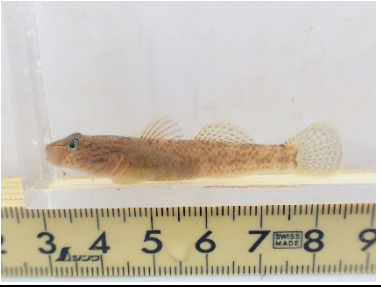


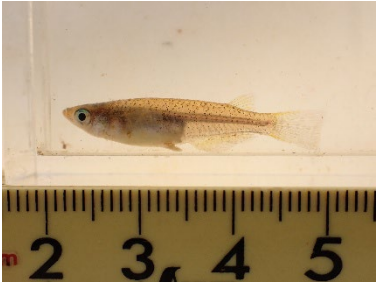
		
オイカワ (町野川_中流)	カワムツ (町野川_中流)	シマヨシノボリ (町野川_中流)
		
カジカ (町野川_中流)	ミナミアカヒレタビラ (町野川_流入)	キタノメダカ (町野川_流入)

図 2.7-38 魚類個体写真 (110-3 : 町野川と周辺の里地)

## 2.7.10 113-1 (洲衛)

### 1) 調査環境の概要

人工林と広葉樹林から成る混交林が広がり、林床はササに覆われている箇所もある。水田と林から構成された山間地域である。三面護岸の水路は緩やかに流れ、ヨシノボリ等の魚類の生息が見込まれる。水田は水路から水の供給があり、稲の収穫後も水場が残っている。耕作地には電気柵があり、耕作放棄地には電気柵がない。

### 2) 植物

植物は91科239種が確認された(表2.7-50)。その内、希少種は1種であった。

調査地区に広がる水田地帯ではオモダカ、コナギ、ヒナガヤツリ、トキンソウといった水田雑草や湿った場所を好むユウガギク、ヨメナなどが生育していた。湿地状になった休耕田ではイグサ、カンガレイ、ボントクタデ、サワヒヨドリといった湿生植物が多く確認されている。また、水田地帯の周辺にはスギ植林や広葉樹二次林が発達しており、樹林内ではリョウメンシダ、コナラ、コハウチワカエデ、ムラサキシキブ、クルマバハグマなどがみられている。

主に確認した種の個体写真を図2.7-39に示す。

表 2.7-50 確認した植物 (113-1 : 洲衛) (1)

No.	分類群	科名	種名	学名	希少種選定基準					特定外 来生物	広く見ら れた種	特徴的 な種
					I	II	III	IV	V			
1	ヒカゲノカズラ類 大葉シダ植物	ヒカゲノカズラ	トウゲシバ(広義)	<i>Huperzia serrata</i>								
2		トクサ	スギナ	<i>Equisetum arvense</i>								
3		ゼンマイ	ゼンマイ	<i>Osmunda japonica</i>								
4		コバノイシカゲマ	ワラビ	<i>Pteridium aquilinum</i> ssp. <i>japonicum</i>							○	
5		チャセンシダ	トラノオシダ	<i>Asplenium incisum</i>								
6		ヒメシダ	ハリガネワラビ	<i>Thekpteris japonica</i>								
7			ヤワラシダ	<i>Thekpteris laxa</i>								
8			ヒメシダ	<i>Thekpteris palustris</i>								
9			ミノシダ	<i>Thekpteris pozoi</i> ssp. <i>mollissima</i>							○	
10			コウヤワラビ	イヌガンソク	<i>Onoclea orientalis</i>							
11			シシガシラ	シシガシラ	<i>Blechnum niponicum</i>							
12			メシダ	イヌワラビ	<i>Anisocampium niponicum</i>							
13				ヤマイヌワラビ	<i>Athyrium vidalii</i>							
14				シケシダ	<i>Deparia japonica</i>							
15			オシダ	ホソバナライシダ	<i>Arachniodes borealis</i>							
16				リョウメンシダ	<i>Arachniodes standishii</i>							○
17				ベニシダ	<i>Dryopteris erythrosora</i>							○
18				サカゲイノデ	<i>Polystichum retrosopaleaceum</i>							
19				ジュウモンジシダ	<i>Polystichum tripterum</i>							
20	裸子植物	マツ	モミ	<i>Abies firma</i>								
21			アカマツ	<i>Pinus densiflora</i>								
22			ヒノキ	<i>Chamaecyparis obtusa</i>								
23				スギ	<i>Cryptomeria japonica</i> var. <i>japonica</i>							○
24				ヒノキアスナロ※1	<i>Thuopsis dolabrata</i> var. <i>hondae</i>				VU			
25	被子植物-基部被子植物	ドクダミ	ドクダミ	<i>Houttuynia cordata</i>								
26		モクレン	ホオノキ	<i>Magnolia obovata</i>								
27			ダムシバ	<i>Magnolia salicifolia</i>								
28			クスノキ	オオバクロモジ	<i>Lindera umbellata</i> var. <i>membranacea</i>							
29	被子植物-単子葉植物	サトイモ	カラスビシャク	<i>Pinellia ternata</i>								
30		オモダカ	ヘラオモダカ	<i>Alisma canaliculatum</i>								
31			オモダカ	<i>Sagittaria trilobata</i>								○
32			ヤマノイモ	ヤマノイモ	<i>Dioscorea japonica</i>							
33				オニドコロ	<i>Dioscorea tokoro</i>							
34			イヌサフラン	チゴユリ	<i>Disporum smilacinum</i>							
35			サルトリイバラ	サルトリイバラ	<i>Smlax china</i> var. <i>china</i>							
36				ダチシオデ	<i>Smlax nipponica</i>							
37			ラン	シュンラン	<i>Cymbidium goeringii</i>							○
38			アヤメ	シャガ	<i>Iris japonica</i>							
39			ヒガンバナ	ノビル	<i>Allium macrostemon</i>							
40			クサスギカズラ	オオバギボウシ	<i>Hosta sieboldiana</i>							
41				ナガバシヤルヒゲ	<i>Ophiopogon japonicus</i> var. <i>umbrosus</i>							
42				ミヤマナルコユリ	<i>Polygonatum lasianthum</i>							
43			ツユクサ	ツユクサ(広義)	<i>Commelina communis</i>							
44			イボクサ	<i>Murdannia keiskei</i>								
45		ミスアオイ	コナギ	<i>Monochoria vaginalis</i>							○	
46		ショウガ	ショウガ	<i>Zingiber mioga</i>								
47		ガマ	ガマ	<i>Typha latifolia</i>								
48		イグサ	イグサ	<i>Juncus decipiens</i>							○	
49			コウガイゼキショウ	<i>Juncus prismatocarpus</i> ssp. <i>Jeschenautilii</i>							○	
50			ハリコウガイゼキショウ	<i>Juncus wallichianus</i>								
51	カヤツリグサ	ナキリスゲ	ナキリスゲ	<i>Carex lenta</i>								
52			タガネソウ	<i>Carex siderosticta</i>								
53			ヒメクグ	<i>Cyperus brevifolius</i> var. <i>leiolensis</i>								
54			タマガヤツリ	<i>Cyperus difformis</i>								
55			ヒナガヤツリ	<i>Cyperus flaccidus</i>								○
56			カヤツリグサ	カヤツリグサ	<i>Cyperus microiria</i>							
57			ウシクグ	ウシクグ	<i>Cyperus orthostachyus</i>							
58			マツバイ	マツバイ	<i>Eleocharis acicularis</i> var. <i>longiseta</i>							
59			ヒメヒラテンツキ	ヒメヒラテンツキ	<i>Fimbristylis autumnalis</i>							
60			ホタルイ	ホタルイ	<i>Schoenoplectiella hotarui</i>							
61			カンガレイ	カンガレイ	<i>Schoenoplectiella triangulata</i>							○
62			サンカクイ	サンカクイ	<i>Schoenoplectus triquetar</i>							○
63			アブラガヤ	アブラガヤ	<i>Scirpus wichurae</i>							
64	イネ	ズリケンカルカヤ	ズリケンカルカヤ	<i>Andropogon virginicus</i>								
65			コブナグサ	<i>Arthraxon hispidus</i>								
66			トダシバ(広義)	トダシバ(広義)	<i>Arundinella hirta</i>							
67			メシバ	メシバ	<i>Digitaria ciliaris</i>							
68			アブラススキ	アブラススキ	<i>Eccoilopus cotulifer</i>							
69			イヌビエ	イヌビエ	<i>Echinochloa crus-galli</i>							
70			カゼクサ	カゼクサ	<i>Eragrostis ferruginea</i>							
71			チゴザサ	チゴザサ	<i>Isachne globosa</i>							○
72			エゾノサヤヌカグサ	エゾノサヤヌカグサ	<i>Leersia oryzoides</i>							
73			ササガヤ	ササガヤ	<i>Leptatherum japonicum</i>							



表 2.7-50 確認した植物 (113-1 : 洲衛) (3)

No.	分類群	科名	種名	学名	希少種選定基準					特定外来生物	広く見られた種	特徴的な種
					I	II	III	IV	V			
171	被子植物-真正双子葉植物	ハイノキ	タンナサワフタギ	<i>Symplocos coreana</i>								
172		エゴノキ		<i>Styrax japonicus</i>								
173		マダタビ	サルナシ	<i>Actinidia arguta</i> var. <i>arguta</i>								
174		リョウブ	リョウブ	<i>Clethra barbinervis</i>								
175		ツツジ	ヤマツツジ	<i>Rhododendron kaempferi</i> var. <i>kaempferi</i>								
176			ウスノキ	<i>Vaccinium hirtum</i> var. <i>pubescens</i>								
177		アオキ	ヒメアオキ	<i>Aucuba japonica</i> var. <i>borealis</i>								
178		アカネ	ツルアリドオン	<i>Mitchella undulata</i>								
179			オオハシカグサ	<i>Neanotis hirsuta</i> var. <i>glabra</i>								
180			ヘクソカズラ	<i>Paederia foetida</i>								
181		リンドウ	ツルリンドウ	<i>Tripterospermum japonicum</i>								
182		キョウチクトウ	ツルニチニチソウ	<i>Vinca major</i>								
183		ヒルガオ	ヒルガオ	<i>Calystegia pubescens</i>								
184		ムラサキ	ハナイバナ	<i>Bothriospermum zeylanicum</i>								
185		モクセイ	アオダモ	<i>Fraxinus lanuginosa</i> f. <i>serrata</i>								
186			マルバアオダモ	<i>Fraxinus sieboldiana</i>								
187		オオバコ	オオバコ	<i>Plantago asiatica</i> var. <i>asiatica</i>								
188			オオイヌノフグリ	<i>Veronica persica</i>								
189		アゼナ	アメリカアゼナ	<i>Lindernia dubia</i> ssp. <i>major</i>								
190		シソ	ムラサキシキブ	<i>Callicarpa japonica</i> var. <i>japonica</i>							○	○
191			ヤマクマバナ	<i>Clinopodium chinense</i> ssp. <i>glabrescens</i>								
192			カキドオシ	<i>Glechoma hederacea</i> ssp. <i>grandis</i>								
193			ヤマハッカ	<i>Isodon inflexus</i>								
194			ヒメオドリコソウ	<i>Lamium purpureum</i>								
195			ヒメジソ	<i>Mosla dianthera</i>							○	
196		ハエドクソウ	ナガバハエドクソウ	<i>Phryma oblongifolia</i>								
197		モチノキ	ハイイヌツゲ	<i>Ilex crenata</i> var. <i>radicans</i>								
198			アオハダ	<i>Ilex macrospora</i>								
199			ソコゴ	<i>Ilex pedunculosa</i>							○	
200		キキョウ	ツリガネニンジン	<i>Adenophora triphylla</i> var. <i>japonica</i>								
201		キク	オクモミジハグマ	<i>Ainsliaea acerifolia</i> var. <i>subapoda</i>								
202			ヨモギ	<i>Artemisia indica</i> var. <i>maximowiczii</i>							○	
203			ニュウガク	<i>Aster iinuma</i>							○	
204			ノコンギク	<i>Aster microcephalus</i> var. <i>ovatus</i>							○	
205			シラヤマギク	<i>Aster scaber</i>							○	
206			ヨメナ	<i>Aster vomena</i> var. <i>vomena</i>							○	○
207			アメリカセンダングサ	<i>Bidens frondosa</i>							○	
208			トクシンソウ	<i>Centipeda minima</i>								○
209			アメリカタカサブロウ	<i>Eclipta alba</i>								
210			ヒメジョオン	<i>Erigeron annuus</i>								
211			サウビヨドリ	<i>Eupatorium lindleyanum</i>								○
212			ヒヨドリバナ(広義)	<i>Eupatorium makinoi</i>								
213			ブタナ	<i>Hypochaeris radicata</i>								
214			アキノノゲシ	<i>Lactuca indica</i> var. <i>indica</i>							○	
215			クルマバハグマ	<i>Pertusa rigidula</i>								○
216			フキ	<i>Petasites japonicus</i> var. <i>japonicus</i>								
217			コメナモミ	<i>Silesbeckia glabrescens</i>								
218			セイタカアワダチソウ	<i>Solidago altissima</i>							○	
219			アキノキリンソウ	<i>Solidago virgaurea</i> ssp. <i>asiatica</i> var. <i>asiatica</i>								
220			オニノゲシ	<i>Sonchus asper</i>								
221			ヤブレガサ	<i>Syneilesis palmata</i>								
222			セイウタンボボ	<i>Taraxacum officinale</i>								
223		ウコギ	ウド	<i>Aralia cordata</i>								
224			タラノキ	<i>Aralia elata</i>								
225			コシアブラ	<i>Chengiopanax sciadophylloides</i>							○	
226			ダカノツメ	<i>Gamblea innovans</i>								
227			キツタ	<i>Hedera rhombica</i>								
228			フチドメ	<i>Hydrocotyle maritima</i>								
229			オオチドメ	<i>Hydrocotyle ramiflora</i>								
230			ハリギリ	<i>Kalopanax septemlobus</i> ssp. <i>septemlobus</i>								
231		セリ	セリ	<i>Oenanthe javanica</i> ssp. <i>javanica</i>								
232		ガマズミ	ニワトコ	<i>Sambucus racemosa</i> ssp. <i>sieboldiana</i> var. <i>sieboldiana</i>								
233			ガマズミ	<i>Viburnum dilatatum</i>								
234			コバノガマズミ	<i>Viburnum erosum</i>							○	○
235			オオカメノキ	<i>Viburnum furcatum</i>								
236			ミヤマガマズミ	<i>Viburnum wrightii</i> var. <i>wrightii</i>								
237		スイカズラ	スイカズラ	<i>Lonicera japonica</i>								
238			オトコエシ	<i>Patrinia villosa</i>								
239			タニウツギ	<i>Weigela hortensis</i>								
合計	-	91科	239種	-	0種	0種	0種	1種	0種	0種	28種	17種

※1 ヒノキアスナロは現地の状況および「石川県の絶滅のおそれのある野生生物 いしかわレッドデータブック 2020 植物編」(石川県, 2020年)の分布情報から、植林もしくはそれに由来するものと考えられるが、種としては選定基準に該当するため重要種として扱った。

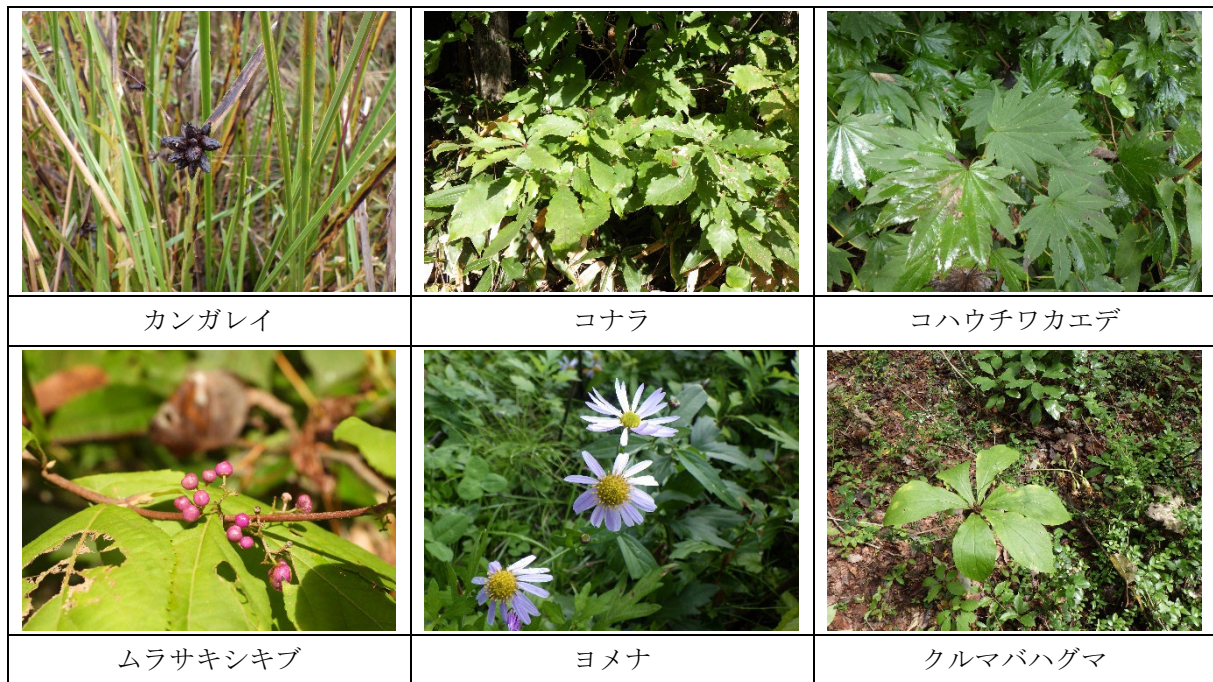


図 2.7-39 植物個体写真 (113-1 : 洲衛)

### 3) 昆虫類

昆虫類は9目56科98種が確認された(表2.7-51)。その内、希少種は1種であった。

調査地区を象徴する水田地帯では、アオモンイトトンボやシオカラトンボなどのトンボ類、オオコオイムシやコシマゲンゴロウ、ニッポントゲバゴマフガムシなどの水生甲虫類が多く見られた。休耕田由来の湿性草地ではセスジツユムシやコバネイナゴ、ホソヘリカメムシ、ヨモギハムシなどの草地環境を好む種が、周囲の樹林やその林縁ではエサキモンキツノカメムシやアオバハゴロモなどの樹林環境を好む種も見られた。

主に確認した種の個体写真を図2.7-40に示す。



表 2.7-51 確認した昆虫類 (113-1 : 洲衛) (2)

No.	目名	科名	種名	学名	希少種選定基準					特定外来生物	広く見られた種	特徴的な種	
					I	II	III	IV	V				
59	ハエ(双翅)	キノコバエ	キノコバエ科	Mycetophilidae sp.									
60		ヤリバエ	Lonchoptera属	Lonchoptera sp.									
61		ハナアブ	キスネクロハナアブ	Cheilosia ochripes									
62			ホソヒラタアブ	Episyrphus balteatus									
63			キゴシハナアブ	Eristalinus quinquestriatus									
64			ホシメハナアブ	Eristalinus tarsalis									
65			アシブトハナアブ	Helophilus eristoloides									
66			オオハナアブ	Phytomia zonata									
67			オオフトホシヒラタアブ	Syrphus ribesii									
68			トゲハネバエ	Suillia rubida	Suillia rubida								
69			ヤチバエ	ヒゲナガヤチバエ	Sepedon aenescens								
70				ヒガシヒゲナガヤチバエ	Sepedon noteoi								
71		ミバエ	フキハマダラムバエ	Acidia japonica									
72		クロバエ	ミドリキンバエ	Lucilia illustris									
73			ツマグロキンバエ	Stomoxihina obsoleta									
74		イエバエ	シナホソカトリバエ	Lispe leucospila sinica									
75			モモグロオオイエバエ	Muscina angustifrons									
76			コウチュウ(鞘翅)	オオクロツヤヒラタゴミシ	Synuchus nitidus								
77		クロズメゲンゴロウ		Agabus conspicuus									
78		コシマゲンゴロウ		Hydaticus grammicus								○	
79		ヒメゲンゴロウ		Rhantus suturalis								○	
80		ガムシ		ヤマトゴマフガムシ	Berosus japonicus								
81				ニッポントゲバゴマフガムシ	Berosus nipponicus				NT				
82				キイロヒラタガムシ	Enochrus simulans								
83	コガネムシ	コアオハナムグリ		Gametis jucunda									
84	アリモドキ	キアシクビボムシ		Macratris japonica									
85	ハムシ	ヨモギハムシ		Chrysolina aurichalcea									
86	ハチ(膜翅)	ヒメバチ	ヒメバチ科	Ichneumonidae sp.									
87		アシブトコバチ	キアシブトコバチ	Brachymeria lasus									
88		アリ	クロヤマアリ	Formica japonica (s.l.)									
89			クロクサアリ	Lasius fujii (s.l.)									
90			トビイロケアリ	Lasius japonicus									
91		スズメバチ	フタモンアシナガバチ本土亜種	Polistes chinensis antennalis									
92			セグロアシナガバチ本土亜種	Polistes yokahamae yokahamae								○	
93			オオスズメバチ	Vespa mandarinia									
94			キイロスズメバチ	Vespa similina									
95			クロスズメバチ	Vespula flaviceps									
96		クモバチ	Anoplius属	Anoplius sp.									
97		ツチバチ	オオハラナガツチバチ	Megacampsomeris grossa matsumurai									
98	ミツバチ	トラマルハナバチ本土亜種	Bombus diversus diversus										
合計	9目	56科	98種	-	0種	0種	0種	1種	0種	0種	10種	6種	
					合計:1種								



図 2.7-40 昆虫類個体写真 (113-1 : 洲衛)

#### 4) 両生類・爬虫類・哺乳類

両生類は1目2科2種、爬虫類は1目2科2種、哺乳類は1目1科1種が確認された(表2.7-52~表2.7-54)。希少種の確認はなかった。

調査地区を象徴する水田地帯では、イノシシの足跡や掘り返し跡が見られた。休耕田由来の湿性草地ではニホンアマガエルが、周囲の樹林やその林縁ではシュレーゲルアオガエルやヤマカガシなども見られた。

主に確認した種の個体写真を図2.7-41に示す。

表 2.7-52 確認した両生類 (113-1 : 洲衛)

No.	目名	科名	種名	学名	希少種選定基準					特定外来生物	広く見られた種	特徴的な種
					I	II	III	IV	V			
1	無尾	アマガエル	ニホンアマガエル	<i>Dryophytes japonicus</i>							○	
2		アオガエル	シュレーゲルアオガエル	<i>Zhangixalus schlegelii</i>								○
合計	1目	2科	2種	-	0種	0種	0種	0種	0種	0種	1種	1種
					合計:0種							

表 2.7-53 確認した爬虫類 (113-1 : 洲衛)

No.	目名	科名	種名	学名	希少種選定基準					特定外来生物	広く見られた種	特徴的な種
					I	II	III	IV	V			
1	有鱗	カナヘビ	ニホンカナヘビ	<i>Takydromus tachydromoides</i>							○	
2		ナミヘビ	ヤマカガシ	<i>Rhabdophis tigrinus</i>								
合計	1目	2科	2種	-	0種	0種	0種	0種	0種	0種	1種	0種
					合計:0種							

表 2.7-54 確認した哺乳類 (113-1 : 洲衛)

No.	目名	科名	種名	学名	希少種選定基準					特定外来生物	広く見られた種	特徴的な種
					I	II	III	IV	V			
1	ウシ(偶蹄)	イノシシ	イノシシ	<i>Sus scrofa</i>							○	
合計	1目	1科	1種	-	0種	0種	0種	0種	0種	0種	1種	0種
					合計:0種							



図 2.7-41 両生類・爬虫類・哺乳類個体写真 (113-1 : 洲衛)

## 2.7.11 113-2 (市ノ坂)

### 1) 調査環境の概要

人工林と広葉樹林から成る混交林と一部薪炭林として使用していた林が残されている。小規模な堰堤があり、その上下流で河川環境が異なっている。上流域は湛水域で左岸側がやや深くなっており、沢が流入している。下流域は両岸に植生があり平瀬状になっている。セイタカアワダチソウが繁茂した休耕田が多い水田や耕作地周りに電気柵がある。水田以外にも水路からの流入で湿地となった場所もあり、ヤゴや水生昆虫類の生息場として機能している。

### 2) 植物

植物は74科188種が確認された(表2.7-55)。その内、希少種は7種であった。

調査地区に広がる水田地帯ではホシクサ、キカシグサ、ミズマツバ、ミゾカクシなどの水田雑草が多く生育していた。湿地状になった休耕田ではコアゼガヤツリ、サンカクイ、コマツカサスキといった湿生植物が確認されている。また、水田地帯を流れる川原田川ではヨシ、ネコヤナギ、ヤナギタデといった河辺の種がみられ、スギ植林や広葉樹二次林では、ミゾシダ、オオバクロモジ、ムラサキシキブ、ソヨゴなど樹林性の種が生育していた。

主に確認した種の個体写真を図2.7-42に示す。





表 2.7-55 確認した植物 (113-2 : 市ノ坂) (3)

No.	分類群	科名	種名	学名	希少種選定基準					特定外来生物	広く見られた種	特徴的な種	
					I	II	III	IV	V				
168	被子植物-真正双子葉植物	キク	ヒメムカシヨモギ	<i>Erigeron canadensis</i>									
169			サワヒヨドリ	<i>Eupatorium lindleyanum</i>									
170			ブタナ	<i>Hypochaeris radicata</i>									
171			ニガナ	<i>Ixeridium dentatum</i> ssp. <i>dentatum</i>									
172			オオジシバリ	<i>Ixeris japonica</i>									
173			アキノノゲシ	<i>Lactuca indica</i> var. <i>indica</i>									○
174			フキ	<i>Petasites japonicus</i> var. <i>japonicus</i>									
175			コウノリナ	<i>Picris hieracioides</i> ssp. <i>japonica</i> var. <i>japonica</i>									
176			オオハンゴンソウ	<i>Rudbeckia laciniata</i>								○	
177			セイタカアワダチソウ	<i>Solidago altissima</i>									
178			オニノゲシ	<i>Sonchus asper</i>									
179			オヤマボクチ	<i>Smurum pungens</i>									
180			セイヨウタンポポ	<i>Taraxacum officinale</i>									
181			ウコギ	ノチドメ	<i>Hydrocotyle maritima</i>								
182				オオチドメ	<i>Hydrocotyle ramiflora</i>								
183			セリ	ノダケ	<i>Angelica decursiva</i>								
184				セリ	<i>Oenanthe javanica</i> ssp. <i>javanica</i>								
185			ガマズミ	ガマズミ	<i>Viburnum dilatatum</i>								○
186	コバノガマズミ	<i>Viburnum erosum</i>											
187	スイカズラ	オトコエシ	<i>Patrinia villosa</i>										
188		タニウツギ	<i>Weigela hortensis</i>										
合計	-	74科	188種	-	0種	0種	2種	7種	0種	1種	28種	18種	
					合計:7種								

※1 ヒノキアスナロは現地の状況および「石川県の絶滅のおそれのある野生生物 いしかわレッドデータブック 2020 植物編」(石川県, 2020年)の分布情報から、植林もしくはそれに由来するものと考えられるが、種としては選定基準に該当するため重要種として扱った。



図 2.7-42 植物個体写真 (113-2 : 市ノ坂)



表 2.7-56 確認した昆虫類 (113-2 : 市ノ坂) (2)

No.	目名	科名	種名	学名	希少種選定基準					特定外来生物	広く見られた種	特徴的な種
					I	II	III	IV	V			
66	ハエ(双翅)	ヒメガガンボ	Cladura属	<i>Cladura</i> sp.								
67		カ	Aedes属	<i>Aedes</i> sp.								
68		クロバネキノコバエ	クロバネキノコバエ科	Sciaridae sp.								
69		ムシヒキアブ	ヒサマツムシヒキ	<i>Tolmerus hisamatsui</i>								
70		ハナアブ	オオヒメヒラタアブ	<i>Allograpta lavana</i>								
71			キスネクロハナアブ	<i>Chellosia ochripes</i>								
72			ホヒラタアブ	<i>Episyrrhus balteatus</i>								
73			キゴシハナアブ	<i>Eristalinus quinquestriatus</i>								
74			ホシメハナアブ	<i>Eristalinus tarsalis</i>								
75			シマハナアブ	<i>Eristalis cerealis</i>								
76			アシブトハナアブ	<i>Helophilus eristaloideus</i>								
77			オオハナアブ	<i>Phytomyia zonata</i>								
78			ホヒメヒラタアブ	<i>Sphaerophoria macrogaster</i>								
79				Xylota属	<i>Xylota</i> sp.							
80		クロバエ	ツマグロキンバエ	<i>Stomorphina obsoleta</i>								
81		イエバエ	Coenosia属	<i>Coenosia</i> sp.								
82			ミドリイエバエ	<i>Neomyia timorensis</i>								
83			Phaonia属	<i>Phaonia</i> sp.								
84			コウチュウ(鞘翅)	オサムシ	セアカヒラタゴミムシ	<i>Dolichus halensis</i>						
85				オオズケゴモクムシ	<i>Harpalus eous</i>							
86		ニセクロゴモクムシ		<i>Harpalus simplicidens</i>								
87	ゲンゴロウ	クロズマメゲンゴロウ		<i>Agabus conspicuus</i>								
88		ヒメゲンゴロウ		<i>Rhantus suturalis</i>								
89	ハネカクシ	ヒゲナガホソミズギワハネカクシ		<i>Derops longicornis</i>								
90	デントウムシダマシ	ヨツボシデントウムシ		<i>Ancylopus pictus asiaticus</i>								
91	ハムシ	カミナリハムシ		<i>Aitica aenea</i>								
92		ヒメカミナリハムシ		<i>Aitica caerulescens</i>								
93		ヨモギハムシ		<i>Chrysolina aurichalcea</i>								
94		キイロクワハムシ		<i>Monolepta pallidula</i>								
95		ルリマルノミハムシ		<i>Nonarthra cyanea</i>								
96	ハチ(膜翅)	ヒメバチ		ヒメバチ科	Ichneumonidae sp.							
97		アリ		クロヤマアリ	<i>Formica japonica</i> (s.l.)							
98				クロクサアリ	<i>Lasius fiji</i> (s.l.)							
99			トビイロケアリ	<i>Lasius japonicus</i>								
100		スズメバチ	フタモンアシナガバチ本土亜種	<i>Polistes chinensis antennalis</i>								
101			オオスズメバチ	<i>Vespa mandarina</i>								
102			キイロスズメバチ	<i>Vespa simillina</i>								
103			クロスズメバチ	<i>Vespula flaviceps</i>								
104		クモバチ	Anoplius属	<i>Anoplius</i> sp.								
105		ツチバチ	キンケハラナガツチバチ	<i>Megacampsomeris prismatica</i>								
106		ミツバチ	ニホンミツバチ	<i>Apis cerana japonica</i>								
107			トマルハナバチ本土亜種	<i>Bombus diversus diversus</i>								
108		ムカシハナバチ	アシブトムカシハナバチ	<i>Colletes patellatus</i>								
109		コハナバチ	ニッポンチビコハナバチ	<i>Lasioglossum japonicum</i>								
合計	9目	55科	109種	-	0種	0種	10種	0種	0種	0種	7種	4種



図 2.7-43 昆虫類個体写真 (113-2 : 市ノ坂)

4) 両生類・爬虫類・哺乳類

両生類は1目1科2種、爬虫類は1目2科3種、哺乳類は3目3科3種が確認された (表 2.7-57~表 2.7-59)。希少種の確認はなかった。

調査地区の大部分を占める水田環境では、ニホンアカガエルやモグラ科の塚、イノシシの掘り返し跡が見られた。また水田周囲の草地では、ニホンカナヘビやシマヘビなどの明るい草地環境を好む種が、地区内の樹林やその林縁ではヤマアカガエルやヤマカガシなども見られた。

主に確認した種の個体写真を図 2.7-44 に示す。

表 2.7-57 確認した両生類 (113-2 : 市ノ坂)

No.	目名	科名	種名	学名	希少種選定基準					特定外来生物	広く見られた種	特徴的な種
					I	II	III	IV	V			
1	無尾	アカガエル	ニホンアカガエル	<i>Rana japonica</i>								
2			ヤマアカガエル	<i>Rana ornativentris</i>								
合計	1目	1科	2種	-	0種	0種	0種	0種	0種	0種	0種	0種
					合計:0種							

表 2.7-58 確認した爬虫類 (113-2 : 市ノ坂)

No.	目名	科名	種名	学名	希少種選定基準					特定外来生物	広く見られた種	特徴的な種
					I	II	III	IV	V			
1	有鱗	カナヘビ	ニホンカナヘビ	<i>Takydromus tachydromoides</i>								○
2		ナミヘビ	シマヘビ	<i>Elaphe quadrivirgata</i>								
3			ヤマカガシ	<i>Rhabdophis tigrinus</i>								○
合計	1目	2科	3種	-	0種	0種	0種	0種	0種	0種	2種	1種
					合計:0種							

表 2.7-59 確認した哺乳類 (113-2 : 市ノ坂)

No.	目名	科名	種名	学名	希少種選定基準					特定外来生物	広く見られた種	特徴的な種
					I	II	III	IV	V			
1	モグラ(食虫)	モグラ	モグラ科	Talpidae sp.								
2	ネコ(食肉)	イヌ	タヌキ	<i>Nyctereutes procyonoides</i>								
3	ウシ(偶蹄)	イノシシ	イノシシ	<i>Sus scrofa</i>								○
合計	3目	3科	3種	-	0種	0種	0種	0種	0種	0種	1種	0種
					合計:0種							



図 2.7-44 両生類・爬虫類個体写真 (113-2 : 市ノ坂)

### 5) 魚類

本調査地区では魚類調査は行わなかったが、昆虫類調査時に調査地区内を流れる川原田川の堰堤の下流で、カワムツとニシシマドジョウが確認された (表 2.7-60)。

表 2.7-60 確認した魚類 (113-2 : 市ノ坂)

No.	目名	科名	種名	学名	希少種選定基準					特定外来生物	113-2 河原田川	優占種	特徴的な種
					I	II	III	IV	V				
1	コイ	コイ	カワムツ	<i>Candidia temminckii</i>							1		
2		ドジョウ	ニシシマドジョウ	<i>Cobitis</i> sp. BIWAE type B							2		
合計	1目	2科	2種	-	0種	0種	0種	0種	0種	0種	2種 3個体	-	-
					合計:0種					0種	合計:2種		

## 2.7.12 116-1 (皆月湾・吉浦)

### 1) 調査環境の概要

海岸線が後退したため、かつての潮間帯下の固着生物の遺骸が岩上に白く残り、以前の海岸線の位置が視認できる。隆起した箇所に新規の植生が成立しつつある。隆起してできた新しい浜に植生を伴った止水環境があり、トンボや水生昆虫類、エビ類が生息していた。

### 2) 植物

植物は 35 科 93 種が確認された (表 2.7-61)。その内、希少種は 4 種であった。

調査地区に広がる海浜部では地震により海底が隆起したと考えられる岩場が多くみられた。そのような岩場自体には植物はあまりみられなかったが、周囲には水たまりや湿地が形成されており、ドロイ、ヌマガヤツリ、サンカクイ、チョウジタデなどの湿生植物が多くみられた。また、一部砂浜が残存している箇所もみられ、そうした場所ではオカヒジキ、ツルナ、スナビキソウ、ハマゴウ、ハマニガナといった海浜植物も若干ではあるが確認されている。

主に確認した種の個体写真を図 2.7-45 に示す。



表 2.7-61 確認した植物 (116-1 : 皆月湾・吉浦) (2)

No.	分類群	科名	種名	学名	希少種選定基準					特定外来生物	広く見られた種	特徴的な種	
					I	II	III	IV	V				
71	被子植物-真正双子葉植物	オオバコ	オオカワヂシャ	<i>Veronica anagallis-aquatica</i>						○			
72		アゼナ	アメリカアゼナ	<i>Lindernia dubia ssp. major</i>									
73		シソ	ハッカ	<i>Mentha canadensis</i>									
74			オランダハッカ	<i>Mentha spicata</i>									
75		ハマゴウ	ヒメジソ	<i>Mosla dianthera</i>							○		
76			ハマゴウ	<i>Vitex rotundifolia</i>								○	
77		クマツヅラ	ヤナギハナガサ	<i>Verbena bonariensis</i>									
78		キキョウ	ミソカクシ	<i>Lobelia chinensis</i>									
79		キク	ヨモギ	<i>Artemisia indica var. maximowiczii</i>									
80			オトヨモギ	<i>Artemisia japonica ssp. japonica var. japonica</i>									
81			ノコンギク	<i>Aster microcephalus var. ovatus</i>									
82			アメリカセンダングサ	<i>Bidens frondosa</i>									
83			トキンソウ	<i>Centipeda minima</i>									
84			ハルシヤギク	<i>Coreopsis tinctoria</i>									
85			タカサブロウ	<i>Eclipta thermalis</i>					NT				
86			ヒメムカシヨモギ	<i>Erigeron canadensis</i>									
87			ハマニガナ	<i>Ixeris repens</i>								○	
88			セイタカアワダチソウ	<i>Solidago altissima</i>									
89			ノグシ	<i>Sonchus oleraceus</i>									
90			ヒロハボウキギク	<i>Symphoricarum subulatum var. squamatum</i>							○		
91			セイウゲンボボ	<i>Taraxacum officinale</i>									
92			ウコギ	ナチドメ	<i>Hydrocotyle maritima</i>								
93			セリ	セリ	<i>Oenanthe javanica ssp. javanica</i>								
合計		-	35科	93種	-	0種	0種	0種	4種	0種	1種	11種	10種



図 2.7-45 植物個体写真 (116-1 : 皆月湾・吉浦)



表 2.7-62 確認した昆虫類 (116-1 : 皆月湾・吉浦) (2)

No.	目名	科名	種名	学名	希少種選定基準					特定外 来生物	広く見ら れた種	特徴的 な種
					I	II	III	IV	V			
65	ハエ(双翅)	ハナアブ	ホノヒラタアブ	<i>Episyrphus balteatus</i>								
66			キゴシハナアブ	<i>Eristalinus quinquestriatus</i>								
67			シマハナアブ	<i>Eristalis cerealis</i>								
68			ホノヒラタアブ	<i>Sphaerophoria macrogaster</i>								
69			キイロナミホシヒラタアブ	<i>Syrphus vitripennis</i>								
70		キモグリバエ	キモグリバエ科	Chloropidae sp.								
71		シマバエ	Steganopsis属	<i>Steganopsis</i> sp.								
72		ヤチバエ	ヒゲナガヤチバエ	<i>Sepedon aenescens</i>								
73		イエバエ	カガハナバエ	<i>Dichaetomyia bibax</i>								
74			シリモチハナレメイバエ	<i>Pygophora confusa</i>								
75		コウチュウ(鞘翅)	オサムシ	クロモリヒラタゴミシ	<i>Colpodes atricomes</i>							
76				トクグリナゴゴミシ	<i>Pterostichus haptoderoides japonensis</i>							
77			コガネムシ	コアオハナムグリ	<i>Gametis lucunda</i>							
78			ゴミシダマシ	コスナゴミシダマシ	<i>Gonocephalum coriaceum</i>							○
79	ハムシ		ウリハムシ	<i>Aulacophora indica</i>								
80		ヨモギハムシ	<i>Chrysolina aurichalcea</i>									
81	ハチ(膜翅)	カマバチ	Gonatopus属	<i>Gonatopus</i> sp.								
82			アリ	クロオオアリ	<i>Camponotus japonicus</i>							
83			テラニシリアゲアリ	<i>Crematogaster teranishii</i>								
84			クロヤマアリ	<i>Formica japonica</i> (s.l.)								
85			トビロケアリ	<i>Lasius japonicus</i>								
86		スズメバチ	キアシトクグリバチ	<i>Eumenes rubrofemoratus</i>								
87			キイロスズメバチ	<i>Vespa similima</i>								
88		クモバチ	Anoplus属	<i>Anoplus</i> sp.								
89		ツチバチ	ヒメハラナガツチバチ本土亜種	<i>Campsomeriella annulata annulata</i>								
90		アナバチ	クオアナバチ本土亜種	<i>Sphex argentatus fumosus</i>							○	
91	コハナバチ	Lasioglossum属	<i>Lasioglossum</i> sp.									
合計	9目	51科	91種	-	0種	10種	0種	2種	0種	0種	6種	7種



図 2.7-46 昆虫類個体写真 (116-1 : 皆月湾・吉浦)

#### 4) 鳥類

鳥類は7目15科21種が確認された(表 2.7-63)。その内、希少種は2種であった。

調査地区を象徴する大規模な隆起が見られた海岸線の岩礁では、ウミウやイソシギ、イソヒヨドリなどが見られた。隆起や流入河川により形成された小規模な湿地や開放水域では、カイツブリやウミアイサ、アオサギやダイサギ、セグロセキレイなどが見られた。

主に確認した種の個体写真を図 2.7-47 に示す。

表 2.7-63 確認した鳥類 (116-1 : 皆月湾・吉浦)

No.	目名	科名	種名	学名	希少種選定基準					特定外来生物	広く見られた種	特徴的な種
					I	II	III	IV	V			
1	カモ	カモ	カルガモ	<i>Anas zonorhyncha</i>								
2			ウミアイサ	<i>Mergus serrator</i>								○
3	カイツブリ	カイツブリ	カイツブリ	<i>Tachybaptus ruficollis</i>								
4	チドリ	チドリ	タゲリ	<i>Vanellus vanellus</i>								
5		シギ	イソシギ	<i>Actitis hypoleucos</i>				NT				
6		カモメ	ウミネコ	<i>Larus crassirostris</i>								
7	カツオドリ	ウ	ウミウ	<i>Phalacrocorax capillatus</i>								○
8	ペリカン	サギ	アオサギ	<i>Ardea cinerea</i>								
9			ダイサギ	<i>Ardea alba</i>							○	
10	タカ	タカ	トビ	<i>Milvus migrans</i>								
11			ノスリ	<i>Buteo japonicus</i>				NT				
12	スズメ	カラス	ハシボンガラス	<i>Corvus corone</i>								
13		ヒヨドリ	ヒヨドリ	<i>Hypsipetes amaurotis</i>								
14		ヒタキ	ジョウビタキ	<i>Phoenicurus aureus</i>								
15			イソヒヨドリ	<i>Monticola solitarius</i>								○
16		スズメ	スズメ	<i>Passer montanus</i>								
17		セキレイ	ハクセキレイ	<i>Motacilla alba</i>								
18			セグロセキレイ	<i>Motacilla grandis</i>								
19			タヒバリ	<i>Anthus rubescens</i>								
20		アトリ	カワラヒワ	<i>Chloris sinica</i>								○
21		ホオジロ	ホオジロ	<i>Emberiza cioides</i>								
合計	7目	15科	21種	-	0種	0種	0種	2種	0種	0種	2種	3種
					合計:2種							

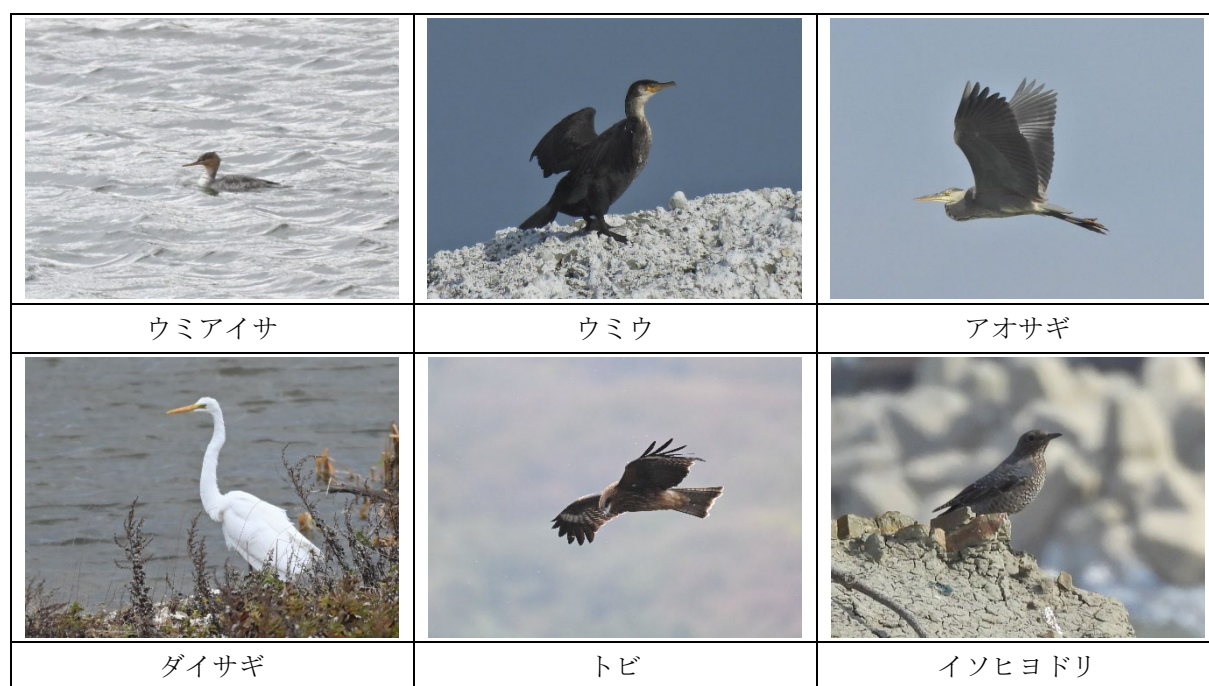


図 2.7-47 鳥類個体写真 (116-1 : 皆月湾・吉浦)

### 5) 両生類・爬虫類・哺乳類

両生類は1目2科2種、哺乳類は1目2科4種が確認された（表 2.7-64、表 2.7-65）。

希少種の確認はなかった。また、調査地区において爬虫類の確認はなかった。

調査地区を象徴する大規模な隆起が見られた海岸線では、キツネやタヌキ、テンなどの哺乳類の足跡が見られた。隆起や流入河川により形成された小規模な湿地では、ニホンアカガエルも見られた。

主に確認した種の個体写真を図 2.7-48 に示す。

表 2.7-64 確認した両生類（116-1：皆月湾・吉浦）

No.	目名	科名	種名	学名	希少種選定基準					特定外来生物	広く見られた種	特徴的な種
					I	II	III	IV	V			
1	無尾	アマガエル	ニホンアカガエル	<i>Dryophytes japonicus</i>								
2		アカガエル	ヤマアカガエル	<i>Rana ornativentris</i>								
合計	1目	2科	2種	-	0種	0種	0種	0種	0種	0種	0種	0種
					合計:0種							

表 2.7-65 確認した哺乳類（116-1：皆月湾・吉浦）

No.	目名	科名	種名	学名	希少種選定基準					特定外来生物	広く見られた種	特徴的な種
					I	II	III	IV	V			
1	ネコ(食肉)	イヌ	タヌキ	<i>Nyctereutes procyonoides</i>								
2			キツネ	<i>Vulpes vulpes</i>								
3		イタチ	テン(ホンドテン)	<i>Martes melampus (M. m. melampus)</i>								
4			ニホンイタチ	<i>Mustela itatsi</i>								
合計	1目	2科	4種	-	0種	0種	0種	0種	0種	0種	0種	0種
					合計:0種							



図 2.7-48 両生類・哺乳類個体写真、痕跡写真（116-1：皆月湾・吉浦）

### 2.7.13 117-1 (木ノ浦)

#### 1) 調査環境の概要

外浦に面した水質の良い湾。岩盤、礫浜、砂浜で構成されている。R6 能登半島地震で隆起したために、かつての潮間帯下の固着生物の遺骸が岩上に白く残り、以前の海面の位置が分かる。かつて潮間帯だったと思われる堤防と水際の低地には湿地が形成されている。湾を囲う斜面に成立した森林は落葉広葉樹と常緑広葉樹の混交林で、斜面の一部にはススキなどの草地も見られる。

#### 2) 植物

植物は 59 科 143 種が確認された (表 2.7-66)。その内、希少種は 3 種であった。

調査地区に広がる海浜部では地震により海底が隆起した岩場がみられ、そうした場所には植物があまりみられなかった。一方、比較的広範囲に残存している砂浜や海浜草地にはハマエノコロ、ハマエンドウ、ホソバハマアカザ、グンバイヒルガオなどの海浜植物が生育していた。また、海岸の一部に水がたまった湿地が存在し、イグサ、ドロイ、ミゾソバなどの湿生植物が若干確認された。以上のような海浜部周辺の岸壁にはオニヤブソテツ、キジカクシ、ハマゴウなどが生育しており、タブノキ、カシワなどの低木も確認された。

主に確認した種の個体写真を図 2.7-49 に示す。

表 2.7-66 確認した植物 (117-1: 木ノ浦) (1)

No.	分類群	科名	種名	学名	希少種選定基準					特定外 来生物	広く見ら れた種	特徴的 な種	
					I	II	III	IV	V				
1	大葉シダ植物	トクサ	スギナ	<i>Equisetum arvense</i>									
2		ゼンマイ	ゼンマイ	<i>Osmunda japonica</i>									
3		コバノイシカグマ	ワラビ	<i>Preridium aquilinum ssp. japonicum</i>									
4		イノモトソウ	イワガネソウ	<i>Coniogramme japonica</i>									
5		ヒメシダ	ミンシダ	<i>Thelypteris pozoi ssp. mollissima</i>									
6		メシダ	イヌワラビ	<i>Anisocampium niponicum</i>									
7		オシダ	オニヤブソテツ	<i>Cyrtomium falcatum ssp. falcatum</i>								○	
8			クマワラビ	<i>Dryopteris lacera</i>									
9			イノデ	<i>Polystichum polyblepharon</i>									
10	裸子植物	マツ	クロマツ	<i>Pinus thunbergii</i>									
11	被子植物-基部被子植物	ドクダミ	ドクダミ	<i>Houttuynia cordata</i>									
12		クスノキ	タブノキ	<i>Machilus thunbergii</i>							○		
13	被子植物-単子葉植物	ヤマノイモ	オニドコロ	<i>Dioscorea tokoro</i>							○		
14		イヌサフラン	ホウチャクソウ	<i>Disporum sessile</i>									
15		クサスギカズラ	キジカクシ	<i>Asparagus schoberioides</i>							○		
16			オオバギボウシ	<i>Hosta sieboldiana</i>									
17		ツユクサ	ツユクサ(広義)	<i>Commelina communis</i>									
18		ガマ	ガマ	<i>Typha latifolia</i>									
19		イグサ	イグサ	<i>Juncus decipiens</i>							○		
20			ドロイ	<i>Juncus gracillimus</i>				NT			○		
21		カヤツリグサ	ヒメグサ	<i>Cyperus brevifolius var. leirolepis</i>									
22			ホノミンギヤツリ	<i>Cyperus engelmannii</i>							○		
23			アゼガヤツリ	<i>Cyperus flavidus</i>									
24			カワラスガナ	<i>Cyperus sanguinolentus</i>									
25			ヒメヒラテツキ	<i>Fimbristylis autumnalis</i>									
26			ヤマイ	<i>Fimbristylis subbispicata</i>									
27			サンカクイ	<i>Schoenoplectus triauieter</i>									
28	イネ		メリケンカルカヤ	<i>Andropogon virginicus</i>									
29			コブナグサ	<i>Arthraxon hispidus</i>									
30			ヤマアワ	<i>Calamagrostis epigeios</i>									
31			メヒシバ	<i>Digitaria ciliaris</i>									
32			イヌビエ	<i>Echinochloa crus-galli</i>									
33			オヒシバ	<i>Eleusine indica</i>									
34			ススキ	<i>Miscanthus sinensis</i>									
35			ケチヂミザサ	<i>Opismenus undulatifolius var. undulatifolius</i>									
36			スズメノヒエ	<i>Paspalum thunbergii</i>									
37			チカラシバ	<i>Pennisetum alopecuroides</i>									
38			ヨシ	<i>Phragmites australis</i>								○	
39			メダケ	<i>Pleiolabastus simonii</i>									
40			スズメノカタビラ(広義)	<i>Poa annua</i>									
41			アキノエノコログサ	<i>Setaria faberi</i>									
42			キンエノコロ	<i>Setaria pumila</i>									
43			ハマエノコロ	<i>Setaria viridis var. pachystachys</i>								○	
44			ネズミノオ	<i>Sporobolus fertilis var. fertilis</i>								○	
45	被子植物-真正双子葉植物	アケビ	アケビ	<i>Akebia quinata</i>									
46			ツツラフジ	<i>Cocculus trilobus</i>									
47			キンボウゲ	<i>Clematis terniflora</i>								○	
48			アキカラマツ	<i>Thalictrum minus var. hypoleucum</i>									
49		ベンケイソウ	キリンソウ	<i>Phedimus aizoon var. floribundus</i>									
50			メノマンネンゲサ	<i>Sedum japonicum ssp. japonicum var. japonicum</i>								○	
51		ブドウ	ノブドウ	<i>Ampelopsis glandulosa var. heterophylla</i>									
52			ツタ	<i>Parthenocissus tricuspidata</i>									
53		マメ	クサネム	<i>Aeschynomene indica</i>									
54			ネムノキ	<i>Albizia julibrissin var. julibrissin</i>									
55			ハマエンドウ	<i>Lathyrus japonicus</i>									○
56			メドハギ	<i>Lespedeza cuneata var. cuneata</i>									
57			ミヤコグサ	<i>Lotus corniculatus ssp. japonicus</i>									
58			クズ	<i>Pueraria lobata ssp. lobata</i>									
59			シロツメクサ	<i>Trifolium repens</i>									
60			フジ	<i>Wisteria floribunda</i>								○	
61	ニレ	ケキキ	<i>Zelkova serrata</i>										
62		アサ	エノキ	<i>Celtis sinensis</i>									
63		カナムグラ	<i>Humulus scandens</i>										
64	クワ	ヒメコウノ	<i>Broussonetia monoica</i>										
65		ヤマグワ	<i>Morus australis</i>										
66	イラクサ	ニオウキヤブマオ	<i>Boehmeria holosericea</i>								○		
67	バラ	ノイバラ	<i>Rosa multiflora var. multiflora</i>										
68		クサイチゴ	<i>Rubus hirsutus</i>										
69		ナワシロイチゴ	<i>Rubus parvifolius</i>										
70		ブナ	カンフ	<i>Quercus dentata</i>							○		

表 2.7-66 確認した植物 (117-1: 木ノ浦) (2)

No.	分類群	科名	種名	学名	希少種選定基準					特定外 来生物	広く見ら れた種	特徴的 な種	
					I	II	III	IV	V				
71	被子植物-真正双子葉植物	ウリ	アマチャヅル	<i>Gynostemma pentaphyllum</i> var. <i>pentaphyllum</i>									
72				スズメウリ	<i>Zehneria japonica</i>								
73			カタバミ	オウタチカタバミ	<i>Oxalis dillenii</i>								
74			トウダイグサ	コニシキソウ	<i>Euphorbia maculata</i>								
75				アカメガシワ	<i>Mallotus japonicus</i>								
76			スミレ	ツボスミレ	<i>Viola verecunda</i> var. <i>verecunda</i>								
77			フウソウ	ゲンノショウコ	<i>Geranium thunbergii</i>								○
78			ミソハギ	ミソハギ	<i>Lythrum anceps</i>								
79			アカバナ	メマツヨイグサ	<i>Oenothera biennis</i>								
80			ムクロジ	エノイタキ	<i>Acer pictum</i> ssp. <i>mono</i>								
81			ミカン	カラスザンショウ	<i>Zanthoxylum ailanthoides</i> var. <i>ailanthoides</i>								
82				ザンショウ	<i>Zanthoxylum piperitum</i>								
83			タデ	ケイタドリ	<i>Fallopia japonica</i> var. <i>uzenensis</i>								
84				オオイヌタデ	<i>Persicaria lapathifolia</i> var. <i>lapathifolia</i>								
85	イヌタデ	<i>Persicaria longiseta</i>											
86	ハナタデ	<i>Persicaria posumbu</i>											
87	ボンクダテ	<i>Persicaria pubescens</i>											
88	ママコノシリヌグイ	<i>Persicaria senticosa</i>											
89	ミソソバ	<i>Persicaria thunbergii</i> var. <i>thunbergii</i>										○	
90	アキノミチヤナギ	<i>Polygonum polyneuron</i>											
91	ナガバギシギシ	<i>Rumex crispus</i>											
92	ナデシコ	カワラナデシコ		<i>Dianthus superbus</i> var. <i>longicalycinus</i>									
93		ツメクサ	<i>Sagina japonica</i>										
94	ヒユ	ウンハコベ	<i>Stellaria aquatica</i>										
95		イノコヅチ	<i>Achyranthes bidentata</i> var. <i>japonica</i>										
96		ホソバハマアカザ	<i>Atriplex patens</i>									○	
97		アリタソウ	<i>Dysphania ambrosioides</i>									○	
98		ウラボシ	<i>Oxybasis glauca</i>										
99		ハマミズナ	ツルナ	<i>Tetragonia tetragonoides</i>								○	
100		アジサイ	ウツギ	<i>Deutzia crenata</i> var. <i>crenata</i>									
101		サクラソウ	ハマボックス	<i>Lysimachia mauritiana</i> var. <i>mauritiana</i>								○	
102		ツバキ	ヤブツバキ	<i>Camellia japonica</i>									
103		アカネ	ヘクソカズラ	<i>Paederia foetida</i>									
104	ヒルガオ	ハマヒルガオ	<i>Calystegia soldanella</i>								○		
105		グンバイヒルガオ	<i>Ipomoea pes-caprae</i>									○	
106	ナス	ヒョドリジゴゴ	<i>Solanum lyratum</i>										
107		イヌホオズキ	<i>Solanum nigrum</i>										
108	ムラサキ	スナビキソウ	<i>Heliotropium japonicum</i>								○		
109	オオバコ	オオバコ	<i>Plantago asiatica</i> var. <i>asiatica</i>										
110		トウオオバコ	<i>Plantago japonica</i>					NT					
111	シソ	カワミドリ	<i>Agastache rugosa</i>										
112		ヒメオドリコソウ	<i>Lamium purpureum</i>										
113		ハッカ	<i>Mentha canadensis</i>										
114		ヒメジソ	<i>Mosla dianthera</i>										
115		ハマゴウ	<i>Vitex rotundifolia</i>									○	
116		キキョウ	ツリガネニンジン	<i>Adenophora triphylla</i> var. <i>japonica</i>								○	
117	キク	ヨモギ	<i>Artemisia indica</i> var. <i>maximowiczii</i>								○		
118		オトヨモギ	<i>Artemisia japonica</i> ssp. <i>japonica</i> var. <i>japonica</i>										
119		オオヨモギ	<i>Artemisia montana</i>										
120		ノコンギク	<i>Aster microcephalus</i> var. <i>ovatus</i>									○	
121		アメリカセンダングサ	<i>Bidens frondosa</i>										
122		ジャクエンアザミ	<i>Cirsium takaoi</i>										
123		タカサブロウ	<i>Eclipta thermalis</i>						NT				
124		ヒメムカシヨモギ	<i>Erigeron canadensis</i>										
125		ブクナ	<i>Hypochaeris radicata</i>										
126		フキ	<i>Petasites japonicus</i> var. <i>japonicus</i>										
127		キヌガサギク	<i>Rudbeckia hirta</i>										
128		ノボロギク	<i>Senecio vulgaris</i>										
129		セイタカアワダチソウ	<i>Solidago altissima</i>									○	
130		オニノゲシ	<i>Sonchus asper</i>										
131	ハチジョウナ	<i>Sonchus brachyotus</i>											
132	オオオナモミ	<i>Xanthium occidentale</i>											
133	トベラ	トベラ	<i>Ptilosporum tobira</i>								○		
134	ウコギ	タラノキ	<i>Aralia elata</i>										
135		オオチドメ	<i>Hydrocotyle ramiflora</i>										
136	セリ	シシウド属	<i>Angelica</i> sp.										
137		ハマゼリ	<i>Cnidium japonicum</i>									○	
138		ミツバ	<i>Cryptotaenia japonica</i>										
139	ガマズミ	ニワトコ	<i>Sambucus racemosa</i> ssp. <i>sieboldiana</i> var. <i>sieboldiana</i>										
140		ガマズミ	<i>Viburnum dilatatum</i>									○	
141	スイカズラ	スイカズラ	<i>Lonicera japonica</i>										
142		オトコエシ	<i>Patrinia villosa</i>										
143		タニウツギ	<i>Weigela hortensis</i>										
合計	-	59科	143種	-	0種	0種	10種	3種	0種	0種	20種	14種	
					合計: 3種								

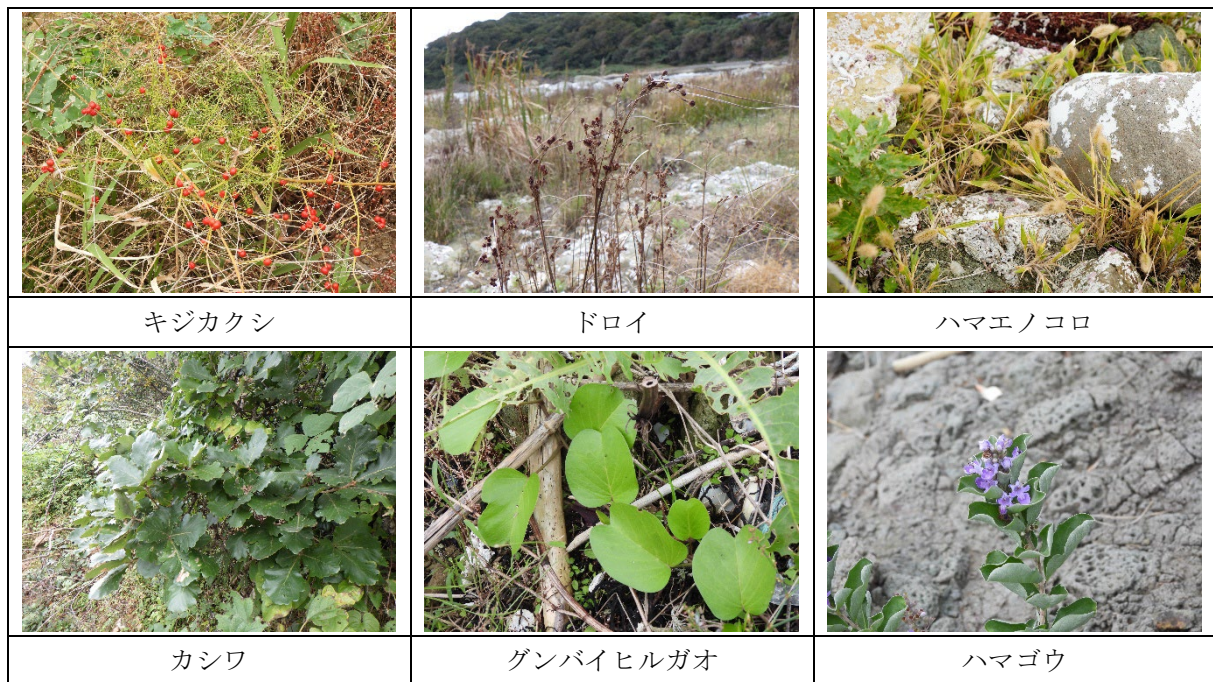


図 2.7-49 植物個体写真 (117-1 : 木ノ浦)

### 3) 昆虫類

昆虫類は 8 目 43 科 76 種が確認された (表 2.7-67)。その内、希少種は 1 種であった。

調査地区を象徴する隆起した海岸線では、ハマベハサミムシなどの海浜性の種、ウスバキトンボやクルマバッタモドキなどの裸地の様な環境を好む種が多く見られた。隆起によって形成された小規模な湿地では、アオモンイトトンボやアメンボなどの水辺を好む種も見られた。海岸に面した常緑樹林では、クマスズムシやカネタタキなどの樹林環境を好む種も見られた。

主に確認した種の個体写真を図 2.7-50 に示す。



表 2.7-67 確認した昆虫類 (117-1 : 木ノ浦) (2)

No.	目名	科名	種名	学名	希少種選定基準					特定外 来生物	広く見ら れた種	特徴的 な種	
					I	II	III	IV	V				
65	コウチュウ(鞘翅)	オサムシ	ウスアカクロゴモクムシ	<i>Harpalus sinicus</i>									
66			サドマルクビゴムシ	<i>Nebria sadona</i>									
67			ジョウカイモドキ	ヒロオビジョウカイモドキ	<i>Intybia historio</i>								
68			ハムシ	サメハダツブノミハムシ	<i>Aphthona strigosa</i>								
69				ヨモギハムシ	<i>Chrysolina aurichalcea</i>								
70	ハチ(膜翅)	ヒメバチ	ヒメバチ科	Ichneumonidae sp.									
71			アリ	クロオオアリ	<i>Camponotus japonicus</i>								
72				ウメマツオオアリ	<i>Camponotus vitiosus</i>								
73				クロヤマアリ	<i>Formica japonica</i> (s.l.)								
74			スズメバチ	セクロアシナガバチ本土亜種	<i>Polistes jokahamae jokahamae</i>								
75				キロスズメバチ	<i>Vespa similina</i>								○
76				ヨハナバチ	ニッポンチビヨハナバチ	<i>Lasioslossum japonicum</i>							
合計	8目	43科	76種	-	0種	0種	1種	0種	0種	5種	5種		
					合計:1種								



図 2.7-50 昆虫類個体写真 (117-1 : 木ノ浦)

#### 4) 鳥類

鳥類は5目14科20種が確認された(表 2.7-68)。その内、希少種は2種であった。

調査地区を象徴する隆起した海岸線の岩礁や人工物周辺では、イソヒヨドリやセグロセキレイなどが見られ、海上では、ヒメウやウミウ、ウミネコなどが見られた。海岸に面した集落地、常緑樹林では、ジョウビタキやスズメ、ホオジロなどの草地や低木林などを好む種が見られた。

主に確認した種の個体写真を図 2.7-51 に示す。

表 2.7-68 確認した鳥類 (117-1 : 木ノ浦)

No.	目名	科名	種名	学名	希少種選定基準					特定外来生物	広く見られた種	特徴的な種	
					I	II	III	IV	V				
1	チドリ	カモメ	ウミネコ	<i>Larus crassirostris</i>									
2	カツオドリ	ウ	ヒメウ	<i>Urile pelagicus</i>			EN						
3			ウミウ	<i>Phalacrocorax capillatus</i>							○		
4	タカ	タカ	トビ	<i>Milvus migrans</i>									
5			ノスリ	<i>Buteo japonicus</i>				NT					
6	キツツキ	キツツキ	コゲラ	<i>Yungipicus kizuki</i>									
7	スズメ	カラス	ハシブトガラス	<i>Corvus macrorhynchos</i>									
8		シジュウカラ	シジュウカラ	<i>Parus cinereus</i>									
9		ヒヨドリ	ヒヨドリ	<i>Hypsipetes amaurotis</i>									
10		ウグイス	ウグイス	<i>Horornis diphone</i>									
11		メジロ	メジロ	<i>Zosterops japonicus</i>									
12		ヒタキ		ジョウビタキ	<i>Phoenicurus aureus</i>								
13				イソヒヨドリ	<i>Monticola solitarius</i>								○
14		スズメ	スズメ	<i>Passer montanus</i>							○		
15		セキレイ		ハクセキレイ	<i>Motacilla alba</i>								
16				セグロセキレイ	<i>Motacilla grandis</i>								
17		アトリ		アトリ	<i>Fringilla montifringilla</i>								
18				マヒワ	<i>Spinus spinus</i>								
19		ホオジロ		ホオジロ	<i>Emberiza cioides</i>								○
20				カシラダカ	<i>Emberiza rustica</i>								
合計		5目	14科	20種	-	0種	0種	1種	1種	0種	0種	2種	2種
					合計:2種								



図 2.7-51 鳥類個体写真 (117-1 : 木ノ浦)

5) 両生類・爬虫類・哺乳類

哺乳類は1目2科2種が確認された(表 2.7-69)。希少種の確認はなかった。

また、調査地区において両生類、爬虫類の確認はなかった。調査地区を象徴する隆起した海岸線の砂地では、タヌキの足跡が見られた。海岸に面した常緑樹林では、ハクビシンの糞も見られた。

主に確認した種の個体写真を図 2.7-52 に示す。

表 2.7-69 確認した哺乳類 (117-1 : 木ノ浦)

No.	目名	科名	種名	学名	希少種選定基準					特定外来生物	広く見られた種	特徴的な種
					I	II	III	IV	V			
1	ネコ(食肉)	イヌ	タヌキ	<i>Nyctereutes procyonoides</i>								
2		ジャコウネコ	ハクビシン	<i>Paguma larvata</i>								
合計	1目	2科	2種	-	0種	0種	0種	0種	0種	0種	0種	0種
					合計:0種							

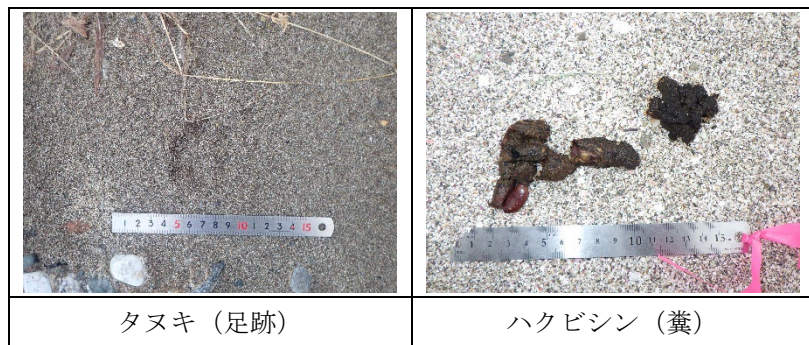


図 2.7-52 哺乳類痕跡写真 (117-1: 木ノ浦)

#### 2.7.14 118-1 (袖ヶ浜・鴨ヶ浦)

##### 1) 調査環境の概要

海浜性の背丈の低い植物が生えている。地震により隆起したことで海岸線がやや海側へ移動しており、かつての潮間帯下の固着生物の遺骸が岩上に白く残っていた。

##### 2) 植物

植物は 38 科 94 種が確認された (表 2.7-70)。その内、希少種は 9 種であった。

調査地区に広がる砂浜ではハマアカザ、オカヒジキ、ツルナ、ハマゴウ、ハマボウフウなどの海浜植物が生育していた。また、地震により海岸が隆起した岩場にはあまり植物は確認されなかったが、水が溜まり湿地化した場所にはドロイ、イソヤマテンツキ、ヤマイ、サンカクイ、ヨシなどの湿生植物が生育していた。

主に確認した種の個体写真を図 2.7-53 に示す。

表 2.7-70 確認した植物 (118-1 : 袖ヶ浜・鴨ヶ浦) (1)

No.	分類群	科名	種名	学名	希少種選定基準					特定外来生物	広く見られた種	特徴的な種
					I	II	III	IV	V			
1	大葉シダ植物	オシダ	オニヤブソテツ	<i>Cyrtomium falcatum</i> ssp. <i>falcatum</i>								
2	裸子植物	マツ	クロマツ	<i>Pinus thunbergii</i>								
3	被子植物-単子葉植物	クサスギカズラ	オオバキボウシ	<i>Hosta sieboldiana</i>								
4		ツユクサ	ツユクサ(広義)	<i>Commelina communis</i>								
5		ガマ	ミクリ属※1	<i>Sparganium</i> sp.			※2	※2				
6			ガマ	<i>Typha latifolia</i>								
7			イグサ	ドロイ	<i>Juncus gracillimus</i>				NT			○
8			カヤツリグサ	コウボウシバ	<i>Carex pumila</i>							
9				ヒメクグ	<i>Cyperus brevifolius</i> var. <i>leiolepis</i>							
10				ホノミキンガヤツリ	<i>Cyperus engelmannii</i>							○
11				ハマスゲ	<i>Cyperus rotundus</i>					DD		
12				イノヤマテンツキ	<i>Fimbristylis sieboldii</i>					VU		○
13				ヤマイ	<i>Fimbristylis subbispicata</i>							○
14				サンカクイ	<i>Schoenoplectus triquetter</i>							○
15			イネ	リケンカルカヤ	<i>Andropogon virginicus</i>							
16				ギョウギシバ	<i>Cynodon dactylon</i>							○
17			メヒシバ	<i>Digitaria ciliaris</i>								
18			アキメヒシバ	<i>Digitaria violascens</i>								
19			イヌビエ	<i>Echinochloa crus-galli</i>								
20			オヒシバ	<i>Eleusine indica</i>								
21			カモノハシ	<i>Ischaemum aristatum</i> var. <i>crassipes</i>								
22			ススキ	<i>Miscanthus sinensis</i>								
23			チカラシバ	<i>Pennisetum alopecuroides</i>								
24			ヨシ	<i>Phragmites australis</i>							○	
25			メダケ	<i>Pleioblastus simonii</i>							○	
26			オニウシノケグサ	<i>Schedonorus phoenix</i>								
27			アキノエノコログサ	<i>Setaria faberi</i>								
28			キンエノコロ	<i>Setaria pumila</i>								
29			シバ	<i>Zoysia japonica</i>								
30	被子植物-真正双子葉植物	ツツラフジ	アオツツラフジ	<i>Cocculus trilobus</i>								
31		キンボウゲ	センニンソウ	<i>Clematis terniflora</i>								○
32			アキカラマツ	<i>Thalictrum minus</i> var. <i>hypoleucum</i>								
33		ペンケイソウ	キンソウ	<i>Pedicularis aizocon</i> var. <i>floribundus</i>								
34		ブドウ	ヤブカラシ	<i>Cayratia japonica</i>								
35			ツタ	<i>Parthenocissus tricuspidata</i>								
36			エビヅル	<i>Vitis ficifolia</i>								
37			マメ	メドハギ	<i>Lespedeza cuneata</i> var. <i>cuneata</i>							
38				セイヨウミヤコグサ	<i>Lotus corniculatus</i> ssp. <i>corniculatus</i>							
39				クズ	<i>Pueraria lobata</i> ssp. <i>lobata</i>							○
40				ムラサキツメクサ	<i>Trifolium pratense</i>							
41			シロツメクサ	<i>Trifolium repens</i>								
42		アサ	エノキ	<i>Celtis sinensis</i>								
43			カナムグラ	<i>Humulus scandens</i>								
44		クワ	ヤマグワ	<i>Morus australis</i>								
45		イラクサ	ヤブマオ	<i>Boehmeria japonica</i> var. <i>longispica</i>								
46	バラ	シャリンバイ※3	<i>Rhaphiolepis indica</i> var. <i>umbellata</i>								○	
47		ハマナス※4	<i>Rosa rugosa</i>					VU	NT			
48			ナワシロイチゴ	<i>Rubus parvifolius</i>								
49		クルミ	オニグルミ	<i>Juglans mandshurica</i> var. <i>sachalinensis</i>								
50		カタバミ	カタバミ	<i>Oxalis corniculata</i>								
51		トウダイグサ	コニシキソウ	<i>Euphorbia maculata</i>								
52		アカバナ	メマツヨイグサ	<i>Oenothera biennis</i>								
53		アブラナ	オニハマダイコン	<i>Cakile edentula</i>								
54			タデ	<i>Persicaria longiseta</i>								
55			ミチヤナギ	<i>Polygonum aviculare</i> ssp. <i>aviculare</i>								
56			ナガバギギシ	<i>Rumex crispus</i>							○	
57		ナデシコ	カワラナデシコ	<i>Dianthus superbus</i> var. <i>longicalycinus</i>								
58		ヒユ	イノコヅチ	<i>Achyranthes bidentata</i> var. <i>japonica</i>								
59			ハマアカザ	<i>Atriplex subcordata</i>							○	
60			アリタソウ	<i>Dysphania ambrosioides</i>								
61			オカヒジキ	<i>Salsola komarovii</i>							○	
62		ハマミズナ	ツルナ	<i>Tetragonia tetragonoides</i>							○	
63		サクラソウ	ハマボウス	<i>Lysimachia mauritiana</i> var. <i>mauritiana</i>							○	
64		アカネ	ヘクソカズラ	<i>Paederia foetida</i>								
65		ヒルガオ	ハマヒルガオ	<i>Calystegia soldanella</i>							○	
66			グンバイヒルガオ	<i>Ipomoea pes-caprae</i>							○	
67		ナス	ヒヨドリジョウゴ	<i>Solanum kratum</i>								
68			イヌホオズキ	<i>Solanum nigrum</i>								
69		ムラサキ	スナヒキソウ	<i>Heliotropium japonicum</i>							○	
70		オオバコ	オオバコ	<i>Plantago asiatica</i> var. <i>asiatica</i>								
71			トウオオバコ	<i>Plantago japonica</i>					NT			

表 2.7-70 確認した植物 (118-1 : 袖ヶ浜・鴨ヶ浦) (2)

No.	分類群	科名	種名	学名	希少種選定基準					特定外来生物	広く見られた種	特徴的な種
					I	II	III	IV	V			
72	被子植物-真正双子葉植物	オオバコ	オオカワヂシャ	<i>Veronica anagallis-aquatica</i>							○	
73		シソ	ハマゴウ	<i>Vitex rotundifolia</i>								○
74		キキョウ	ツリガネニンジン	<i>Adenophora triphylla</i> var. <i>japonica</i>								
75		キク	ヨモギ	<i>Artemisia indica</i> var. <i>maximowiczii</i>								
76			オトコヨモギ	<i>Artemisia japonica</i> ssp. <i>japonica</i> var. <i>japonica</i>								○
77			オオヨモギ	<i>Artemisia montana</i>								
78			ノコンギク	<i>Aster microcephalus</i> var. <i>ovatus</i>								○
79			アメリカセンダングサ	<i>Bidens frondosa</i>								
80			ジャクエツアザミ	<i>Cirsium takoii</i>								
81			タカサブロウ	<i>Eclipta thermalis</i>					NT			
82			ヒメジョオン	<i>Erigeron annuus</i>								
83			ヒメムカシヨモギ	<i>Erigeron canadensis</i>								
84			ブタナ	<i>Hypochaeris radicata</i>								
85			ハマニガナ	<i>Ixeris repens</i>								○
86			アキノノゲシ	<i>Lactuca indica</i> var. <i>indica</i>								○
87			セイタカアワダチソウ	<i>Solidago altissima</i>								
88			セイヨウタンポポ	<i>Taraxacum officinale</i>								
89			オオオナモミ	<i>Xanthium occidentale</i>								○
90		トベラ	トベラ	<i>Pittosporum tobira</i>								○
91		セリ	シシウド属	<i>Angelica</i> sp.								
92		ハマゼリ	<i>Cnidium japonicum</i>								○	
93		ハマボウフウ	<i>Glehnia littoralis</i>					NT			○	
94		スイカズラ	<i>Lonicera japonica</i>									
合計	-	38科	94種	-	0種	0種	1種	9種	0種	1種	17種	13種

- ※1 「石川県植物目録 2020(維管束植物)」(石川県絶滅危惧植物調査会および石川県地域植物研究会,2020)の分布情報から、ミクリ、ヤマトミクリ、タマミクリ、ナガエミクリ、ヒメミクリのいずれかである可能性が高いと考えられる。これらは重要種選定基準に該当するため、ミクリ属を重要種として扱った。
- ※2 ランクはミクリ (環境省 NT、石川県 VU)、ヤマトミクリ (環境省 NT、石川県 NT)、タマミクリ (環境省 NT、石川県 VU)、ナガエミクリ (環境省 NT、石川県 VU)、ヒメミクリ (環境省 VU、石川県 EN) である。
- ※3 「石川県の絶滅のおそれのある野生生物 いしかわレッドデータブック 2020 植物編」(石川県, 2020 年)ではマルバシャリンバイとして掲載されている。ただし、シャリンバイとマルバシャリンバイは形態が連続しており、種レベルの区別は不可能である旨がレッドデータブックにも記述されているため、今回確認したものはすべてシャリンバイとしてまとめ、重要種として扱った。
- ※4 本地区のハマナスは現地の状況から、移植され、保護されているものと考えられるが、種としては選定基準に該当するため重要種として扱った。



図 2.7-53 植物個体写真 (118-1 : 袖ヶ浜・鴨ヶ浦)



表 2.7-71 確認した昆虫類 (118-1 : 袖ヶ浜・鴨ヶ浦) (2)

No.	目名	科名	種名	学名	希少種選定基準					特定外来生物	広く見られた種	特徴的な種
					I	II	III	IV	V			
53	ハエ(双翅)	ヒメガガンボ	ナミヒメガガンボ属	<i>Dicranomyia</i> sp.								
54		アシナガバエ	アシナガバエ科	Dolichopodidae sp.								
55		ハナアブ	ホソヒラタアブ		<i>Episyrphus balteatus</i>							
56			フタホソヒラタアブ		<i>Eupeodes corollae</i>							
57			アシトハナアブ		<i>Helophilus cristaloideus</i>							
58			ツヤヒラタアブ		<i>Melanostoma orientale</i>							
59			Paragus属		<i>Paragus</i> sp.							
60			ホソヒラタアブ		<i>Sphaerophoria macrogaster</i>							
61		キモグリバエ	キモグリバエ科	Chloropidae sp.								
62		ヤチバエ	ヒゲナガヤチバエ	<i>Sepedon aenescens</i>								
63		ミバエ	アレチケブカミバエ	<i>Campiglossa deserta</i>								
64		クロバエ	Lucilia属	<i>Lucilia</i> sp.								
65		イエバエ	イネクキイエバエ	<i>Atherigona oryzae</i>								
66		ヤドリバエ	ヤドリバエ科	Tachinidae sp.								
67		コウチュウ(鞘翅)	オサムシ	ゴミムシ	<i>Anisodactylus signatus</i>							
68				クロモリヒラタゴミムシ	<i>Colpodes atricomis</i>							
69			ウスアカクロゴモクムシ	<i>Harpalus sinicus</i>								
70			コゴモクムシ	<i>Harpalus tridens</i>								
71			ホソヒラタムシ	Psammoecus属	<i>Psammoecus</i> sp.							
72			カミキリムシ	アトモンサビカミキリ	<i>Pterolophia granulata</i>							
73			ハムシ	クロウリハムシ	<i>Aulacophora nigripennis nigripennis</i>							
74				ヨモギハムシ	<i>Chrysolina aurichalcea</i>							
75				ムネアカキバネサルハムシ	<i>Pagria consimile</i>							
76	ハチ(膜翅)	コマユバチ	コマユバチ科	Braconidae sp.								
77		ヒメバチ	ヒメバチ科	Ichneumonidae sp.								
78		アリ	ウメマツオオアリ		<i>Camponotus vitosus</i>							
79			クロヤマアリ		<i>Formica japonica</i> (s.l.)							
80			トビイロケアリ		<i>Lasius japonicus</i>							
81			トビイロシワアリ		<i>Tetramorium tsushimae</i>							
82		スズメバチ	オオスズメバチ	<i>Vespa mandarinia</i>								
83			キイロスズメバチ	<i>Vespa simillima</i>								
合計	9目	50科	83種	-	0種	0種	0種	1種	0種	0種	7種	4種
					合計:1種							

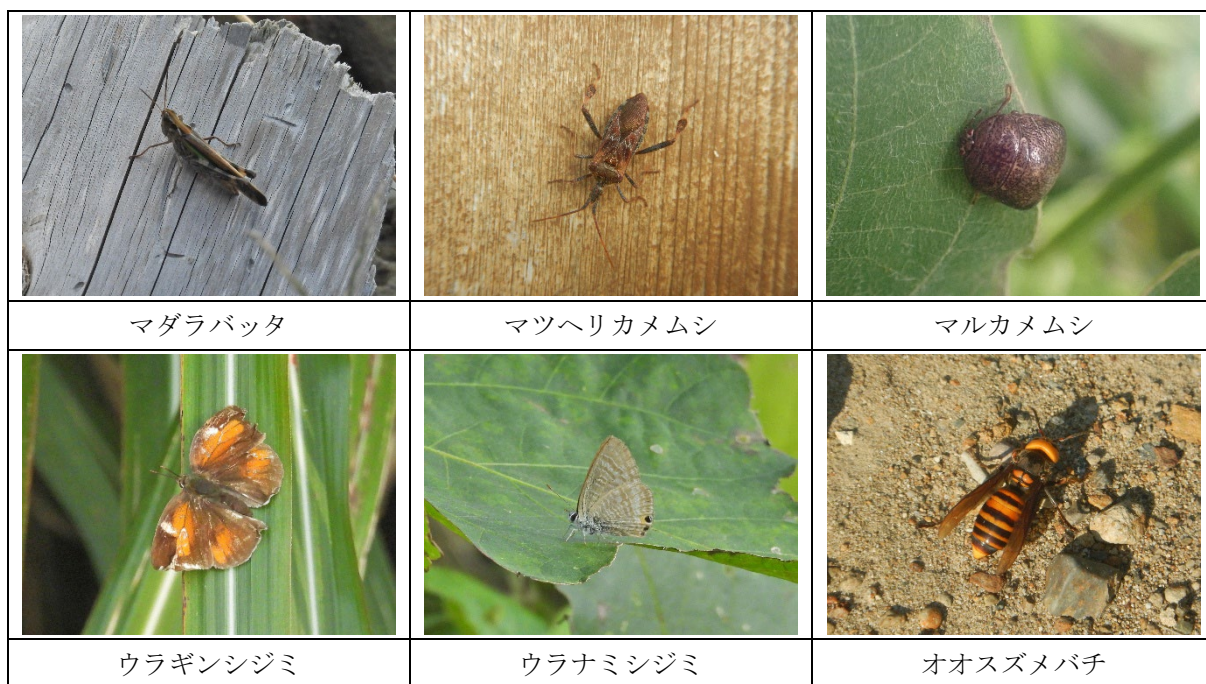


図 2.7-54 昆虫類個体写真 (118-1 : 袖ヶ浜・鴨ヶ浦)

#### 4) 鳥類

鳥類は6目14科22種が確認された(表 2.7-72)。その内、希少種は6種であった。

調査地区を象徴する隆起した海岸線では、シノリガモやウミネコ、オオセグロカモメ、クロサギといった海浜環境、岩礁帯を好む種が見られたほか、砂浜ではトビやハシブトガラスが採餌をしていた。周囲の樹林や草地では、ヒヨドリやホオジロなどが見られた。

主に確認した種の個体写真を図 2.7-55 に示す。

表 2.7-72 確認した鳥類 (118-1: 袖ヶ浜・鴨ヶ浦)

No.	目名	科名	種名	学名	希少種選定基準					特定外来生物	広く見られた種	特徴的な種
					I	II	III	IV	V			
1	カモ	カモ	シノリガモ	<i>Histrionicus histrionicus</i>				NT			○	
2	チドリ	シギ	イソシギ	<i>Actitis hypoleucos</i>				NT				
3		カモメ	ウミネコ	<i>Larus crassirostris</i>								
4			オオセグロカモメ	<i>Larus schistisagus</i>			NT				○	
5	カツオドリ	ウ	ウミウ	<i>Phalacrocorax capillatus</i>								
6			カワウ	<i>Phalacrocorax carbo</i>								
7	ペリカン	サギ	ダイサギ	<i>Ardea alba</i>								
8			クロサギ	<i>Egretta sacra</i>				NT			○	
9	タカ	ミサゴ	ミサゴ	<i>Pandion haliaetus</i>			NT	NT				
10		タカ	ハイタカ	<i>Accipiter nisus</i>			NT	NT				
11			トビ	<i>Milvus migrans</i>							○	
12	スズメ	カラス	ハシボソガラス	<i>Corvus corone</i>							○	
13			ハシブトガラス	<i>Corvus macrorhynchos</i>							○	
14		ヒヨドリ	ヒヨドリ	<i>Hypsipetes amaurotis</i>								
15		ヒタキ	ジョウビタキ	<i>Phoenicurus aureoreus</i>								
16			イソヒヨドリ	<i>Monticola solitarius</i>								
17		スズメ	スズメ	<i>Passer montanus</i>								
18		セキレイ	ハクセキレイ	<i>Motacilla alba</i>								
19			セグロセキレイ	<i>Motacilla grandis</i>								
20		アトリ	カワラヒフ	<i>Chloris sinica</i>								
21		ホオジロ	ホオジロ	<i>Emberiza cioides</i>								
22			オオジュリン	<i>Emberiza schoeniclus</i>								
合計	6目	14科	22種	-	0種	0種	3種	5種	0種	0種	2種	3種
					合計:6種							



図 2.7-55 鳥類個体写真 (118-1: 袖ヶ浜・鴨ヶ浦)

### 5) 両生類・爬虫類・哺乳類

爬虫類は1目1科1種、哺乳類は1目2科2種が確認された（表 2.7-73、表 2.7-74）。希少種の確認はなかった。また、調査地区において両生類の確認はなかった。

調査地区を象徴する隆起した海岸線では、タヌキの足跡やテンの糞が見られた。海岸に面した樹林では、ニホンカナヘビが見られた。

主に確認した種の個体写真を図 2.7-56 に示す。

表 2.7-73 確認した爬虫類（118-1：袖ヶ浜・鴨ヶ浦）

No.	目名	科名	種名	学名	希少種選定基準					特定外来生物	広く見られた種	特徴的な種
					I	II	III	IV	V			
1	有鱗	カナヘビ	ニホンカナヘビ	<i>Takydromus tachydromoides</i>								
合計	1目	1科	1種	-	0種	0種	0種	0種	0種	0種	0種	0種
					合計:0種							

表 2.7-74 確認した哺乳類（118-1：袖ヶ浜・鴨ヶ浦）

No.	目名	科名	種名	学名	希少種選定基準					特定外来生物	広く見られた種	特徴的な種
					I	II	III	IV	V			
1	ネコ(食肉)	イヌ	タヌキ	<i>Nyctereutes procyonoides</i>								
2		イタチ	テン(ホンドテン)	<i>Martes melampus (M. m. melampus)</i>								
合計	1目	2科	2種	-	0種	0種	0種	0種	0種	0種	0種	0種
					合計:0種							



図 2.7-56 爬虫類・哺乳類個体写真、痕跡写真（118-1：袖ヶ浜・鴨ヶ浦）

#### 2.7.15 203-1（志ヶ浦）

##### (1) 調査環境の概要

地区内の多くは耕作地となっており、畔や休耕地はセイタカアワダチソウが繁茂する。一部、ガマが生えた湿地があり、わずかに水が溜まっている。耕作地内の水路は水が流れ、海に流れ込んでいる。

1) 昆虫類

昆虫類は9目39科53種が確認された(表2.7-75)。希少種の確認はなかった。

調査地区に広がる耕作地やその周囲の畔では、チョウセンカマキリやツマグロオオヨコバイ、コバネイナゴなどの草地環境を好む種が見られた。水が溜まった箇所は湿地が形成されており、コマツモムシ、コシマゲンゴロウ、ヒメゲンゴロウなどの水生昆虫も見られた。周囲の樹林ではモリチャバネゴキブリやカネタタキ、コガタズメバチといった樹林環境を好む種も見られた。

主に確認した種の個体写真を図2.7-57に示す。

表2.7-75 確認した昆虫類(203-1:志ヶ浦)

No.	目名	科名	種名	学名	希少種選定基準					特定外 来生物	広く見ら れた種	特徴的 な種
					I	II	III	IV	V			
1	トンボ(蜻蛉)	ヤンマ	キンヤンマ	<i>Anax parthenope julius</i>								
2		トンボ	シオカラトンボ	<i>Orthetrum albistylum speciosum</i>								
3	ゴキブリ(網翅)	チャバネゴキブリ	モリチャバネゴキブリ	<i>Blattella nipponica</i>								
4	カマキリ(鱗翅)	カマキリ	チョウセンカマキリ	<i>Tenodera angustipennis</i>							○	○
5	バッタ(直翅)	ツユムシ	セスジツユムシ	<i>Ducetia japonica</i>							○	
6			ツユムシ	<i>Phaneroptera falcata</i>								
7		キリギリス	ヒガシキリギリス	<i>Gampsocleis mikado</i>								○
8		マツムシ	アオマツムシ	<i>Trujalia hibinonis</i>								
9		ヨオロギ	エンマヨオロギ	<i>Teleogryllus emma</i>								
10		カネタタキ	カネタタキ	<i>Ornebius kanetataki</i>							○	
11		イナゴ	コバネイナゴ	<i>Oxya vezoensis</i>								
12	カメムシ(半翅)	ウンカ	Stenocranus属	<i>Stenocranus</i> sp.								
13		ハゴロモ	ベッコウハゴロモ	<i>Orosanga japonicus</i>							○	
14		アワフキムシ	ハマベアワフキ	<i>Aphrophora maritima</i>								
15		ヨコバイ	ツマグロオオヨコバイ	<i>Bothrogonia ferruginea</i>							○	
16			オサヨコバイ	<i>Tartessus ferrugineus</i>								
17		カスミカメムシ	ツマグロオオカスミカメ	<i>Apolysus spinolae</i>								
18		ホシカメムシ	クロホシカメムシ	<i>Pyrrhocoris sinuaticollis</i>								
19		ヒメヘリカメムシ	ケブカヒメヘリカメムシ	<i>Rhopalus sapporensis</i>								
20		ナガカメムシ	ヒメナガカメムシ	<i>Nysius plebeius</i>								
21			コバネヒョウダンナガカメムシ	<i>Togo hemipterus</i>							○	
22		カメムシ	クサギカメムシ	<i>Halymorpha halys</i>								
23		アメンボ	シマアメンボ	<i>Metrocoris histrio</i>								
24		マツムシ	コマツモムシ	<i>Anisops ogasawarensis</i>								○
25	チョウ(鱗翅)	セセリチョウ	チャバネセセリ	<i>Pelopidas mathias oberthueri</i>								
26		ツトガ	シロモンノメイガ	<i>Bocchoris inspersalis</i>								
27			ワモンノメイガ	<i>Nomophila noctuella</i>								
28		ヤガ	ハスモンヨトウ	<i>Spodoptera litura</i>								
29	ハエ(双翅)	ヒメガガンボ	ヒメガガンボ科	Limoniidae sp.								
30		アシナガバエ	アシナガバエ科	Dolichopodidae sp.								
31		ハナアブ	ホシメハナアブ	<i>Eristalinus tarsalis</i>								
32			シマハナアブ	<i>Eristalis cerealis</i>								
33			フタホシヒラタアブ	<i>Eupeodes corollae</i>								
34		ミギワバエ	ミナミカマバエ	<i>Ochthera circularis</i>								
35		トゲハネバエ	Suillia rubida	<i>Suillia rubida</i>								
36		イエバエ	カガハナゲバエ	<i>Dichaetomyia bibax</i>								
37			ヒメセマダライエバエ	<i>Graphomya rufitibia</i>								
38			ミドリイエバエ	<i>Neomyia timorensis</i>								
39		ヤドリバエ	ヤドリバエ科	Tachinidae sp.								
40	コウチュウ(鞘翅)	オサムシ	セアカヒラタゴムシ	<i>Dolichus halensis</i>								
41		ゲンゴロウ	コシマゲンゴロウ	<i>Hydaticus grammicus</i>								○
42			ヒメゲンゴロウ	<i>Rhantus suturalis</i>								
43		ガムシ	キイロヒラタガムシ	<i>Enochrus simulans</i>								
44		テントウムシ	ナミテントウ	<i>Harmonia axyridis</i>								
45			ヒメカモノコテントウ	<i>Propylea japonica</i>								
46		ハムシ	ウリハムシ	<i>Aulacophora indica</i>								
47	ハチ(膜翅)	ヒメバチ	ヒメバチ科	Ichneumonidae sp.								
48		アリ	クロヤマアリ	<i>Formica japonica</i> (s.l.)								
49			トビロケアリ	<i>Lasius japonicus</i>								
50			アミメアリ	<i>Pristomyrmex punctatus</i>								
51		ズメバチ	セグロアシナガバチ本土亜種	<i>Polistes jokahamae jokahamae</i>							○	
52			コガタズメバチ	<i>Vespa analis</i>								
53			キイロズメバチ	<i>Vespa simillima</i>								
合計	9目	39科	53種	-	0種	0種	0種	0種	0種	0種	7種	4種
					合計:20種							



図 2.7-57 昆虫類個体写真 (203-1 : 志ヶ浦)

## 2) 鳥類

鳥類は 10 目 22 科 36 種が確認された (表 2.7-76)。その内、希少種は 5 種であった。

調査地区の海域では、マガモを主としたカモ類やハジロカイツブリが見られ、海岸沿いでは、イソシギやミサゴなどの水辺周辺を好む種が見られた。休耕地が遷移した湿地ではオオジュリンの個体数が多かったほか、ツグミやベニマシコなどが見られ、樹林や林縁ではハイタカやカケス、シロハラなどの樹林に生息する種が見られた。

主に確認した種の個体写真を図 2.7-58 に示す。

表 2.7-76 確認した鳥類 (203-1 : 志ヶ浦)

No.	目名	科名	種名(亜種名)	学名	希少種選定基準					特定外来生物	広く見られた種	特徴的な種
					I	II	III	IV	V			
1	カモ	カモ	ヒシクイ(オオヒシクイ)	<i>Anser fabalis (A.f.middendorffii)</i>	天		NT	VU				
2			カルガモ	<i>Anas zonorhyncha</i>								
3			マガモ	<i>Anas platyrhynchos</i>						○		
4			コガモ	<i>Anas crecca</i>								
5	キジ	キジ	キジ	<i>Phasianus versicolor</i>								
6	ハト	ハト	キジバト	<i>Streptopelia orientalis</i>								
7	カイツブリ	カイツブリ	ハジロカイツブリ	<i>Podiceps nigricollis</i>							○	
8	チドリ	シギ	イソシギ	<i>Actitis hypoleucos</i>				NT				
9		カモメ	オオセグロカモメ	<i>Larus schistisagus</i>			NT					
10	カツオドリ	ウ	カワウ	<i>Phalacrocorax carbo</i>								
11	ペリカン	サギ	アオサギ	<i>Ardea cinerea</i>								
12	タカ	ミサゴ	ミサゴ	<i>Pandion haliaetus</i>			NT	NT				
13		タカ	ハイタカ	<i>Accipiter nisus</i>			NT	NT				
14			トビ	<i>Milvus migrans</i>								
15	キツツキ	キツツキ	アカゲラ	<i>Dendrocopos major</i>								
16	スズメ	モズ	モズ	<i>Lanius bucephalus</i>								
17		カラス	カケス	<i>Garrulus glandarius</i>							○	
18			ハシボソガラス	<i>Corvus corone</i>								
19			ハシブトガラス	<i>Corvus macrorhynchos</i>								
20		シジュウカラ	ヤマガラ	<i>Sittiparus varius</i>								
21		ヒヨドリ	ヒヨドリ	<i>Hypsipetes amaurotis</i>								
22		ウグイス	ウグイス	<i>Horornis diphone</i>								
23		ツグミ	シロハラ	<i>Turdus pallidus</i>								
24			アカハラ	<i>Turdus chrysolaus</i>								
25			ツグミ	<i>Turdus eunomus</i>						○		
26		ヒタキ	ショウビタキ	<i>Phoenicurus aureus</i>								
27			インヒヨドリ	<i>Monticola solitarius</i>								
28		スズメ	スズメ	<i>Passer montanus</i>								
29		セキレイ	セグロセキレイ	<i>Motacilla grandis</i>								
30		アトリ	アトリ	<i>Fringilla montifringilla</i>								
31			イカル	<i>Eophona personata</i>								
32			ベニマシコ	<i>Carpodacus sibiricus</i>								
33			カワラヒワ	<i>Chloris sinica</i>								
34		ホオジロ	ホオジロ	<i>Emberiza cioides</i>								
35			カシラダカ	<i>Emberiza rustica</i>								
36			オオジュリン	<i>Emberiza schoeniclus</i>							○	
合計	10目	22科	36種	-	1種	0種	4種	4種	0種	0種	2種	3種
					合計:5種							



図 2.7-58 鳥類個体写真 (203-1 : 志ヶ浦)

### 3) 両生類・爬虫類・哺乳類

両生類は1目2科2種、哺乳類は2目2科2種が確認された(表 2.7-77、表 2.7-78)。

希少種の確認はなかった。また、調査地区において爬虫類の確認はなかった。

調査地区内の休耕地やその周囲の畔では、ニホンアマガエルやイノシシの掘り返しが確認された。周囲の樹林ではシュレーゲルアオガエルの鳴き声やキツネの糞も見られた。

主に確認した種の個体写真を図 2.7-59 に示す。

表 2.7-77 確認した両生類 (203-1 : 志ヶ浦)

No.	目名	科名	種名	学名	希少種選定基準					特定外来生物	広く見られた種	特徴的な種
					I	II	III	IV	V			
1	無尾	アマガエル	ニホンアマガエル	<i>Dryophytes japonicus</i>								○
2		アオガエル	シュレーゲルアオガエル	<i>Zhangixalus schlegelii</i>								
合計	1目	2科	2種	-	0種	0種	0種	0種	0種	0種	0種	1種
					合計:0種							

表 2.7-78 確認した哺乳類 (203-1 : 志ヶ浦)

No.	目名	科名	種名	学名	希少種選定基準					特定外来生物	広く見られた種	特徴的な種
					I	II	III	IV	V			
1	ネコ(食肉)	イヌ	キツネ	<i>Vulpes vulpes</i>								
2	ウシ(偶蹄)	イノシシ	イノシシ	<i>Sus scrofa</i>								
合計	2目	2科	2種	-	0種	0種	0種	0種	0種	0種	0種	0種
					合計:0種							



図 2.7-59 哺乳類痕跡写真（203-1：志ヶ浦）

## 2.7.16 203-2（由比ヶ丘）

### 1) 調査環境の概要

キャンプ場周辺は広葉樹二次林が広がっている。

現在、管理はされていないが、遊歩道が海岸まで続いており、海岸沿いには湿地や湿性林（ハンノキ林）が存在している。

### 2) 植物

植物は62科134種が確認された（表 2.7-79）。その内、希少種は4種であった。

調査地区に広がるスダジイ、コナラなどを中心とした広葉樹二次林ではイタビカズラ、ヤブニッケイ、シュンラン、ソヨゴ、キッコウハグマなどが生育していた。樹林と海岸の境界付近には湿地となっている箇所があり、サンカクイ、ヨシ、ハンノキ、ヒメシロネ、ヒメジソなどの湿生植物が確認されている。海岸部は護岸されており、海浜植物はみられなかったが、沿岸部に多いタブノキがみられている。

主に確認した種の個体写真を図 2.7-60 に示す。



表 2.7-79 確認した植物 (203-2 : 由比ヶ浜) (2)

No.	分類群	科名	種名	学名	希少種選定基準					特定外来生物	広く見られた種	特徴的な種	
					I	II	III	IV	V				
77	被子植物-真正双子葉植物	スミレ	マキノスミレ	<i>Viola violacea</i> var. <i>makinoi</i>									
78		オトギリソウ		<i>Hypericum erectum</i>									
79				<i>Hypericum patulum</i>									
80		ブクロソウ		<i>Geranium thunbergii</i>							○		
81		ウルシ	スルデ		<i>Rhus javanica</i> var. <i>chinensis</i>								
82			ツタウルシ		<i>Toxicodendron orientale</i> ssp. <i>orientale</i>								
83			ヤマウルシ		<i>Toxicodendron trichocarpum</i>								
84		ムクロジ			<i>Acer japonicum</i>								
85		ミカン	カラスザンショウ		<i>Zanthoxylum ailanthoides</i> var. <i>ailanthoides</i>								
86			サンショウ		<i>Zanthoxylum piperitum</i>								
87		タデ	ボントクタデ		<i>Persicaria pubescens</i>								
88			ミソソバ		<i>Persicaria thunbergii</i> var. <i>thunbergii</i>							○	
89		ミズキ			<i>Cornus macrophylla</i>								
90	アジサイ	ツルアジサイ		<i>Calypttranthe petiolaris</i>									
91		ウツギ			<i>Deutzia crenata</i> var. <i>crenata</i>								
92		イワガラミ		<i>Schizophragma hydrangeoides</i>									
93	サカキ	サカキ		<i>Clevers japonica</i>									
94		ヒサカキ			<i>Eurya japonica</i>							○	
95	ツバキ			<i>Camellia japonica</i>									
96	エゴノキ			<i>Styrax japonicus</i>									
97	リョウブ			<i>Clethra barbinervis</i>							○		
98	ツツジ	ネジキ		<i>Lyonia ovalifolia</i> var. <i>elliptica</i>									
99		ヤマツツジ		<i>Rhododendron kaempferi</i> var. <i>kaempferi</i>									
100		ユキクニミツバツツジ			<i>Rhododendron lagopus</i> var. <i>niphophilum</i>								
101		シマシマシボ			<i>Vaccinium bracteatum</i>				NT			○	
102		ナツハゼ			<i>Vaccinium oldhamii</i>								
103	アオキ			<i>Aucuba japonica</i> var. <i>borealis</i>									
104	アカネ			<i>Paederia foetida</i>									
105	キョウチクトウ	チョウジソウ※2		<i>Ansonia elliptica</i>				NT	EN				
106		テイカカズラ			<i>Trachelospermum asiaticum</i>								
107	モクセイ			<i>Fraxinus sieboldiana</i>									
108		ネズミモチ		<i>Leigustrum japonicum</i> var. <i>japonicum</i>									
109	オオバコ			<i>Plantago asiatica</i> var. <i>asiatica</i>									
110	シソ	ムラサキシソ		<i>Callicarpa japonica</i> var. <i>japonica</i>							○		
111		ヒメオドリコソウ		<i>Lamium purpureum</i>									
112		ヒメシロネ			<i>Lycopus maackianus</i>							○	
113		ヒメジソ			<i>Mosla dianthera</i>							○	
114		モチノキ	ハイイヌツゲ		<i>Ilex crenata</i> var. <i>radicans</i>								
115	モチノキ			<i>Ilex integra</i>									
116	アオハダ				<i>Ilex macropoda</i>								
117	ソヨゴ				<i>Ilex pedunculosa</i>							○	
118	キク				<i>Ainsliae apiculata</i>							○	
119		ヨモギ		<i>Artemisia indica</i> var. <i>maximowiczii</i>									
120		ノコンギク		<i>Aster microcephalus</i> var. <i>ovatus</i>									
121		アフリカセンダングサ		<i>Bidens frondosa</i>									
122		サンゴクセンノウ		<i>Carpesium glossophyllum</i>									
123		ジャクエンアザミ		<i>Cirsium takaol</i>									
124		ヒメジョオン		<i>Erigeron annuus</i>									
125		フタナ		<i>Hypochaeris radicata</i>									
126		セイタカアワダチソウ		<i>Solidago altissima</i>									
127		アキノキリンソウ		<i>Solidago virgaurea</i> ssp. <i>asiatica</i> var. <i>asiatica</i>									
128		オヤマボクチ		<i>Synurus pungens</i>									
129	ウコギ	コシアブラ		<i>Chengioanax sciadophylloides</i>							○		
130		タカノツメ			<i>Gamblea inovans</i>								
131		ハリギリ		<i>Kalopanax septemlobus</i> ssp. <i>septemlobus</i>									
132	ガマズミ	ニトコ		<i>Sambucus racemosa</i> ssp. <i>sieboldiana</i> var. <i>sieboldiana</i>									
133		シヤマガマズミ			<i>Viburnum wrightii</i> var. <i>wrightii</i>								
134		スイカズラ		<i>Weigela hortensis</i>									
合計	-	62科	134種	-	0種	0種	1種	1種	1種	0種	0種	15種	16種
					合計:4種								

※1 ヒノキアスナロは現地の状況および「石川県の絶滅のおそれのある野生生物 いしかわレッドデータブック 2020 植物編」(石川県, 2020年)の分布情報から、植林もしくはそれに由来するものと考えられるが、種としては選定基準に該当するため重要種として扱った。

※2 チョウジソウは現地の状況から、移植され、保護されているものと考えられるが、種としては選定基準に該当するため重要種として扱った。



図 2.7-60 植物個体写真 (203-2 : 志ヶ浦)

### 3) 昆虫類

昆虫類は 12 目 28 科 35 種が確認された (表 2.7-80)。希少種の確認はなかった。

調査地区に広がる広葉樹二次林では、カネタタキやエサキモンキツノカメムシ、クロスズメバチなどの樹林環境を好む種が見られた。周囲の草地や林縁では、ハラビロカマキリやツマグロオオヨコバイなどの草地環境を好む種も見られた。

主に確認した種の個体写真を図 2.7-61 に示す。

表 2.7-80 確認した昆虫類 (203-2 : 由比ヶ浜)

No.	目名	科名	種名	学名	希少種選定基準					特定外来生物	広く見られた種	特徴的な種
					I	II	III	IV	V			
1	トンボ(蜻蛉)	イトトンボ	アオモンイトトンボ	<i>Ischnura senegalensis</i>								
2	ゴキブリ(網翅)	チャバネゴキブリ	モリチャバネゴキブリ	<i>Blattella nipponica</i>								
3	カマキリ(鱗翅)	カマキリ	ハラビロカマキリ	<i>Hierodula patellifera</i>								○
4	シロアリ	ミンガシラシロアリ	ヤマトシロアリ	<i>Reticulitermes speratus speratus</i>								
5	カワゲラ(セキ翅)	オナシカワゲラ	オナシカワゲラ属	<i>Nemoura</i> sp.								
6	バッタ(直翅)	ツコムシ	セスジツコムシ	<i>Ducetia japonica</i>								○
7		カネタタキ	カネタタキ	<i>Ornebius kanetataki</i>								○
8		ヒバリモドキ	クサヒバリ	<i>Svistella bifasciata</i>								
9	カメムシ(半翅)	アオバハゴロモ	アオバハゴロモ	<i>Geisha distinctissima</i>								○
10		ハゴロモ	アミガサハゴロモ	<i>Pochazia albomaculata</i>								
11		グンバイウンカ	ヒラタグンバイウンカ	<i>Ossoides lineatus</i>								
12		アワフキムシ	イシダアワフキ	<i>Aphrophora ishidae</i>								
13		ヨコバイ	ツماغロオオヨコバイ	<i>Bothrogonia ferruginea</i>								○
14			マダラヨコバイ	<i>Psammotettix striatus</i>								
15			オサヨコバイ	<i>Tartessus ferrugineus</i>								
16		カスミカメムシ	ツماغロアオカスミカメ	<i>Apolvgus spinolae</i>								
17			マダラカスミカメ	<i>Cyphodemidea saundersi</i>								
18		ツノカメムシ	エサキモンキツノカメムシ	<i>Sastragala esakii</i>								
19		カメムシ	チャバネアオカメムシ	<i>Plautia stali</i>								
20	アミメカゲロウ(脈翅)	ヒロバカゲロウ	スasihiroバカゲロウ	<i>Osmylus hyalinatus</i>								
21		クサカゲロウ	フタモンクサカゲロウ	<i>Dichochrysa formosanus</i>								
22	チョウ(鱗翅)	セセリチョウ	チャバネセセリ	<i>Pelopidas mathias oberthueri</i>								
23		シジミチョウ	ウラギンシジミ	<i>Curetis acuta paracuta</i>								
24			ウラナシジミ	<i>Lampides boeticus</i>								
25		ツトガ	クビシロノメイガ	<i>Pileotocera aegimiusalis</i>								
26	ハエ(双翅)	ヒメガガンボ	ウスナミガタガガンボ	<i>Libnotes nohirai</i>								
27		ガガンボ	キリウジガガンボ	<i>Tipula aino</i>								
28		ハナアブ	ハナダカハナアブ	<i>Rhingia laevigata</i>								
29	コウチュウ(鞘翅)	ヨガネムシ	アオハナムグリ	<i>Cetonia roelofsi roelofsi</i>								
30		ハムシ	ウリハムシ	<i>Aulacophora indica</i>								
31	ハチ(膜翅)	アリ	ハリフトシリアゲアリ	<i>Crematogaster matsumurai</i>								
32			アメイロアリ	<i>Nylanderia flavipes</i>								
33			トビイロシワアリ	<i>Tetramorium tsushimae</i>								
34		スズメバチ	オオスズメバチ	<i>Vespa mandarinia</i>								
35			クロスズメバチ	<i>Vespa flaviceps</i>								
合計	12目	28科	35種	-	0種	10種	0種	10種	0種	0種	4種	1種
					合計:0種							



図 2.7-61 昆虫類個体写真 (203-2 : 由比ヶ浜)

#### 4) 鳥類

鳥類は7目18科29種が確認された(表 2.7-81)。その内、希少種は2種であった。

調査地区に広がる広葉樹二次林やその林縁では、ヤマガラやシジュウカラ、エナガなど樹林を好む種が見られた。調査地区は海岸線に面しており、海面ではカルガモやマガモなどのカモ類や、ウミネコ、セグロカモメ、イソヒヨドリなどの海辺に生息する種が見られた。

主に確認した種の個体写真を図 2.7-62 に示す。

表 2.7-81 確認した鳥類 (203-2 : 由比ヶ浜)

No.	目名	科名	種名	学名	希少種選定基準					特定外来生物	広く見られた種	特徴的な種	
					I	II	III	IV	V				
1	カモ	カモ	カルガモ	<i>Anas zonorhyncha</i>								○	
2			マガモ	<i>Anas platyrhynchos</i>								○	
3			コガモ	<i>Anas crecca</i>									
4	チドリ	シギ	イソシギ	<i>Actitis hypoleucos</i>					NT				
5		カモメ	ウミネコ	<i>Larus crassirostris</i>									
6			セグロカモメ	<i>Larus vegae</i>									
7	ペリカン	サギ	アオサギ	<i>Ardea cinerea</i>									
8	タカ	ミサゴ	ミサゴ	<i>Pandion haliaetus</i>				NT	NT				
9	ブッポウソウ	カワセミ	カワセミ	<i>Alcedo atthis</i>									
10	キツツキ	キツツキ	コゲラ	<i>Yungipicus kizuki</i>									
11	スズメ	カラス	ハシボソガラス	<i>Corvus corone</i>									
12			ハシブトガラス	<i>Corvus macrorhynchos</i>									
13			シジュウカラ	ヒガラ	<i>Periparus ater</i>								
14			ヤマガラ	<i>Sittiparus varius</i>									
15			シジュウカラ	<i>Parus cinereus</i>								○	
16		ヒヨドリ	ヒヨドリ	<i>Hypsipetes amaurotis</i>									
17		ウグイス	ウグイス	<i>Horornis diphone</i>									
18		エナガ	エナガ	<i>Aegithalos caudatus</i>								○	
19		キクイタダキ	キクイタダキ	<i>Regulus regulus</i>									
20		ツグミ	アカハラ	<i>Turdus chrysolaus</i>									
21			ツグミ	<i>Turdus eunomus</i>									
22		ヒタキ	ルリビタキ	<i>Tarsiger cyanurus</i>									
23			ジョウビタキ	<i>Phoenicurus aureoreus</i>									
24			イソヒヨドリ	<i>Monticola solitarius</i>									
25		スズメ	スズメ	<i>Passer montanus</i>									
26		セキレイ	セグロセキレイ	<i>Motacilla grandis</i>									
27		アトリ	アトリ	<i>Fringilla montifringilla</i>								○	
28			イカル	<i>Eophona personata</i>									
29			マヒワ	<i>Spinus spinus</i>									
合計	7目	18科	29種	-	0種	0種	1種	2種	0種	0種	2種	3種	
					合計:2種								



図 2.7-62 鳥類個体写真 (203-2 : 由比ヶ浜)

## 5) 両生類・爬虫類・哺乳類

哺乳類は4目5科5種が確認された(表 2.7-82)。希少種の確認はなかった。

また、調査地区において両生類、爬虫類の確認はなかった。

調査地区に広がる広葉樹二次林では、ノウサギやテンなど樹林環境を好む種の痕跡が見られた。周囲の草地や林縁では、タヌキの足跡やイノシシの掘り返し跡も見られた。

主に確認した種の個体写真を図 2.7-63 に示す。

表 2.7-82 確認した哺乳類 (203-2 : 由比ヶ丘)

No.	目名	科名	種名	学名	希少種選定基準					特定外来生物	広く見られた種	特徴的な種
					I	II	III	IV	V			
1	モグラ(食虫)	モグラ	モグラ科	Talpidae sp.								
2	ウサギ	ウサギ	ノウサギ	<i>Lepus brachyurus</i>								○
3	ネコ(食肉)	イヌ	タヌキ	<i>Nyctereutes procyonoides</i>								
4		イタチ	テン(ホンドテン)	<i>Martes melampus (M. m. melampus)</i>								
5	ウシ(偶蹄)	イノシシ	イノシシ	<i>Sus scrofa</i>							○	
合計	4目	5科	5種	-	0種	0種	0種	0種	0種	0種	1種	1種
					合計:0種							



図 2.7-63 哺乳類痕跡写真 (203-2 : 由比ヶ丘)

### 2.7.17 205-2 (能登島東部)

#### (1) 調査環境の概要

圃場整備中の箇所も多いが、水田が広がっている。大きな水路やため池は護岸があるが、細水路は素掘りであり、湿生植物の生育が確認できる。

#### (2) 植物

植物は55科134種が確認された(表 2.7-83)。その内、希少種は3種であった。

調査地区に広がる水田地帯ではヒメミズワラビ、ヒデリコ、アゼトウガラシ、トキンソウなどの水田雑草が生育していた。湿地状になった休耕田や水路ではハンゲショウ、イボクサ、タマガヤツリ、アキノウナギツカミなどの湿生植物が確認されている。水田地帯を流れる水路は護岸されているものの、ヨシ、ヤナギタデなど河辺の種が若干みられ、周辺のスギ植林や広葉樹二次林では、ベニシダ、スダジイ、コナラ、ヒサカキ、コバノガマズミなどが確認されている。

主に確認した種の個体写真を図 2.7-64 に示す。



表 2.7-83 確認した植物 (205-2 : 能登島東部) (2)

No.	分類群	科名	種名	学名	希少種選定基準					特定外来生物	広く見られた種	特徴的な種
					I	II	III	IV	V			
68	被子植物-真正双子葉植物	バラ	フユイチゴ	<i>Rubus buergeri</i>								
69			モミジイチゴ	<i>Rubus palmatus</i>								
70			ナワシロイチゴ	<i>Rubus parvifolius</i>								
71		ブナ	クリ	<i>Castanea crenata</i>								
72			スダジイ	<i>Castanopsis sieboldii</i> ssp. <i>sieboldii</i>							○	○
73		コナラ	<i>Quercus serrata</i> ssp. <i>serrata</i> var. <i>serrata</i>								○	○
74		ウリ	スズメウリ	<i>Zehneria japonica</i>								
75			コマユミ	<i>Euonymus alatus</i> f. <i>ciliatodentatus</i>								○
76		トウダイグサ	マユミ	<i>Euonymus sieboldianus</i>								
77			エノキグサ	<i>Acalypha australis</i>								
78			アカメガシワ	<i>Mallotus japonicus</i>								
79		ヤナギ	オオキツネヤナギ	<i>Salix futura</i>								
80		アカバナ	チョウジタデ	<i>Ludwigia epilobioides</i> ssp. <i>epilobioides</i>								
81	ウルシ	スルデ	<i>Rhus javanica</i> var. <i>chinensis</i>									
82	ミカン	カラスザンショウ	<i>Zanthoxylum ailanthoides</i> var. <i>ailanthoides</i>									
83	アブラナ	タネツケバナ	<i>Cardamine occulta</i>									
84		イヌガラン	<i>Rorippa indica</i>									
85		スカンタゴボウ	<i>Rorippa palustris</i>									
86	タデ	ヤナギタデ	<i>Persicaria hydropiper</i>								○	
87		シロバナサクラタデ	<i>Persicaria japonica</i> var. <i>japonica</i>								○	
88		イヌタデ	<i>Persicaria longiseta</i>									
89		ボントクタデ	<i>Persicaria pubescens</i>									
90		アキノウナギツカミ	<i>Persicaria sagittata</i> var. <i>sibirica</i>								○	
91	ヒユ	イノコヅチ	<i>Achyranthes bidentata</i> var. <i>japonica</i>									
92	ミズキ	クマノミズキ	<i>Cornus macrophylla</i>									
93	アジサイ	ツルアジサイ	<i>Calyptanthe petiolaris</i>									
94	サカキ	ウツギ	<i>Deutzia crenata</i> var. <i>crenata</i>									
95		ヒサカキ	<i>Eurya japonica</i>								○	○
96		ツバキ	ヤブツバキ	<i>Camellia japonica</i>								
97		ツツジ	ネジキ	<i>Lyonia ovalifolia</i> var. <i>elliptica</i>								
98		アオキ	ヒメアオキ	<i>Aucuba japonica</i> var. <i>borealis</i>								
99		キョウチクトウ	テイカカズラ	<i>Trachelospermum asiaticum</i>								○
100		ナス	マルバノホロシ	<i>Solanum maximowiczii</i>								
101			イヌホオズキ	<i>Solanum nigrum</i>								
102		オオハコ	オオハコ	<i>Plantago asiatica</i> var. <i>asiatica</i>								
103		アゼナ	アゼトウガラシ	<i>Vandellia micrantha</i>								○
104	シソ	ムラサキシキブ	<i>Callicarpa japonica</i> var. <i>japonica</i>								○	
105		クサギ	<i>Clerodendrum trichotomum</i>									
106		カキドオシ	<i>Glechoma hederacea</i> ssp. <i>grandis</i>									
107		ヤマハッカ	<i>Isodon inflexus</i>									
108		ヒメジョウ	<i>Mosla dianthera</i>									
109		イヌコウジュ	<i>Mosla scabra</i>									
110		サギゴケ	トキワハゼ	<i>Mazus pumilus</i>								
111		キク	ヨモギ	<i>Artemisia indica</i> var. <i>maximowiczii</i>								○
112	ノコンギク		<i>Aster microcephalus</i> var. <i>ovatus</i>									○
113	アメリカセンダングサ		<i>Bidens frondosa</i>									
114	トキンソウ		<i>Centipeda minima</i>									○
115	エチゴヒメアザミ		<i>Cirsium echigomontanum</i>									
116	ベニバナボロギク		<i>Crassocephalum crepidioides</i>									
117	タカサブロウ		<i>Eclipta thermalis</i>					NT				
118	ヒメムカシヨモギ		<i>Erigeron canadensis</i>									
119	ヒヨドリバナ(広義)		<i>Eupatorium makinoi</i>									
120	ハキダメギク		<i>Galinsoga quadriradiata</i>									
121	アキノノゲシ		<i>Lactuca indica</i> var. <i>indica</i>									
122	フキ		<i>Petasites japonicus</i> var. <i>japonicus</i>									
123	セイタカアワダチソウ		<i>Solidago altissima</i>									○
124	オニノゲシ		<i>Sonchus asper</i>									
125	ヒロハボウキギク		<i>Symphotrichum subulatum</i> var. <i>squamatum</i>									
126	セイヨウタンポポ		<i>Taraxacum officinale</i>									
127	ウコギ		ウド	<i>Aralia cordata</i>								
128		タラノキ	<i>Aralia elata</i>									
129		キツタ	<i>Hedera rhombea</i>									
130	セリ	ツボクサ	<i>Centella asiatica</i>									
131	ガマズミ	ガマズミ	<i>Viburnum dilatatum</i>								○	
132		コバノガマズミ	<i>Viburnum erosum</i>									○
133	スイカズラ	スイカズラ	<i>Lonicera japonica</i>									
134		タニウツギ	<i>Weigela hortensis</i>									
合計	-	55科	134種	-	0種	10種	10種	3種	10種	0種	19種	17種
					合計: 3種							

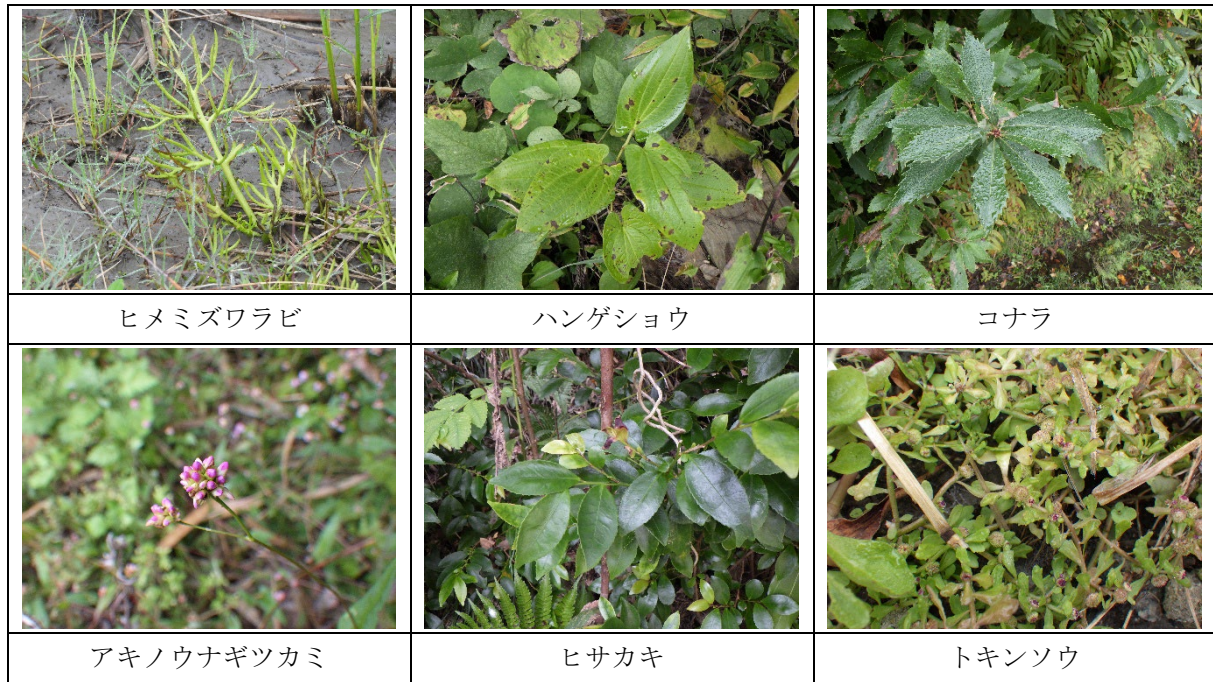


図 2.7-64 植物個体写真 (205-2 : 能登島東部)

#### 1) 昆虫類

昆虫類は 8 目 26 科 43 種が確認された (表 2.7-84)。その内、希少種は 1 種であった。

調査地区に広がる水田地帯ではチョウセンカマキリやツユムシ、イチモンジカメムシ、ウラナミシジミなどの草地環境を好む種が見られた。周辺の樹林やその林縁では、モリチャバネゴキブリやトゲアリなどの樹林環境を好む種も確認された。

主に確認した種の個体写真を図 2.7-65 に示す。

表 2.7-84 確認した昆虫類 (205-2 : 能登島東部)

No.	目名	科名	種名	学名	希少種選定基準					特定外来生物	広く見られた種	特徴的な種
					I	II	III	IV	V			
1	ゴキブリ(網翅)	チャバネゴキブリ	モリチャバネゴキブリ	<i>Blattella nipponica</i>								
2	カマキリ(蟷螂)	カマキリ	コカマキリ	<i>Statilia maculata</i>								
3			チョウセンカマキリ	<i>Tenodera angustipennis</i>							○	
4	バッタ(直翅)	ツコムシ	ツコムシ	<i>Phaneroptera falcata</i>								
5		キリギリス	クビキリギリス	<i>Euconocephalus varius</i>								
6			ササキリモドキ	<i>Kuzicus suzukii</i>								
7		コオロギ	エンマコオロギ	<i>Teleogryllus emma</i>								
8		ヒバリモドキ	ヤチスズ	<i>Pteronemobius ohmachi</i>								
9			クサヒバリ	<i>Svistella bifasciata</i>								○
10		イナゴ	コバネイナゴ	<i>Oxa vezoensis</i>								
11		オンブバッタ	オンブバッタ	<i>Atractomorpha lata</i>								
12	カメムシ(半翅)	アオバハゴロモ	アオバハゴロモ	<i>Geisha distinctissima</i>							○	
13		ハゴロモ	ベッコウハゴロモ	<i>Orosanga japonicus</i>								
14		アワフキムシ	ハマバアワフキ	<i>Aphrophora maritima</i>								○
15		ヨコバイ	ツマグロオオヨコバイ	<i>Bothrogonia ferruginea</i>							○	
16			オサヨコバイ	<i>Tartessus ferrugineus</i>								
17		カスミカメムシ	ツマグロアオカスミカメ	<i>Apolygus spinolae</i>								
18			ウスモンミドリカスミカメ	<i>Taylorlygus apicalis</i>								
19		ホソヘリカメムシ	クモヘリカメムシ	<i>Leptocoris chinensis</i>								
20		カメムシ	ブチヒゲカメムシ	<i>Dolycoris baccarum</i>								
21			オオトゲシラホシカメムシ	<i>Eysarcoris lewisi</i>								
22			イチモンジカメムシ	<i>Piezodorus hybneri</i>							○	
23	チョウ(鱗翅)	シジミチョウ	ウラナシジミ	<i>Lampides boeticus</i>								
24		シロチョウ	キタキチョウ	<i>Eurema mandarina</i>								
25		ツトガ	コブノメイガ	<i>Cnaphalocrocis medinalis</i>								
26			ワモンノメイガ	<i>Nomophila noctuella</i>								
27			シロオビノメイガ	<i>Spoladea recurvalis</i>								
28	ハエ(双翅)	ヒメガガンボ	ヒメガガンボ科	Limoniidae sp.								
29		ハナアブ	キスネクロハナアブ	<i>Cheilosia ochripes</i>								
30			ホソヒラタアブ	<i>Episyrphus balteatus</i>								
31		ヤチバエ	ヒゲナガヤチバエ	<i>Sepedon aenescens</i>								
32		クロバエ	ツマグロキンバエ	<i>Stomorphina obsoleta</i>								
33	コウチュウ(鞘翅)	オサムシ	ゴミムシ	<i>Anisodactylus signatus</i>								
34			セアカヒラタゴミムシ	<i>Dolichus halensis</i>								
35			オオズケゴモクムシ	<i>Harpalus eous</i>								
36			オオヒラタゴミムシ	<i>Platynus magnus</i>								
37		ハムシ	ウリハムシ	<i>Aulacophora indica</i>								
38	ハチ(膜翅)	ハバチ	セグロカブラハバチ	<i>Athalia infumata</i>								
39		アリ	イトウオアリ	<i>Camponotus itoi</i>								
40			クロヤマアリ	<i>Formica japonica</i> (s.l.)								
41			トビロケアリ	<i>Lasius japonicus</i>								
42			トゲアリ	<i>Polyrhachis lamellidens</i>				VU				○
43			トビイロシワアリ	<i>Tetramorium tsushimae</i>								
合計	8目	26科	43種	-	0種	10種	1種	0種	0種	0種	4種	3種
					合計:1種							



図 2.7-65 昆虫類個体写真 (205-2 : 能登島東部)

## 2) 両生類・爬虫類・哺乳類

両生類は1目3科3種、哺乳類は1目1科1種が確認された（表 2.7-85、表 2.7-86）。希少種の確認はなかった。また、調査地区において爬虫類の確認はなかった。

調査地区に広がる水田やその畔ではニホンアマガエルやニホンアカガエル、イノシシの掘り返し跡が見られた。周辺の樹林やその林縁では、シュレーゲルアオガエルなどの樹林環境を好む種も確認された。

主に確認した種の個体写真を図 2.7-66 に示す。

表 2.7-85 確認した両生類（205-2：能登島東部）

No.	目名	科名	種名	学名	希少種選定基準					特定外来生物	広く見られた種	特徴的な種
					I	II	III	IV	V			
1	無尾	アマガエル	ニホンアマガエル	<i>Dryophytes japonicus</i>								
2		アカガエル	ニホンアカガエル	<i>Rana japonica</i>								
3		アオガエル	シュレーゲルアオガエル	<i>Zhangixalus schlegelii</i>								
合計	1目	3科	3種	-	0種	0種	0種	0種	0種	0種	0種	0種

表 2.7-86 確認した哺乳類（205-2：能登島東部）

No.	目名	科名	種名	学名	希少種選定基準					特定外来生物	広く見られた種	特徴的な種
					I	II	III	IV	V			
1	ウシ(偶蹄)	イノシシ	イノシシ	<i>Sus scrofa</i>								
合計	1目	1科	1種	-	0種	0種	0種	0種	0種	0種	0種	0種



図 2.7-66 両生類・哺乳類個体写真、痕跡写真（205-2：能登島東部）

## 3) 魚類

魚類は2目3科7種が確認された（表 2.7-87）。その内、希少種は1種であった。

調査地区の野崎漁港に流入する小河川ではシマイサキ、マハゼ、スミウキゴリなどの下流域で一般的な種が見られた。ヤツテ谷川の礫底ではシマヨシノボリやトウヨシノボリ種群が、砂底ではドジョウが見られた。

主に確認した種の個体写真を図 2.7-67 に示す。

表 2.7-87 確認した魚類 (205-2 : 能登島東部)

No.	目名	科名	種名	学名	希少種選定基準					特定外来生物	205-2		優占種	特徴的な種	
					I	II	III	IV	V		野崎漁港付近	ヤツテ谷川			
1	コイ	ドジョウ	ドジョウ	<i>Misgurnus anguillicaudatus</i>			NT					12	○		
2	スズキ	シマイサキ	シマイサキ	<i>Rhynchopelates oxyrhynchus</i>								1		○	
3		ハゼ	マハゼ	<i>Acanthogobius flavimanus</i>								2		○	
4			ヌマチチブ	<i>Tridentiger brevispinis</i>								5		○	
5			シマヨシノボリ	<i>Rhinogobius nagoyae</i>									13	○	○
6		トウヨシノボリ種群	<i>Rhinogobius</i> sp. OR unidentified complex									4			
7	スミウキゴリ	<i>Gymnogobius petschiliensis</i>									1	4			
合計	2目	3科	7種	-	0種	0種	1種	0種	0種	0種	0種	4種 9個体	4種 33個体	3種	3種
					合計:1種					合計:7種					

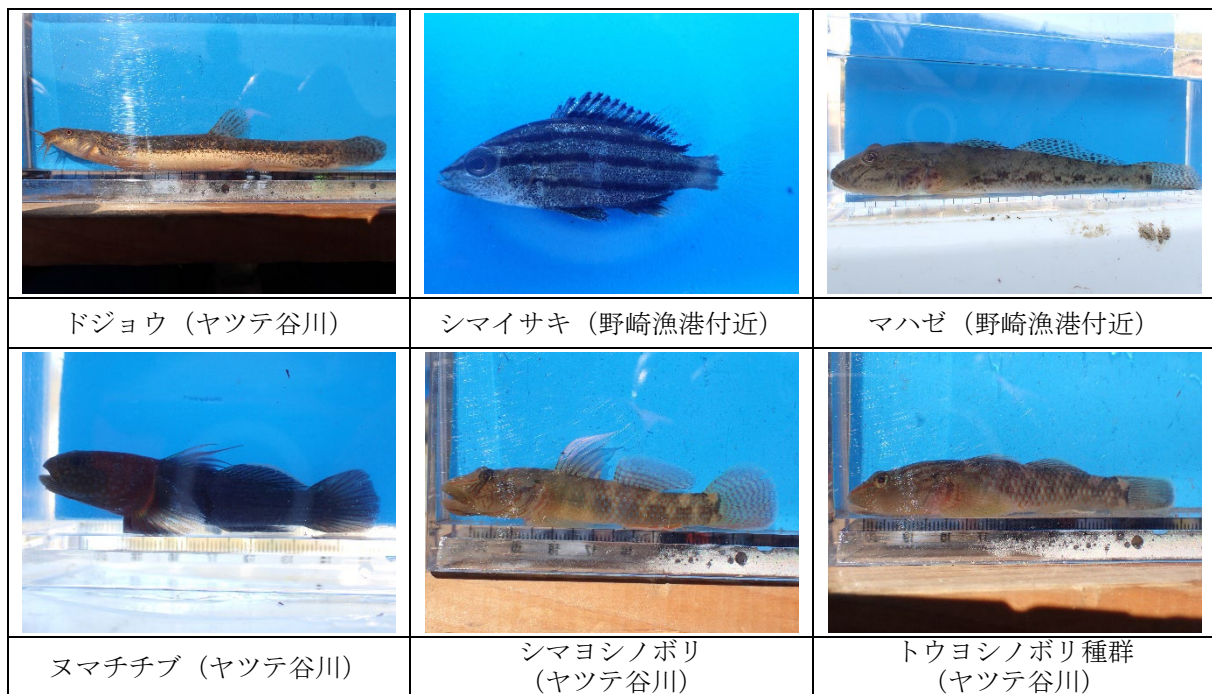


図 2.7-67 魚類個体写真 (205-2 : 能登島東部)

## 2.7.18 216-1 (上野沿岸)

### 1) 調査環境の概要

海岸にはやや湿った草地在広がっている。防波堤の内陸側ではあるが、海浜に面した位置に水田が存在する。その他、漁港周辺には集落が見られる。

### 2) 植物

植物は45科117種が確認された(表2.7-88)。その内、希少種は11種であった。

調査地区に広がる海浜草地ではハマエンドウ、ハマナス、ハマヒルガオ、スナビキソウなどの海浜性の種が確認され、湿地状になった箇所ではシバナ、イヌイ、ドロイ、ナガボテンツキ、ヨシ、ウミミドリなどの湿生植物が確認されている。海岸周辺には水田もみられ、ヒメミズワラビ、カララスガナ、キカシグサ、ミズマツバなどが確認されている。

主に確認した種の個体写真を図2.7-68に示す。

表 2.7-88 確認した植物 (216-1 : 上野沿岸) (1)

No.	分類群	科名	種名	学名	希少種選定基準					特定外来生物	広く見られた種	特徴的な種	
					I	II	III	IV	V				
1	大葉シダ植物	トクサ	スギナ	<i>Equisetum arvense</i>									
2		コバノイシカグマ	ワラビ	<i>Peridium aquilinum</i> ssp. <i>japonicum</i>									
3		イノモトソウ	ヒメズワラビ	<i>Ceratopteris gaudichaudii</i> var. <i>vulgaris</i>					NT			○	
4		メシダ	ヤマイヌワラビ	<i>Athyrium vidalii</i>									
5		オシダ	オニヤブソテツ	<i>Cyrtomium falcatum</i> ssp. <i>falcatum</i>									
6	裸子植物	マツ	クロマツ	<i>Pinus thunbergii</i>									
7	被子植物-基部被子植物	ドクダミ	ドクダミ	<i>Houttuynia cordata</i>									
8	被子植物-単子葉植物	シバナ	シバナ	<i>Triglochin asiatica</i>			NT		VU			○	
9		ヤマノイモ	ヤマノイモ	<i>Dioscorea japonica</i>									
10		サルトリイバラ	サルトリイバラ	<i>Smilax china</i> var. <i>china</i>									
11		ツククサ	ツククサ(広義)	<i>Commelina communis</i>									
12		ミズアオイ	コナギ	<i>Monochoria vaginalis</i>									
13		イグサ	イヌイ	<i>Juncus fauriei</i>					EN			○	
14			ドロイ	<i>Juncus gracillimus</i>					NT			○	
15		カヤツリグサ	ヒメクグ	<i>Cyperus brevifolius</i> var. <i>leiolepis</i>									
16			ヒナガヤツリ	<i>Cyperus flaccidus</i>									
17			カヤツリグサ	<i>Cyperus microiria</i>									
18			ハマスグ	<i>Cyperus rotundus</i>					DD				
19			カワラスガナ	<i>Cyperus sanguinolentus</i>								○	
20			ヒデリコ	<i>Fimbristylis littoralis</i>									
21			ナガボテンツキ	<i>Fimbristylis longispica</i>					CR			○	
22			イソヤマテンツキ	<i>Fimbristylis sieboldii</i>					VU				
23		イネ	メリケンカルカヤ	<i>Andropogon virginicus</i>									
24			トダシバ(広義)	<i>Arundinella hirta</i>									
25			ジュズダマ	<i>Coix lacryma-jobi</i>									
26			ギョウギシバ	<i>Cynodon dactylon</i>									○
27			メヒシバ	<i>Digitaria ciliaris</i>									○
28			アブラススキ	<i>Echinochloa crus-galli</i>									
29			イヌビエ	<i>Echinochloa crus-galli</i>									
30			オヒシバ	<i>Eleusine indica</i>									
31			カゼクサ	<i>Eragrostis ferruginea</i>									
32			ウシノシツバイ	<i>Hemarthria sibirica</i>									
33			チガヤ	<i>Imperata cylindrica</i> var. <i>koenigii</i>									
34			カモノハシ	<i>Ischaemum aristatum</i> var. <i>crassipes</i>								○	
35			ススキ	<i>Miscanthus sinensis</i>									
36			チカラシバ	<i>Pennisetum alopecuroides</i>									
37			ヨシ	<i>Phragmites australis</i>								○	
38			メダケ	<i>Pleioblastus simonii</i>									
39			ハイヌメリグサ	<i>Sacciolepis spicata</i>									
40		アキノエノコログサ	<i>Setaria faberi</i>										
41		コツブキンエノコロ	<i>Setaria pallidifusca</i>										
42		キンエノコロ	<i>Setaria pumila</i>										
43		ネズミノオ	<i>Sporobolus fertilis</i> var. <i>fertilis</i>										
44	被子植物-真正双子葉植物	ツツラフジ	アオツツラフジ	<i>Cocculus trilobus</i>								○	
45			コウモリカズラ	<i>Menispermum dauricum</i>									
46		キンボウゲ	センニンソウ	<i>Clematis terniflora</i>								○	
47			アキカラマツ	<i>Thalictrum minus</i> var. <i>hypoleucum</i>									
48		ベンケイソウ	メノマンネングサ	<i>Sedum japonicum</i> ssp. <i>japonicum</i> var. <i>japonicum</i>									
49			ツルマンネングサ	<i>Sedum sarmentosum</i>									
50		ブドウ	ノブドウ	<i>Ampelopsis glandulosa</i> var. <i>heterophylla</i>									
51			ヤブカラシ	<i>Cayratia japonica</i>									
52			エビヅル	<i>Vitis ficifolia</i>									
53		マメ	コマツナギ	<i>Indigofera pseudotinctoria</i>									
54			ヤハズソウ	<i>Kummerowia striata</i>									
55			ハマエンドウ	<i>Lathyrus japonicus</i>									○
56			メドハギ	<i>Lespedeza cuneata</i> var. <i>cuneata</i>									
57	ネコハギ		<i>Lespedeza pilosa</i> var. <i>pilosa</i>										
58	ミヤコグサ		<i>Lotus corniculatus</i> ssp. <i>japonicus</i>										
59		フジ	<i>Wisteria floribunda</i>										
60	グミ	アキグミ	<i>Elaeagnus umbellata</i> var. <i>umbellata</i>										
61	アサ	エノキ	<i>Celtis sinensis</i>										
62		カナムグラ	<i>Humulus scandens</i>										
63	イラクサ	ナンバンカラムシ	<i>Boehmeria nivea</i> var. <i>nivea</i>										
64	バラ	テリハノイバラ	<i>Rosa luciae</i>										
65		ノイバラ	<i>Rosa multiflora</i> var. <i>multiflora</i>										
66		ハマナス	<i>Rosa rugosa</i>					NT				○	
67		ナワシロイチゴ	<i>Rubus parvifolius</i>										
68	カタバミ	カタバミ	<i>Oxalis corniculata</i>										
69	トウダイグサ	エノキグサ	<i>Acalypha australis</i>										
70		コニシキノウ	<i>Euphorbia maculata</i>										
71		オオニシキノウ	<i>Euphorbia nutans</i>										
72		アカメガシワ	<i>Mallotus japonicus</i>										
73	ミソハギ	ミソハギ	<i>Lythrum anceps</i>										
74		キカシグサ	<i>Rotala indica</i>									○	
75		ミズマツバ	<i>Rotala mexicana</i>					NT	NT			○	

表 2.7-88 確認した植物 (216-1 : 上野沿岸) (2)

No.	分類群	科名	種名	学名	希少種選定基準					特定外来生物	広く見られた種	特徴的な種	
					I	II	III	IV	V				
76	被子植物-真正双子葉植物	アカバナ	チョウジタデ	<i>Ludwigia epilobioides</i> ssp. <i>epilobioides</i>									
77			コマツヨイグサ	<i>Oenothera laciniata</i>									
78		タデ	ケイタリ	<i>Fallopia japonica</i> var. <i>uzenensis</i>									
79			ヤナギタデ	<i>Persicaria hydropiper</i>									
80			イヌタデ	<i>Persicaria longiseta</i>									
81			ミノバ	<i>Persicaria thunbergii</i> var. <i>thunbergii</i>									○
82			ミチヤナギ	<i>Polygonum aviculare</i> ssp. <i>aviculare</i>									
83		アキノミチヤナギ	<i>Polygonum polyneuron</i>										
84		ナデシコ	カワナデシコ	<i>Dianthus superbus</i> var. <i>longicalveinus</i>									○
85		ヒユ	ヒナタイノコソチ	<i>Achyranthes bidentata</i> var. <i>tomentosa</i>									
86		ハマミズナ	ツルナ	<i>Tetragonia tetragonoides</i>									
87		サクラソウ	ウミドリ	<i>Lysimachia maritima</i> var. <i>obtusifolia</i>					CR	指定			○
88			ハマボウス	<i>Lysimachia mauritiana</i> var. <i>mauritiana</i>									○
89		ツバキ	ヤブツバキ	<i>Camellia japonica</i>									
90		キョウチクトウ	ガガイモ	<i>Metaplexis japonica</i>									
91		ヒルガオ	コヒルガオ	<i>Calystegia hederacea</i>									
92			ヒルガオ	<i>Calystegia pubescens</i>									
93	ハマヒルガオ		<i>Calystegia soldanella</i>									○	○
94	グンバイヒルガオ		<i>Ipomoea pes-caprae</i>										
95	ムラサキ		スナヒキソウ	<i>Heliotropium japonicum</i>								○	○
96	オオバコ	トウオオバコ	<i>Plantago japonica</i>						NT				
97		ヘラオオバコ	<i>Plantago lanceolata</i>										
98		オオイヌノフグリ	<i>Veronica persica</i>										
99	アゼナ	アゼトウガラシ	<i>Vandellia micrantha</i>										
100	シソ	ヒメオドリコソウ	<i>Lamium purpureum</i>										
101		シロネ	<i>Lyceopus lucidus</i>										
102		オランダハッカ	<i>Mentha spicata</i>										
103		ハマゴウ	<i>Vitex rotundifolia</i>										
104		ヨモギ	<i>Artemisia indica</i> var. <i>maximowiczii</i>										○
105	ノコンギク	<i>Aster microcephalus</i> var. <i>ovatus</i>										○	
106	トキンソウ	<i>Centipeda minima</i>										○	
107	ヒメムカシヨモギ	<i>Erigeron canadensis</i>											
108	ツツブキ	<i>Fartugium japonicum</i> var. <i>japonicum</i>										○	
109	ブタナ	<i>Hypochoeris radicata</i>											
110	アキノノゲシ	<i>Lactuca indica</i> var. <i>indica</i>										○	
111	コウリナ	<i>Picris hieracioides</i> ssp. <i>japonica</i> var. <i>japonica</i>											
112	セイタカアワダチソウ	<i>Solidago altissima</i>										○	
113	オオオナモミ	<i>Xanthium occidentale</i>											
114	トベラ	トベラ	<i>Pittosporum tobira</i>										
115	ウコギ	ノチドメ	<i>Hydrocotyle maritima</i>										
116	セリ	ハマゼリ	<i>Cnidium japonicum</i>									○	
117		スイカズラ	<i>Lonicera japonica</i>										
合計	-	45科	117種	-	0種	0種	2種	11種	1種	0種	16種	16種	
					合計:11種								



図 2.7-68 植物個体写真 (216-1 : 上野沿岸)

### 3) 昆虫類

昆虫類は8目34科53種が確認された(表2.7-89)。その内、希少種は1種であった。

調査地区に広がる海浜草地ではアオバハゴロモ、ハマベアワフキ、ヤマトシジミ本土亜種などの草地環境を好む種が確認された。海岸周辺には水田もみられ、コバネイナゴやホソハリカメムシ、クモヘリカメムシなどの水田環境を好む種も確認された。

主に確認した種の個体写真を図2.7-69に示す。

表 2.7-89 確認した昆虫類 (216-1 : 上野沿岸)

No.	目名	科名	種名	学名	希少種選定基準					特定外来生物	広く見られた種	特徴的な種
					I	II	III	IV	V			
1	トンボ(蜻蛉)	トンボ	ナツアカネ	<i>Sympetrum darwinianum</i>								
2			アキアカネ	<i>Sympetrum frequens</i>								
3	ゴキブリ(網翅)	チャバネゴキブリ	モリチャバネゴキブリ	<i>Blattella nipponica</i>								
4	バッタ(直翅)	ツユムシ	ツユムシ	<i>Phaneroptera falcata</i>								
5		キリギリス	ウスイロササキリ	<i>Conocephalus chinensis</i>								
6		マツムシ	アオマツムシ	<i>Trujalia hibernis</i>								
7		コオロギ	エンマコオロギ	<i>Teleogryllus emma</i>								
8		カネタタキ	カネタタキ	<i>Ornebius kanetataki</i>								
9		イナゴ	ハネナガイナゴ	<i>Oxya japonica</i>				NT				○
10			コバネイナゴ	<i>Oxya yezoensis</i>							○	
11		ヒシバッタ	ハネナガヒシバッタ	<i>Euparattix insularis</i>								
12	カメムシ(半翅)	ウンカ	Stenocranus属	<i>Stenocranus sp.</i>								
13		アオバハゴロモ	アオバハゴロモ	<i>Geisha distinctissima</i>							○	
14			トビイロハゴロモ	<i>Mimophantia maritima</i>								
15		ハゴロモ	ベッコウハゴロモ	<i>Orosanga japonicus</i>							○	
16		アワフキムシ	ハマベアワフキ	<i>Aphrophora maritima</i>								○
17		ヨコバイ	ツマグロオオヨコバイ	<i>Bothrogonia ferruginea</i>								
18			ツマグロヨコバイ	<i>Nephotettix cincticeps</i>								
19			ヒトツメヨコバイ	<i>Phlogotettix cyclops</i>								
20		カスミカメムシ	アカスジカスミカメ	<i>Stenotus rubrovittatus</i>								
21		ホソハリカメムシ	クモヘリカメムシ	<i>Leptocoris chinensis</i>							○	
22			ホソハリカメムシ	<i>Riptortus pedestris</i>								
23		ヘリカメムシ	ホソハリカメムシ	<i>Cletus punctiger</i>								
24		ヒメヘリカメムシ	アカヒメヘリカメムシ	<i>Rhopalus maculatus</i>								
25		ナガカメムシ	コバネヒョウタンナガカメムシ	<i>Togo hemipterus</i>								
26			ヒメジュウジナガカメムシ	<i>Tropidothorax sinensis</i>								
27		カメムシ	ブチヒゲカメムシ	<i>Dolycoris baccarum</i>								
28	チョウ(鱗翅)	スガ	マサキスガ	<i>Yponomeuta meguronis</i>								
29		セセリチョウ	チャバネセセリ	<i>Pelopidas mathias oberthueri</i>								
30		シジミチョウ	ウラナシジミ	<i>Lampides boeticus</i>								
31			ベニシジミ	<i>Lycaena phlaeas chinensis</i>								
32			ヤマトシジミ本土亜種	<i>Zizeeria maha argia</i>								
33		シロチョウ	キタキチョウ	<i>Eurema mandarina</i>								
34			モンシロチョウ	<i>Pieris rapae crucivora</i>								
35		ツトガ	マメノメイガ	<i>Maruca vitrata</i>								
36			シロオビノメイガ	<i>Spoladea recurvalis</i>								
37	ハエ(双翅)	ハナアブ	クロヒラタアブ	<i>Betasyrphus serarius</i>								
38			ホソヒラタアブ	<i>Episyrphus balteatus</i>								
39			キゴシハナアブ	<i>Eristalinus quinquestriatus</i>								
40			オオハナアブ	<i>Phytomyia zonata</i>								
41			ホソヒラタアブ	<i>Sphaerophoria macrogaster</i>								
42			キイロナミホソヒラタアブ	<i>Syrphus vitripennis</i>								
43		ヤチバエ	ヒゲナガヤチバエ	<i>Sepedon aenescens</i>								
44		クロバエ	ツマグロキンバエ	<i>Stomorphina obsoleta</i>								
45		ヤドリバエ	セズジハリバエ	<i>Tachina nupta</i>								
46	コウチュウ(鞘翅)	テントウムシ	ヒメカメノコテントウ	<i>Propylea japonica</i>								
47		ハムシ	ウリハムシ	<i>Aulacophora indica</i>								
48	ハチ(膜翅)	アリ	ウメマツオアリ	<i>Camponotus vitiosus</i>								
49			クロヤマアリ	<i>Formica japonica (s.l.)</i>								
50			トビイロシワアリ	<i>Tetramorium tsushimae</i>								
51		スズメバチ	セグロアシナガバチ本土亜種	<i>Polistes jokahamae jokahamae</i>								
52			キイロスズメバチ	<i>Vespa simillima</i>								
53		コハナバチ	ズマルコハナバチ	<i>Lasioglossum affine</i>								
合計	8目	34科	53種	-	0種	0種	0種	1種	0種	0種	4種	2種
					合計:1種							



図 2.7-69 昆虫類個体写真 (216-1 : 上野沿岸)

#### 4) 鳥類

本調査地区では鳥類調査は行わなかったが、植物調査時に地区内の集落、耕作地の環境でムクドリが確認された (表 2.7-90)。

表 2.7-90 確認した鳥類 (216-1 : 上野沿岸)

No.	目名	科名	種名	学名	希少種選定基準					特定外来生物	広く見られた種	特徴的な種
					I	II	III	IV	V			
1	スズメ	ムクドリ	ムクドリ	<i>Spodiopsar cineraceus</i>								
合計	1目	1科	1種	-	0種	0種	0種	0種	0種	0種	0種	0種
					合計:0種							

#### 5) 両生類・爬虫類・哺乳類

両生類は1目1科1種、爬虫類は1目1科1種、哺乳類は1目1科1種が確認された (表 2.7-91~表 2.7-93)。希少種の確認はなかった。

調査地区に広がる海浜草地ではニホンカナヘビが確認された。海岸周辺の水田やその周囲ではニホンアマガエルやハクビシンの糞などが確認された。

主に確認した種の個体写真を図 2.7-70 に示す。

表 2.7-91 確認した両生類 (216-1 : 上野沿岸)

No.	目名	科名	種名	学名	希少種選定基準					特定外来生物	広く見られた種	特徴的な種
					I	II	III	IV	V			
1	無尾	アマガエル	ニホンアマガエル	<i>Dryophytes japonicus</i>								
合計	1目	1科	1種	-	0種	0種	0種	0種	0種	0種	0種	0種
					合計:0種							

表 2.7-92 確認した爬虫類 (216-1 : 上野沿岸)

No.	目名	科名	種名	学名	希少種選定基準					特定外来生物	広く見られた種	特徴的な種
					I	II	III	IV	V			
1	有鱗	カナヘビ	ニホンカナヘビ	<i>Takydromus tachydromoides</i>								
合計	1目	1科	1種	-	0種	0種	0種	0種	0種	0種	0種	0種
					合計:0種							

表 2.7-93 確認した哺乳類 (216-1 : 上野沿岸)

No.	目名	科名	種名	学名	希少種選定基準					特定外来生物	広く見られた種	特徴的な種
					I	II	III	IV	V			
1	ネコ(食肉)	ジャコウネコ	ハクビシン	<i>Paguma larvata</i>								
合計	1目	1科	1種	-	0種	0種	0種	0種	0種	0種	0種	0種
					合計:0種							

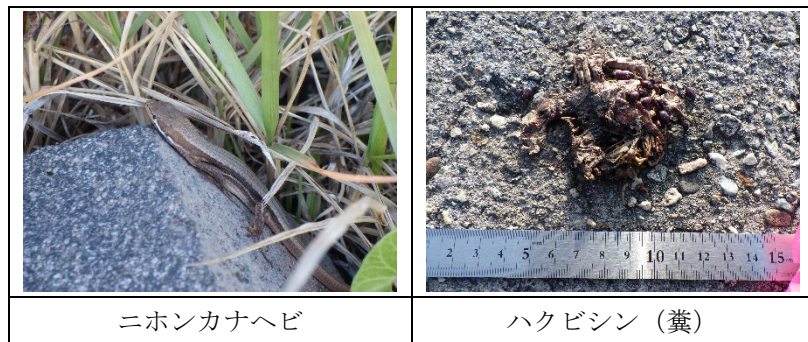


図 2.7-70 爬虫類・哺乳類個体写真、痕跡写真 (216-1 : 上野沿岸)

## 2.7.19 217-1 (甘田・芝垣海岸)

### 1) 調査環境の概要

砂浜が広がり、イネ科植物等の植生帯が堤防手前にある。河川の橋部分には植生帯があり、魚類や甲殻類等の生物の生息が見込まれる。潮位の変動で海水が流入することはないと思われる。飛砂防備保安林に設定されている、背丈の低いマツ林とササ類を主体とした植生が広がる。砂浜の周囲には、石川県指定天然記念物、石川県指定希少野生動植物種（2005年）に指定されているイカリモンハンミョウの生息地である旨の看板が設置している。

### 2) 昆虫類

昆虫類は8目31科39種が確認された（表2.7-94）。その内、希少種は1種であった。

調査地区を象徴する広い砂浜では、ハマベハサミムシやハマベアワフキ、ハマズなどの海浜環境を好む種が見られた。砂浜周囲の草地環境では、クビキリギス、ヒガシキリギリス、シヨウリョウバッタなどの草地環境を好む種も見られた。

主に確認した種の個体写真を図2.7-71に示す。

表 2.7-94 確認した昆虫類 (217-1 : 甘田・芝垣海岸)

No.	目名	科名	種名	学名	希少種選定基準					特定外来生物	広く見られた種	特徴的な種
					I	II	III	IV	V			
1	ゴキブリ(網翅)	チャバネゴキブリ	モリチャバネゴキブリ	<i>Blattella nipponica</i>								
2	ハサミムシ(革翅)	マルムネハサミムシ	ハマベハサミムシ	<i>Anisolabis maritima</i>								○
3	バッタ(直翅)	ツユムシ	ツユムシ	<i>Phaneroptera falcata</i>								
4		キリギリス	クビキリギス	<i>Euconocephalus varius</i>							○	
5			ヒガシキリギリス	<i>Gampsocleis mikado</i>							○	
6			クサキリ	<i>Ruspolia lineosa</i>								
7		マツムシ	アオマツムシ	<i>Trujalia hibinonis</i>								
8		オオロギ	ハラオカメオオロギ	<i>Loxoblemmus campestris</i>								
9			エンマコオロギ	<i>Teleogryllus emma</i>								
10		カネタタキ	カネタタキ	<i>Ornebius kanetataki</i>								
11		ヒバリモドキ	ハマズ	<i>Dianemobius csikii</i>				NT				○
12			シバズ	<i>Polionemobius mikado</i>								
13		バッタ	シヨウリョウバッタ	<i>Acrida cinerea</i>								
14			クルマバッタモドキ	<i>Oedaleus infernalis</i>								
15	カメムシ(半翅)	アワフキムシ	ハマベアワフキ	<i>Aphrophora maritima</i>								○
16		ヨコバイ	マダラヨコバイ	<i>Psammodettix striatus</i>								
17		カスミカメムシ	アカスジカスミカメ	<i>Stenotus rubrovittatus</i>								○
18		ナガカメムシ	ヒメナガカメムシ	<i>Nysius plebeius</i>								
19		カメムシ	ブチヒゲカメムシ	<i>Dolycoris baccarum</i>								
20	チョウ(鱗翅)	シジミチョウ	ヤマトシジミ本土亜種	<i>Zizeeria maha argia</i>								○
21		シロチョウ	キタキチョウ	<i>Eurema mandarina</i>								
22		ツトガ	ワモンノメイガ	<i>Nomophila noctuella</i>								
23	ハエ(双翅)	キモグリバエ	キモグリバエ科	Chloropidae sp.								
24		ショウジョウバエ	Drosophila属	Drosophila sp.								
25		トゲハネバエ	Suillia rubida	<i>Suillia rubida</i>								
26		ヤチバエ	ヒゲナガヤチバエ	<i>Sepedon aenescens</i>								
27		フンコバエ	フンコバエ科	Sphaeroceridae sp.								
28		イエバエ	イネクキイエバエ	<i>Atherigona oryzae</i>								
29			Coenosia属	Coenosia sp.								
30			シリモチハナレメイバエ	<i>Pygophora confusa</i>								
31		ニクバエ	シリグロニクバエ	<i>Sarcophaga melanura</i>								
32	コウチュウ(鞘翅)	オサムシ	マルガタツヤヒラタゴムシ	<i>Synuchus arcuaticollis</i>								
33		タマキノコムシ	アカタマキノコムシ	<i>Leiodes alpicola</i>								
34		ハネカクシ	Eusphalerum属	Eusphalerum sp.								
35		テントウムシ	ナミテントウ	<i>Harmonia axyridis</i>								
36		ハムシ	ウリハムシ	<i>Aulacophora indica</i>								
37			ヨモギハムシ	<i>Chrysolina aurichalcea</i>								
38	ハチ(膜翅)	ヒメバチ	ヒメバチ科	Ichneumonidae sp.								
39		アリ	アミメアリ	<i>Pristomyrmex punctatus</i>								
合計	8目	31科	39種	-	0種	0種	0種	1種	0種	0種	5種	2種
					合計:1種							



図 2.7-71 昆虫類個体写真 (217-1 : 甘田・芝垣海岸)

### 3) 鳥類

鳥類は6目13科17種が確認された(表 2.7-95)。その内、希少種は4種であった。

調査地区を象徴する広い砂浜では、シロチドリやダイゼン、セグロカモメなどの海岸の砂地環境を好む種が見られた。砂浜周囲の草地や低木林では、ツグミやホオジロなどが見られた。

主に確認した種の個体写真を図 2.7-72 に示す。

表 2.7-95 確認した鳥類 (217-1 : 甘田・芝垣海岸)

No.	目名	科名	種名	学名	希少種選定基準					特定外来生物	広く見られた種	特徴的な種
					I	II	III	IV	V			
1	カイツブリ	カイツブリ	カイツブリ	<i>Tachybaptus ruficollis</i>								
2	チドリ	チドリ	ダイゼン	<i>Pluvialis squatarola</i>								
3			シロチドリ	<i>Charadrius alexandrinus</i>			VU	NT				○
4		シギ	ハマシギ	<i>Calidris alpina</i>			NT					
5		カモメ	ウミネコ	<i>Larus crassirostris</i>								
6			セグロカモメ	<i>Larus vegae</i>								○
7			オオセグロカモメ	<i>Larus schistisagus</i>			NT					
8	カツオドリ	ウ	ウミウ	<i>Phalacrocorax capillatus</i>								
9	ペリカン	サギ	アオサギ	<i>Ardea cinerea</i>								
10	タカ	ミサゴ	ミサゴ	<i>Pandion haliaetus</i>			NT	NT				
11	スズメ	カラス	ハシボソガラス	<i>Corvus corone</i>								
12			ハシブトガラス	<i>Corvus macrorhynchos</i>								○
13		ヒヨドリ	ヒヨドリ	<i>Hypsipetes amaurotis</i>								
14		ウグイス	ウグイス	<i>Horornis diphone</i>								
15		ツグミ	ツグミ	<i>Turdus eunomus</i>								○
16		セキレイ	ハクセキレイ	<i>Motacilla alba</i>								
17		ホオジロ	ホオジロ	<i>Emberiza cioides</i>								
合計	6目	13科	17種	-	0種	0種	4種	2種	0種	0種	1種	3種
					合計:4種							



図 2.7-72 鳥類個体写真 (217-1 : 甘田・芝垣海岸)

4) 両生類・爬虫類・哺乳類

哺乳類は1目1科2種が確認された(表 2.7-96)。希少種の確認はなかった。また、調査地区において両生類、爬虫類の確認はなかった。調査地区を象徴する広い砂浜では、タヌキやキツネの足跡が確認された。

主に確認した種の個体写真を図 2.7-73 に示す。

表 2.7-96 確認した哺乳類 (217-1 : 甘田・芝垣海岸)

No.	目名	科名	種名	学名	希少種選定基準					特定外来生物	広く見られた種	特徴的な種
					I	II	III	IV	V			
1	ネコ(食肉)	イヌ	タヌキ	<i>Nyctereutes procyonoides</i>								
2			キツネ	<i>Vulpes vulpes</i>								
合計	1目	1科	2種	-	0種	0種	0種	0種	0種	0種	0種	0種
					合計:0種							

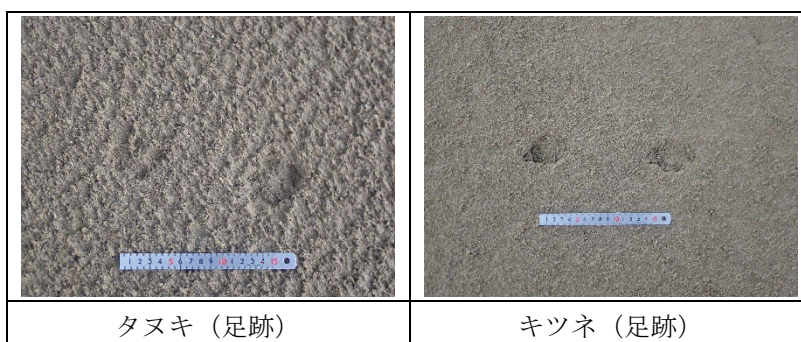


図 2.7-73 哺乳類痕跡写真 (217-1 : 甘田・芝垣海岸)

## 2.7.20 303-2 (邑知潟)

### 1) 調査環境の概要

邑知潟を中心とした大規模な干拓地帯。干拓地は主に水田として利用されている。干拓地を通り、吉崎川、酒井川、子浦川、飯山川などの河川が邑知潟で合流し、羽咋川となっている。魚類調査を実施した河川の河床は、いずれも砂地が主であり、場所によっては礫底も見られた。いずれの河川も抽水植物が見られ、流れも緩やかで瀬も無かった。

### 2) 魚類

魚類は4目5科15種が確認された(表 2.7-97)。その内、希少種は5種であった。

調査は邑知潟周辺の河川や水路6地点で行った。その内の飯山川ではヤリタナゴ、ミナミアカヒレタビラ、キタノメダカなどが見られた。また、酒井川の水際植生部ではオイカワが多く見られ、砂底ではスナヤツメ類が見られた。吉崎川ではフナ属、ヤリタナゴ、ミナミアカヒレタビラなどが見られた。子浦川では下流域の砂底でマハゼが多く見られ、中流域の水際植生部ではオイカワやゴクラクハゼなどが見られた。

主に確認した種の個体写真を図 2.7-74 に示す。

表 2.7-97 確認した魚類 (303-2 : 邑知潟)

No.	目名	科名	種名	学名	希少種選定基準					特定外 来生物	303-2						優占種	特徴的 な種
					I	II	III	IV	V		飯山川	酒井川	吉崎川	子浦川	水路	補足地点		
1	ヤツメウナギ	ヤツメウナギ	スナヤツメ類 <sup>*1</sup>	<i>Lethenteron satoi</i> and/or <i>hattai</i> and/or <i>mitsukurii</i>			VU	VU/NT										
2	コイ	コイ	フナ属	<i>Carassius</i> sp.						2	11	12				1	○	
3			ヤリクナゴ	<i>Tanakia lanceolata</i>			NT			7		3	2				○	
4			ミナミアカヒレタビラ	<i>Acheilognathus tabira jordani</i>			CR	NT		5		9					○	
5			オイカワ	<i>Opsariichthys platypus</i>						1	26	5	4	1			○	
6			モツゴ	<i>Pseudorasbora parva</i>								2		2				
7			タモロコ	<i>Gnathopogon elongatus elongatus</i>							7	4						
8		ドジョウ	ドジョウ	<i>Misgurnus anguillicaudatus</i>			NT				1			7	2			
9	ダツ	メダカ	キタノメダカ	<i>Oryzias sakaizumii</i>			VU			3								
10	スズキ	サンフィッシュ	ブルーギル	<i>Lepomis macrochirus macrochirus</i>					○			1						
11		ハゼ	マハゼ	<i>Acanthogobius flavimanus</i>								5	2		22	○	○	
12			スマチチブ	<i>Tridentiger brevispinis</i>						8	6				1	○		
13			ゴクラクハゼ	<i>Rhinogobius similis</i>						1	2		3		4		○	
14			トウヨシノボリ種群	<i>Rhinogobius</i> sp. OR unidentified complex							6		3					
15			ウキゴリ	<i>Gymnogobius urotaenia</i>							3							
合計	4目	5科	15種	-	0種	0種	5種	2種	0種	1種	7種 27個体	8種 62個体	8種 41個体	5種 14個体	3種 10個体	5種 30個体	4種	5種
					合計:5種					合計:15種								

\*1 : ウチワスナヤツメ、ミナミスナヤツメ、キタスナヤツメのいずれかである。

ランクはキタスナヤツメ (環境省 VU、石川県 VU)、ミナミスナヤツメ (環境省 VU、石川県 NT) である。

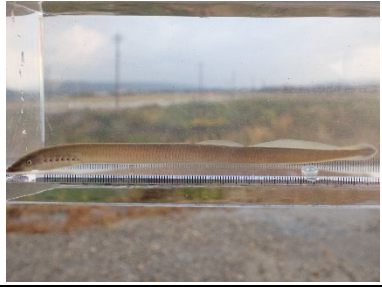



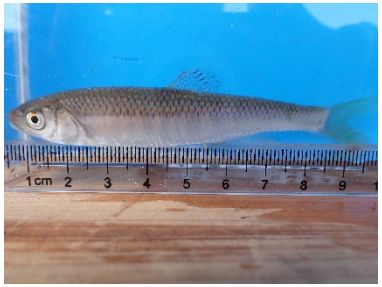







		
スナヤツメ類	フナ属	ヤリタナゴ
		
ミナミアカヒレタビラ	オイカワ	モツゴ
		
タモロコ	ブルーギル	ヌマチチブ
		
ゴクラクハゼ	トウヨシノボリ種群	ウキゴリ

図 2.7-74 魚類個体写真 (303-2 : 邑知潟)

## 2.7.21 304-3 (神子原地区)

### 1) 調査環境の概要

神子原の棚田が景勝地となっている。棚田の上端には、針葉樹を主体とした混合林があり、その手前にイノシシ対策と思われる柵が設置されている。水路は3面コンクリ張りでも水量は少ないものの流れていた。畔部分はススキやセイタカアワダチソウが優占している。社寺林がみられる。

### 2) 植物

植物は24科45種が確認された(表2.7-98)。希少種は確認されていない。

調査地区に広がる棚田では水田に加えて湿地状になった休耕田もみられ、イヌビエ、ヨシ、ハンノキ、ミゾソバなど湿った環境を好む種が確認された。また、水田周辺のスギ植林や広葉樹二次林ではシロダモ、フジ、エノキ、コナラ、ヒサカキ、ムラサキシキブなどが確認されている。

主に確認した種の個体写真を図2.7-75に示す。

表 2.7-98 確認した植物 (304-3 : 神子原地区)

No.	分類群	科名	種名	学名	希少種選定基準					特定外来生物	広く見られた種	特徴的な種
					I	II	III	IV	V			
1	大葉シダ植物	トクサ	スギナ	<i>Equisetum arvense</i>								
2		コバノイシカグマ	ワラビ	<i>Pteridium aquilinum</i> ssp. <i>japonicum</i>							○	
3		メシダ	イヌワラビ	<i>Anisocampium niponicum</i>								
4	裸子植物	ヒノキ	スギ	<i>Cryptomeria japonica</i> var. <i>japonica</i>							○	
5	被子植物-基部被子植物	ドクダミ	ドクダミ	<i>Houttuynia cordata</i>								
6		クスノキ	シロダモ	<i>Neolitsea sericea</i> var. <i>sericea</i>								○
7	被子植物-単子葉植物	ツユクサ	ツユクサ(広義)	<i>Commelina communis</i>								
8		イネ	アリケンカルカヤ	<i>Andropogon virginicus</i>								
9			メシバ	<i>Digitaria ciliaris</i>								
10			イヌビエ	<i>Echinochloa crus-galli</i>								○
11			チガヤ	<i>Imperata cylindrica</i> var. <i>koenigii</i>								
12			ススキ	<i>Miscanthus sinensis</i>							○	
13			スズメノヒエ	<i>Paspalum thunbergii</i>								
14			チカラシバ	<i>Pennisetum alopecuroides</i>								
15			ヨシ	<i>Phragmites australis</i>								○
16			モウソウチク	<i>Phyllostachys edulis</i>								
17			メダケ	<i>Pleuroblastus simonii</i>								
18			アキノエノコログサ	<i>Setaria faberi</i>								
19	被子植物-真正双子葉植物	ブドウ	ヤブカラシ	<i>Cayratia japonica</i>								
20		マメ	クズ	<i>Pueraria lobata</i> ssp. <i>lobata</i>							○	
21			フジ	<i>Wisteria floribunda</i>							○	○
22		アサ	エノキ	<i>Celtis sinensis</i>								○
23			カナムグラ	<i>Humulus scandens</i>								
24		クワ	ヒメコウノ	<i>Broussonetia monoica</i>								
25		バラ	ヤブヘビイチゴ	<i>Potentilla indica</i>								
26			ノイバラ	<i>Rosa multiflora</i> var. <i>multiflora</i>								
27		ブナ	クリ	<i>Castanea crenata</i>								
28			コナラ	<i>Quercus serrata</i> ssp. <i>serrata</i> var. <i>serrata</i>								○
29		カバノキ	ハンノキ	<i>Alnus japonica</i>								○
30		ニシキギ	マサキ	<i>Euonymus japonicus</i>								
31		トウダイグサ	アカメガシワ	<i>Mallotus japonicus</i>							○	
32		タデ	ケイタドリ	<i>Fallopia japonica</i> var. <i>uzenensis</i>								
33			イヌタデ	<i>Persicaria longiseta</i>								
34			ミゾソバ	<i>Persicaria thunbergii</i> var. <i>thunbergii</i>							○	○
35			スイバ	<i>Rumex acetosa</i>								
36		サカキ	ヒサカキ	<i>Eurya japonica</i>								○
37		アオキ	ヒメアオキ	<i>Aucuba japonica</i> var. <i>borealis</i>								
38		シソ	ムラサキシキブ	<i>Callicarpa japonica</i> var. <i>japonica</i>							○	○
39			カキドオシ	<i>Glechoma hederacea</i> ssp. <i>grandis</i>								
40		キク	ヨモギ	<i>Artemisia indica</i> var. <i>maximowiczii</i>							○	
41			ヤクシソウ	<i>Crepidastrium denticulatum</i>								
42			アキノノゲシ	<i>Lactuca indica</i> var. <i>indica</i>								
43			セイタカアワダチソウ	<i>Solidago altissima</i>							○	
44		ウコギ	キツタ	<i>Hedera rhombea</i>								
45		スイカズラ	スイカズラ	<i>Lonicera japonica</i>								
合計	-	24科	45種	-	0種	0種	0種	0種	0種	0種	10種	10種
					合計:0種							



図 2.7-75 植物個体写真 (304-3 : 神子原地区)

### 3) 昆虫類

昆虫類は9目48科74種が確認された(表 2.7-99)。希少種の確認はなかった。

調査地区を象徴する広い棚田では、オナガササキリやコバネイナゴ、ホソヘリカメムシなどの耕作地を好む種が見られた。休耕地では、キタテハやキタキチョウなどのチョウ類も見られた。一部、休耕地が湿地となっている場所では、エゾイトトンボやシオカラトンボ、コシマゲンゴロウなどの湿地環境を好む種が見られた。また、耕作地周囲の樹林やその林縁では、ヒメカマキリ、ウラギンシジミなどの樹林環境を好む種も見られた。

主に確認した種の個体写真を図 2.7-76 に示す。



表 2.7-99 確認した昆虫類 (304-3 : 神子原地区) (2)

No.	目名	科名	種名	学名	希少種選定基準					特定外 来生物	広く見ら れた種	特徴的 な種
					I	II	III	IV	V			
60	コウチュウ(鞘翅)	ゲンゴロウ	クロズマメゲンゴロウ	<i>Agabus conspicuus</i>								
61			コシマゲンゴロウ	<i>Hydaticus grammicus</i>								○
62		ヒメゲンゴロウ	<i>Rhantus suturalis</i>									
63		ガムシ	キイロヒラタガムシ	<i>Enochrus simulans</i>								
64		テントウムシ	ナミテントウ	<i>Harmonia axyridis</i>								
65			フタホシテントウ	<i>Hyperaspis japonica</i>								
66			ハマシ	<i>Altica aenea</i>								
67			ツブミハマシ	<i>Aphthona perminuta</i>								
68		ウリハマシ	<i>Aulacophora indica</i>									
69	ハチ(膜翅)	コマユバチ	コマユバチ科	Braconidae sp.								
70		ヒメバチ	ヒメバチ科	Ichneumonidae sp.								
71		アリ	クロヤマアリ	<i>Formica japonica</i> (s.l.)								
72		スズメバチ	セグロアシナガバチ本土亜種	<i>Polistes jokahamae jokahamae</i>								○
73			オオスズメバチ	<i>Vespa mandarinia</i>								
74		ツチバチ	キンケハラナガツチバチ	<i>Megacampsomeris prismatica</i>								
合計	9目	48科	74種	-	0種	0種	0種	0種	0種	0種	13種	4種



図 2.7-76 昆虫類個体写真 (304-3 : 神子原地区)

#### 4) 鳥類

鳥類は6目17科27種が確認された(表2.7-100)。その内、希少種は2種であった。

調査地区の主な環境となる広い棚田では、ノスリやキジ、ハシボソガラス、ツグミなどの耕地や草地を好む種が見られ、点在する蓮田では、モズやハクセキレイ、セグロセキレイなどが見られた。神子原ダムや隣接する河川では、オンドリやキセキレイなどが見られた。また、周辺の樹林やその林縁では、ヒヨドリやクイタダキ、アカハラなど樹林性の種や、ウグイスやアオジなどの林縁部を好む種が見られた。

主に確認した種の個体写真を図2.7-77に示す。

表 2.7-100 確認した鳥類 (304-3 : 神子原地区)

No.	目名	科名	種名	学名	希少種選定基準					特定外来生物	広く見られた種	特徴的な種
					I	II	III	IV	V			
1	カモ	カモ	オシドリ	<i>Aix galericulata</i>			DD	NT				
2			カルガモ	<i>Anas zonorhyncha</i>								
3	キジ	キジ	キジ	<i>Phasianus versicolor</i>								
4	ハト	ハト	キジバト	<i>Streptopelia orientalis</i>								
5	タカ	タカ	トビ	<i>Milvus migrans</i>								
6			ノスリ	<i>Buteo japonicus</i>				NT				
7	キツツキ	キツツキ	コゲラ	<i>Yungipicus kizuki</i>								
8	スズメ	モズ	モズ	<i>Lanius bucephalus</i>								
9		カラス	ハシボソガラス	<i>Corvus corone</i>								
10			ハシブトガラス	<i>Corvus macrorhynchos</i>								
11		シジュウカラ	シジュウカラ	<i>Parus cinereus</i>								
12		ヒヨドリ	ヒヨドリ	<i>Hypsipetes amaurotis</i>							○	
13		ウグイス	ウグイス	<i>Horornis diphone</i>								
14		メジロ	メジロ	<i>Zosterops japonicus</i>								
15		キクイタダキ	キクイタダキ	<i>Regulus regulus</i>								
16		ツグミ	アカハラ	<i>Turdus chrysolaus</i>								
17			ツグミ	<i>Turdus eunomus</i>							○	
18		ヒタキ	ジョウビタキ	<i>Phoenicurus auroreus</i>								
19		セキレイ	キセキレイ	<i>Motacilla cinerea</i>							○	
20			ハクセキレイ	<i>Motacilla alba</i>								
21			セグロセキレイ	<i>Motacilla grandis</i>							○	
22		アトリ	アトリ	<i>Fringilla montifringilla</i>								
23			ウソ	<i>Pyrrhula pyrrhula</i>								
24			カワラヒワ	<i>Chloris sinica</i>								
25		ホオジロ	ホオジロ	<i>Emberiza cioides</i>								
26			カシラダカ	<i>Emberiza rustica</i>								
27			アオジ	<i>Emberiza personata</i>								
合計	6目	17科	27種	-	0種	0種	1種	2種	0種	0種	1種	3種
					合計:2種							

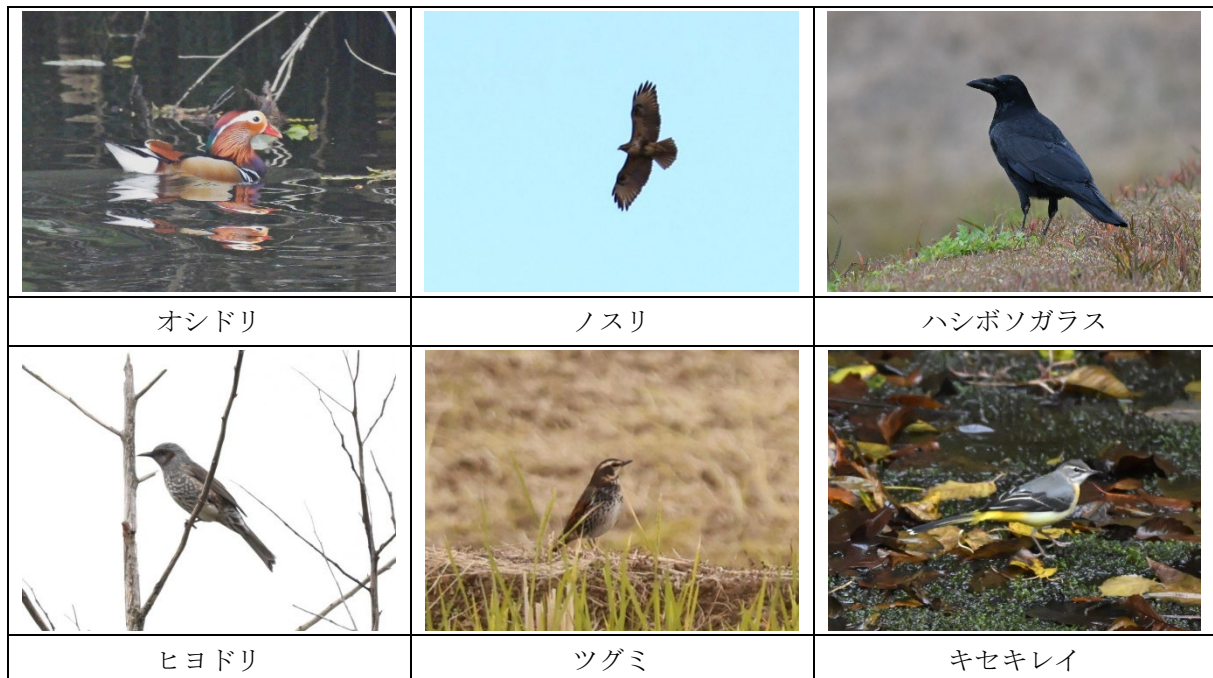


図 2.7-77 鳥類個体写真 (304-3 : 神子原地区)

5) 両生類・爬虫類・哺乳類

両生類は2目4科4種、爬虫類は1目2科2種、哺乳類は3目2科3種が確認された(表2.7-101~表2.7-103)。その内、希少種とされる両生類が1種確認された。

調査地区を象徴する広い棚田では、ニホンアマガエルやニホンアカガエル、ニホンカナヘビ、イノシシなどの耕作地、草地環境を好む種が見られた。一部、休耕地が湿地となっている場所では、アカハライモリが見られた。また、耕作地周囲の樹林やその林縁では、シュレーゲルアオガエルやヤマカガシ、アカネズミなどの樹林環境を好む種も見られた。

主に確認した種の個体写真を図2.7-78に示す。

表 2.7-101 確認した両生類 (304-3 : 神子原地区)

No.	目名	科名	種名	学名	希少種選定基準					特定外来生物	広く見られた種	特徴的な種	
					I	II	III	IV	V				
1	有尾	イモリ	アカハライモリ	<i>Cynops pyrrhogaster</i>			NT					○	
2	無尾	アマガエル	ニホンアマガエル	<i>Dryophytes japonicus</i>								○	
3		アカガエル	ニホンアカガエル	<i>Rana japonica</i>									
4		アオガエル	シュレーゲルアオガエル	<i>Zhangixalus schlegelii</i>								○	
合計	2目	4科	4種	-	0種	0種	1種	0種	0種	0種	0種	1種	2種
					合計:1種								

表 2.7-102 確認した爬虫類 (304-3 : 神子原地区)

No.	目名	科名	種名	学名	希少種選定基準					特定外来生物	広く見られた種	特徴的な種	
					I	II	III	IV	V				
1	有鱗	カナヘビ	ニホンカナヘビ	<i>Takydromus tachydromoides</i>								○	
2		ナミヘビ	ヤマカガシ	<i>Rhabdophis tigrinus</i>									
合計	1目	2科	2種	-	0種	0種	0種	0種	0種	0種	0種	1種	0種
					合計:0種								

表 2.7-103 確認した哺乳類 (304-3 : 神子原地区)

No.	目名	科名	種名	学名	希少種選定基準					特定外来生物	広く見られた種	特徴的な種	
					I	II	III	IV	V				
1	ネズミ(齧歯)	ネズミ	アカネズミ	<i>Apodemus speciosus</i>									
2			キツネ	<i>Vulpes vulpes</i>									
3	ウシ(偶蹄)	イノシシ	イノシシ	<i>Sus scrofa</i>								○	
合計	3目	2科	3種	-	0種	0種	0種	0種	0種	0種	0種	1種	0種
					合計:0種								



図 2.7-78 両生類・爬虫類・哺乳類個体写真、痕跡写真 (304-3 : 神子原地区)

## 6) 魚類

本調査地区では魚類調査は行わなかったが、昆虫類調査時に地区内の休耕田で希少種であるキタノメダカが確認された（表 2.7-104）。

表 2.7-104 確認した魚類（304-3：神子原地区）

No.	目名	科名	種名	学名	希少種選定基準					特定外来生物	304-3 休耕田	優占種	特徴的な種
					I	II	III	IV	V				
1	ダツ	メダカ	キタノメダカ	<i>Oryzias sakaizumii</i>			VU				1		○
合計	1目	1科	1種	-	0種	0種	1種	0種	0種	0種	1種 1個体	-	1種
					合計:1種					合計:1種			

### 2.7.22 307-1（宝達山）

#### 1) 調査環境の概要

ブナなどの落葉広葉樹で構成された樹林が主な環境である。また、ブナ林は宝達志水町の指定文化財である。樹林の下層はササが優占している。また、明るい林道や草地はススキが優先している。眺望はよく、立山や剣岳等の北アルプスを一望できる。1周 400m ほどのブナ林遊歩道があり、散策が可能である。山頂に電波塔と宝達山大権現 手速比咩神社（てはやひめじんじゃ）上社の本殿があり、社寺林の様相を呈している。南側の散策道は雄池という大きな池にもつながっている。地区内の車道、林道上には熊出没注意の看板も設置されていた。

#### 2) 植物

植物は 38 科 61 種が確認された（表 2.7-105）。希少種は確認されていない。

調査地区に広がるブナ林では、ヤマソテツ、オオバクロモジ、ツクバネソウ、ムラサキシキブ、クルマバハグマなどが生育していた。樹林周辺には一部草地となっている箇所もあり、ワラビ、ススキ、ボタンヅル、オカトラノオ、ノコンギクなどの明るい環境を好む草本類が確認されている。

主に確認した種の個体写真を図 2.7-79 に示す。

表 2.7-105 確認した植物 (307-1 : 宝達山)

No.	分類群	科名	種名	学名	希少種選定基準					特定外 来生物	広く見ら れた種	特徴的 な種
					I	II	III	IV	V			
1	大葉シダ植物	トクサ	スギナ	<i>Equisetum arvense</i>								
2		ゼンマイ	ゼンマイ	<i>Osmunda japonica</i>								
3		ホヅノオシダ	ヤマソテツ	<i>Platogyria matsumureana</i>								○
4		コバノシカグマ	ワラビ	<i>Pteridium aquilinum ssp. japonicum</i>							○	○
5		シシガシラ	シシガシラ	<i>Blechnum niponicum</i>							○	○
6	裸子植物	ヒノキ	スギ	<i>Cryptomeria japonica var. japonica</i>							○	
7	被子植物-基部被子植物	クスノキ	オオバクロモジ	<i>Lindera umbellata var. membranacea</i>							○	
8	被子植物-単子葉植物	ヤマノイモ	ヤマノイモ	<i>Dioscorea japonica</i>								
9		シロソウ	ツクバネソウ	<i>Paris tetraphylla</i>							○	
10		イネ	ススキ	<i>Miscanthus sinensis</i>							○	
11			チカラシバ	<i>Pennisetum alopecuroides</i>								
12	被子植物-真正双子葉植物	アケビ	ミツバアケビ	<i>Akebia trifoliata ssp. trifoliata</i>								
13		キンボウゲ	ボタンヅル	<i>Clematis apiifolia var. apiifolia</i>								○
14		ブドウ	ヤマブドウ	<i>Vitis coignetiae</i>								
15		マメ	イタチハギ	<i>Amorpha fruticosa</i>								
16			クズ	<i>Pueraria lobata ssp. lobata</i>								
17			フジ	<i>Wisteria floribunda</i>								○
18			クワ	ヤマクワ	<i>Morus australis</i>							
19			イラクサ	アカソ	<i>Boehmeria silvestrii</i>							
20			バラ	クマイチゴ	<i>Rubus crataegifolius</i>							
21				モミジイチゴ	<i>Rubus palmatus</i>							
22			ブナ	クリ	<i>Castanea crenata</i>							
23				ブナ	<i>Fagus crenata</i>							○
24				ミズナラ	<i>Quercus crispula var. crispula</i>							○
25			ウリ	キカラスウリ	<i>Trichosanthes kirilowii var. japonica</i>							
26			ニシキギ	ツルウメモドキ	<i>Celastrus orbiculatus var. orbiculatus</i>							
27			トウダイグサ	アカメガシワ	<i>Mallotus japonicus</i>							
28			ヤナギ	オオキツネヤナギ	<i>Salix futura</i>							
29		ウルシ	ヌルデ	<i>Rhus javanica var. chinensis</i>								
30			ヤマウルシ	<i>Toxicodendron trichocarpum</i>								
31		ムクロジ	ウリハダカエデ	<i>Acer rufrinerve</i>								
32			トチノキ	<i>Aesculus turbinata</i>								
33		タデ	ケイタドリ	<i>Fallopia japonica var. uzensis</i>								
34			イスタデ	<i>Persicaria longiseta</i>								
35			ハナタデ	<i>Persicaria nosumbu</i>								
36		ミズキ	ヤマボウシ	<i>Cornus kousa ssp. kousa</i>								
37		サカキ	ヒサカキ	<i>Eurya japonica</i>							○	
38		サクラソウ	ヤブコウジ	<i>Ardisia japonica var. japonica</i>								
39			オカトラノオ	<i>Lysimachia clethroides</i>							○	
40			コナシ	<i>Lysimachia japonica</i>								
41		リョウブ	リョウブ	<i>Clethra barbinervis</i>								
42		ツツジ	ユキグニミツバツツジ	<i>Rhododendron lagopus var. nipophilum</i>							○	
43		アオキ	ヒメアオキ	<i>Aucuba japonica var. borealis</i>								
44		アカネ	ツルアリドオン	<i>Mitchella undulata</i>								
45			ヘクソカズラ	<i>Paederia foetida</i>								
46		オオバコ	オオバコ	<i>Plantago asiatica var. asiatica</i>								
47		シソ	ムラサキシキブ	<i>Callicarpa japonica var. japonica</i>							○	
48			ナギナタコウジュ	<i>Elsoltzia ciliata</i>							○	
49			カキドオシ	<i>Glechoma hederacea ssp. grandis</i>								
50		キク	ヨモギ	<i>Artemisia indica var. maximowiczii</i>							○	
51			ゴマナ	<i>Aster glehnii</i>								
52			ノコンギク	<i>Aster microcephalus var. ovatus</i>							○	
53			クルマバハグマ	<i>Pertva rigidula</i>							○	
54			フキ	<i>Petasites japonicus var. japonicus</i>								
55			セイタカアワダチソウ	<i>Solidago altissima</i>								
56			オヤマボクチ	<i>Synurus pungens</i>								
57			セイヨウタンポポ	<i>Taraxacum officinale</i>								
58		セリ	シソウド属	<i>Angelica sp.</i>								
59			ミツバ	<i>Cryptotaenia japonica</i>								
60		ガマズミ	ニワトコ	<i>Sambucus racemosa ssp. sieboldiana var. sieboldiana</i>								
61		スイカズラ	タニウツギ	<i>Weigela hortensis</i>								
合計	-	38科	61種	-	0種	0種	0種	0種	0種	0種	11種	14種

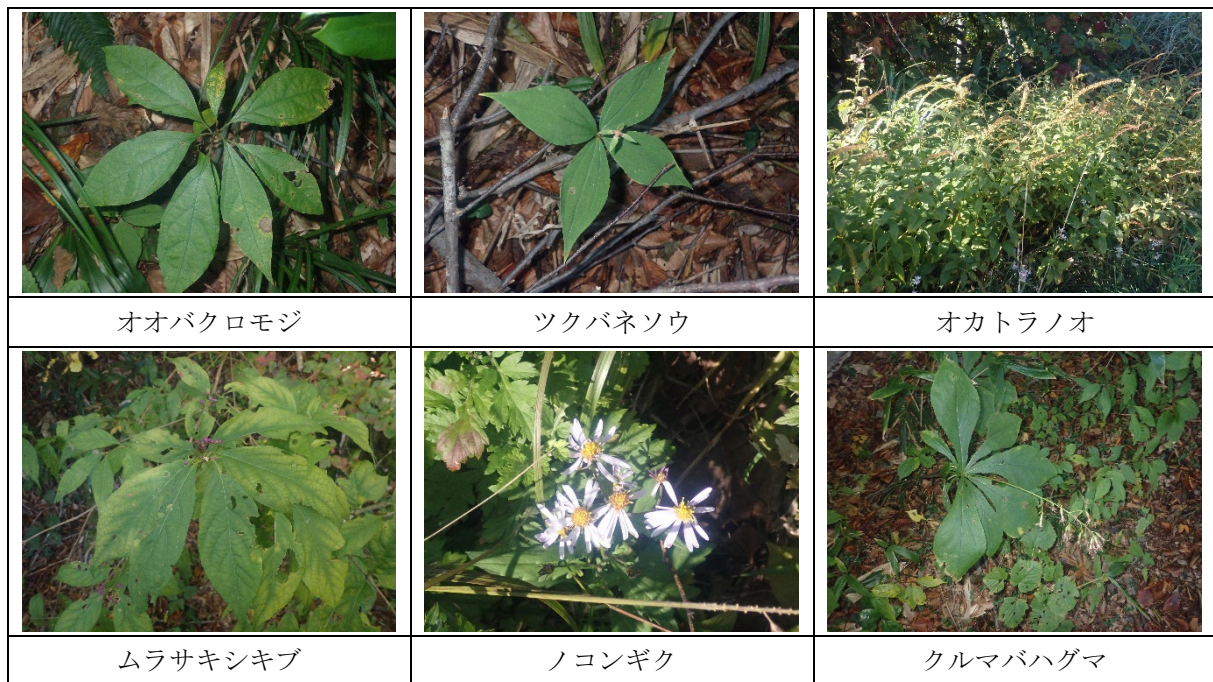


図 2.7-79 植物個体写真 (307-1 : 宝達山)

### 3) 昆虫類

昆虫類は9目43科71種が確認された(表2.7-106)。希少種の確認はなかった。

調査地区を象徴するブナを代表とする落葉広葉樹林では、ミカドフキバツタやヤスマツトビナナフシ、セアカツノカメムシ、ヒメヤママユなどの樹林性の種が見られた。明るい林道沿いの草地は花が残っており、ルリタテハ本土亜種やテングチョウ日本本土亜種、オオハラナガツチバチなどが吸蜜していた。

主に確認した種の個体写真を図2.7-80に示す。



表 2.7-106 確認した昆虫類 (307-1 : 宝達山) (2)

No.	目名	科名	種名	学名	希少種選定基準					特定外来生物	広く見られた種	特徴的な種
					I	II	III	IV	V			
55	ハチ(膜翅)	コマユバチ	コマユバチ科	Braconidae sp.								
56		ヒメバチ	ヒメバチ科	Ichneumonidae sp.								
57		アリ	アシナガアリ		<i>Aphaenogaster famelica</i>							
58			クロオオアリ		<i>Camponotus japonicus</i>							
59			ムネアカオオアリ		<i>Camponotus obscuripes</i>							○
60			クロヤマアリ		<i>Formica japonica</i> (s.l.)							
61			トビイロケアリ		<i>Lasius japonicus</i>							
62		スズメバチ	セグロアシナガバチ本土亜種		<i>Polistes jokahamae jokahamae</i>							○
63			オオスズメバチ		<i>Vespa mandarina</i>							
64			キロスズメバチ		<i>Vespa simillima</i>							
65		ツチバチ	クロスズメバチ		<i>Vespula flaviceps</i>							○
66			オオハラナガツチバチ		<i>Megacampsomeris grossa matsumurai</i>							
67			キンケハラナガツチバチ		<i>Megacampsomeris prismatica</i>							
68			オオマルハナバチ本土亜種		<i>Bombus hypocrita hypocrita</i>							
69		ミツバチ	イワタチビツヤハナバチ		<i>Ceratina iwatai</i>							
70	コハナバチ	ニジイロコハナバチ		<i>Lasioglossum apristum</i>								
71		ホクダイコハナバチ		<i>Lasioglossum duplex</i>								
合計	9目	43科	71種	-	0種	0種	0種	0種	0種	0種	9種	5種
					合計:0種							



図 2.7-80 昆虫類個体写真 (307-1 : 宝達山)

#### 4) 鳥類

鳥類は3目12科24種が確認された(表2.7-107)。希少種の確認はなかった。

調査地区を象徴するブナを代表とした落葉広葉樹林では、キツツキ類のコゲラやアカゲラのほか、シジュウカラや標高の高い地域に生息するコガラなどが見られ、山頂周辺の低木林では、ベニマシコやホオジロなどが見られた。スギを代表とした針葉樹林や林道沿いではミソサザイやウソ、クロジなどの山地性の種が見られた。水域の雄池では、カイツブリが繁殖をしていた。

主に確認した種の個体写真を図2.7-81に示す。

表 2.7-107 確認した鳥類 (307-1 : 宝達山)

No.	目名	科名	種名	学名	希少種選定基準					特定外来生物	広く見られた種	特徴的な種
					I	II	III	IV	V			
1	カイツブリ	カイツブリ	カイツブリ	<i>Tachybaptus ruficollis</i>								○
2	キツツキ	キツツキ	コゲラ	<i>Yungipicus kizuki</i>								
3			アカゲラ	<i>Dendrocopos major</i>								
4	スズメ	カラス	ハシブトガラス	<i>Corvus macrorhynchos</i>								
5		シジュウカラ	ヒガラ	<i>Periparus ater</i>								
6			ヤマガラ	<i>Sittiparus varius</i>							○	
7			コガラ	<i>Poecile montanus</i>								○
8			シジュウカラ	<i>Parus cinereus</i>							○	
9		ヒヨドリ	ヒヨドリ	<i>Hypsipetes amaurotis</i>								
10		ウグイス	ウグイス	<i>Horornis diphone</i>								
11		ミンサザイ	ミンサザイ	<i>Troglodytes troglodytes</i>								
12		ツグミ	シロハラ	<i>Turdus pallidus</i>								
13			アカハラ	<i>Turdus chrysolaus</i>								
14			ツグミ	<i>Turdus eunomus</i>								
15		ヒタキ	ジョウビタキ	<i>Phoenicurus aureoreus</i>								
16		イワヒバリ	カヤクグリ	<i>Prunella rubida</i>								○
17		アトリ	イカル	<i>Eophona personata</i>								
18			ウソ	<i>Pyrrhula pyrrhula</i>							○	○
19			ベニマシコ	<i>Carpodacus sibiricus</i>								
20			オオマシコ	<i>Carpodacus roseus</i>								
21			マヒワ	<i>Spinus spinus</i>								
22		ホオジロ	ホオジロ	<i>Emberiza cioides</i>								
23			カシラダカ	<i>Emberiza rustica</i>								
24			クロジ	<i>Emberiza variabilis</i>								○
合計	3目	12科	24種	-	0種	0種	0種	0種	0種	0種	3種	5種
					合計:0種							

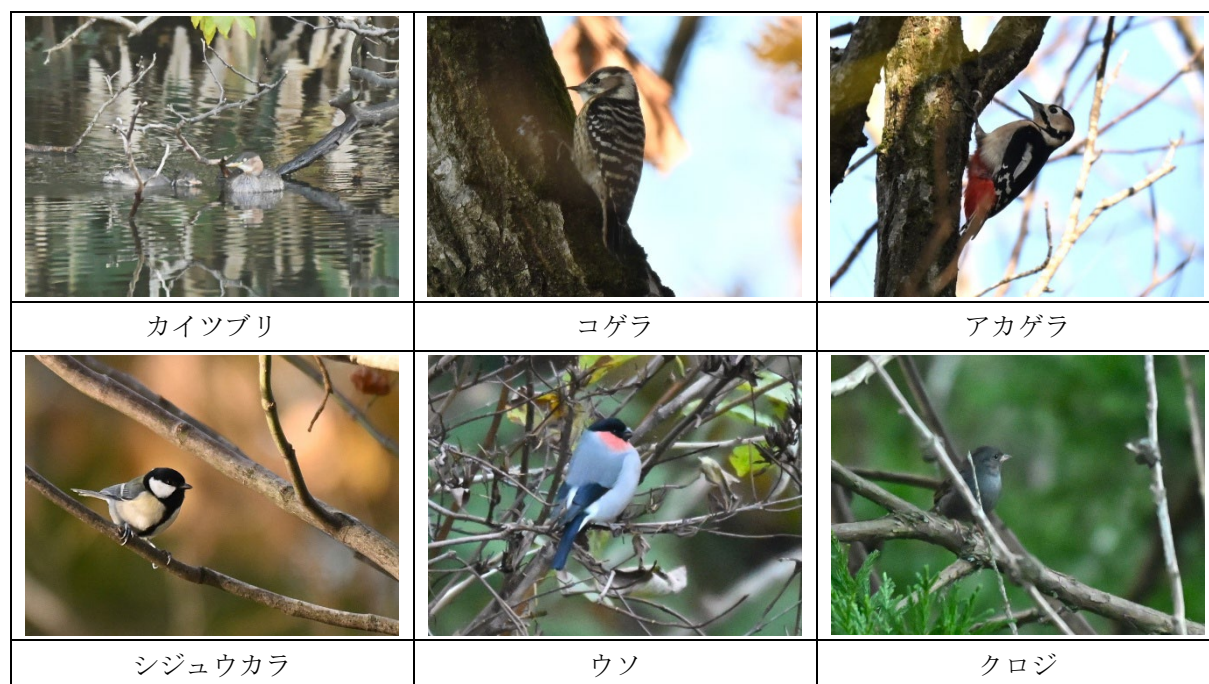


図 2.7-81 鳥類個体写真 (307-1 : 宝達山)

### 5) 両生類・爬虫類・哺乳類

爬虫類は1目2科2種、哺乳類は3目4科4種が確認された（表 2.7-108、表 2.7-109）。

希少種の確認はなかった。また、調査地区において両生類の確認はなかった。

調査地区を象徴するブナを代表とする落葉広葉樹林では、ツキノワグマがクロスズメバチの巣を捕食した際の爪痕や食痕、イノシシの足跡などが確認された。林道周辺ではニホンリスの食痕やテンの糞が見られ、明るい法面ではニホンカナヘビやシマヘビなどの爬虫類が見られた。

主に確認した種の個体写真を図 2.7-82 に示す。

表 2.7-108 確認した爬虫類 (307-1 : 宝達山)

No.	目名	科名	種名	学名	希少種選定基準					特定外来生物	広く見られた種	特徴的な種
					I	II	III	IV	V			
1	有鱗	カナヘビ	ニホンカナヘビ	<i>Takydromus tachydromoides</i>							○	
2		ナミヘビ	シマヘビ	<i>Elaphe quadrivirgata</i>								
合計	1目	2科	2種	-	0種	0種	0種	0種	0種	0種	1種	0種
					合計:0種							

表 2.7-109 確認した哺乳類 (307-1 : 宝達山)

No.	目名	科名	種名	学名	希少種選定基準					特定外来生物	広く見られた種	特徴的な種
					I	II	III	IV	V			
1	ネズミ(齧歯)	リス	ニホンリス	<i>Sciurus lis</i>								○
2	ネコ(食肉)	クマ	ツキノワグマ	<i>Ursus thibetanus</i>								○
3		イタチ	テン(ホンドテン)	<i>Martes melampus (M. m. melampus)</i>							○	
4	ウシ(偶蹄)	イノシシ	イノシシ	<i>Sus scrofa</i>								
合計	3目	4科	4種	-	0種	0種	0種	0種	0種	0種	1種	2種
					合計:0種							



図 2.7-82 哺乳類痕跡写真 (307-1 : 宝達山)

### 6) 魚類

本調査地区では魚類調査は行わなかったが、昆虫類調査時に地区内の雄池でタモロコを確認した（表 2.7-110）。

表 2.7-110 確認した魚類 (307-1 : 宝達山)

No.	目名	科名	種名	学名	希少種選定基準					特定外来生物	307-1雄池	優占種	特徴的な種
					I	II	III	IV	V				
1	コイ	コイ	タモロコ	<i>Gnathopogon elongatus elongatus</i>							1		
合計	1目	1科	1種	-	0種	0種	0種	0種	0種	0種	1種 1個体 合計:1種	-	-
					合計:0種								

## 2.7.23 308-1 (石動山)

### 1) 調査環境の概要

散策道が整備されたブナ林であり、自然観察の場として利用されている。

社寺も存在し、古くからの山岳信仰の山である。環境としてはブナ林の他、管理された草地や湿地、ため池が存在する。

### 2) 植物

植物は88科197種が確認された(表 2.7-111)。その内、希少種は2種であった。

調査地区に広がるブナ林の林床にはヤマソテツ、クジャクシダ、サカゲイノデ、オシヤグジデ、ツルアリドオシ、モミジガサなどの山地の樹林にみられる種が生育していた。また、そのようなブナ林の沢沿いではカツラ、サワグルミが若干交じり、林床ではコケイラン、ウラボミソウ、ワサビなどが確認されている。

主に確認した種の個体写真を図 2.7-83 に示す。

表 2.7-111 確認した植物 (308-1 : 石動山) (1)

No.	分類群	科名	種名	学名	希少種選定基準					特定外来生物	広く見られた種	特徴的な種
					I	II	III	IV	V			
1	ヒカゲノカズラ類	イワヒバ	クラマゴケ	<i>Selaginella remotifolia</i>								
2	大葉シダ植物	ハナヤスリ	オオハナワラビ	<i>Botrychium japonicum</i>								
3		キジノオシダ	オオキジノオ	<i>Plagiogyria euphlebia</i>								
4		ヤマソテツ	ヤマソテツ	<i>Plagiogyria matsumureana</i>								○
5		コバノイシカグマ	イヌシダ	<i>Dennstaedtia hirsuta</i>								
6		イノモトソウ	クジャクシダ	<i>Adiantum pedatum</i>								○
7			イワガネゼンマイ	<i>Coniogramme intermedia</i>								
8			チャセンシダ	トラノオシダ	<i>Asplenium incisum</i>							
9			コウヤワラビ	コウヤワラビ	<i>Onoclea sensibilis var. interrupta</i>							
10				クサソテツ	<i>Onoclea struthiopteris</i>							
11			シシガシラ	シシガシラ	<i>Blechnum niponicum</i>							○
12			メシダ	イヌワラビ	<i>Anisocampium niponicum</i>							
13				カラクサイヌワラビ	<i>Athyrium clivicola</i>							
14				ヤマイヌワラビ	<i>Athyrium vidalii</i>							
15				ヘビノネゴザ	<i>Athyrium yokoscense</i>							
16				シケンダ	<i>Deparia japonica</i>							
17				ハクモウイノデ	<i>Deparia pycnosora var. albosquamata</i>							
18				キヨタキシダ	<i>Diplazium squamigerum</i>							
19			オシダ	ホソバナライシダ	<i>Arachniodes borealis</i>							
20				リョウメンシダ	<i>Arachniodes standishii</i>							
21				クマワラビ	<i>Dryopteris lacera</i>							
22				ミヤマベニシダ	<i>Dryopteris monticola</i>							
23				オクマワラビ	<i>Dryopteris unififormis</i>							
24				サカゲイノデ	<i>Polystichum retrosopaleaceum</i>							○
25				ジュウモンジシダ	<i>Polystichum tripterum</i>							○
26		ウラボシ	ノキシノブ	<i>Lepisorus thunbergianus</i>								
27			オシヤクシデシダ	<i>Polypodium fauriei</i>							○	
28	裸子植物	イチョウ	イチョウ	<i>Ginkgo biloba</i>								
29		ヒノキ	スギ	<i>Cryptomeria japonica var. japonica</i>								
30				ヒノキアスナロ※1	<i>Thujaopsis dolabrata var. hondae</i>							
31				イチイ	<i>Cephalotaxus harringtonia var. nana</i>							
32				チャボガヤ	<i>Torreya nucifera var. radicans</i>							
33		被子植物-基部被子植物	ドクダミ	ドクダミ	<i>Houttuynia cordata</i>							
34				モクレン	キタコブシ	<i>Magnolia kobus var. borealis</i>						
35					ホオノキ	<i>Magnolia obovata</i>						
36					クスノキ	<i>Lindera umbellata var. membranacea</i>						○
37		被子植物-単子葉植物	サトイモ	ウキクサ	<i>Spirodela polyrrhiza</i>							
38			ヤマノイモ	ヤマノイモ	<i>Dioscorea japonica</i>							
39				キクバドコロ	<i>Dioscorea septemloba</i>							
40				オニドコロ	<i>Dioscorea tokoro</i>							
41			イヌサフラン	ホウチャクソウ	<i>Disporum sessile</i>							
42				チゴユリ	<i>Disporum smilacinum</i>							
43			サルトリイバラ	サルトリイバラ	<i>Smilax china var. china</i>							
44				タチシオデ	<i>Smilax nipponica</i>							
45				シオデ	<i>Smilax riparia</i>							
46			ラン	サイハイラン	<i>Crematris variabilis</i>							
47			コケイラン	<i>Oreorchis patens</i>								
48		アヤメ	シャガ	<i>Iris japonica</i>								
49		クサスギカズラ	オオバキボウシ	<i>Hosta sieboldiana</i>								
50		ツユクサ	ツユクサ(広義)	<i>Commelina communis</i>								
51		ショウガ	ミョウガ	<i>Zingiber mioga</i>								
52		ガマ	ガマ	<i>Typha latifolia</i>								
53		カヤツリグサ	サンカクイ	<i>Schoenoplectus triquetrum</i>								
54		イネ	メシバ	<i>Digitaria ciliaris</i>								
55			サヤスカグサ	<i>Leersia sylvanica</i>								
56			アシボソ	<i>Microstegium vimineum</i>								
57			コチヂミザサ	<i>Oplismenus undulatifolius var. japonicus</i>								
58			チカラシバ	<i>Pennisetum abopocuroides</i>								
59			ヨシ	<i>Phragmites australis</i>								
60			チマキザサ	<i>Sasa palmata</i>								
61			クマイザサ	<i>Sasa senanensis</i>								
62	被子植物-真正双子葉植物	アケビ	アケビ	<i>Akebia quinata</i>								
63			ツツラフジ	コウモリカズラ	<i>Menispermum dauricum</i>							
64			メギ	トキワイカリソウ	<i>Epimedium sempervirens</i>						○	
65			アワブキ	ミヤマハハソ	<i>Meliosma tenuis</i>							
66			マンサク	マルバマンサク	<i>Hamamelis japonica var. obtusata</i>							
67			カツラ	カツラ	<i>Cercidiphyllum japonicum</i>						○	
68			ユキノシタ	トリアシショウマ	<i>Astilbe thunbergii var. congesta</i>						○	
69				ユキノシタ	<i>Saxifraga stolonifera</i>							
70			アリトウグサ	フサモ属※2	<i>Myriophyllum sp.</i>							
71			ブドウ	ノブドウ	<i>Ampelopsis glandulosa var. heterophylla</i>							
72			マメ	ノササゲ	<i>Dumasia truncata</i>							
73				ヌスビトハギ	<i>Hydodesmum podocarpum ssp. oxyphyllum var. japonicum</i>							
74				シロツメクサ	<i>Trifolium repens</i>							
75				フジ	<i>Wisteria floribunda</i>							
76		ニレ	ケヤキ	<i>Zelkova serrata</i>								
77		アサ	ユノキ	<i>Celtis sinensis</i>								
78		クワ	ヤマグワ	<i>Morus australis</i>								



表 2.7-111 確認した植物 (308-1 : 石動山) (3)

No.	分類群	科名	種名	学名	希少種選定基準					特定外来生物	広く見られた種	特徴的な種	
					I	II	III	IV	V				
178	被子植物-真正双子葉植物	キク	チチコグサ	<i>Gnaphalium japonicum</i>									
179			アキノノゲシ	<i>Lactuca indica</i> var. <i>indica</i>									
180			フランスギク	<i>Leucanthemum vulgare</i>									
181			モミジガサ	<i>Parasenecio delphinifolius</i>									○
182			オオカニコウモリ	<i>Parasenecio nikomontanus</i>									
183			フキ	<i>Petasites japonicus</i> var. <i>japonicus</i>									
184			セイタカアワダチソウ	<i>Solidago altissima</i>									
185			アキノキリンソウ	<i>Solidago virgaurea</i> ssp. <i>asiatica</i> var. <i>asiatica</i>									
186			セイヨウタンポポ	<i>Taraxacum officinale</i>									
187			ウコギ	コシアブラ	<i>Cheniopanax sciadophylloides</i>								○
188				タカノツメ	<i>Gamblea innovans</i>								
189				キツタ	<i>Hedera rhombea</i>								
190			セリ	トチバニンジン	<i>Panax japonicus</i>								
191				シシウド属	<i>Angelica</i> sp.								
192			ガマズミ	セリ	<i>Oenanthe javanica</i> ssp. <i>javanica</i>								
193				ニワトコ	<i>Sambucus racemosa</i> ssp. <i>sieboldiana</i> var. <i>sieboldiana</i>								
194				ガマズミ	<i>Viburnum dilatatum</i>								
195				オオカメノキ	<i>Viburnum furcatum</i>								○
196				マルバゴマキ	<i>Viburnum sieboldii</i> var. <i>obovatifolium</i>								
197		ミヤマガマズミ	<i>Viburnum wrightii</i> var. <i>wrightii</i>										
合計	-	88科	197種	-	0種	0種	0種	2種	0種	0種	16種	13種	
					合計:2種								

※1 ヒノキアスナロは現地の状況および「石川県の絶滅のおそれのある野生生物 いしかわレッドデータブック 2020 植物編」(石川県, 2020年)の分布情報から、植林もしくはそれに由来するものと考えられるが、種としては選定基準に該当するため重要種として扱った。また、両種ともに「石川県の絶滅のおそれのある野生生物 いしかわレッドデータブック 2020 植物編」(石川県, 2020年)におけるランクはVUである。

※2 「石川県植物目録 2020(維管束植物)」(石川県絶滅危惧植物調査会および石川県地域植物研究会, 2020)の分布情報および今回確認された個体の形態から、ホザキノフサモ、フサモのいずれかである可能性が高いと考えられる。両種は重要種選定基準に該当するため、フサモ属を重要種として扱った。

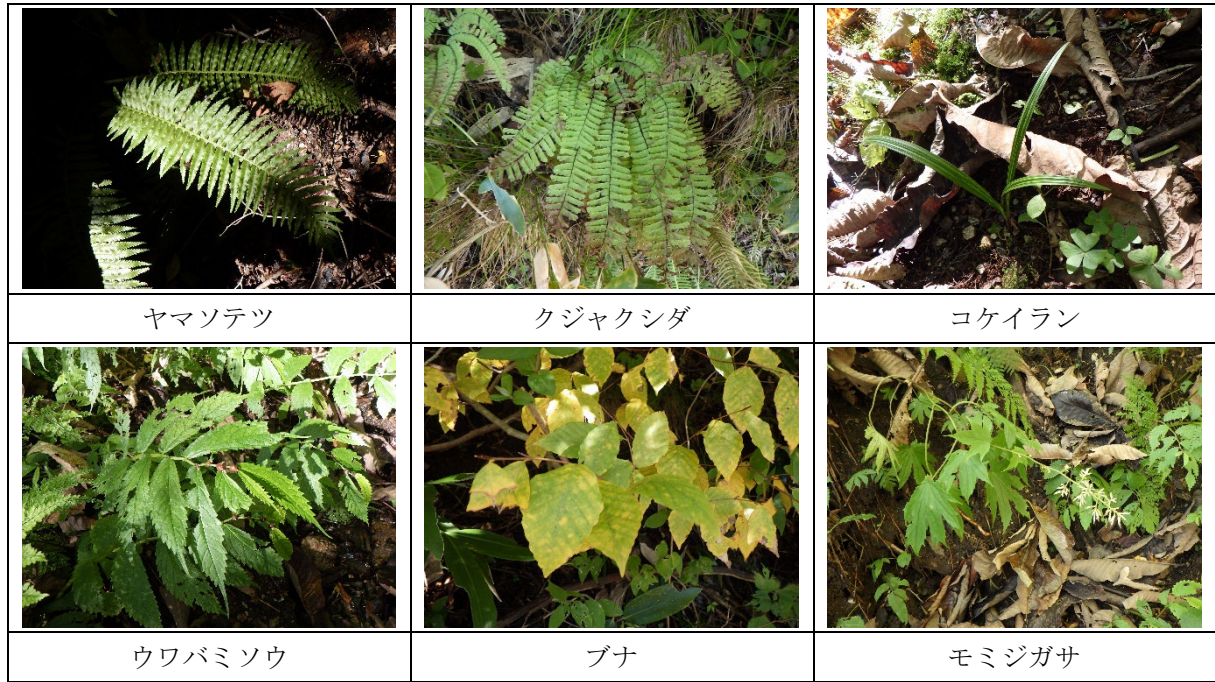


図 2.7-83 植物個体写真 (308-1 : 石動山)

### 3) 昆虫類

昆虫類は9目32科59種が確認された(表2.7-112)。その内、希少種は1種であった。

調査地区に広がるブナ林やその林縁では、ルリタテハ本土亜種やテングチョウ本土亜種、イカリモンガなどの樹林環境を好む種が見られた。地区内の明るい草地では、オオアオイトトンボやアキアカネ、シートテハなどのトンボ類やチョウ類が休息、吸蜜していた。

主に確認した種の個体写真を図2.7-84に示す。

表 2.7-112 確認した昆虫類 (308-1 : 石動山)

No.	目名	科名	種名	学名	希少種選定基準					特定外来生物	広く見られた種	特徴的な種
					I	II	III	IV	V			
1	トンボ(蜻蛉)	アオイトトンボ	オオアオイトトンボ	<i>Lestes temporalis</i>								
2		トンボ	アキアカネ	<i>Sympetrum frequens</i>							○	
3			ノシメトンボ	<i>Sympetrum infuscatum</i>								
4	カマキリ(蟷螂)	カマキリ	コカマキリ	<i>Statilia maculata</i>								
5			オオカマキリ	<i>Tenodera sinensis</i>								
6	バッタ(直翅)	ツコムシ	ツコムシ	<i>Phaneroptera falcata</i>								
7		マツムシ	アオマツムシ	<i>Trujalia hibinonis</i>								
8		コオロギ	エンマコオロギ	<i>Teleogryllus emma</i>								
9		バッタ	ショウリョウバッタ	<i>Acrida cinerea</i>								
10			クルマバッタモドキ	<i>Oedaleus infernalis</i>								
11		イナゴ	ハネナガイナゴ	<i>Oxva japonica</i>				NT				
12			コバネイナゴ	<i>Oxva vezoensis</i>								
13			Parapodisma属	<i>Parapodisma</i> sp.								
14		ヒシバッタ	ハネナガヒシバッタ	<i>Euparattix insularis</i>								
15			ヤセヒシバッタ	<i>Tetrix macilentata</i>								
16	カメムシ(半翅)	ヨコバイ	ツマグロオオヨコバイ	<i>Bothrogonia ferruginea</i>							○	
17			マダラヨコバイ	<i>Psammotettix striatus</i>								
18		カスミカメムシ	ツマグロアオカスミカメ	<i>Apolygus spinolae</i>								
19		ホソヘリカメムシ	クモヘリカメムシ	<i>Leptocoris chinensis</i>								
20			ホソヘリカメムシ	<i>Riptortus pedestris</i>								
21		ヘリカメムシ	ホソヘリカメムシ	<i>Cletus punctiger</i>								
22		カメムシ	ブチヒゲカメムシ	<i>Dolycoris baccarum</i>								
23			クサギカメムシ	<i>Halymorpha halys</i>							○	
24		アメンボ	アメンボ	<i>Aquarius paludum paludum</i>								
25			ヤスマツアメンボ	<i>Gerris insularis</i>								
26		マツモムシ	マツモムシ	<i>Notonecta triguttata</i>								
27	トビケラ(毛翅)	エグリトビケラ	エグリトビケラ	<i>Nemotaulius admorsus</i>								
28	チョウ(鱗翅)	セセリチョウ	チャバナセセリ	<i>Pelopidas mathias oberthueri</i>								
29		シジミチョウ	ベニシジミ	<i>Lycaena phlaeas chinensis</i>								
30			ヤマトシジミ本土亜種	<i>Zizeeria maha argia</i>								
31		タテハチョウ	ツマグロヒョウモン	<i>Argyreus hyperbius hyperbius</i>								
32			オウラギンスジヒョウモン	<i>Argyronome ruzana</i>								
33			ルリタテハ本土亜種	<i>Kaniska canace nojaponicum</i>							○	
34			テングチョウ日本本土亜種	<i>Libythea lepita celtoides</i>							○	
35			シートテハ	<i>Polygonia c-album hamigera</i>							○	
36			キタテハ	<i>Polygonia c-aureum c-aureum</i>								
37			アカタテハ	<i>Vanessa indica indica</i>								
38		シロチョウ	モンキチョウ	<i>Colias erate poliographa</i>								
39			キタキチョウ	<i>Eurema mandarina</i>								
40		ツトガ	シロオビノメイガ	<i>Spoladea recurvalis</i>								
41			イカリモンガ	<i>Pterodecta felderi</i>							○	
42	ハエ(双翅)	ヒメガガンボ	Cladura属	<i>Cladura</i> sp.								
43		ムシヒキアブ	シロスヒメムシヒキ	<i>Philonicus albiceps</i>								
44		ハナアブ	キスネクロハナアブ	<i>Cheilosia ochripes</i>								
45			ホソヒラタアブ	<i>Episyrrhus balteatus</i>								
46			キゴシハナアブ	<i>Eristalinus quinquestriatus</i>								
47			シマハナアブ	<i>Eristalis cerealis</i>								
48			ナミハナアブ	<i>Eristalis tenax</i>								
49			アシトハナアブ	<i>Helophilus eristoloides</i>								
50			オオハナアブ	<i>Phytomia zonata</i>								
51			ホソヒラタアブ	<i>Sphaerophoria macrogaster</i>								
52			キイロナミホシヒラタアブ	<i>Syrphus vitripennis</i>								
53	コウチュウ(鞘翅)	オサムシ	ホソツヤヒラタゴミムシ	<i>Synuchus atricolor</i>								
54		ゲンゴロウ	クロスマメゲンゴロウ	<i>Agabus conspicuus</i>								
55	ハチ(膜翅)	アリ	クロヤマアリ	<i>Formica japonica</i> (s.l.)							○	○
56		スズメバチ	キボシアシナガバチ	<i>Polistes nipponensis</i>								
57			キロスズメバチ	<i>Vespa similima</i>								
58		ツチバチ	キンケハラナガツチバチ	<i>Megacampsomeris prismatica</i>								
59		ミツバチ	トラマルハナバチ本土亜種	<i>Bombus diversus diversus</i>								
合計	9目	32科	59種	-	0種	0種	0種	1種	0種	0種	4種	5種
					合計:1種							





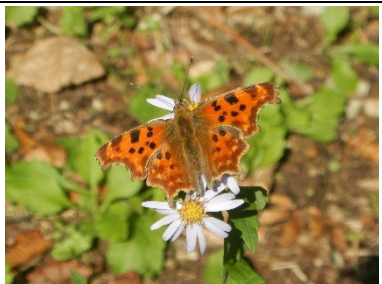
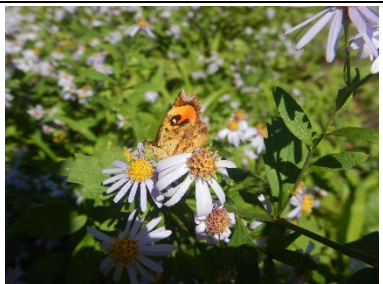
		
<p>オオアオイトトンボ</p>	<p>アキアカネ</p>	<p>クサギカメムシ</p>
		
<p>ルリタテハ本土亜種</p>	<p>シータテハ</p>	<p>イカリモンガ</p>

図 2.7-84 昆虫類個体写真 (308-1 : 石動山)

#### 4) 鳥類

鳥類は4目15科20種が確認された(表 2.7-113)。その内、希少種は1種であった。

調査地区に広がるブナ林やその林縁では、ハイタカやシジュウカラ、イカルなどの樹林環境を好む種が見られた、林内の湿地ではアオシギ、開けた湿地ではセグロセキレイなどが見られた。また、管理された施設周辺では、シジュウカラやツグミ、ホオジロなどが見られた。

主に確認した種の個体写真を図 2.7-85 に示す。

表 2.7-113 確認した鳥類 (308-1 : 石動山)

No.	目名	科名	種名	学名	希少種選定基準					特定外来生物	広く見られた種	特徴的な種
					I	II	III	IV	V			
1	チドリ	シギ	アオシギ	<i>Gallinago solitaria</i>								○
2	タカ	タカ	ハイタカ	<i>Accipiter nisus</i>			NT	NT				
3	キツツキ	キツツキ	コゲラ	<i>Yungipicus kizuki</i>								
4	スズメ	カラス	ハシブトガラス	<i>Corvus macrorhynchos</i>								
5		レンジャク	ヒレンジャク	<i>Bombycilla japonica</i>								
6		シジュウカラ	ヒガラ	<i>Periparus ater</i>								
7			ヤマガラ	<i>Sittiparus varius</i>								
8			シジュウカラ	<i>Parus cinereus</i>								○
9		ヒヨドリ	ヒヨドリ	<i>Hypsipetes amaurotis</i>								
10		ウグイス	ウグイス	<i>Horornis diphone</i>								
11		エナガ	エナガ	<i>Aegithalos caudatus</i>								
12	キクイタダキ	キクイタダキ	<i>Regulus regulus</i>									
13	ツグミ	アカハラ	<i>Turdus chrysolaus</i>									
14		ツグミ	<i>Turdus eunomus</i>								○	
15	ヒタキ	ルリビタキ	<i>Tarsiger cyanurus</i>									
16	セキレイ	セグロセキレイ	<i>Motacilla grandis</i>									
17	アトリ	アトリ	<i>Fringilla montifringilla</i>									
18		イカル	<i>Eophona personata</i>								○	
19		マヒワ	<i>Spinus spinus</i>									
20	ホオジロ	ホオジロ	<i>Emberiza cioides</i>									
合計	4目	15科	20種	-	0種	0種	1種	1種	0種	0種	1種	3種
					合計:1種							



図 2.7-85 鳥類個体写真 (308-1 : 石動山)

### 5) 両生類・爬虫類・哺乳類

両生類は1目1科1種、爬虫類は1目1科1種、哺乳類は4目4科4種が確認された(表 2.7-114~表 2.7-116)。希少種の確認はなかった。

調査地区に広がるブナ林やその林縁では、ヤマアカガエルやニホンリスなどの樹林環境を好む種が見られた。また、林内を流れる沢や周辺の草地ではイノシシの掘り返し跡やヤマカガシなどが確認された。

主に確認した種の個体写真を図 2.7-86 に示す。

表 2.7-114 確認した両生類 (308-1 : 石動山)

No.	目名	科名	種名	学名	希少種選定基準					特定外来生物	広く見られた種	特徴的な種
					I	II	III	IV	V			
1	無尾	アカガエル	ヤマアカガエル	<i>Rana ornativentris</i>								○
合計	1目	1科	1種	-	0種	0種	0種	0種	0種	0種	0種	1種
					合計:0種							

表 2.7-115 確認した爬虫類 (308-1 : 石動山)

No.	目名	科名	種名	学名	希少種選定基準					特定外来生物	広く見られた種	特徴的な種
					I	II	III	IV	V			
1	有鱗	ナミヘビ	ヤマカガシ	<i>Rhabdophis tigrinus</i>								
合計	1目	1科	1種	-	0種	0種	0種	0種	0種	0種	0種	0種
					合計:0種							

表 2.7-116 確認した哺乳類 (308-1 : 石動山)

No.	目名	科名	種名	学名	希少種選定基準					特定外来生物	広く見られた種	特徴的な種
					I	II	III	IV	V			
1	モグラ(食虫)	モグラ	モグラ科	Talpidae sp.								
2	ネズミ(齧歯)	リス	ニホンリス	<i>Sciurus lis</i>								○
3	ネコ(食肉)	イタチ	テン(ホンドテン)	<i>Martes melampus (M. m. melampus)</i>								○
4	ウシ(偶蹄)	イノシシ	イノシシ	<i>Sus scrofa</i>								
合計	4目	4科	4種	-	0種	0種	0種	0種	0種	0種	1種	1種
					合計:0種							



図 2.7-86 両生類・哺乳類個体写真、痕跡写真 (308-1 : 石動山)

表 調査の対象とした候補地

No.	現地踏査の対象とした候補地の地域名 (52 地域)	生物調査の対象とした候補地の 地域名 (23 地域)	市町村
101-1	粟津地区	粟津地区	珠洲市
101-2	奥能登・中能登の湿地群	奥能登・中能登の湿地群(1)	珠洲市
102-3		奥能登・中能登の湿地群(2)	珠洲市
102-1	里山里海自然学校保全林	-	珠洲市
102-2	小泊地区	-	珠洲市
102-4	(鉢ヶ崎海岸 <sup>*1</sup> )	鉢ヶ崎海岸	珠洲市
103-1	珠洲市内の里地里山	若山町	珠洲市
104-1	九里川尻地区	-	能登町
105-1	旧内浦町地先沿岸	旧内浦町海岸・九十九湾	能登町
106-1	小木地区	-	能登町
107-1	岩井戸地区	町野川上流と当目・岩井戸地区	能登町
107-2	黒川棚田	-	能登町
107-3	当目千石棚田	-	能登町
108-1	春蘭の里 (宮地地区含む)	宮地地区 (No.は 108-2 とした)	能登町
108-2	能登町宮地地区		能登町
110-1	金蔵地区	-	輪島市
110-2	輪島市町野町金蔵	-	輪島市
110-3	町野町東地区	町野川と周辺の里地	輪島市
111-1	白米千枚田	-	輪島市
113-1	輪島市洲衛付近	洲衛	輪島市
113-2	トキのふるさと能登まるやま	市ノ坂	輪島市
114-1	青年団伝統獅子舞 本郷地区	-	輪島市
116-1	能登半島西部沿岸	皆月湾・吉浦	輪島市
117-1	木ノ浦	木ノ浦	珠洲市
118-1	(袖ヶ浜 <sup>*1</sup> )	袖ヶ浜・鴨ヶ浦	輪島市
201-1	甲地区	-	穴水町
202-1	穴水町七海付近	-	穴水町
203-1	新崎・志ヶ浦地区	志ヶ浦	穴水町
203-2	(由比ヶ丘公園 <sup>*1</sup> )	由比ヶ丘	穴水町
204-1	別所岳	-	穴水町
205-1	能登島長崎地区と小浦地区	能登島東部 (No.は 105-2 とした)	七尾市
205-2	能登島長崎町		七尾市
205-3	七尾市能登島長崎町		七尾市
205-4	能登島東部地区		七尾市
206-1	幻の田んぼ	-	七尾市
207-1	七尾湾	-	七尾市
208-1	中島町鉤打地区	-	七尾市
210-1	赤浦潟	-	七尾市
210-2	百海地区	-	七尾市
211-1	高階地区	-	七尾市
211-2	相馬地区	-	七尾市
211-3	春木地区	-	中能登町
212-1	大笹波水田	-	志賀町
213-1	尊保地区	-	志賀町
215-1	赤住地域	-	志賀町
216-1	上野塩性湿地	上野沿岸	志賀町
217-1	甘田地区	甘田・柴垣海岸	志賀町
301-1	眉丈山	-	中能登町
303-1	南潟地区	-	羽咋市
303-2	邑知潟	邑知潟	羽咋市
304-1	羽咋市神子原地区	神子原地区 (No.は 304-3 とした)	羽咋市
304-2	神子原地区棚田群		羽咋市
304-3	神子原地区		羽咋市
305-1	千里浜	-	羽咋市
306-1	吉野屋地区	-	宝達志水町
307-1	- <sup>*2</sup>	宝達山	宝達志水町
308-1	石動山	石動山	中能登町

- ※1)現地踏査時に良好な環境が確認されたため、生物調査の対象に追加した地域。
- ※2)ヒアリング結果を踏まえ追加した地域。

令和7年度 能登半島自然環境調査業務  
調査報告書

令和8(2026)年3月

環境省自然環境局 生物多様性センター

〒403-0005 山梨県富士吉田市上吉田剣丸尾 5597-1

電話：0555-72-6033 FAX：0555-72-6035

業務名 令和7年度 能登半島自然環境調査業務

請負者 アジア航測株式会社

〒160-0023 東京都新宿区西新宿 6-14-1 新宿グリーンタワービル

リサイクル適性の表示：印刷用の紙にリサイクルできます。

この印刷物は、グリーン購入法に基づく基本方針における「印刷」に係わる判断の基準にしたがい、印刷用の紙へのリサイクルに適した材料 [Aランク] のみを用いて作製しています。